

New2016F11HyperMonster 製品使用マニュアル

<目次>

1. はじめに P 2
2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm に追加したシートと異なるシート P3
 - (1) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm の場合 P3
 - (2) ファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm～
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xslm の場合 P10
3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm と異なるユーザーフォームの部分 P11
 - (1) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm の場合 P11
 - (2) ファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm～
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xslm の場合 P34
4. ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm
のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を用いて、最大 1,000,000 レコード 816,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法 P39
 - (1) データファイルのデータの入力等について P39
 - (2) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm のシートの設定 P65
 - (3) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」の印刷フォームシートへの複写について P68
 - (4) 印刷フォームの様式作成について P80
 - ① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計 P80
 - ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计 P89
 - (5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について P116
 - ① 票形式の印刷の場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合 P126
 - ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合 P141

I. はじめに

New2016F11HyperMonsteFile 製品は、
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm
の 62 個データファイルと

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のメインファイルの計 11 個のファイルから構成されています。これら 11 個のファイル全体を一つのシステムと捉えてご利用頂く製品です。

63 個のファイルは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

をもとに作成されたもので、機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありません。

これらの 11 個のファイルにはそれぞれ 80 枚の入力シートがあり、1 枚の入力シートには 200 のフィールドがあり、デフォルトでは 50 レコード入力のかたちですが、最大 1,000,000 レコードまで増加させることができます。そして、10 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」とファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のシート「1 1 結合ファイル作成コピー用」はそれぞれのファイル内の 80 枚の入力シートの内容を表示させることができます。そして更にファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のシート「1 1 結合ファイル作成コピー用」は、62 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、10 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の内容を表示させることができます。つまり、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のシート「1 1 結合ファイル作成コピー用」は、最大 1,000,000 レコード 176,000 フィールドの内容を表示することができ、最大 1,000,000 レコード 176,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行うことが可能です。

上で述べたように **New2016F11HyperMonsteFile 製品の 11 個のファイルは、ファイル**

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありませんが、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
や

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

の 10 個データファイルにはファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

とはワークシートの種類やユーザーフォームの機能に若干違いがあります。これらの違いを中心に下の 2、3 で説明させていただきます。

なお、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

と全く同じ構造・機能を持っているファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm

を私どものホームページのページ「2016 試用版ファイルダウンロード」の『PARTIII 「2016 試用版ファイル」のダウンロード』からダウンロードしてご覧頂くことができます。また、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

には極めて多くの機能があり、その全てを解説するには 5,000 ページ以上の解説が必要でほとんど不可能です。そのため、ファイルの使用から印刷までの作業を行っていく上で、頻繁に利用される必要最小限知っていただきたいマクロの利用方法や、また知っていると大変便利なマクロの利用方法、能率的なシステムの構築するためのマニュアルを私どものホームページのページ「使用マニュアルダウンロード」からダウンロードしてご覧いただけます。ページ「使用マニュアルダウンロード」の次の部分をダウンロードしてご覧ください。

I 新しいマニュアルのダウンロード

準備 pdf ファイルの保存方法.pdf のダウンロード

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf のダウンロード
- 2.基本的なシート.pdf のダウンロード
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf のダウンロード
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf のダウンロード
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアルのダウンロード
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计マニュアル.pdf のダウンロード
- 11.印刷マクロ命令入力シートであるシート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 14.編集シートから入力シートへの表データー複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 15.システムの初期化、シートデーターの削除・消去等マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見やすいメール本文の作成の仕方.pdf のダウンロード

2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm に追加したシートと異なるシート:

- (1) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合:

追加したシートは「CallDataFile の登録」です。

このシートは、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

およびファイル

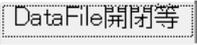
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

の 62 個データファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ  を選択すると次の[図 1]の画面ようになります。

[図1]

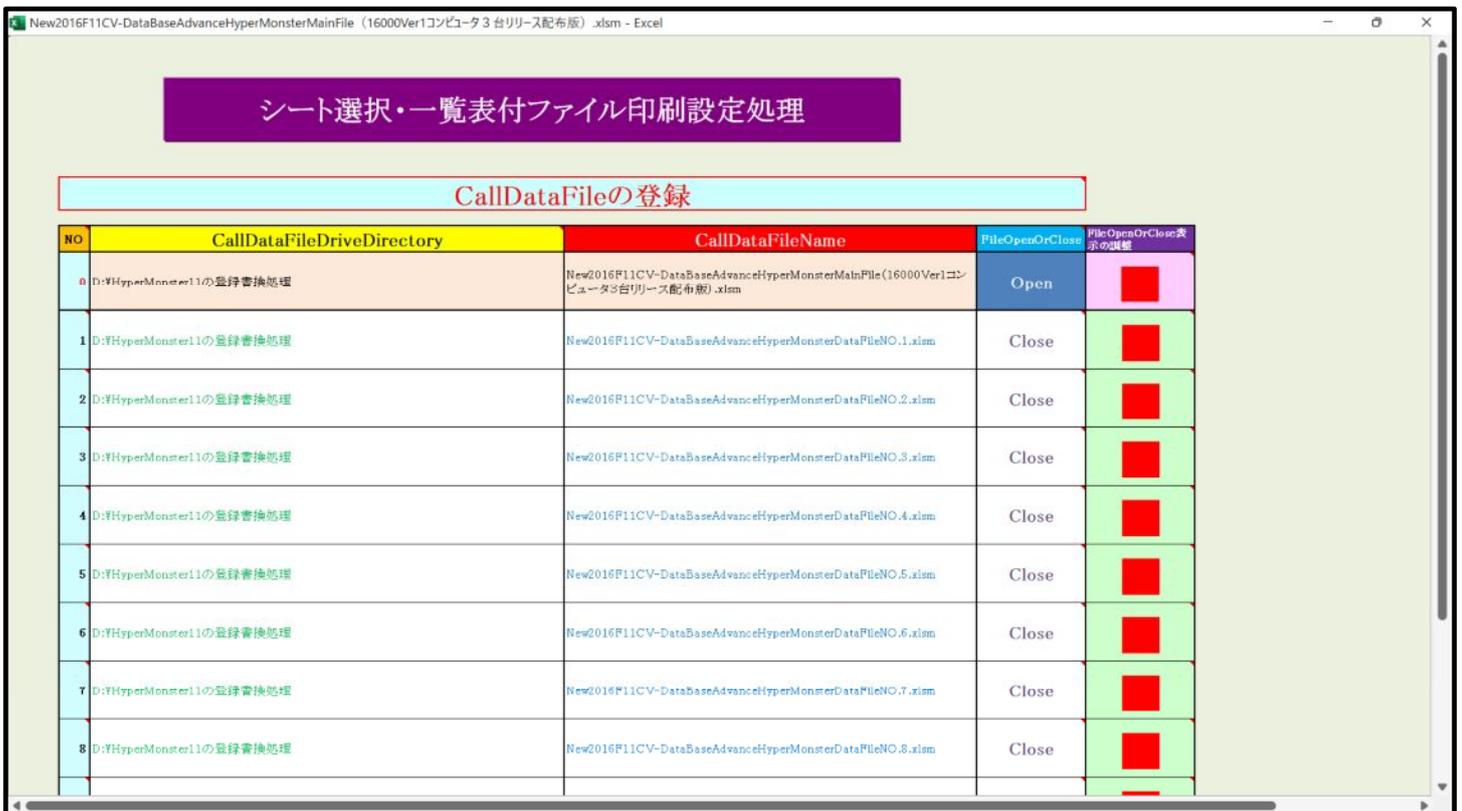


上の[図1]の画面のコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図2]の画面のようになりシート「CallDataFileの登録」が選択できます。

[図2]



また、変更したシートはシート「ファイル作成コピー用11結合」です。

ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を改造しシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」としました。このシートは 1 1 個のデータファイル各シート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、リンク先管理をおこなうシートです。

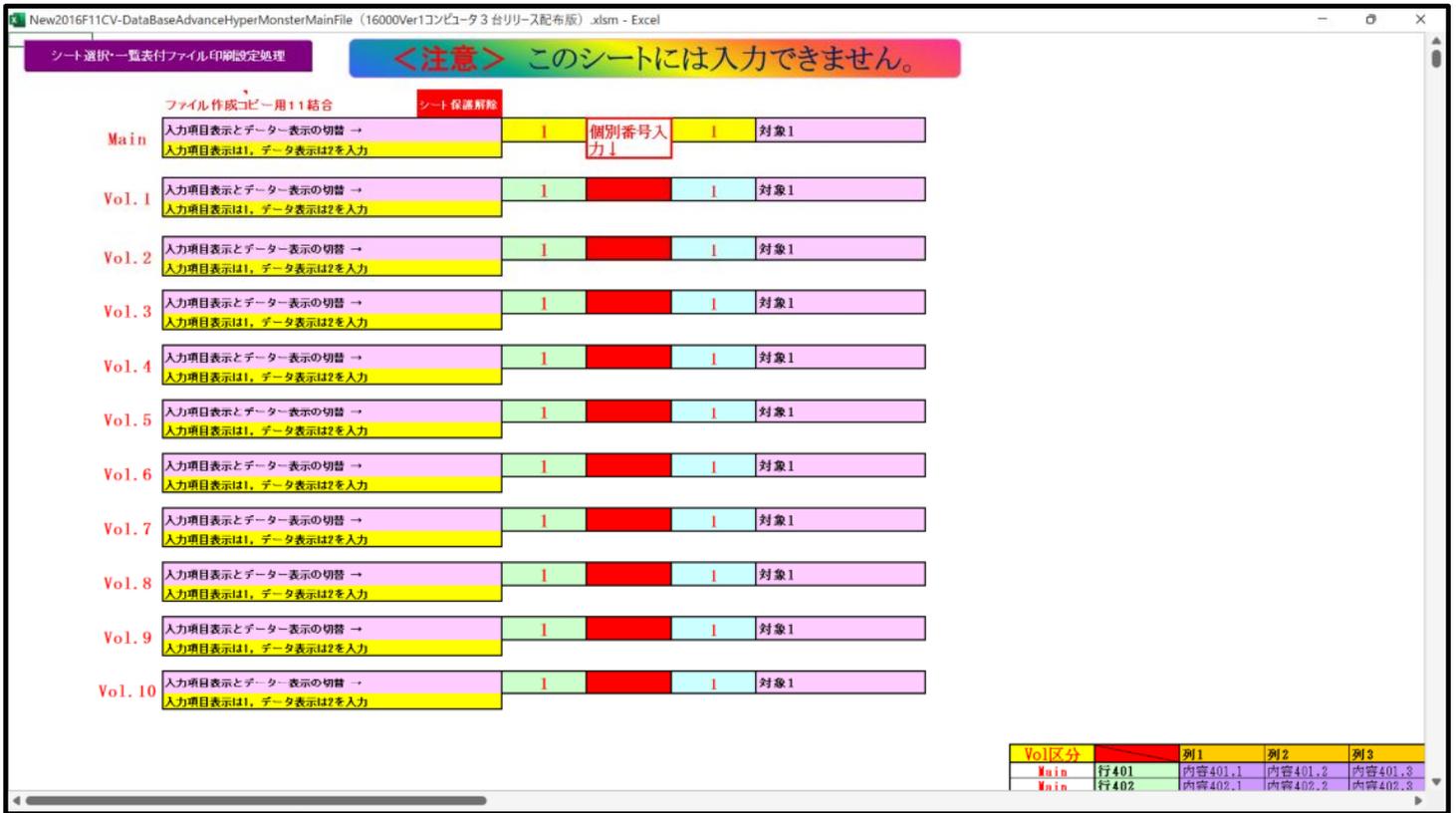
ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の [図 3] の画面ようになります。

[図 3]



上の [図 3] の画面の Command ボタン **ファイル作成コピー用 1 1 結合** をクリックすると、次の [図 4] の画面のようになりシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」が選択できます。

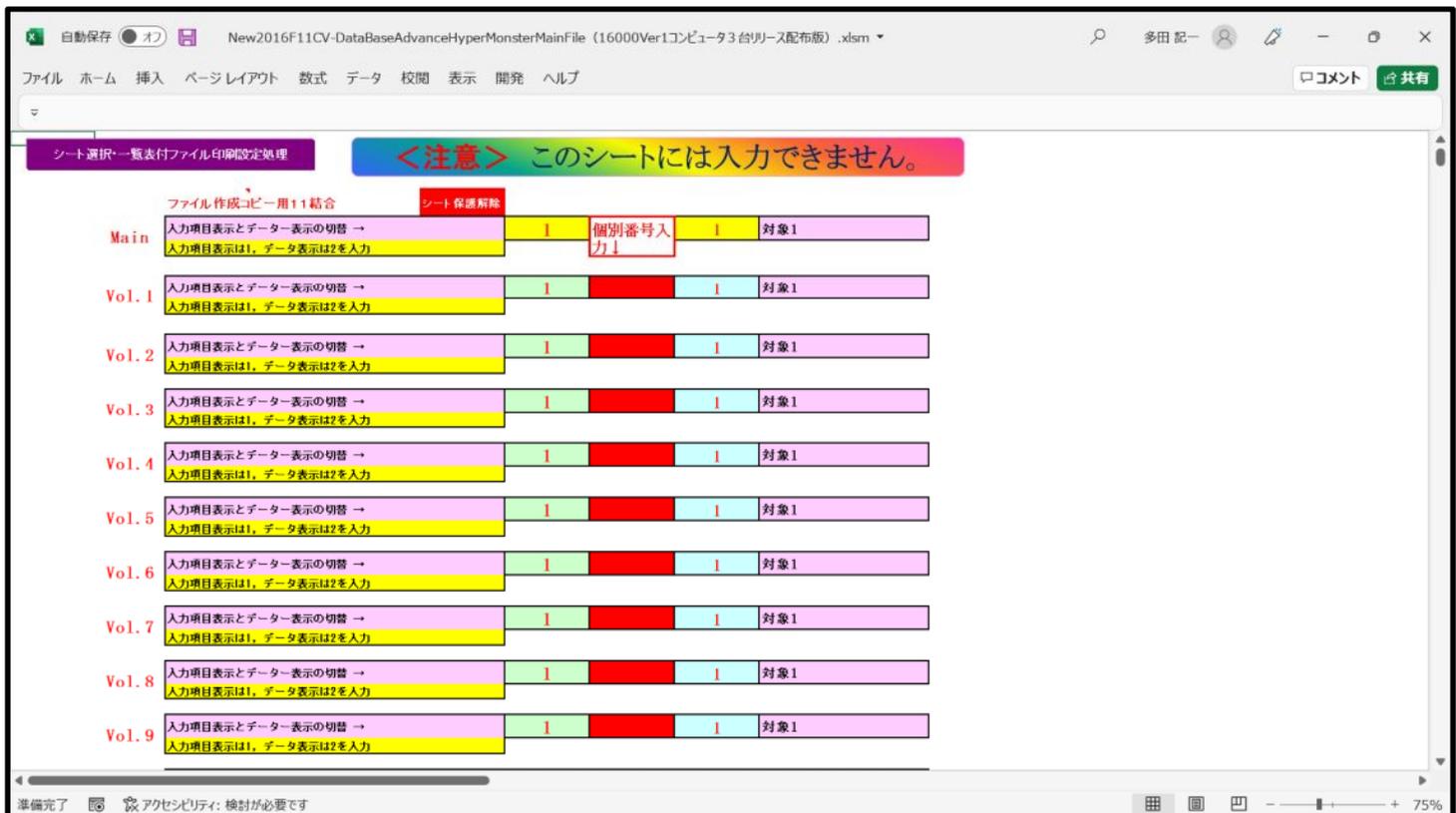
【図 4】



標準画面表示

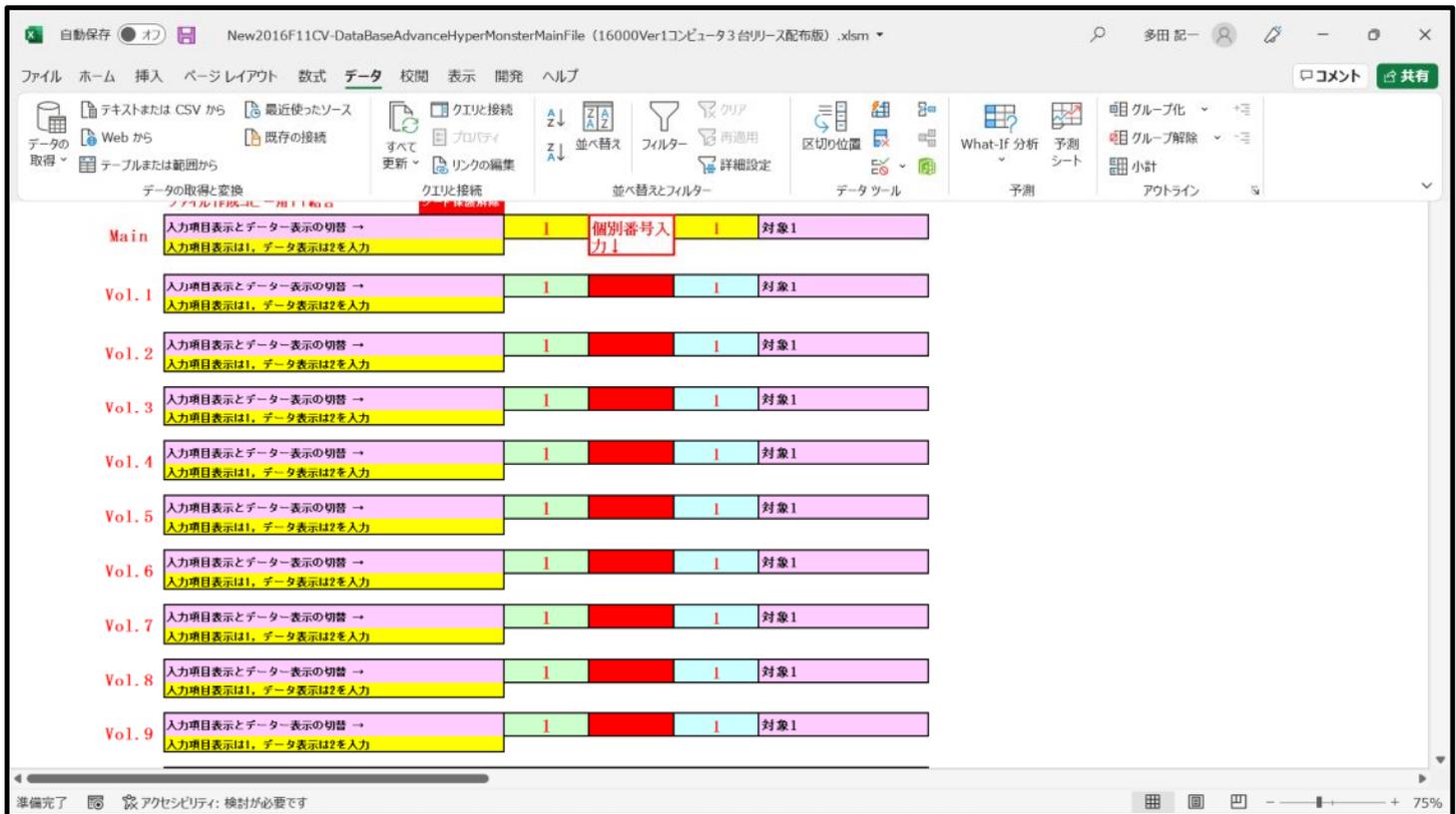
上の【図 4】の画面でコマンドボタン **標準画面表示** をクリックして標準画面表示に切り替え、セル **シート保護解除** の部分をダブルクリックするとシートの保護が解除されリンクの編集が可能となり、次の【図 5】の画面ようになります。

【図 5】



上の【図5】の画面の上側の「**データ**」の部分をクリックすると次の【図6】の画面のようになります。

【図6】



上の【図6】の画面の「**リンクの編集**」をクリックすると次の【図7】の画面のようになり、リンクに関する編集が可能となります。

まずファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いたら、【図7】の画面の

各ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

に対して、リンク元の部分でそれぞれファイルを選択し、次の【図7】の画面の「**リンク元を開く(O)**」をクリックしてリンク元を開いてください。

そして、データファイルを開いたらファイルを保存して閉じてください。この操作をデータファイルの個数の10回繰り返してください。そして最後に、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を保存して閉じてください。

すると次回以降ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いて、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

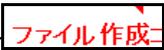
に備わっているマクロ機能を用いて、各データファイル

～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

を開いて編集場合、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に対しての各リンク元のファイルとして容易に各データファイルができます。リンク元を開き上の一連の操作が完了したら必ず上の[図5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート「ファイル作成コピー用11結合」を保護してください。

但し、リンク元の変更をする必要はほとんどありません。ファイルのマクロ機能を用いデータファイルを呼び出し、そのファイル名を変更すると、元のファイル名のリンク先が自動的にファイル名変更先のリンクに変更されます。例えば、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

をメインファイルのマクロ機能を用いて呼び出し、ファイル名を

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

とすると、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のリンク先が自動的に

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

に変更されます。

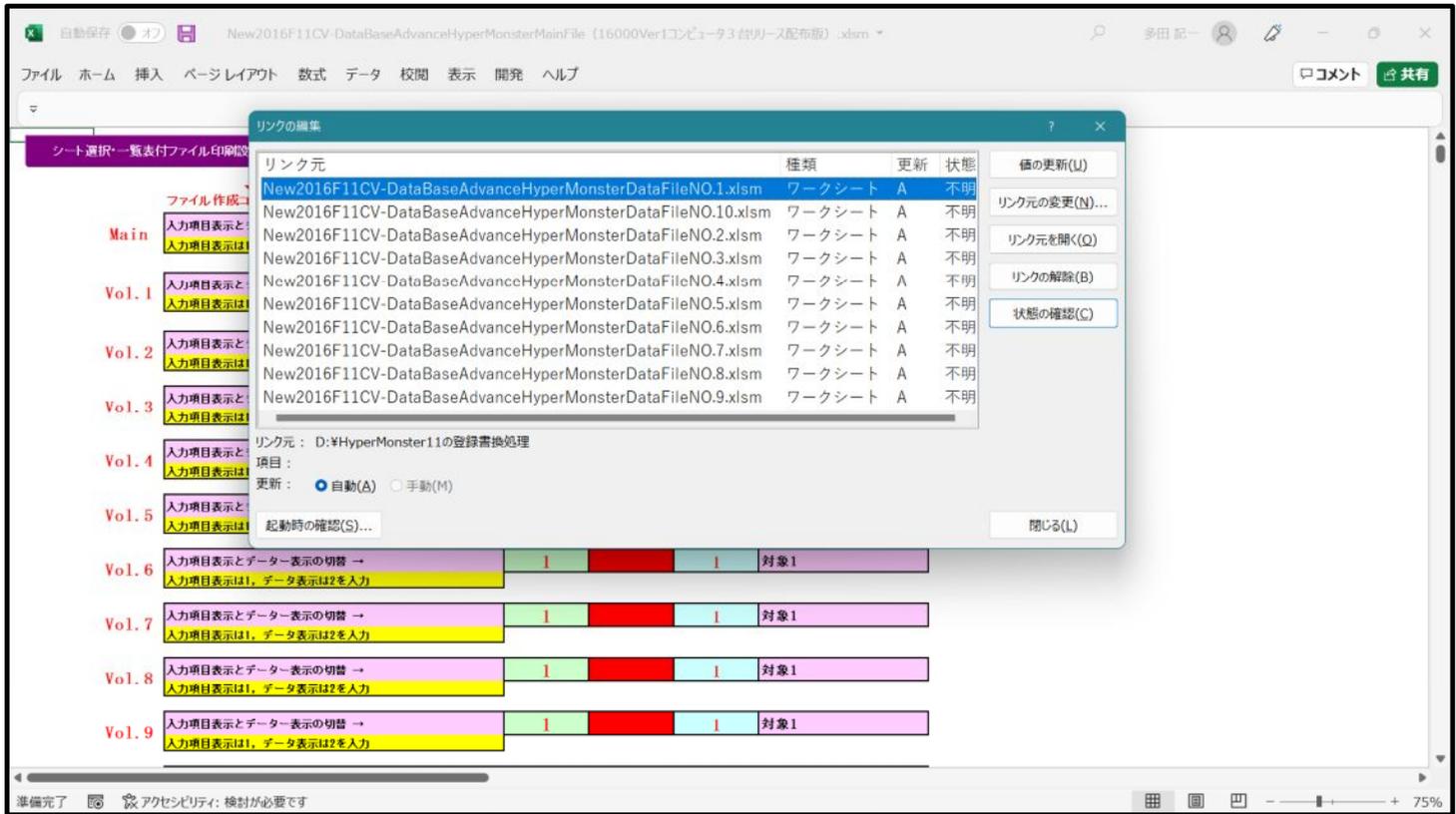
リンク元を変更する操作はどうしても必要な場合に限っておこなってください。なおその場合、リンク元の変更

処理が済んだら、必ず上の[図5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート

「ファイル作成コピー用11結合」を保護してください。

特にご注意くださいことは、シート「ファイル作成コピー用11結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。もともとシート「ファイル作成コピー用11結合」は、メインファイルに備わったマクロ機能を用い、「印刷フォーム」シートに複写し、「印刷フォーム」シート上で編集するものです。シート「ファイル作成コピー用11結合」を複写した「印刷フォーム」シート上では行列やセルの削除を編集のためにおこなうことはできます。ですが、シート「ファイル作成コピー用11結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。重ねてご注意申し上げます。

【図7】



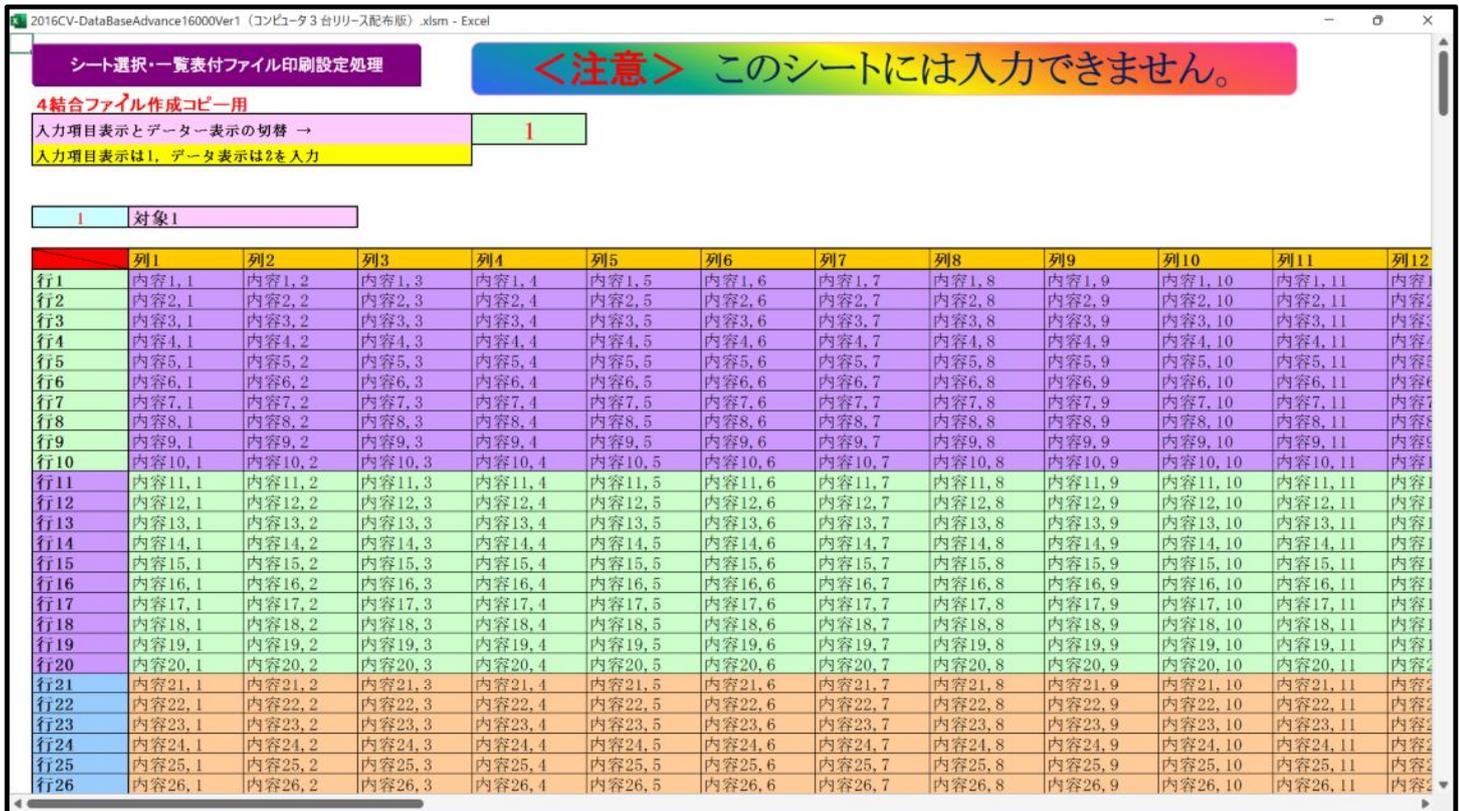
因みにファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を示すと次の【図8】の画面のようになります。

これと比較して、シート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」は見かけ上も機能の面でも大きく変更されています。

【図8】



(2) ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10xlsm の場合：

これらの 11 個のデータファイルは全て同じですので、
ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10lsm
のうち、代表してファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を用いて説明させていただきます。

ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を開いてユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録を選択すると次の[図9]の画面ようになります。

[図9]



上の[図9]の画面のcommandボタン

Fileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図10]の画面のようになりシート「Fileの登録」が選択できます。

このシートは、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

およびファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のデータファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。

[図 1 0]

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	■
1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	■

3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm と異なるユーザーフォームの部分

- (1) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合:

ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ DataFile開閉等 を選択すると次の[図 1 1]の画面ようになります。

[図11]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ **DataFile開閉等** を選択した上の[図11]の画面の部分がファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

と異なるユーザーフォームの部分です。タブ **DataFile開閉等** の右側の全てのタブは、ファイル 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブ **DataFile開閉等** で表示されているコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

については既に説明済みですので、これ以外のタブ **DataFile開閉等** のユーザーフォームのコマンドボタンの機能等について説明してまいります。

上のコマンドボタン

選択DataFileOpen処理呼出

をクリックすると次の[図12]の画面になります。

[図 1 2]



上のユーザーフォーム[図 1 2]の画面はデータファイルを読み出すためのもので、タブが

Page1 | Page2 | Page3 | Page4 | Page5 | Page6 | Page7 の 7 個あり、そのうちのファイル

**New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm**

のファイルを読み出すことができるタブ **Page1** が選択されている状態です。

- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

の部分で呼び出したいファイルにチェックを入れて、例えば、

- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

選択DataFileオープン処理

としてコマンドボタン **選択DataFileオープン処理** をクリックすると、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の呼び出しが開始されます。呼び出しが開始されると、次の立ち上がり画面である[図 1 3]の画面が表示されます。

[図 1 3]



使用開始

上の[図 1 3]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 1 4]の画面が表示された後その次の[図 1 5]の画面のが表示されます。

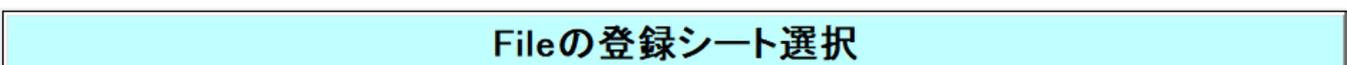
【図 1 4】



【図 1 5】



そして上の【図 1 5】の画面のコマンドボタン



をクリックすると引き続き次の【図 1 6】の画面が表示されます。

[図 1 6]



そしたら[図 1 6]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ**をクリックすると次の[図 1 7]の画面になり、ファイル **New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** の呼び出しが完了と「なります。

[図 1 7]



なお、このユーザーフォームでは、11個のデータファイルにチェックを入れて11個のデータファイルを同時に呼び出すことのような形も可能なようにも思いますが、それは今のPCのスペックでは厳しいかもしれません。速度2.8GB、最高速度4.7GBのCPU搭載で32GBのメモリー搭載のPCで呼び出し処理のテストをしましたが、入力シートのレコードがデフォルトの50でデータを何も入力していない全く初期状態でデータファイルを読み出す場合、11同時に呼び出すにはかなりの時間を要しました。入力シートの入力可能行数を増やし、実際にデータを入力したらファイルを読み出す時間はもっとも増加し、呼び出すファイルの個数は制限されると思います。

次に[図11]の画面のcommandボタン

選択DataFileClose処理呼出

をクリックすると次の[図18]の画面になります。

[図18]

上の[図18]の画面のユーザーフォームは、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

に備わったデータファイルを読み出すマクロによって開かれているデータファイルを閉じる処理をおこなうマクロです。この画面ではデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

が開かれた状態です。

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を閉じるには、[図18]の画面のcommandボタン

DataFileNO.1を閉じる

をクリック

するとファイルを保存して閉じることができます。なお、ファイルを保存しないで閉じるには、先ず、[図11]の

画面のcommandボタン

データファイルへ移動呼出

をクリックし、次の[図19]のユーザーフォーム

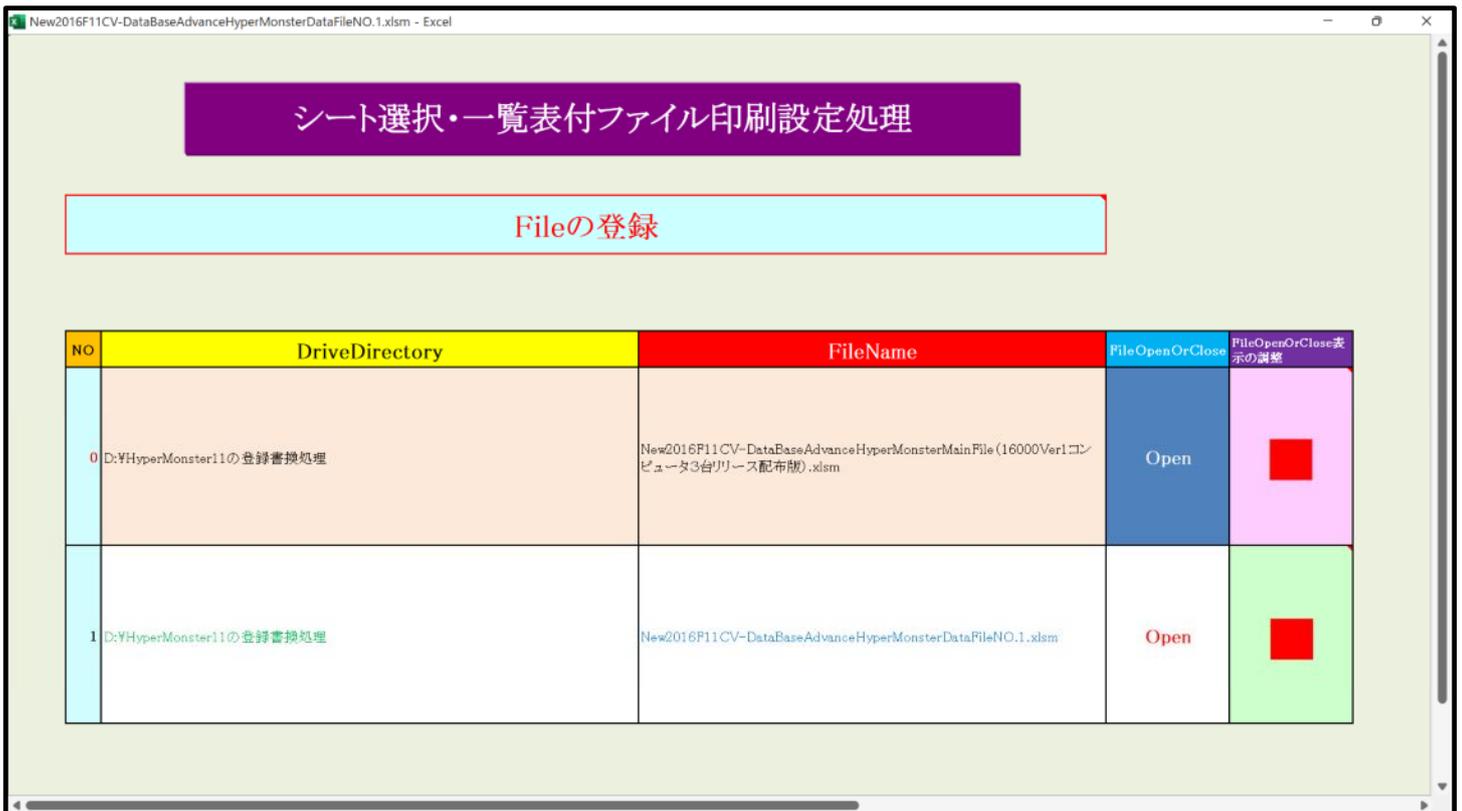
の画面を表示させます。

[図 1 9]



そして、上の[図 1 9]の画面のcommandボタン **DataFileNO.1へ移動** をクリックして、次の[図 2 0]の画面のようにファイル **New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** のシート「Fileの登録」を表示させます。

[図 2 0]



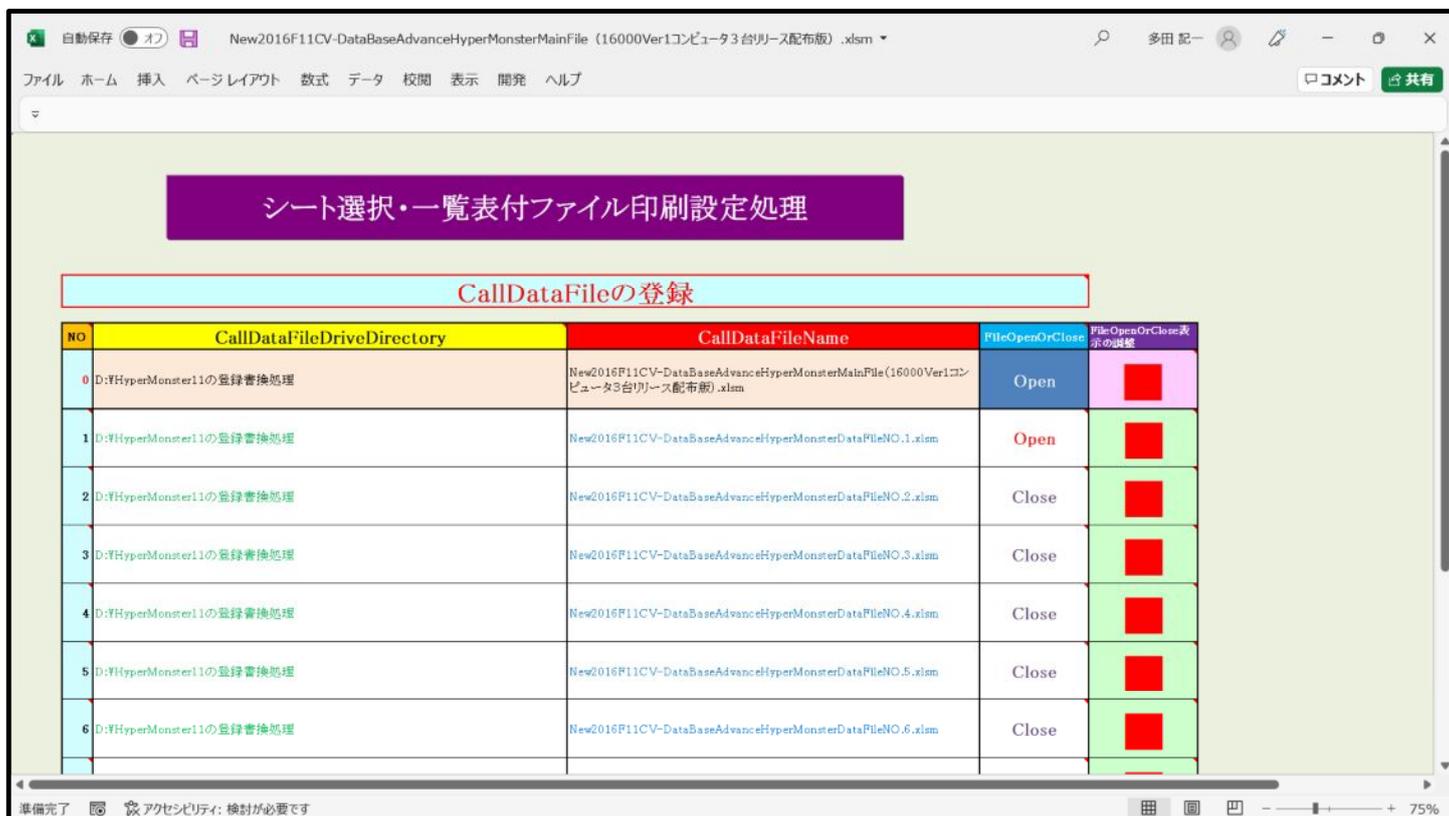
そしたら、[図 2 0]の画面の右上の  の部分をクリックすると、メッセージ



が表示されますので  をクリックしてファイルを閉じてください。更にファイル

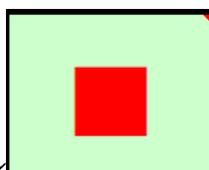
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシート「CallDataFile の登録」を表示させて次の[図 2 1]の画面のようにします。

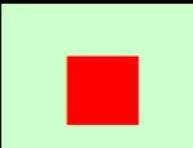
[図 2 1]



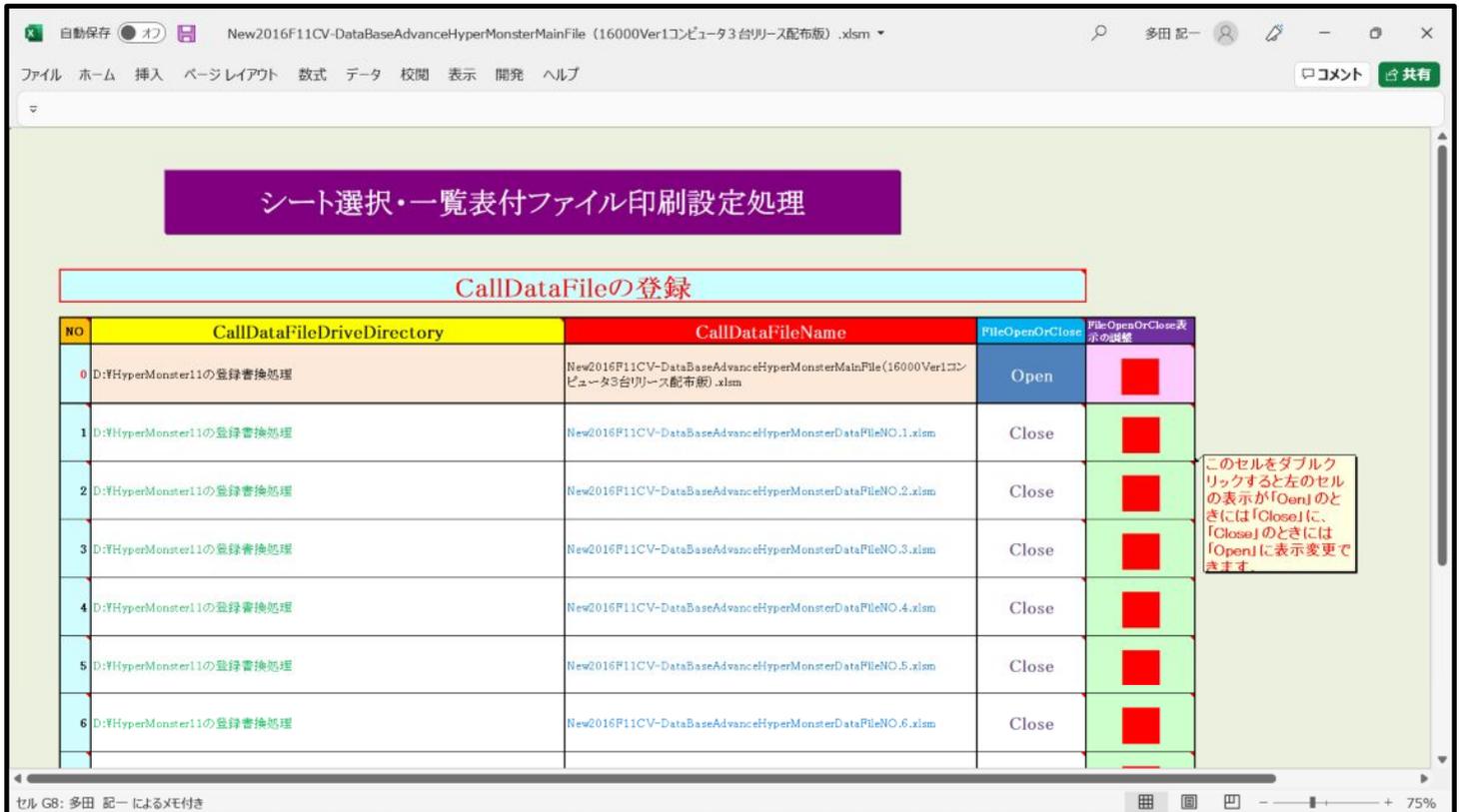
そして、上の[図 2 1]の画面の

1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	
---	--------------------------	---	------	---



の部分の最も右側のセル  をダブルクリックして、シート「CallDataFile の登録」の状況を上の[図 2 1]の画面の状況から次の[図 2 2]の画面の状況に必ず変更してください。

[図 2 2]



次に[図 1 1]の画面のcommandボタン

全DataFileを保存して閉じる

をクリックすると、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、開いているデータファイルを全て保存して閉じることができます。

次に[図 1 1]の画面のcommandボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、それらの全てのデータファイルのシート「Fileの登録」とファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

のシート「CallDataFileの登録」に現在のファイル名を登録することができ、今後改めてファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

を立ち上げた場合、登録したファイル呼び出して開くことができます。

次に[図 1 1]の画面のcommandボタン

一括データファイルの全シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 2 3]の画面になります。

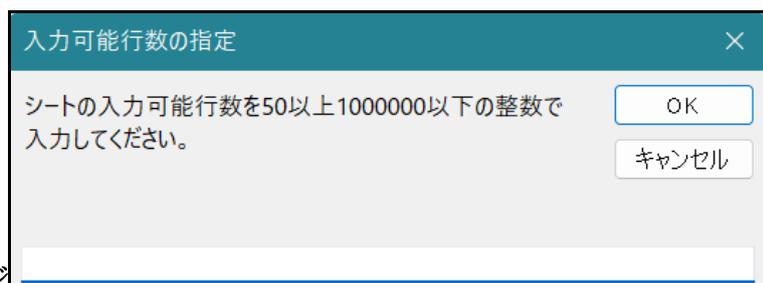
この場合、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
 に備わったマクロ機能によって2つのデータファイル
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 と
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
 が呼び出されファイルが開かれています。

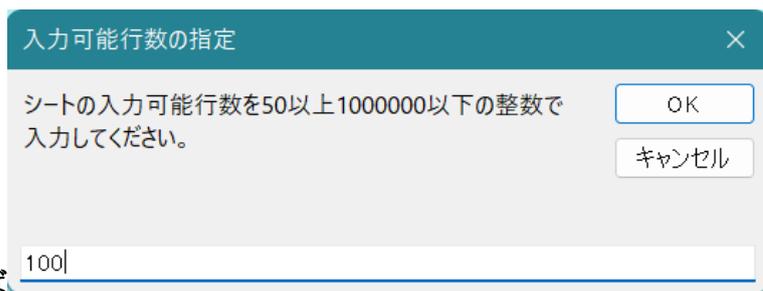
[図 2 3]



上の[図 2 3]の画面のの**DataFileNO.1の行追加削除処理**をクリックするとメ



ッセージが表示されますが入力シートの行数を下側に



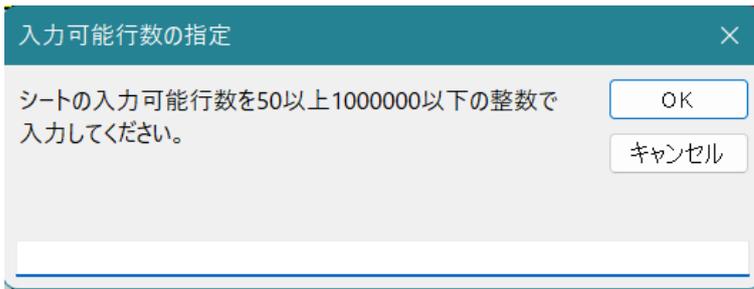
入力し例えば **100** と入力してボタン **OK** をクリックすると **DataFileNO.1** の 80 枚の全ての入力シートの入力可能行数が **100** に設定されます。

コマンドボタン **DataFileNO.2の行追加削除処理** をクリックして、同様に **DataFileNO.2** の 80 枚の全ての入力シートの入力行数を設定できます。

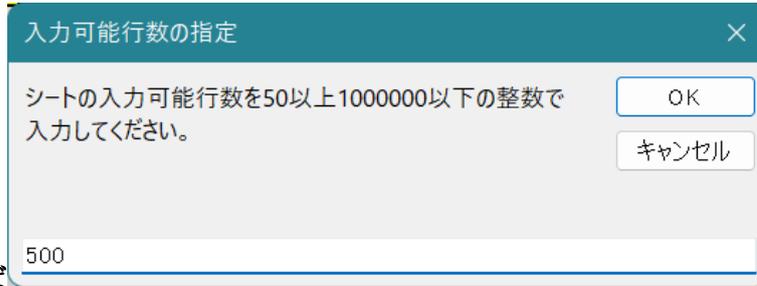
全DataFile一括行追加削除処理

また、コマンドボタン

をクリックするとメッセージ



が表示されますが、下側に入力シートの入力行数を入



力して例えば

と入力してボタン

OK

をクリック

すると DataFileNO.1 と DataFileNO.2 のそれぞれのデータファイルの 80 枚全ての入力シートの入力可能行数が 500 行に設定されます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

選択DataFile一括行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 2 4]の画面になります。

[図 2 4]



今の状況で 3 個のデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

がファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能によって開かれています。

- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
-
-
-
-
-
-
-
-
-

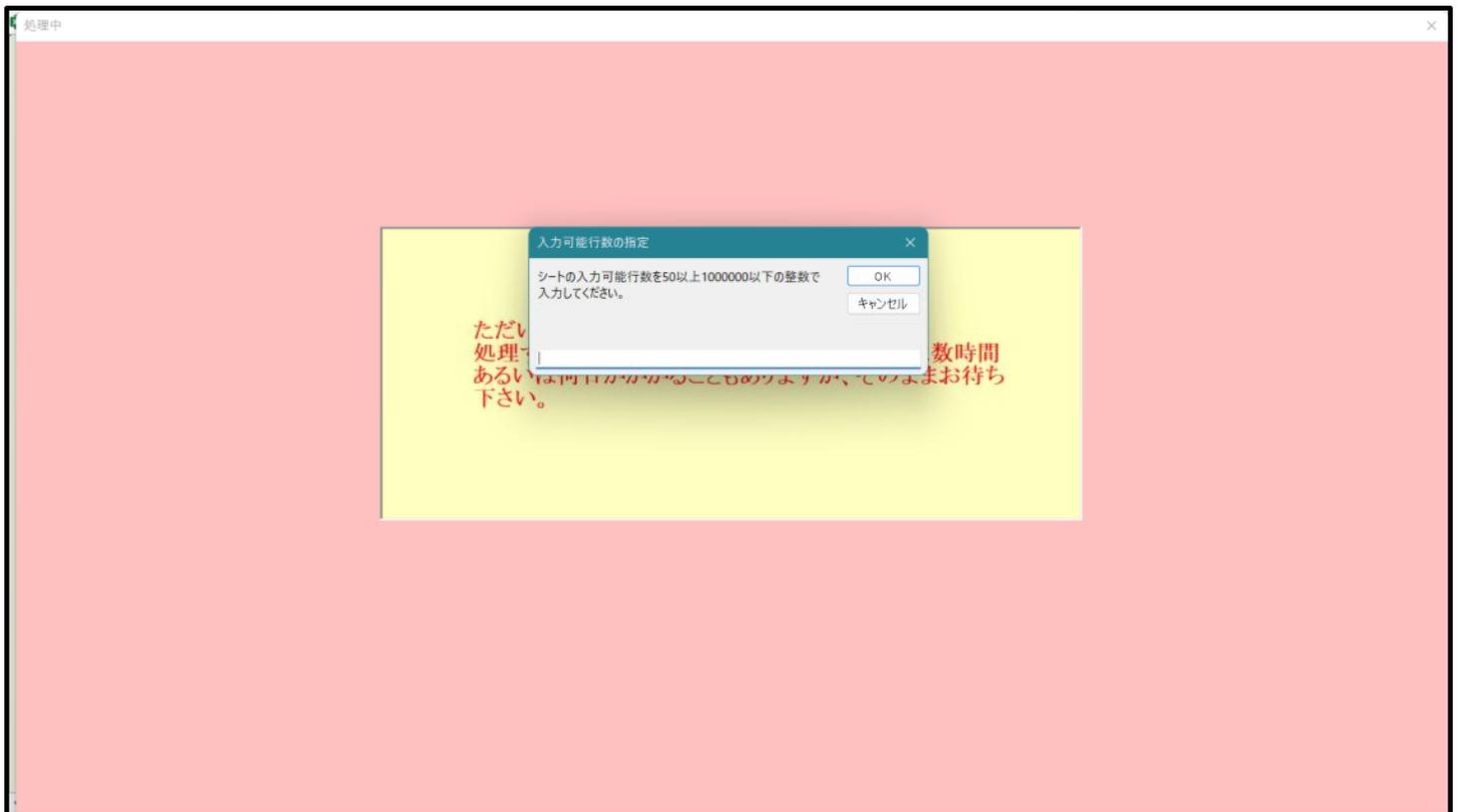
で入力シートの入力可能行数を設定をおこないたいファイルにチェックを入れて、

- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
-
-
-
-
-
-
-
-
-

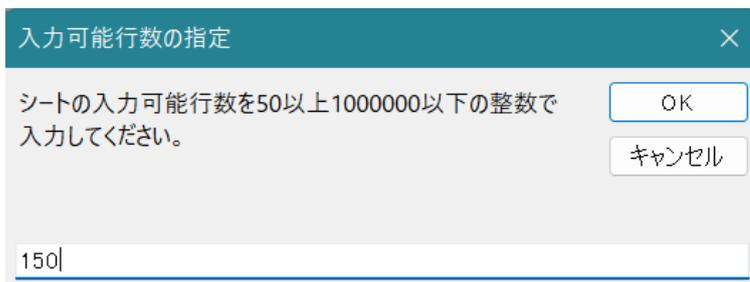
選択DataFile行追加削除処理開始

として上の次の[図 2 4]の画面のコマンドボタン  をクリックすると次の[図 2 5]の画面のようにメッセージが表示されます。

[図 2 5]



上の[図 2 5]の画面のでメッセージの入力欄に



と入力し、ボタン をクリックするとファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

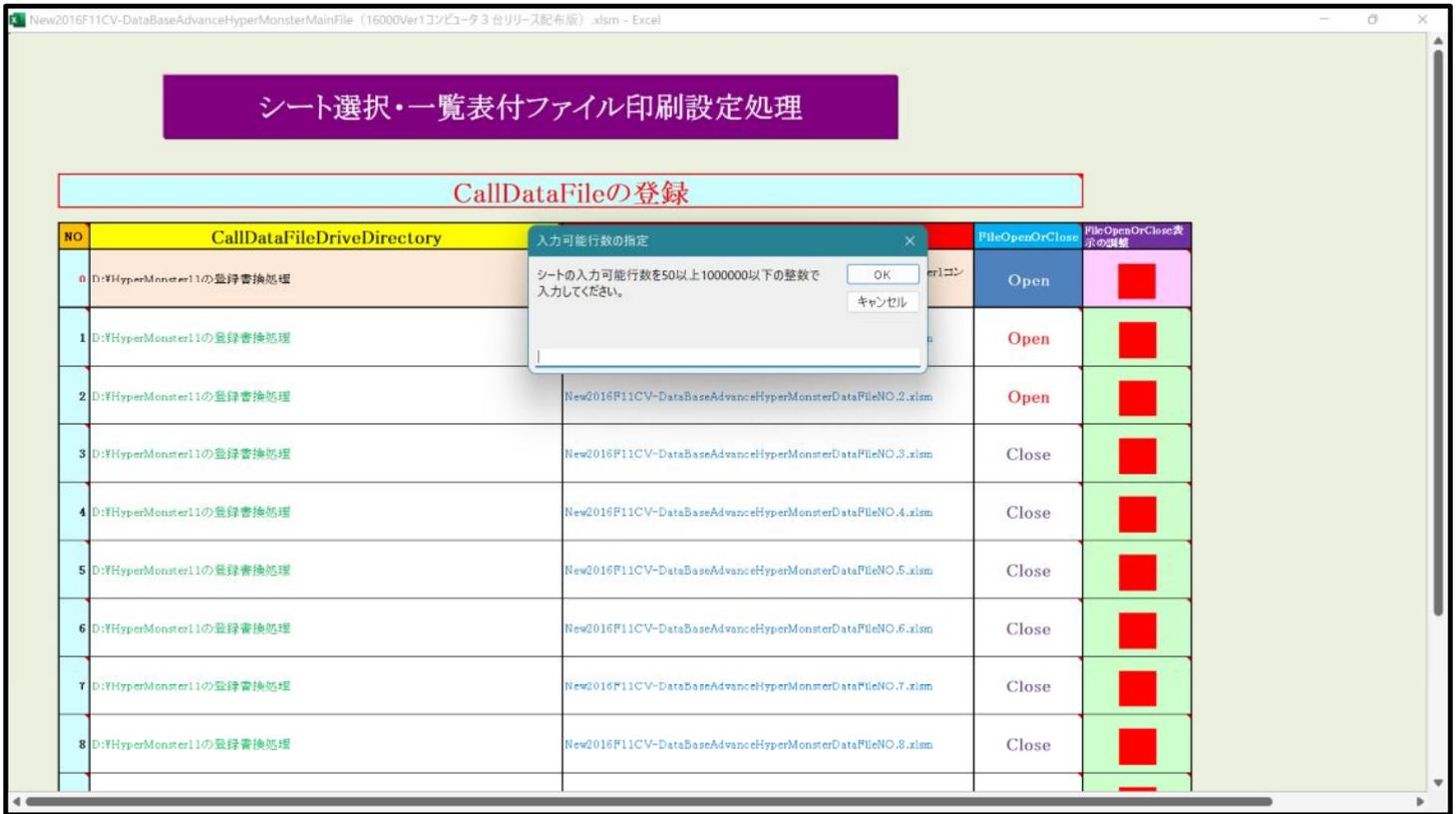
の 80 枚の全ての入力シートの入力可能行数を 150 行に設定できます。

次に[図 1 1]の画面の Command ボタン

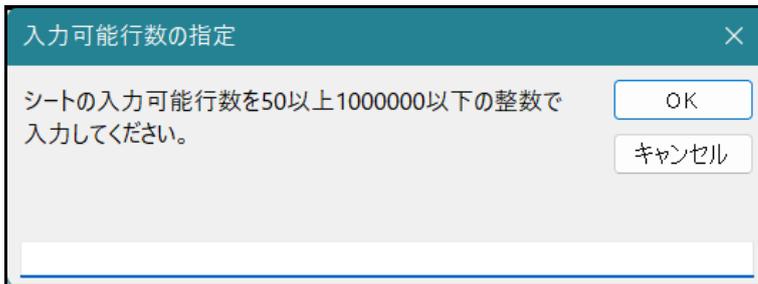
全DataFile一括行追加削除処理

をクリックすると、次の[図 2 6]の画面のようにメッセージが表示されます。

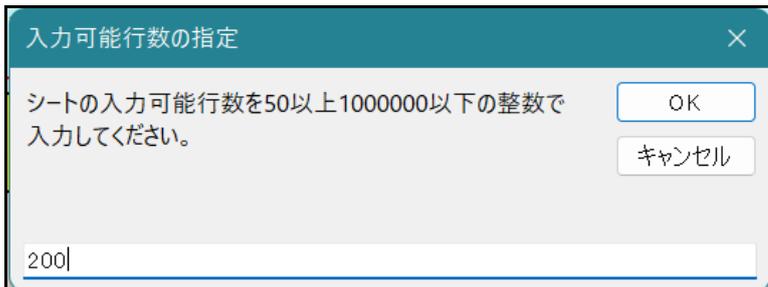
【図 2 6】



メッセージ



の下側の入力欄に



と入力してボタン をクリックすると

開かれている全てのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定できます。

今データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

が開かれているので、この 2 つのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定されます。

次に【図 1 1】の画面の Command ボタン



について説明します。

メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のファイル名を変更し、

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

とし、様々な編集をおこなったとします。

コマンドボタン

MainFile初期化处理

をクリックすると下の[図 2 7]の画面が表示され、ファイル名

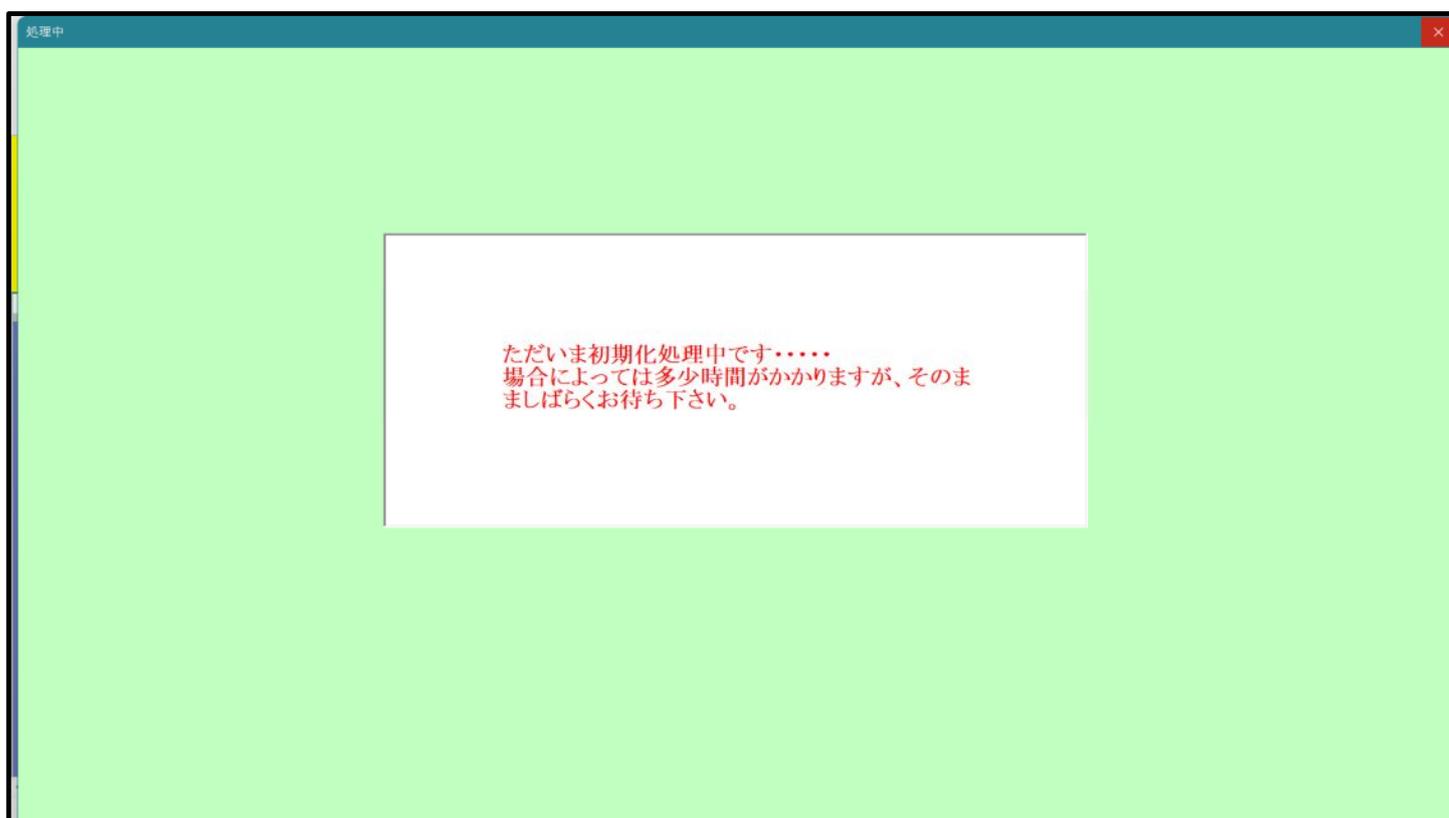
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻す処理が実行されます。処理が完了すると、その下の[図 2 8]の画面が表示されます。

[図 2 7]



[図 2 8]



なお、この処理が完了したら、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックして、必ずメインファイルと関連するデータファイルへ、ファイル名の登録をおこなってください。

ファイル名

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xslsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻ります。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

DataFile一括初期化処理呼出

について説明します。

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xslsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xslsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

に備わっているマクロ機能によって2つのデータファイルが開かれているとします。

この状況でコマンドボタン

DataFile一括初期化処理呼出

をクリックすると次の[図 2 9]の画面が表示されます。

[図 2 9]



上の[図 2 9]の画面の Command ボタン **DataFileNO.1の初期化処理** をクリックすると、

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

の初期化がおこなわれ、ファイル名が

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

また、上の[図 2 9]の画面の Command ボタン **DataFileNO.2の初期化処理** をクリックすると、

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化がおこなわれ、ファイル名が

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

更にデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能によって 2 つのデータファイルが開かれているとします。

この状況で上の[図 2 9]の Command ボタン **全DataFile一括初期化処理** をクリックすると、

2 つのデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化がおこなわれ、ファイル名がそれぞれ

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

選択DataFile一括初期化処理呼出

について説明します。

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3 テスト用.xlsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能によって 3 つのデータファイルが開かれているとします。

上の[図 1 1]の画面のコマンドボタン

選択DataFile一括初期化処理呼出

をクリックすると次の[図 3 0]の画面になります。

[図 3 0]



- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2テスト用.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3テスト用.xlsm
-
-
-
-
-
-
-
-

の部分で初期化をしたいデータファイルにチェックをいれますが、例えば

- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2テスト用.xlsm
- New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3テスト用.xlsm
-
-
-
-
-
-
-
-

選択DataFile初期化処理開始

とチェックをいれて、上の[図 3 0]の画面の Command ボタン をクリックすると、2つのデータファイル

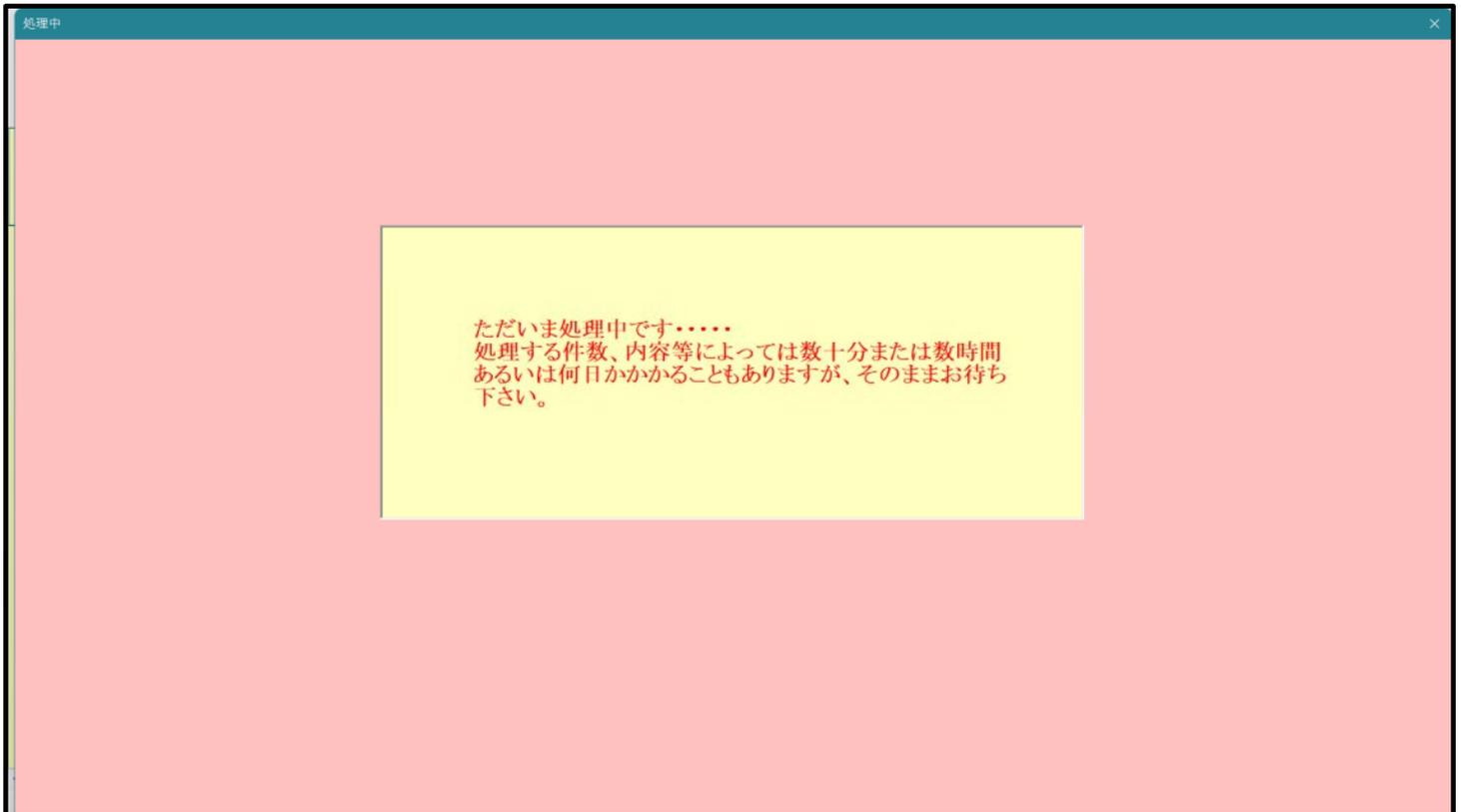
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3 テスト用.xlsm

の初期化が実行されます。

次の[図 3 1]の画面が表示された後、その次の[図 3 2]の画面が表示されたらデータファイルの初期化が完了となります。

【図 3 1】



【図 3 2】



この初期化によって、2つのデータファイル
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3 テスト用.xlsm
 のファイル名が、それぞれ
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

に変更されるとともに、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化処理されます。

最後に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

MainFileとDataFileの一括初期化処理

について説明します。

このコマンドボタンをクリックすると、メインファイルとファイルに備わったマクロ機能で呼び出されている全てのデータファイルの初期化がおこなわれます。

例えば、メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のファイル名を変更して

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

として様々な編集をおこない、また、この変更したメインファイルに備わっているマクロ機能を用いて2つのデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

を呼び出して、この2つデータファイルでも様々な編集をおこなっていたとします。

このような状況のもとで、コマンドボタン

MainFileとDataFileの一括初期化処理

をクリックするとメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

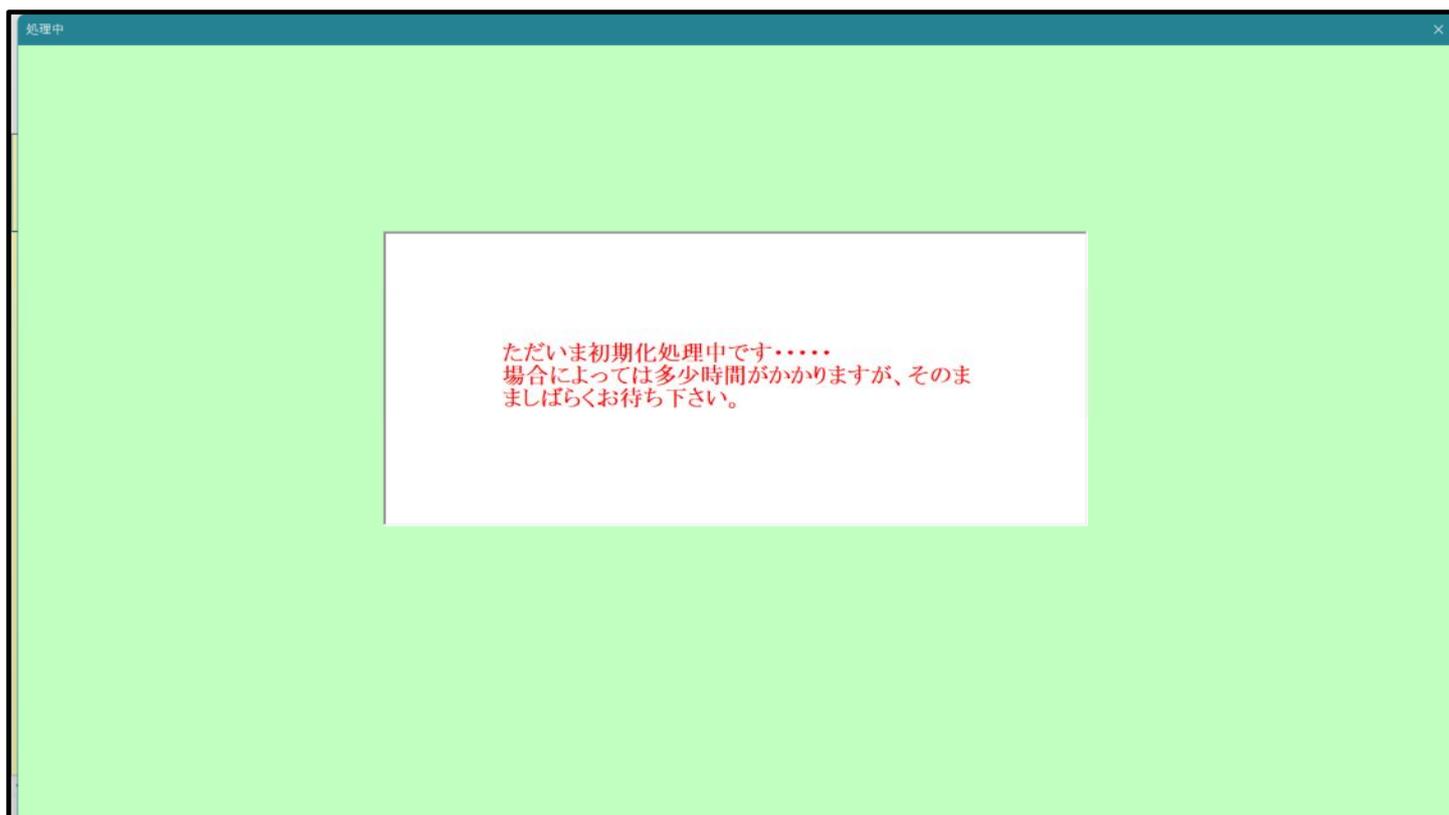
および2つのデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

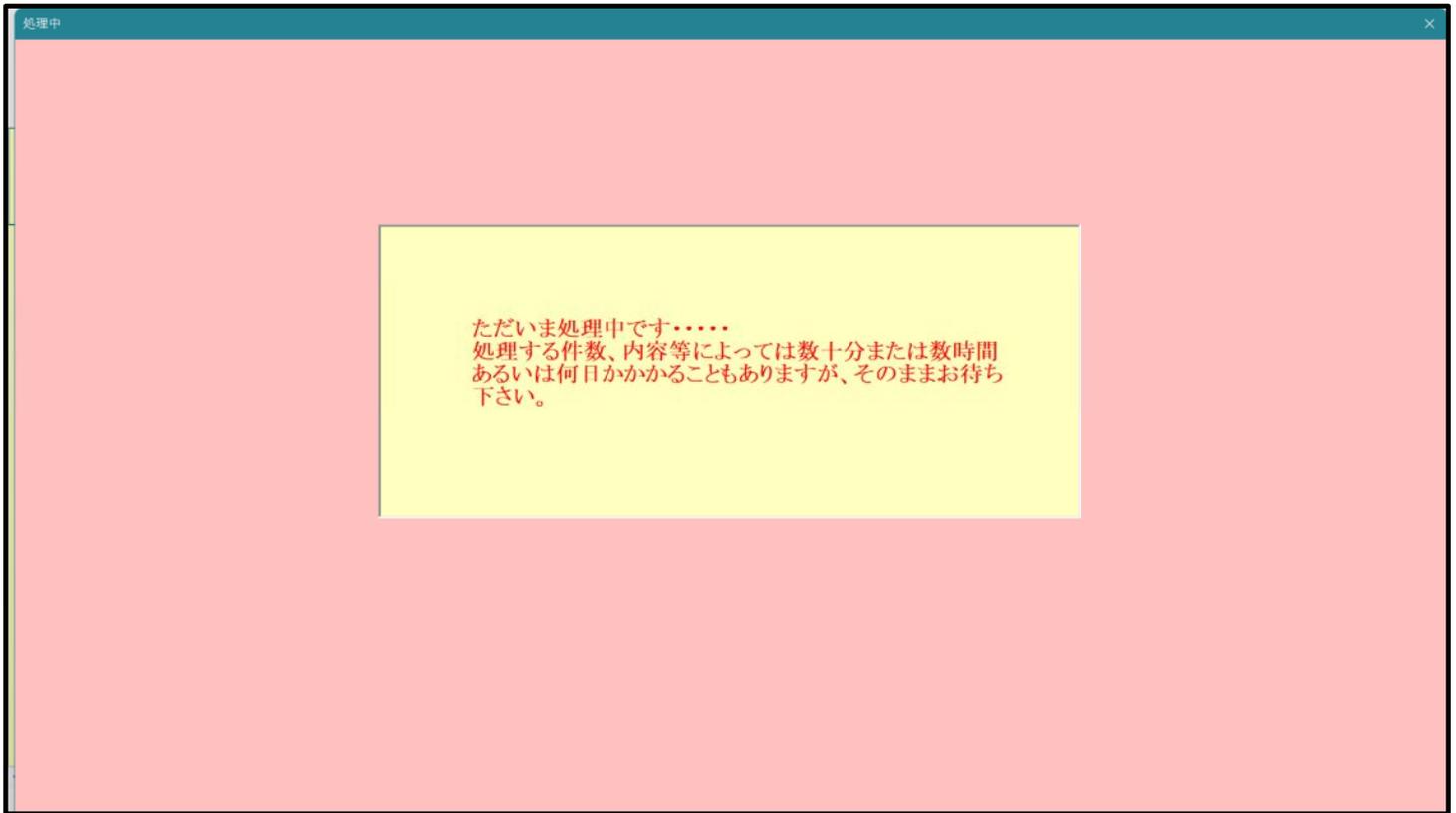
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化が開始されます。開始されると、次の[図 3 3]の画面が表示された後、[図 3 4]の画面が表示され、更にその次の[図 3 5]の画面が表示されたら初期化が完了となります。

[図 3 3]



【図 3 4】



【図 3 5】



この初期化によって、メインファイル
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
 テスト用.xlsm
 のファイル名は
 New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
 に

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

に

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

にそれぞれ変更されるとともに、これらのファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化处理されます。

(2) ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm の場合：

ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

のどのデータファイルについても同じなので、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を用いて説明いたします。

ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

はもともと原則的にはメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能を用いて開くべきファイルです。メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能を用いてファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

を選択すると次の[図 3 6]の画面ようになります。

[図 3 6]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録を選択した上の[図 3 6]の画面の部分がファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
と異なるユーザーフォームの部分です。

タブ **Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録** の右側の全てのタブは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブ **Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録** で表示されているコマンドボタン

Fileの登録シート選択

については既に説明済みですので、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

について説明いたします。

このコマンドボタンは、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

またはこのファイル名を変更した場合、そのファイル名をメインファイルおよびそのデータファイルに登録して、今後改めて、メインファイルを通してそのデータファイルを呼び出しておこなうことができるようにするためのものです。

例えば、メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能を用いてファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

呼び出し、データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のファイル名を

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

と変更した場合、ファイルを一旦閉じて再びメインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わったマクロ機能を用いてファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

を呼び出して開くにはメインファイルとデータファイルに登録が必要で、そのための登録用のマクロボタンです。
メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「CallDataFile の登録」

と

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「File の登録」の状況がそれぞれ次の[図 3 7]、[図 3 8]の画面のようになっていたとします。

[図 3 7]

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following table:

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	FileOpenOrClose	File-OpenOrClose表示の図鑑
0	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	■
1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	■
2	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm	Close	■
3	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm	Close	■
4	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm	Close	■
5	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm	Close	■
6	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm	Close	■

[図 3 8]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

Fileの登録

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm	Open	<input type="checkbox"/>

そして今度は、データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm

のファイル名を

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xslm

に変更してコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、メインファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xslm

のシート「CallDataFile の登録」

と

データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xslm

のシート「File の登録」の状況はそれぞれ次の[図 3 9]、[図 4 0]の画面のようになります。

[図 3 9]

自動保存 オフ New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版) .xslm

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

CallDataFileの登録

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xslm	Open	<input type="checkbox"/>
2	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslm	Close	<input type="checkbox"/>
3	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xslm	Close	<input type="checkbox"/>
4	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xslm	Close	<input type="checkbox"/>
5	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xslm	Close	<input type="checkbox"/>
6	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xslm	Close	<input type="checkbox"/>

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 75%

[図 4 0]

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xslm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

Fileの登録

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm	Open	<input type="checkbox"/>
1	D:\HyperMonster11の登録書換処理	New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xslm	Open	<input type="checkbox"/>

4. ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を用いて、最大 1,000,000 レコード 176,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法:

ここでは、単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「一学期中間考査個票」と

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「修正前期募集校長宛可否通知書」を作成して説明してまいります。

(1) データファイルのデータの入力等について:

「一学期中間考査個票」を作成するためにデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

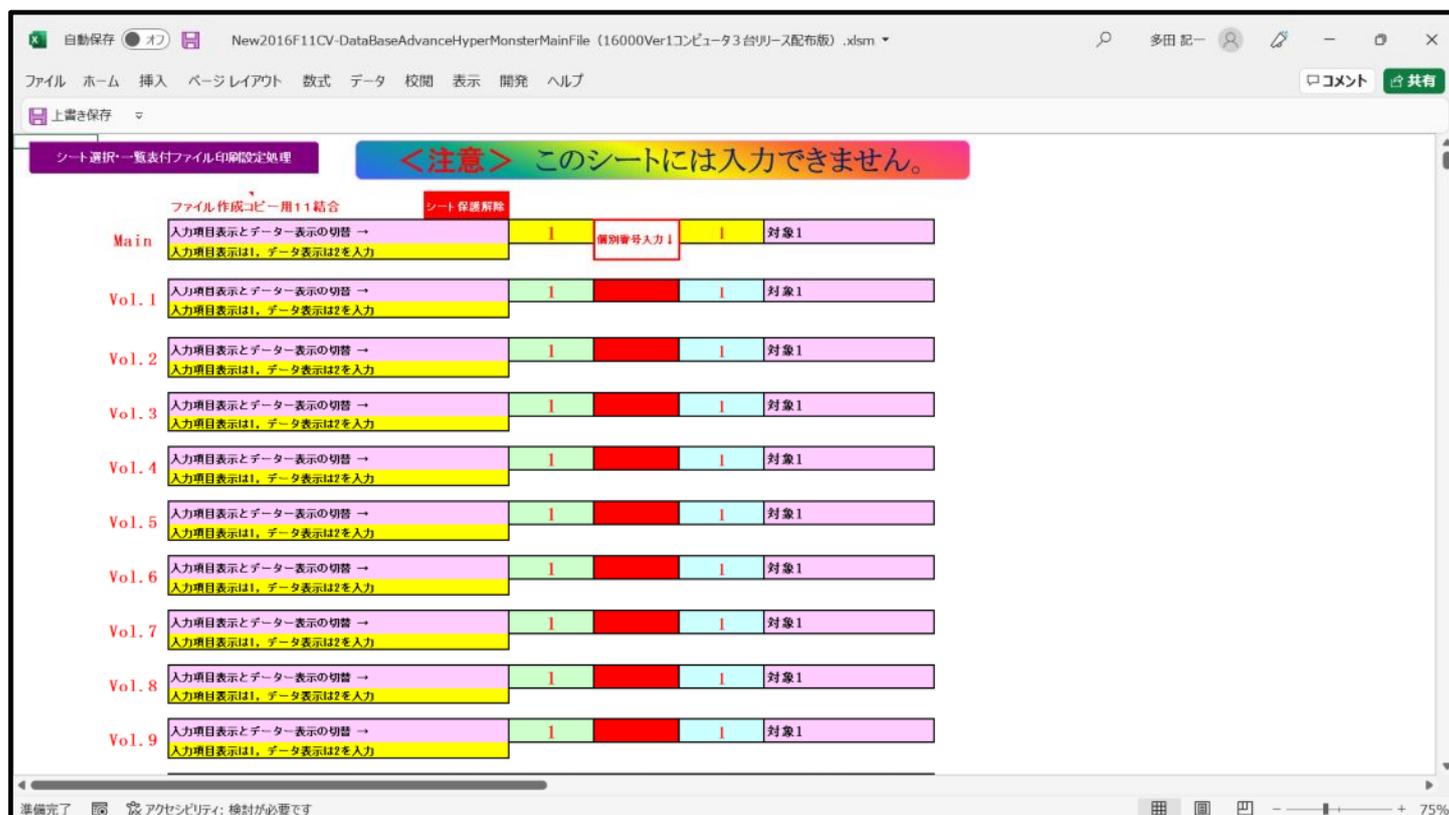
のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を選択します。そして Esc を押すと標準画面となり、次の[図 4 1]の画面のようになります。

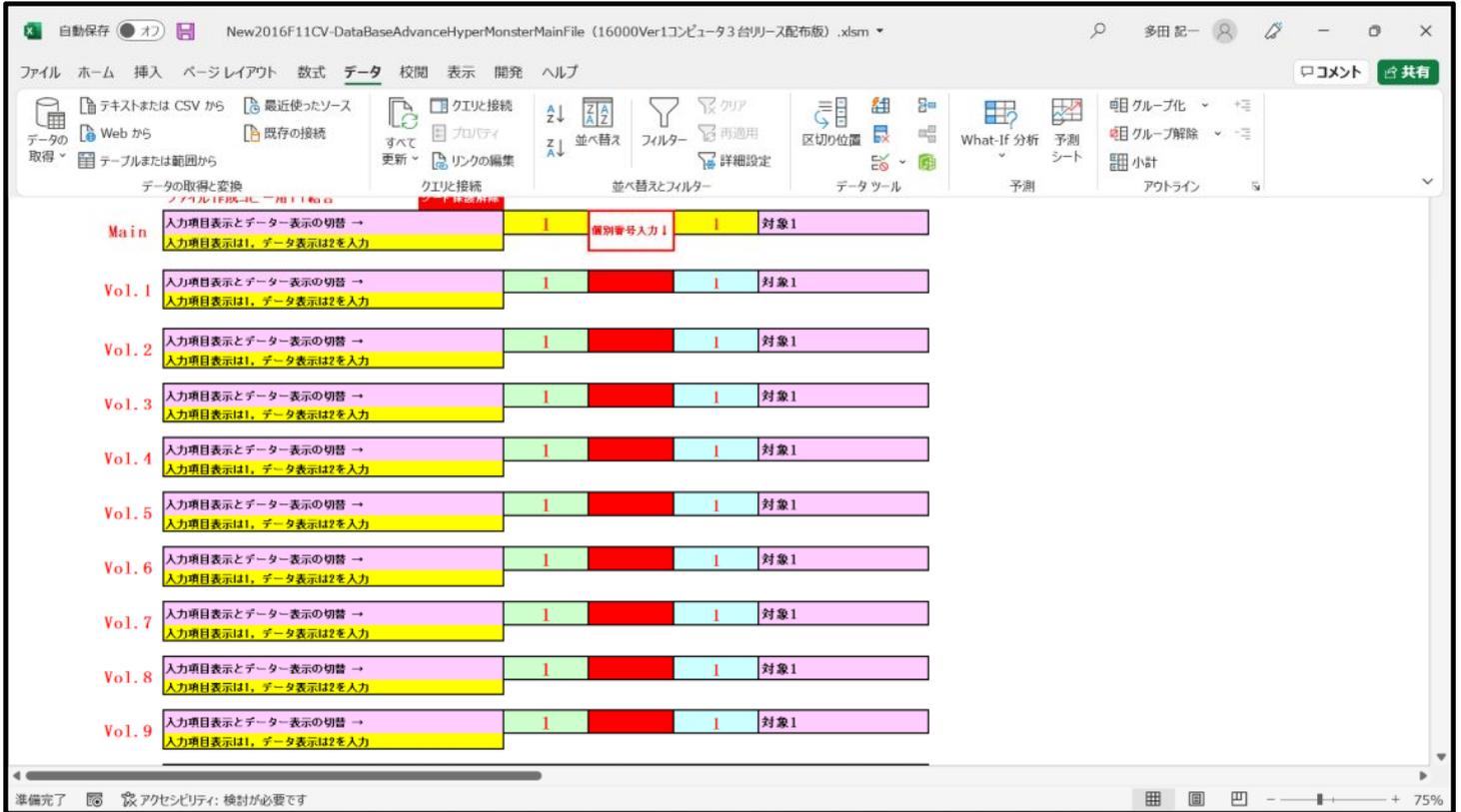
[図 4 1]



そして更に、上の[図 4 1]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

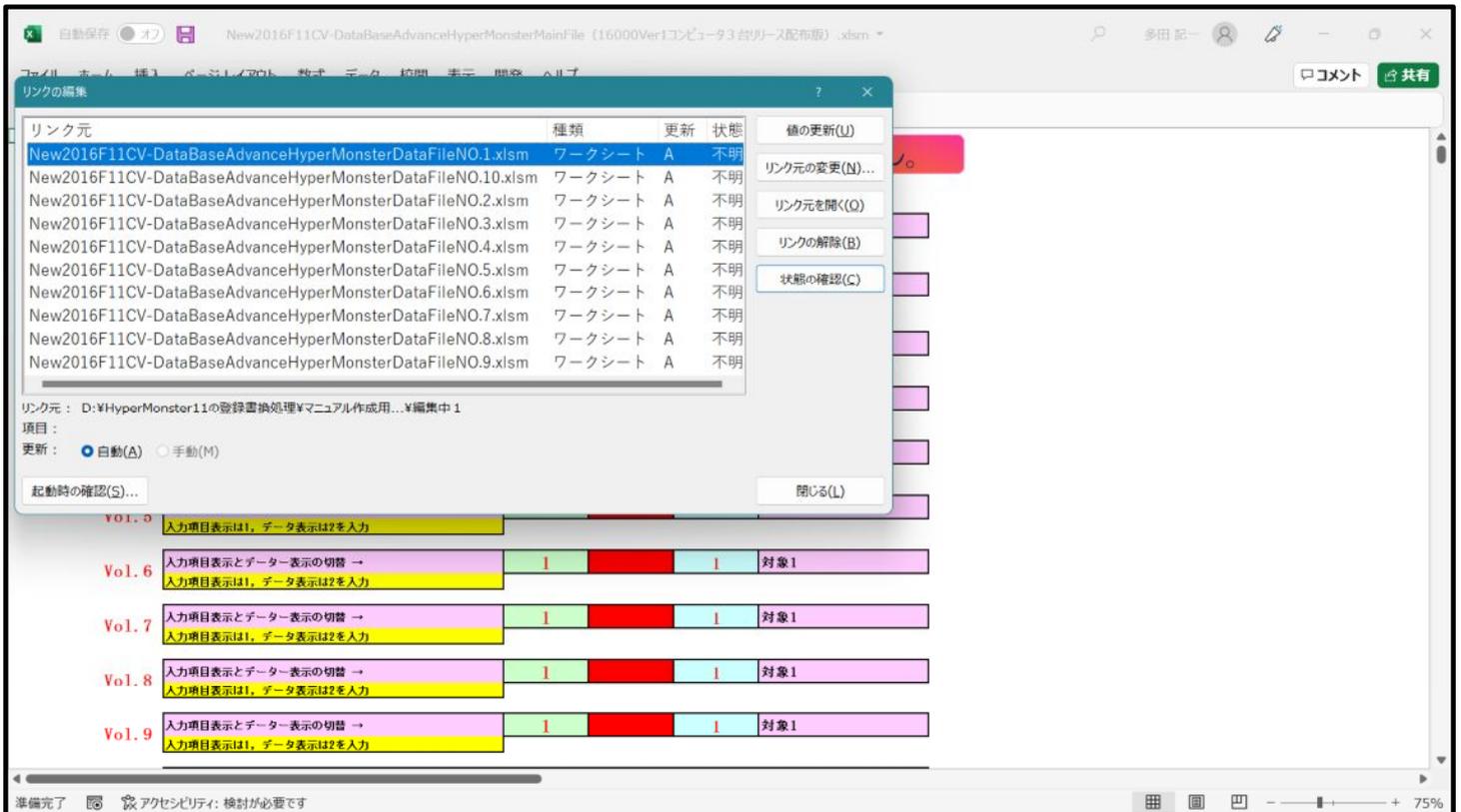
を解除し、**データ** を選択すると、次の[図 4 2]の画面のようになります。

[図 4 2]



更に上の[図 4 2]の画面の  の部分を選択すると次の[図 4 3]の画面のようになります

[図 4 3]



上の[図 4 3]の画面のボタン **リンク元を開く(O)** をクリックするとリンク元のファイル **New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** 開かれてまいります、最初に次の[図 4 4]の画面が表示されます。

[図 4 4]

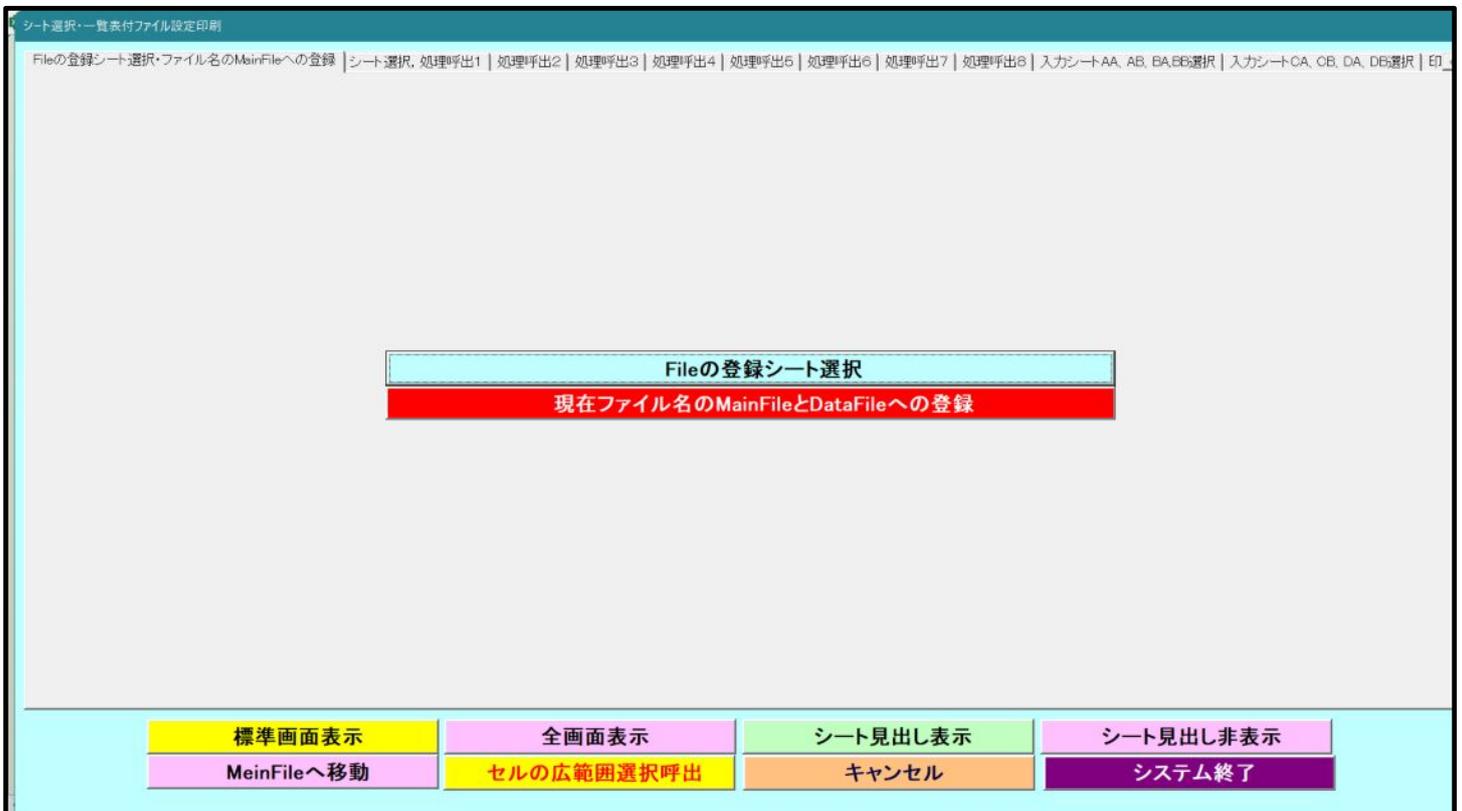


上の[図 4 4]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 4 5]の画面が表示された後、その次の[図 4 6]の画面が表示されます。

【図 4 5】



【図 4 6】



上の【図 4 6】の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の【図 4 7】の画面になります。

[図 4 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 シート選択、処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出6 入力シートAA、AB、BA、BB選択 入力シートCA、CB、DA、DB選択 印			
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の[図 4 7]の画面の**シート名設定**をクリックすると次の[図 4 8]の画面になります。但し[図 4 8]の画面は表示倍率が 50%のものです。

[図 4 8]

自動保存 [ファイル] New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsx 検索 (Alt+Q) 多田記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定印刷

シート名設定

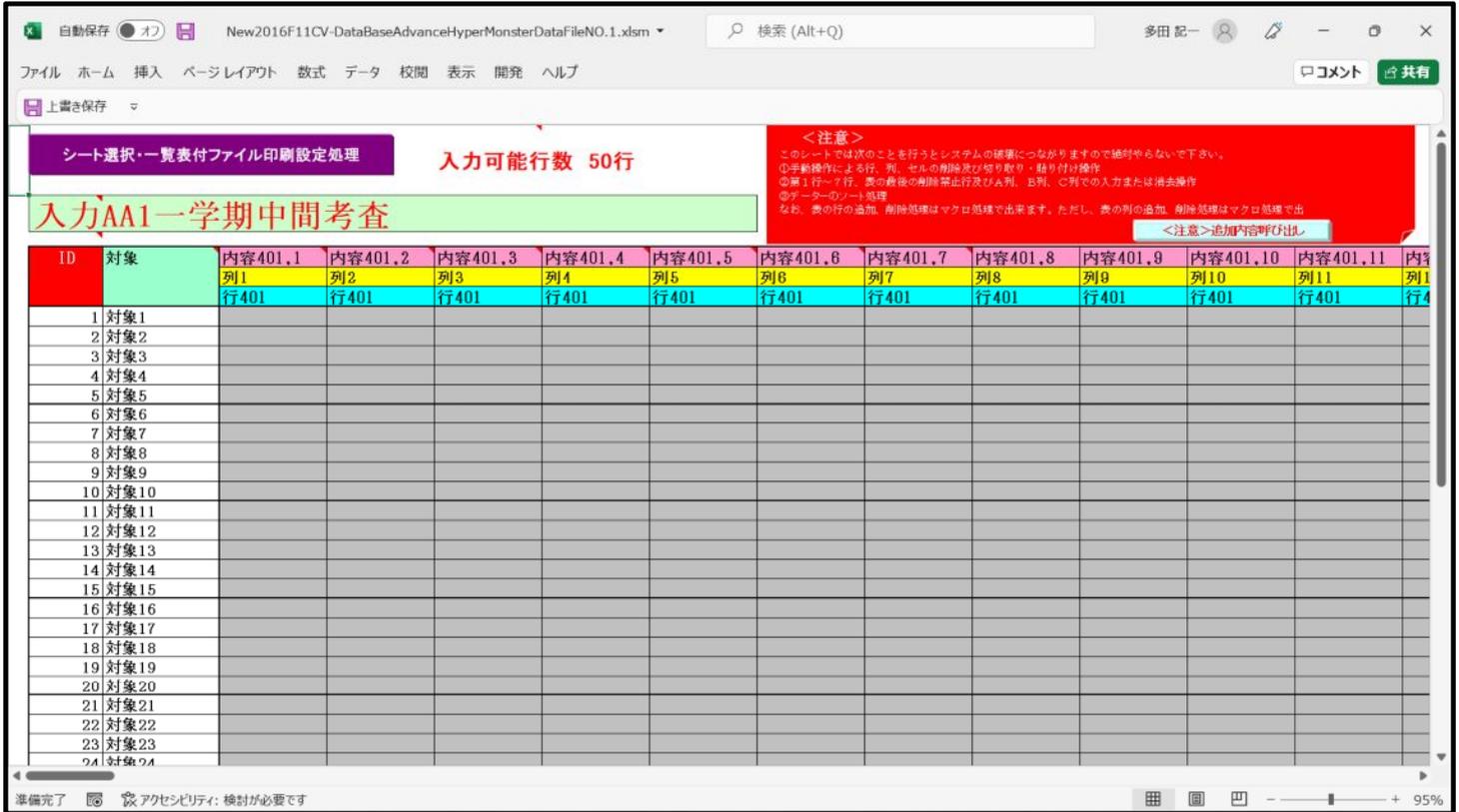
※注意 変更するワークブックの名前を入力した後は、追加したシートを選択して一覧表付ファイル印刷設定をリセットし、再度変更したシート名を入力してください。また、同じ名前のシート名を入力した場合は、そのシート名が重複する可能性があります。また、同じ名前のシート名を入力した場合は、そのシート名が重複する可能性があります。また、同じ名前のシート名を入力した場合は、そのシート名が重複する可能性があります。

| NO | シート名・インターフェース表示名 |
|----|------------------|----|------------------|----|------------------|----|------------------|----|------------------|
| 1 | 標準画面表示 |
| 2 | 標準画面表示 |
| 3 | 標準画面表示 |
| 4 | 標準画面表示 |
| 5 | 標準画面表示 |
| 6 | 標準画面表示 |
| 7 | 標準画面表示 |
| 8 | 標準画面表示 |
| 9 | 標準画面表示 |
| 10 | 標準画面表示 |
| 11 | 標準画面表示 |
| 12 | 標準画面表示 |
| 13 | 標準画面表示 |
| 14 | 標準画面表示 |
| 15 | 標準画面表示 |
| 16 | 標準画面表示 |
| 17 | 標準画面表示 |
| 18 | 標準画面表示 |
| 19 | 標準画面表示 |
| 20 | 標準画面表示 |
| 21 | 標準画面表示 |
| 22 | 標準画面表示 |
| 23 | 標準画面表示 |
| 24 | 標準画面表示 |
| 25 | 標準画面表示 |
| 26 | 標準画面表示 |
| 27 | 標準画面表示 |
| 28 | 標準画面表示 |
| 29 | 標準画面表示 |
| 30 | 標準画面表示 |
| 31 | 標準画面表示 |
| 32 | 標準画面表示 |
| 33 | 標準画面表示 |
| 34 | 標準画面表示 |
| 35 | 標準画面表示 |
| 36 | 標準画面表示 |
| 37 | 標準画面表示 |
| 38 | 標準画面表示 |
| 39 | 標準画面表示 |
| 40 | 標準画面表示 |
| 41 | 標準画面表示 |
| 42 | 標準画面表示 |
| 43 | 標準画面表示 |
| 44 | 標準画面表示 |
| 45 | 標準画面表示 |
| 46 | 標準画面表示 |
| 47 | 標準画面表示 |
| 48 | 標準画面表示 |
| 49 | 標準画面表示 |
| 50 | 標準画面表示 |

セル H21: 多田記一 によるメモ付き

50%

[図 5 0]



引き続き上の[図 5 0]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図 5 1]の画面のようになります。

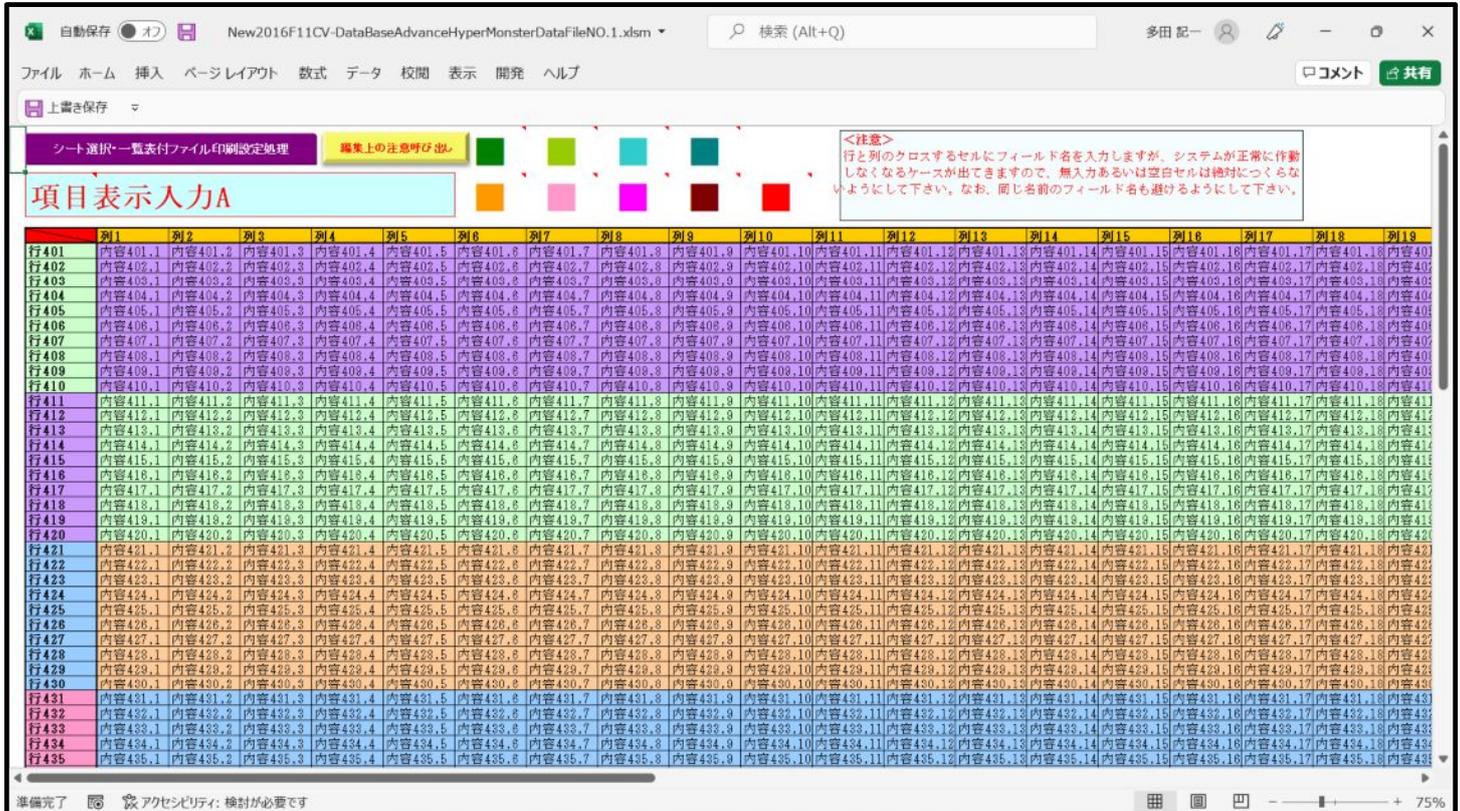
[図 5 1]



項目表示入力A

上の【図 5 1】の画面のコマンドボタンをクリックすると次の【図 5 2】の画面のようになりますが、入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の項目表示を設定します。

【図 5 2】

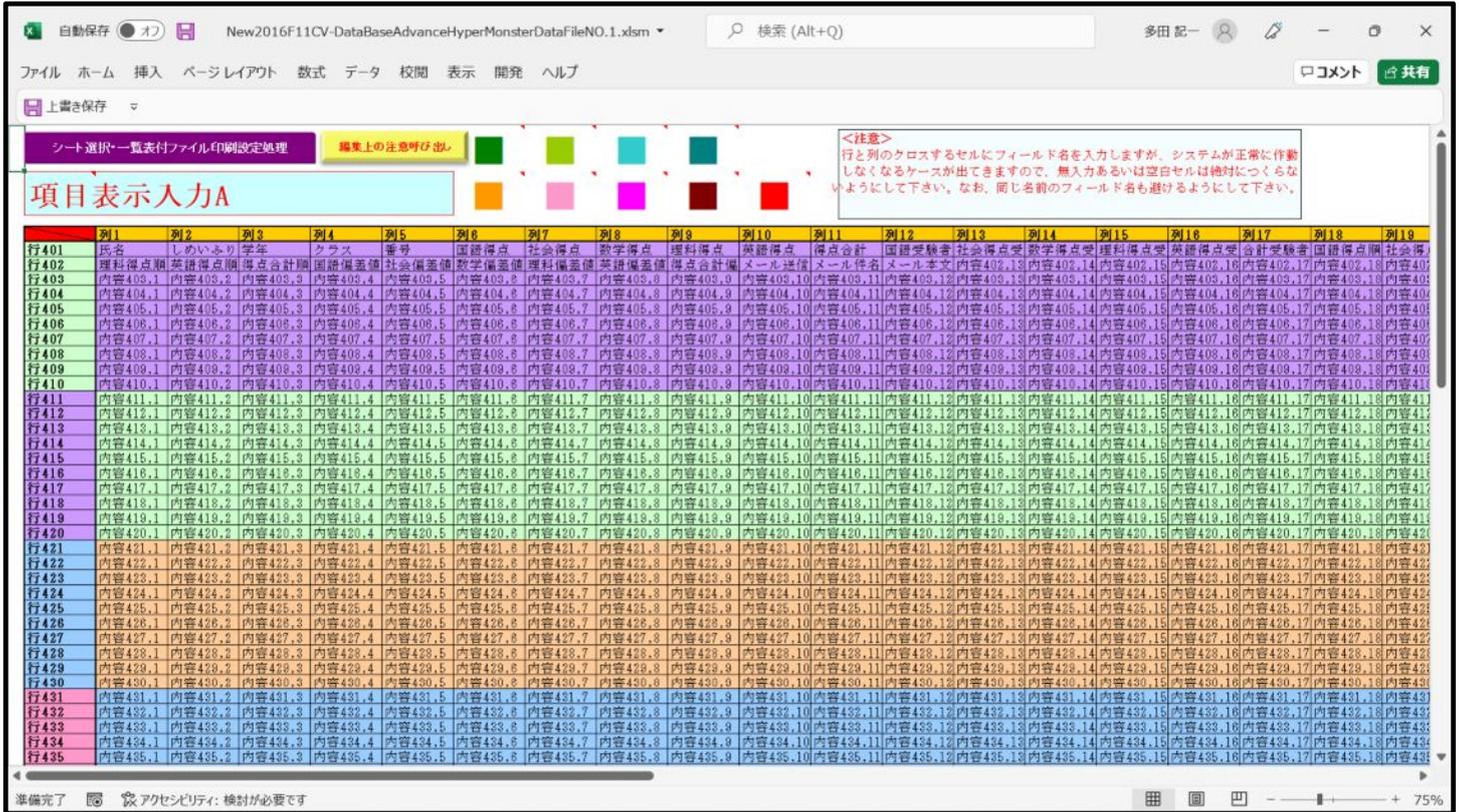


上の【図 5 2】の画面の

列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20	
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の【図 5 3】の画面の入力します。

[図 5 3]



そして、上の[図 5 3]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると次の[図 5 4]の画面になります。

[図 5 4]



上の【図54】の画面のタブ「入力シートAA, AB, BA, BB」を選択すると次の【図55】の画面になりますが、【図55】の画面のコマンドボタン

入力AA1一学期中間考査

をクリックすると入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」が選択され下の【図56】の画面のようになります。

【図55】

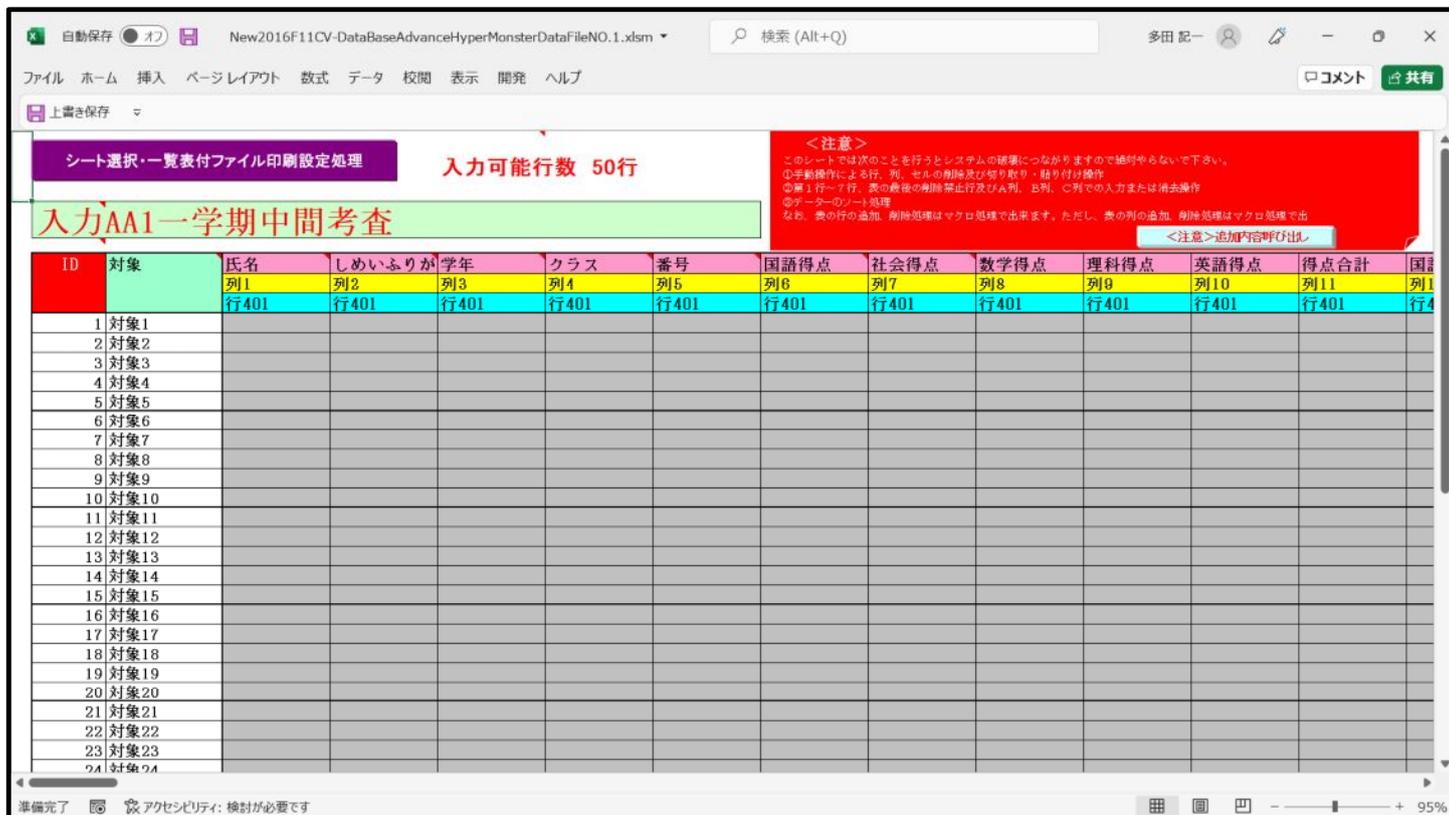
シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印

入力AA1一学期中間考査	入力BA1
入力AA2	入力BA2
入力AA3	入力BA3
入力AA4	入力BA4
入力AA5	入力BA5
入力AA6	入力BA6
入力AA7	入力BA7
入力AA8	入力BA8
入力AA9	入力BA9
入力AA10	入力BA10
入力AB1	入力BB1
入力AB2	入力BB2
入力AB3	入力BB3
入力AB4	入力BB4
入力AB5	入力BB5
入力AB6	入力BB6
入力AB7	入力BB7
入力AB8	入力BB8
入力AB9	入力BB9
入力AB10	入力BB10

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示
MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

【図56】



上の[図 5 6]の画面でシートの保護を槐樹押し項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 5 7]の画面です。

[図 5 7]



そして、[図 5 7]の画面の表にデータを入力したのが次の[図 5 8]の画面です。ただし、この入力データはテスト用のものです。

[図 5 8]

自動保存 (オフ) New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 50行**

入力AA1一学期中間考査

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの問題につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り・貼り付け操作
②第1行~7行、表の最後の前降禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	氏名	しめいふね	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計
列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	
行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371
5	対象5	熊	くま	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390
13	対象13	のびのび大	のびのびだい	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192
17	対象17	ザザエさん	ささえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325
18	対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389
19	対象19	フクオさん	ふくおさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318

準備完了 設定 アクセシビリティ: 検討が必要です

次に「修正前期募集校長宛合否通知書」を作成するためにデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を選択します。そして Esc を押すと標準画面となり、次の[図 5 9]の画面のようになります。

[図 5 9]

自動保存 (オフ) New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm 多田 記一

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **<注意> このシートには入力できません。**

ファイル作成コピー用 1 1 結合 **シート保護解除**

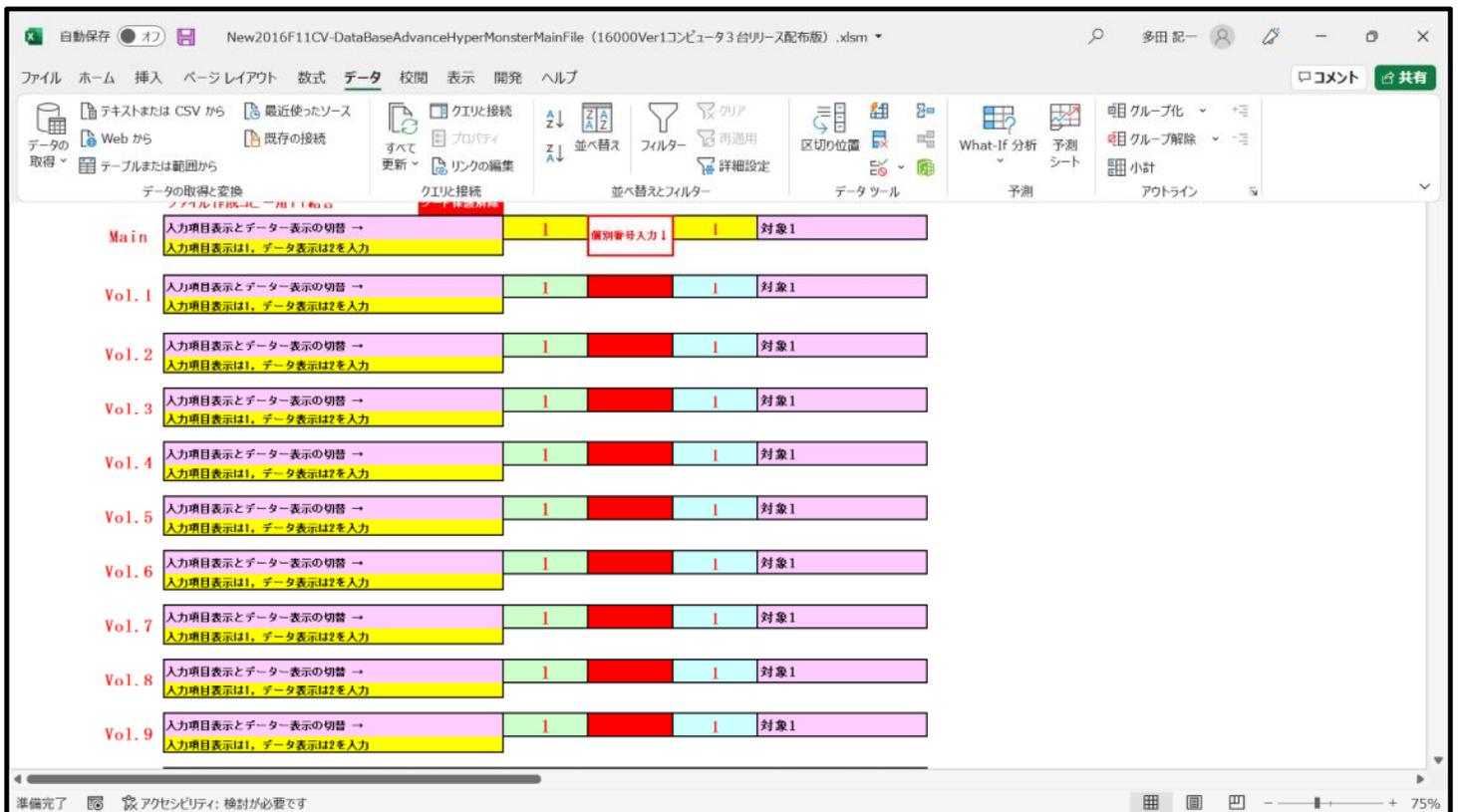
Main	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1	個別番号入力 1	1	対象1
Vol.1	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.3	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.4	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.5	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.6	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.7	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.8	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1
Vol.9	入力項目表示とデータ表示の切替 → 入力項目表示は1、データ表示は2を入力	1		1	対象1

準備完了 設定 アクセシビリティ: 検討が必要です

そして更に、上の[図 5 9]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

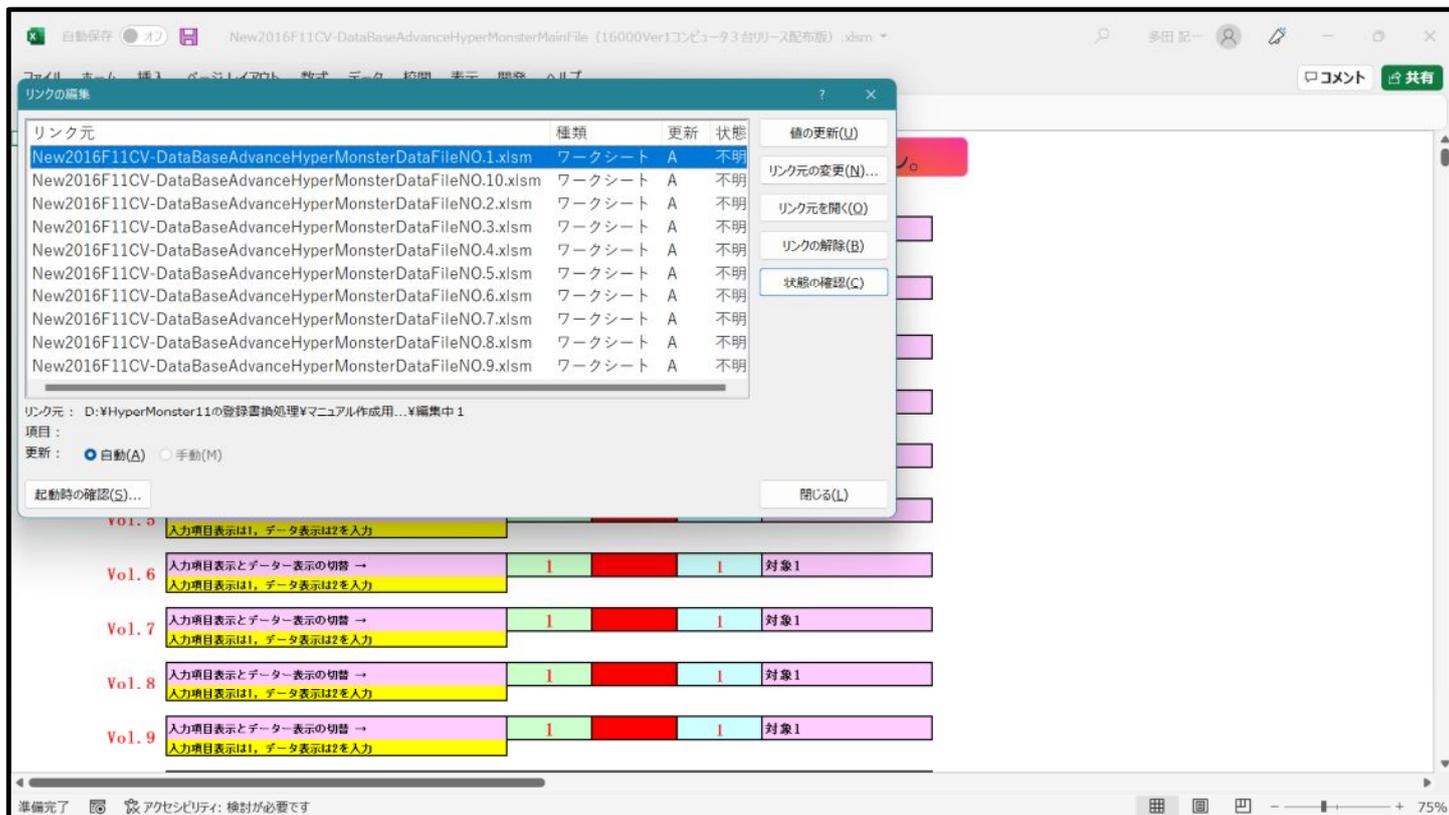
を解除し、 **データ** を選択すると、次の[図 6 0]の画面のようになります。

[図 6 0]



更に上の[図 6 0]の画面の **リンクの編集** の部分を選択すると次の[図 6 1]の画面のようになります

[図 6 1]

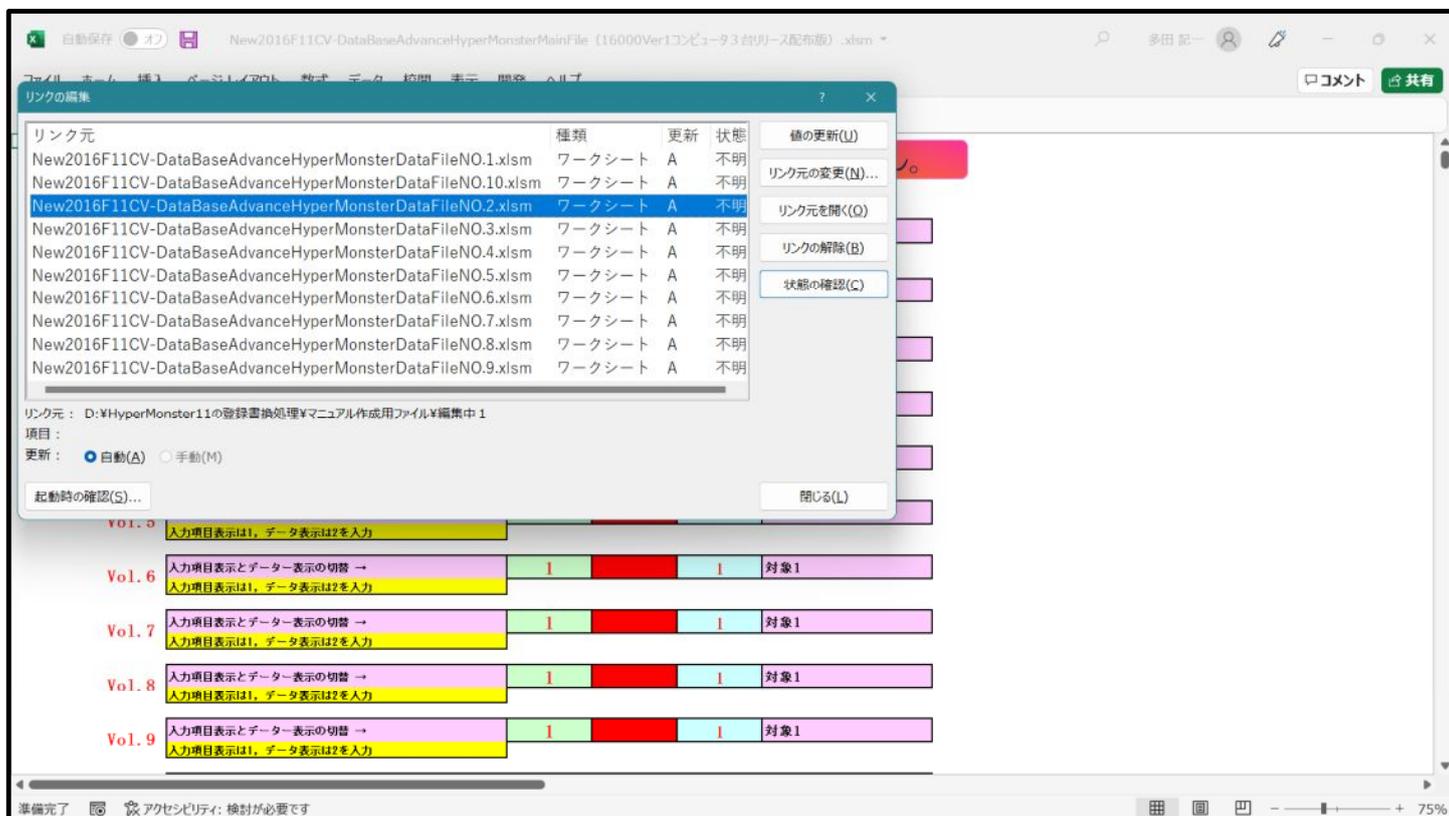


上の[図 6 1]の画面のリンク元の部分で

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm ワークシート A 不明

を選択して次の[図 6 2]の画面のようにします。

[図 6 2]



そして上の[図 6 2]の画面のボタン リンク元を開く(O) をクリックするとリンク元のファイル

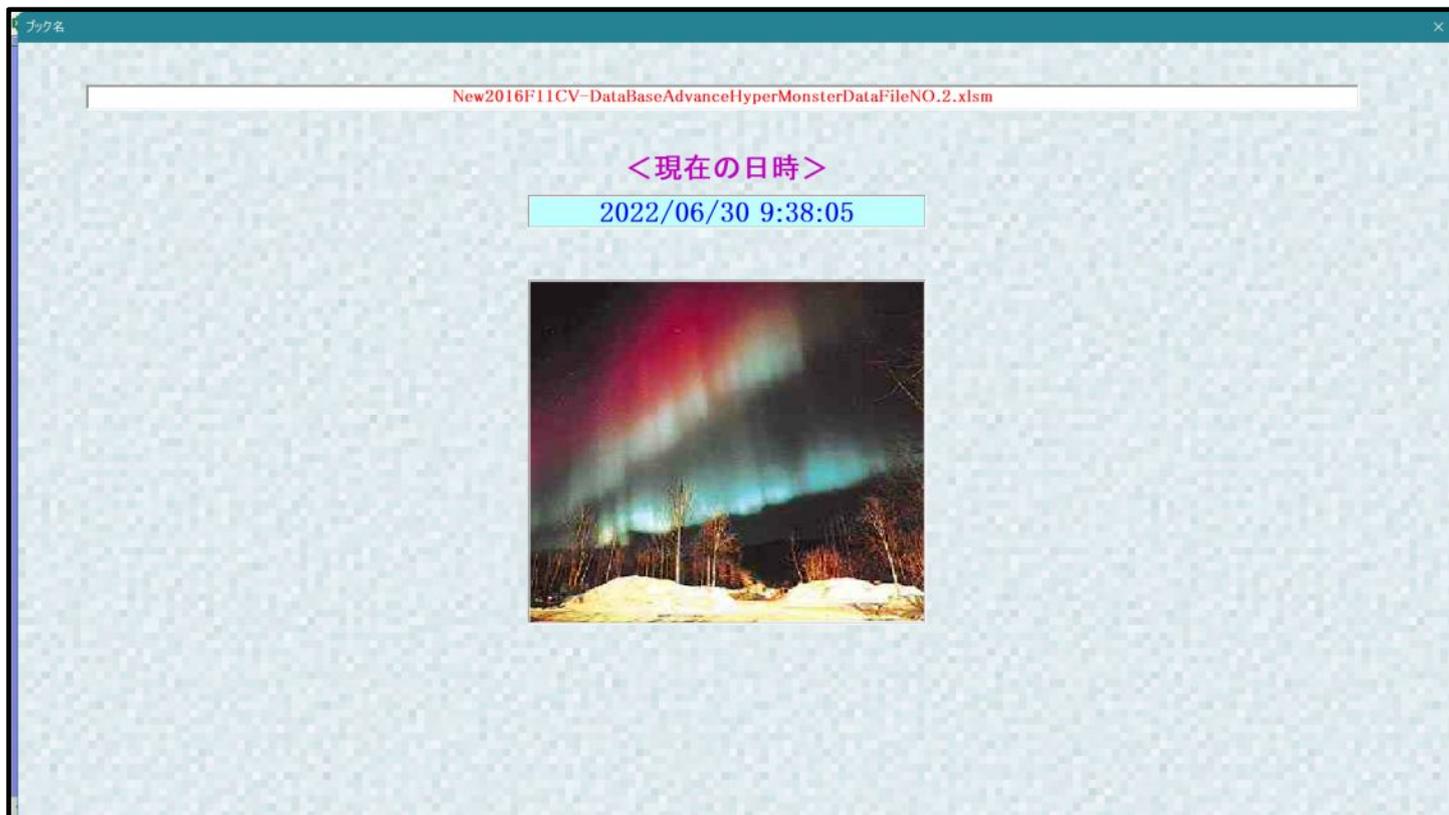
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
開かれてまいります、最初に次の[図 6 3]の画面が表示されます。

[図 6 3]



上の[図 6 3]の画面の Command ボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 6 4]の画面が表示された後、その次の[図 6 5]の画面が表示されます。

[図 6 4]



【図 6 5】



上の【図 6 5】の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の【図 6 6】の画面になります。

【図 6 6】

シート選択・一覧表示ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 [シート選択, 処理呼出1] 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA,BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

シート名設定

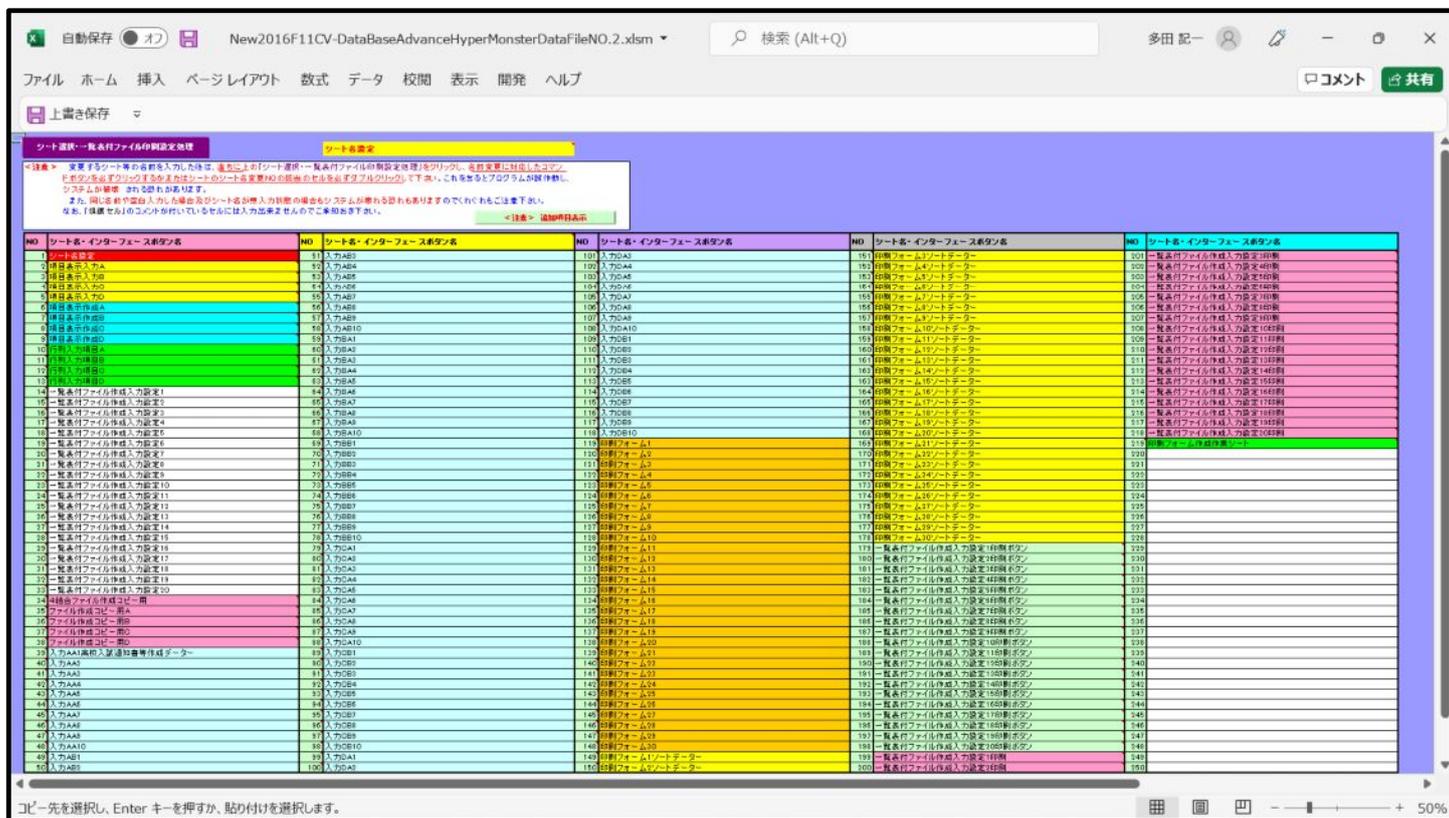
上の[図 6 6]の画面の**シート名設定**をクリックすると次の[図 6 7]の画面になります。但し[図 6 7]の画面は表示倍率が50%のものです。
[図 6 7]

そして次の[図 6 8]の画面のように

39 入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

の部分の右側のセルの値を変更し、セル **39** をダブルクリックすると入力シート「入力 AA1」のシート名が「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」に変更され入力シート「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」が選択され、下の[図 6 9]の画面のようになります。

[図 6 8]



[図 6 9]



引き続き上の[図69]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図70]の画面のようになります。

[図70]



項目表示入力A

上の[図70]の画面のコマンドボタンをクリックすると次の[図71]の画面のようになりますが、入力シート「入力AA1（高校入試通知書等作成データ）」の表の項目表示を設定します。

[図71]

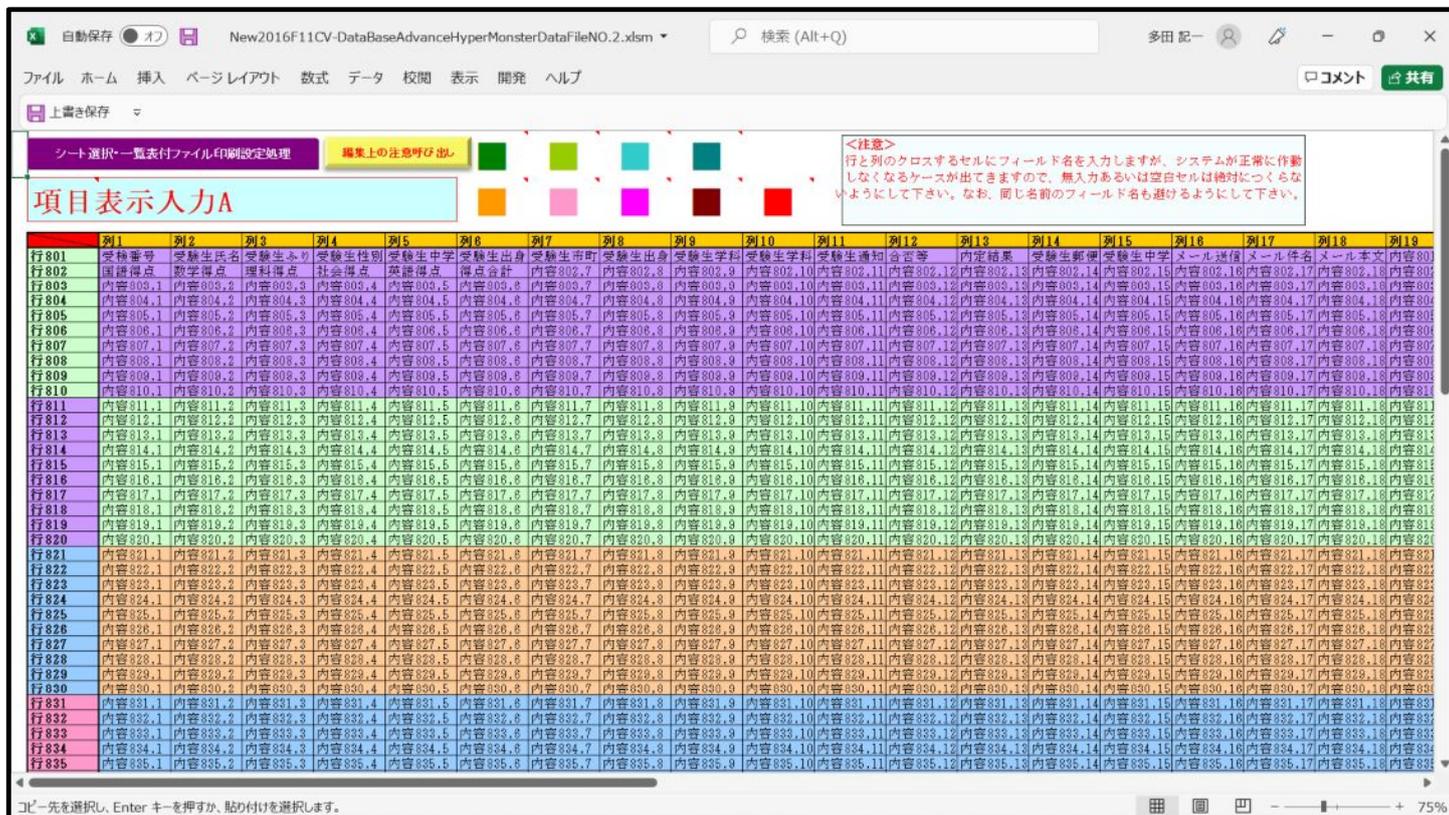
このスクリーンショットは、Excel 2016のワークシート「New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx」の表示画面です。メニューバーには「ファイル」「ホーム」「挿入」「ページレイアウト」「数式」「データ」「校閲」「表示」「開発」「ヘルプ」があります。ワークシートには、列1から列19までの表が展開されています。表の各行は「行801」から「行835」まであり、各セルには「内容801.1」から「内容835.19」までのテキストが入力されています。画面の上部には「項目表示入力A」というコマンドボタンがあり、その周囲には色付きのセルが配置されています。また、右側の警告メッセージボックスには、「行と列のクロスするセルにフィールド名を入力しますが、システムが正常に作動しなくなるケースが出てきますので、無入力あるいは空白セルは絶対につくらないようにして下さい。」という注意が示されています。

上の[図71]の画面の

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の[図72]の画面のように入力します。

[図72]



そして、上の[図 7 2]の画面のコマンドボタン
次の[図 7 3]の画面になります。

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると

[図 7 3]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA, BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の[図7 3]の画面のタブ **入力シートAA, AB, BA, BB選択** を選択すると次の[図7 4]の画面になりますが、
[図7 4]の画面のコマンドボタン

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

をクリックすると入力シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データ)」が選択され下の[図7 5]の画面のようになります。

[図7 4]



[図 7 5]



上の[図 7 5]の画面でシートの保護を解除し、項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 7 6]の画面です。

[図 7 6]



上の[図76]の画面の表にデータを入力していきたいのですが、入力する前に、表の入力可能行数が50行と少ないので、表の入力可能行数が500行に増加したいと思います。これからその手順を説明いたします。

上の[図76]の画面の Command ボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると次の[図77]の画面になります。

[図77]



上の[図77]の画面のタブ **処理呼出6** を選択すると次の[図78]の画面になります。

[図78]



上の[図78]の画面のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると次の[図79]の画面になります。

[図79]

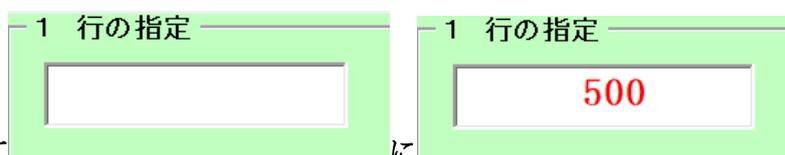


上ののチェックボックス

入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

にチェックを入れて

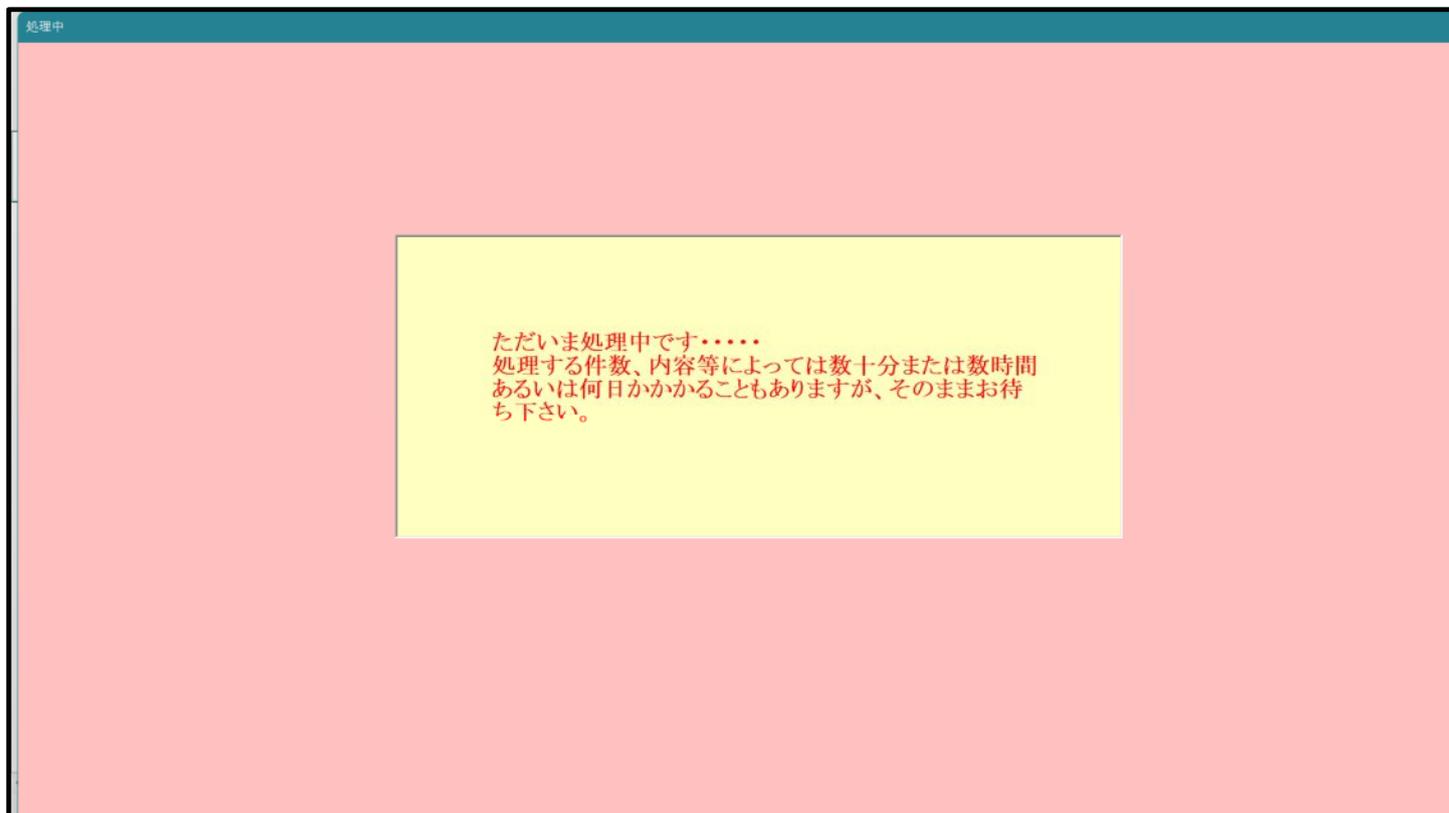
入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)



として、そして に と入力し、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると表の入力可能行数の追加処理が開始されま
す。表の入力可能行数の追加処理が開始されると次の[図 8 0]の画面が表示され、追加処理が終了すると
その下の[図 8 1]の画面が表示されます。



[図 8 1]



そして、上の[図 8 1]の画面のボタン **キャンセル** をクリックすると、次の上の[図 8 2]の画面のようになり、入力シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の表の入力可能行数が500行になっていることが確認できます。

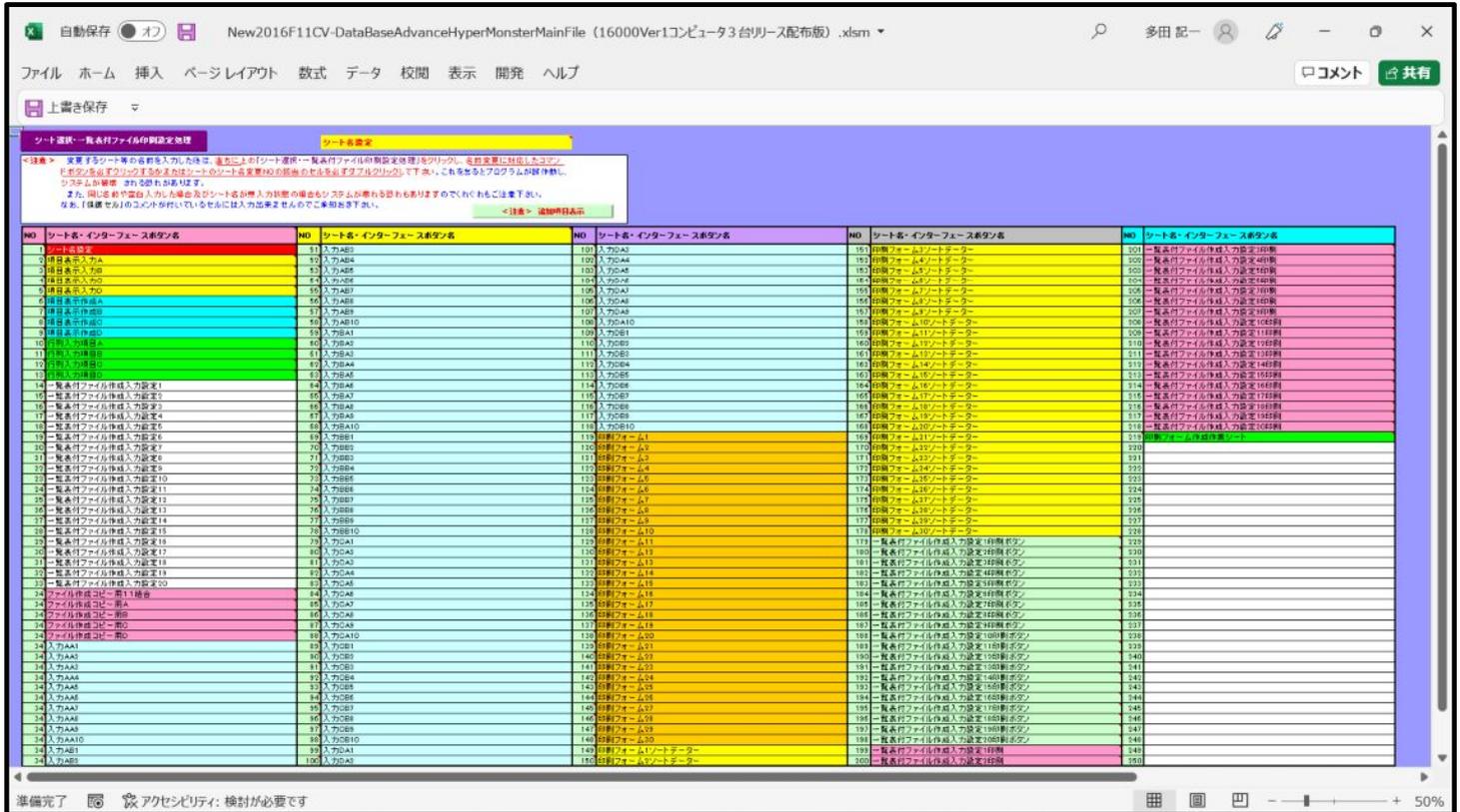
[図 8 2]

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm のシートの設定:

ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

を立ち上げシート「シート名設定」を選択すると次の[図 8 4]の画面のようになります。但し画面の表示倍率は 50%です。

[図 8 4]



上の[図 8 4]の画面でセルの値を次の[図 8 5]の画面のように変更します。

[図 8 5]

14 一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1

と変更し、左側のセル **14** をダブルクリックするとシート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」が選択されて次の[図86]の画面のようになります。他のケースについても同様です。シート名を変更した全ての部分について、同様の操作を行ってください。

[図86]

シート名	日	設	定	内	容			
デ	—	タ	先	頭	セル	行	番	号
デ	—	タ	先	頭	セル	列	番	号
異	—	同	比	較	列	番	号	号
デ	—	—	タ	—	—	—	—	数
For	Next	の	増	—	—	—	—	分

シート名	日	設	定	内	容						
入	力	先	頭	セル	行	番	号				
入	力	先	頭	セル	列	番	号				
入	力	最	終	セル	行	番	号				
入	力	最	終	セル	列	番	号				
入	力	最	終	セル	行	番	号				
入	力	最	終	セル	列	番	号				
通	し	ベ	—	ジ	入	力	セル	行	番	号	
通	し	ベ	—	ジ	入	力	セル	列	番	号	
区	分	内	ベ	—	ジ	入	力	セル	行	番	号
区	分	内	ベ	—	ジ	入	力	セル	列	番	号

シート名	日	設	定	内	容
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダ					

(3) ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版)のシート「ファイル作成コピー用11結合」の印刷フォームシートへの複写について：

この複写処理をおこなう前に、以後の処理を比較的やりやすくするために複写先のシート等の背景色を設定したいと思います。但しこの背景色の設定は必ずやる必要はありません。

それでは背景色の設定の仕方について説明いたします。

各シートに配置されているコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定処理」が表示され、次の[図87]の画面が表示されます。

但し[図87]の画面はタブ **シート選択, 処理呼出1** が選択されている状態です。

[図 8 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

DataFile開閉等 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォーム...

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	ファイル作成コピー用63結合	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	修正前期募集校長宛宛否通知一覧表付ファイル作成	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | データファイルへ移動呼出 | キャンセル | システム終了

上の[図 8 7]の画面のタブ **処理呼出5** を選択すると次の[図 8 8]の画面になります。

[図 8 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

DataFile開閉等 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | **処理呼出5** | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォーム...

選択編集シート編集領域色無し処理呼出

全編集シート編集領域色無し処理

選択編集シート編集領域色塗り替え処理呼出

全編集シート編集領域色選択処理

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | データファイルへ移動呼出 | キャンセル | システム終了

上の[図 8 8]の画面のcommandボタン

選択編集シート編集領域色塗り替え処理呼出

をクリックすると次の[図89]の画面になります。

[図89]



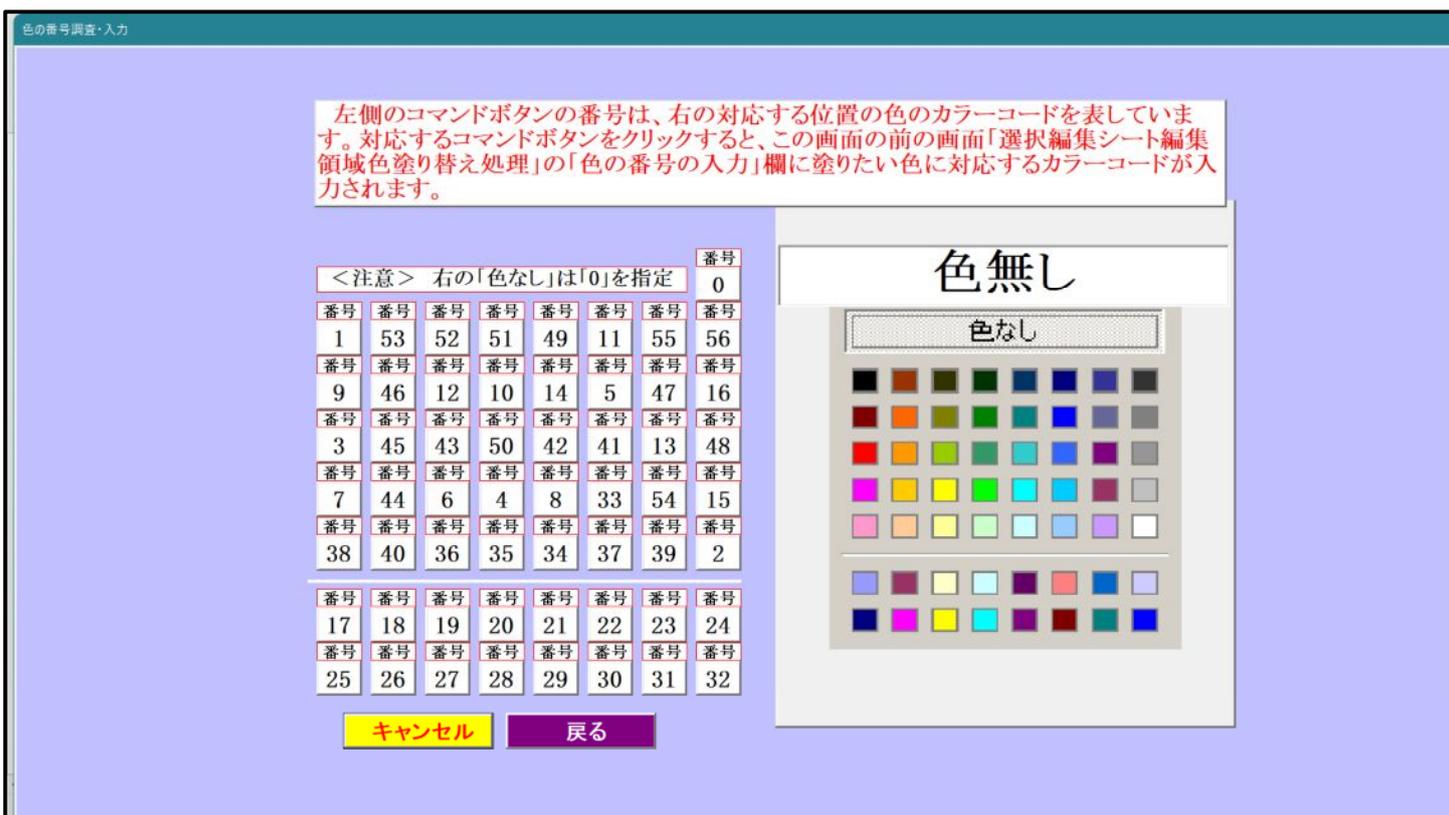
そして、上の[図89]の画面のcommandボタン

色の番号調査・入力へ

をクリックすると

次の[図90]の画面になります。

[図90]



上の[図90]の画面の右側の色のサンプル



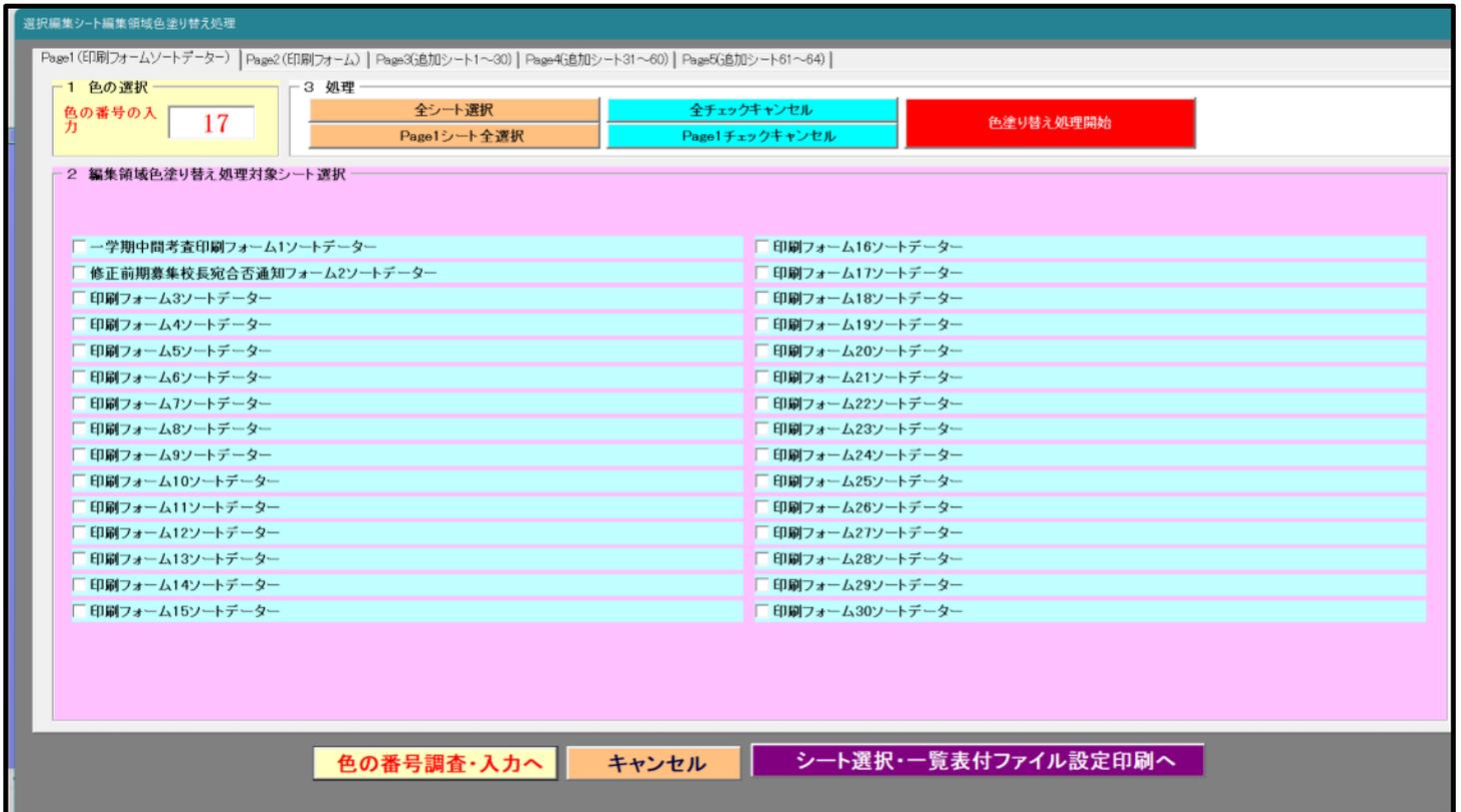
のうち  の色を背景色として設定したいので上の[図90]の画面の左側の

<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> <注意> 右の「色なし」は「0」を指定 </div>							番号
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
1	53	52	51	49	11	55	56
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
9	46	12	10	14	5	47	16
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
3	45	43	50	42	41	13	48
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
7	44	6	4	8	33	54	15
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
38	40	36	35	34	37	39	2
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
17	18	19	20	21	22	23	24
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
25	26	27	28	29	30	31	32

番号
17

中から  と相対的に同じ位置にある 番号
17 の部分をクリックすると次の[図91]の画面が表示されます。

[図 9 1]



上の[図 9 1]の画面で

- 一学期中間考査印刷フォーム1シートデーター
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデーター

の部分にチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1シートデーター
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデーター

とし、また上の[図 9 1]の画面でタブ Page2(印刷フォーム) を選択すると次の[図 9 2]の画面になりますが、[図 9 2]の画面の

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にもチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

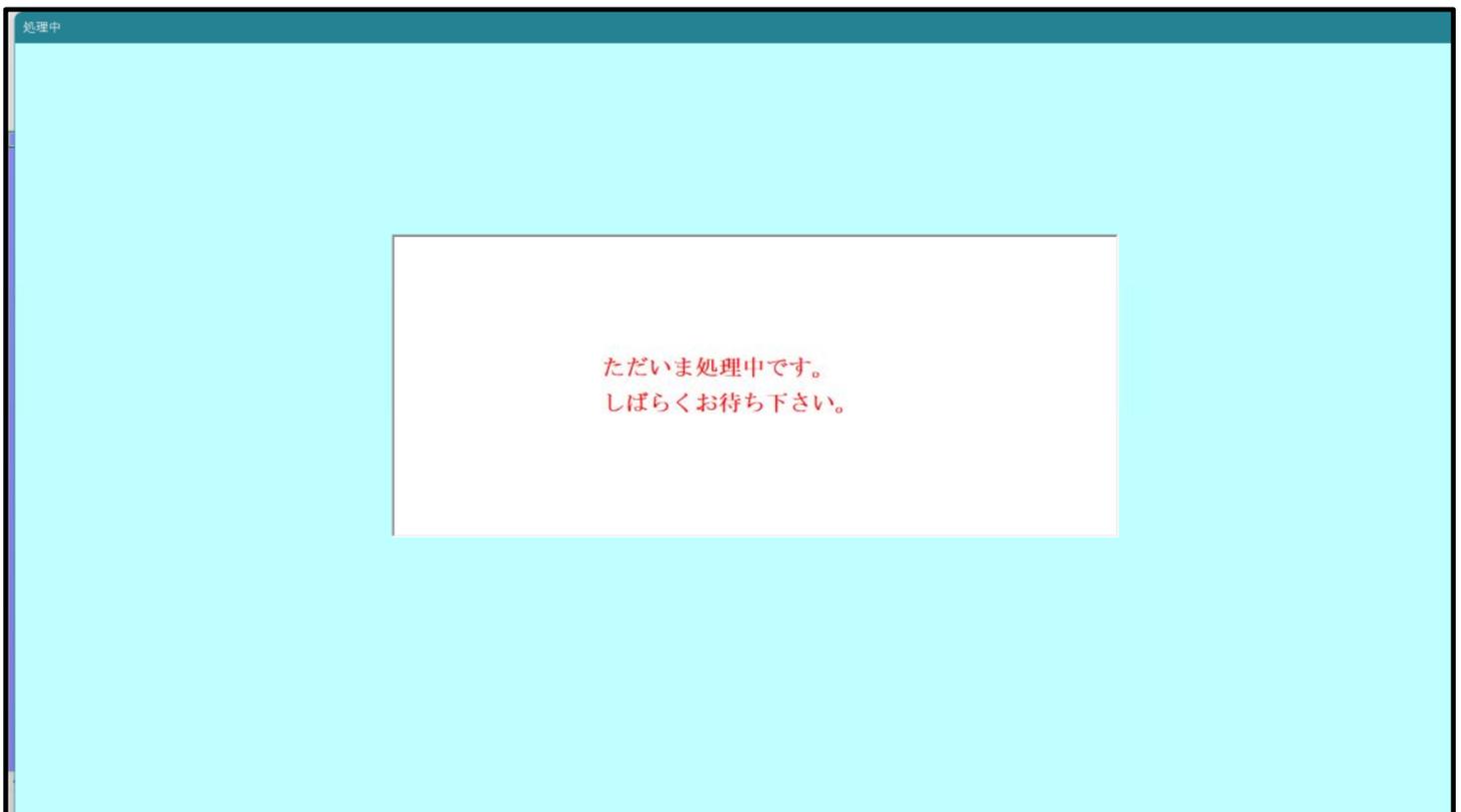
とします。

[図 9 2]



そしたら、[図 9 2]の画面のコマンドボタン **色塗り替え処理開始** をクリックするとチェックを入れた4個のシートの背景色の設定が開始されます。途中下の[図 9 3]の画面が表示され、[図 9 4]の画面が表示されたら処理は完了となります。

[図 9 3]



[図 9 4]

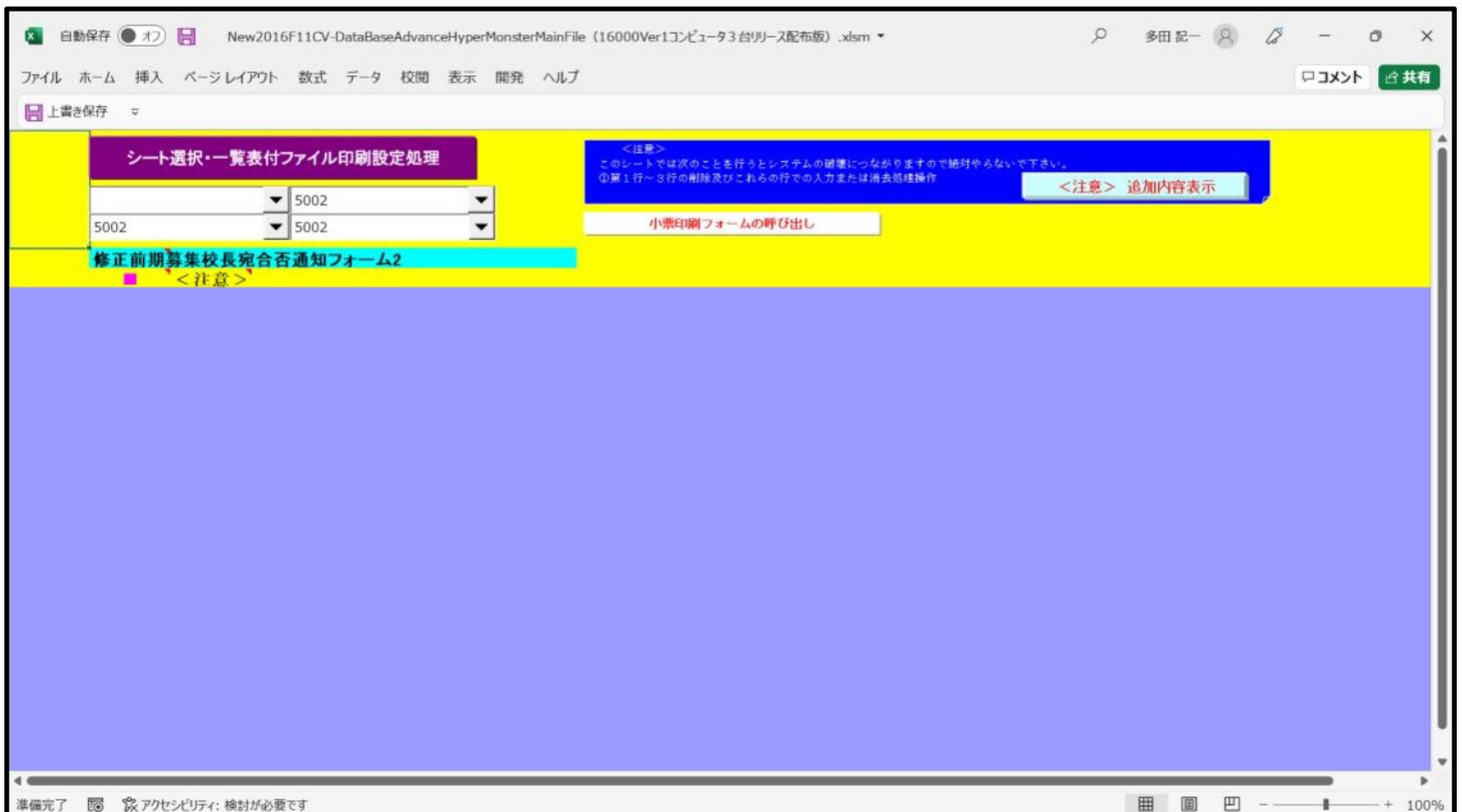


因みに、上の[図 9 4]の画面のコマンドボタン



をクリックすると、シート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2 ソートデータ」が表示され、次の[図 9 5]の画面のようになっていることが確認できます。

[図 9 5]



これでシートの背景色の設定の説明は終了いたします。

それでは、これからファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」の印刷フォームシートへの複写の仕方について説明いたします。

各シートに配置してあるコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択。一覧表付ファイル印刷設定処理」が表示され、次の[図 9 6]の画面が表示されます。但し[図 9 6]の画面はタブ **DataFile開閉等** が選択されている状態のものです。

[図 9 6]の画面のタブ **処理呼出2** を選択すると [図 9 7]の画面になります。

[図 9 6]



[図 9 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷	
DataFile開閉等	シート選択, 処理呼出1
処理呼出2	処理呼出3
処理呼出4	処理呼出5
処理呼出6	処理呼出7
処理呼出8	入力シートAA, AB, BA, BB選択
入力シートCA, CB, DA, DB選択	印刷フォームシート選択
印刷フォーム	

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出
入力シート選択・データ行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出
選択編集シート全データ削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートデータ消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	データファイルへ移動呼出	キャンセル	システム終了

上の[図 9 7]の画面のcommandボタン

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出

をクリックすると次の[図 9 8]の画面になります。

[9 8]

ファイル作成コピー用選択複写メニュー	
ファイル作成コピー用選択複写1へ(印刷フォームシートデータシート, 印刷フォームシートへの複写)	
ファイル作成コピー用選択複写2へ(追加シートへの複写)	
キャンセル	シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

上の[図 9 8]画面のcommandボタン

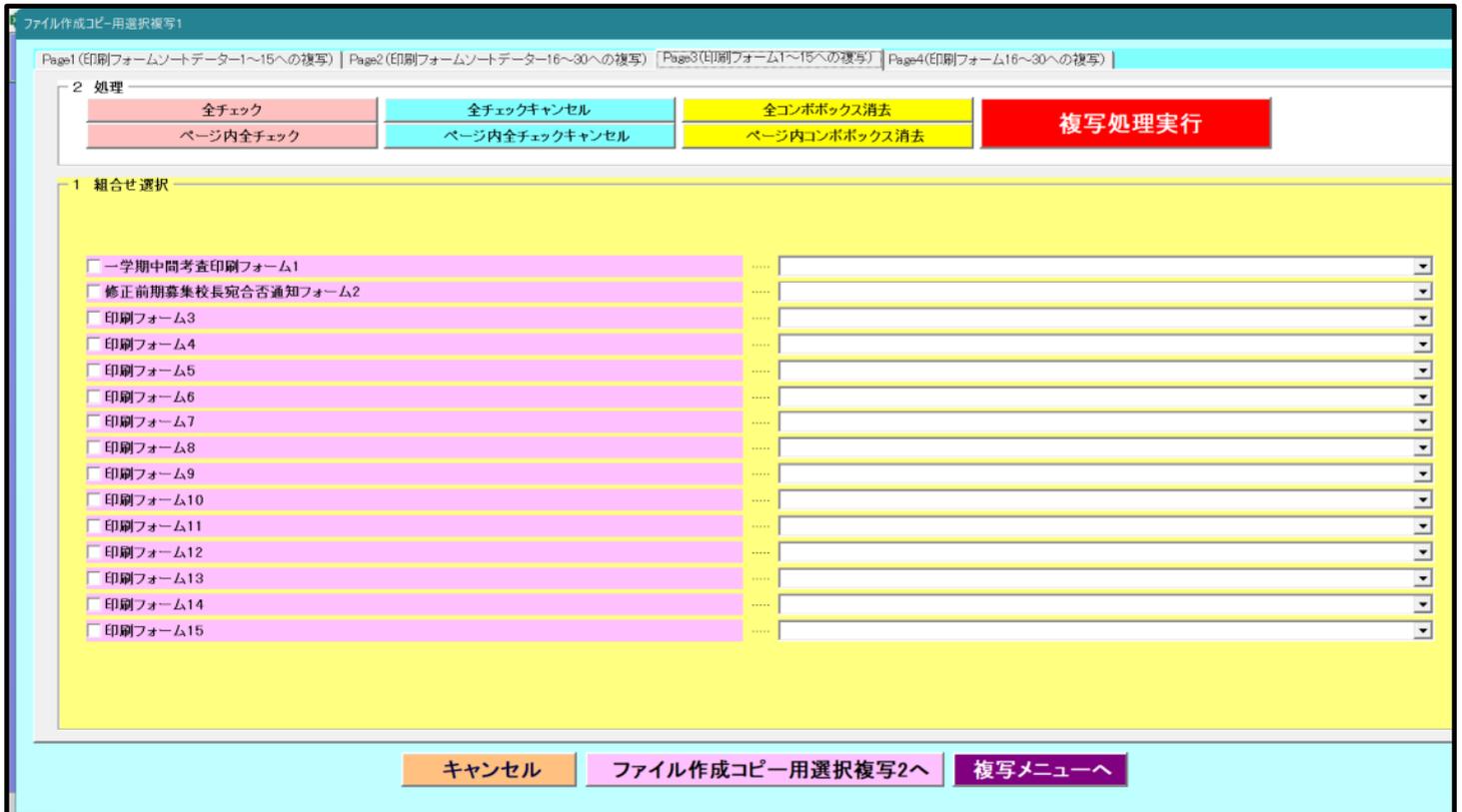
ファイル作成コピー用選択複写1へ(印刷フォームソートデータシート, 印刷フォームシートへの複写)

をクリックすると次の[図99]画面になります。

[図99]

そして、上の[図99]画面のタブ **Page3(印刷フォーム1~15への複写)** を選択すると次の[図100]画面になります。

[図 1 0 0]



上の[図 1 0 0]の画面の

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にチェックを入れて

- 一学期中間考査印刷フォーム1
- 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

とし、そしてこれらのチェックボックスの右側のコンボボックス

Two empty dropdown menus with downward-pointing arrows.

でそれぞれ

Two dropdown menus, each containing the text 'ファイル作成コピー用11結合' (File Creation Copy Use 11 Combination).

複写処理実行

と選択し、[図 1 0 0]の画面の**複写処理実行**をクリック

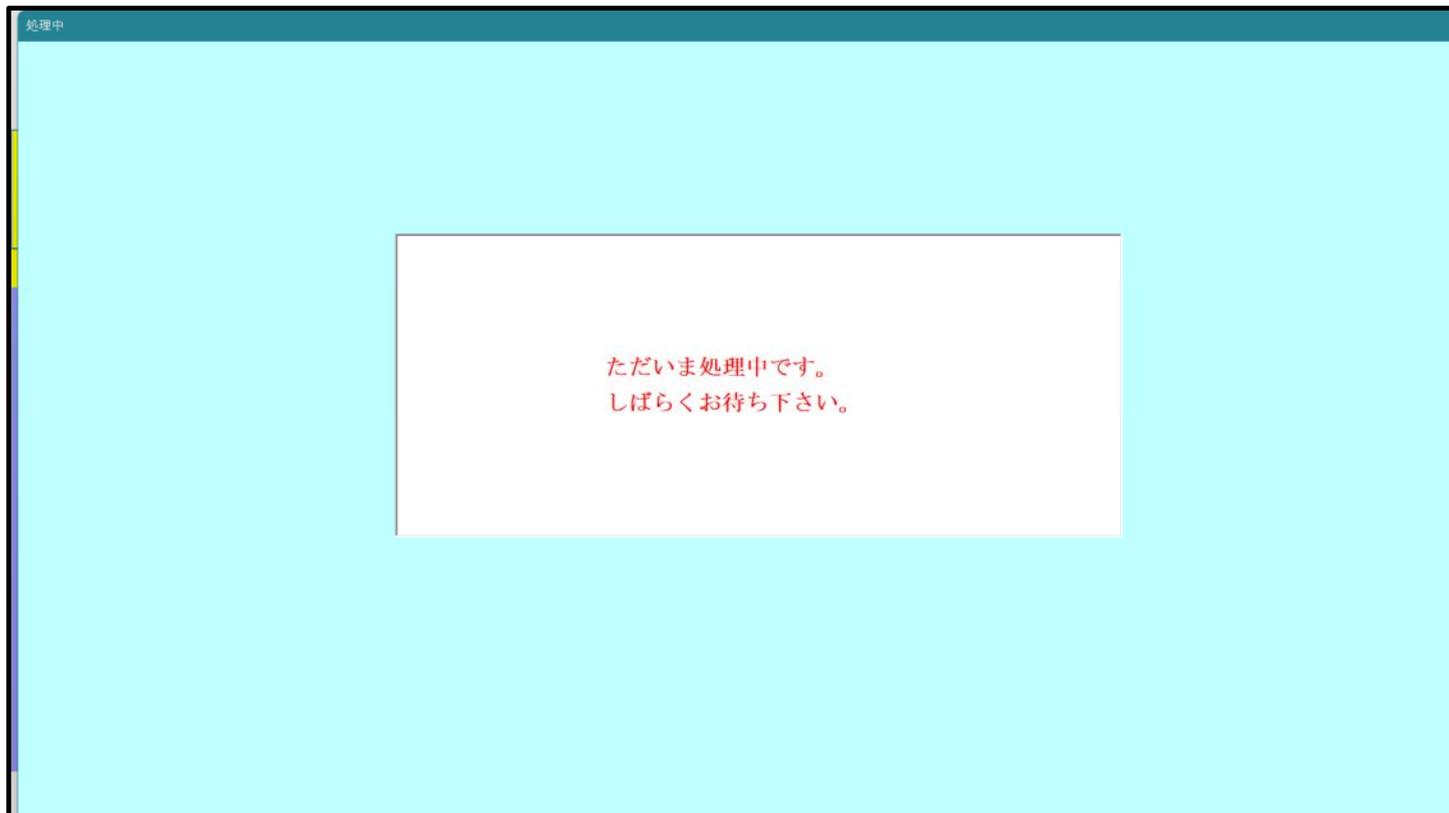
すると、シート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」が 2 つの「印刷フォーム」シート

「一学期中間考査印刷フォーム 1」

「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」

へ複写処理が開始されます。複写処理が開始されると、途中[図 1 0 1]の画面が表示され、[図 1 0 2]の画面が表示されたら複写は完了となります。ただ、シート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」には複雑な関数が 40 列×25,000 行ほど入力されており、複写処理にはかなりの時間が必要です。

[図 1 0 1]

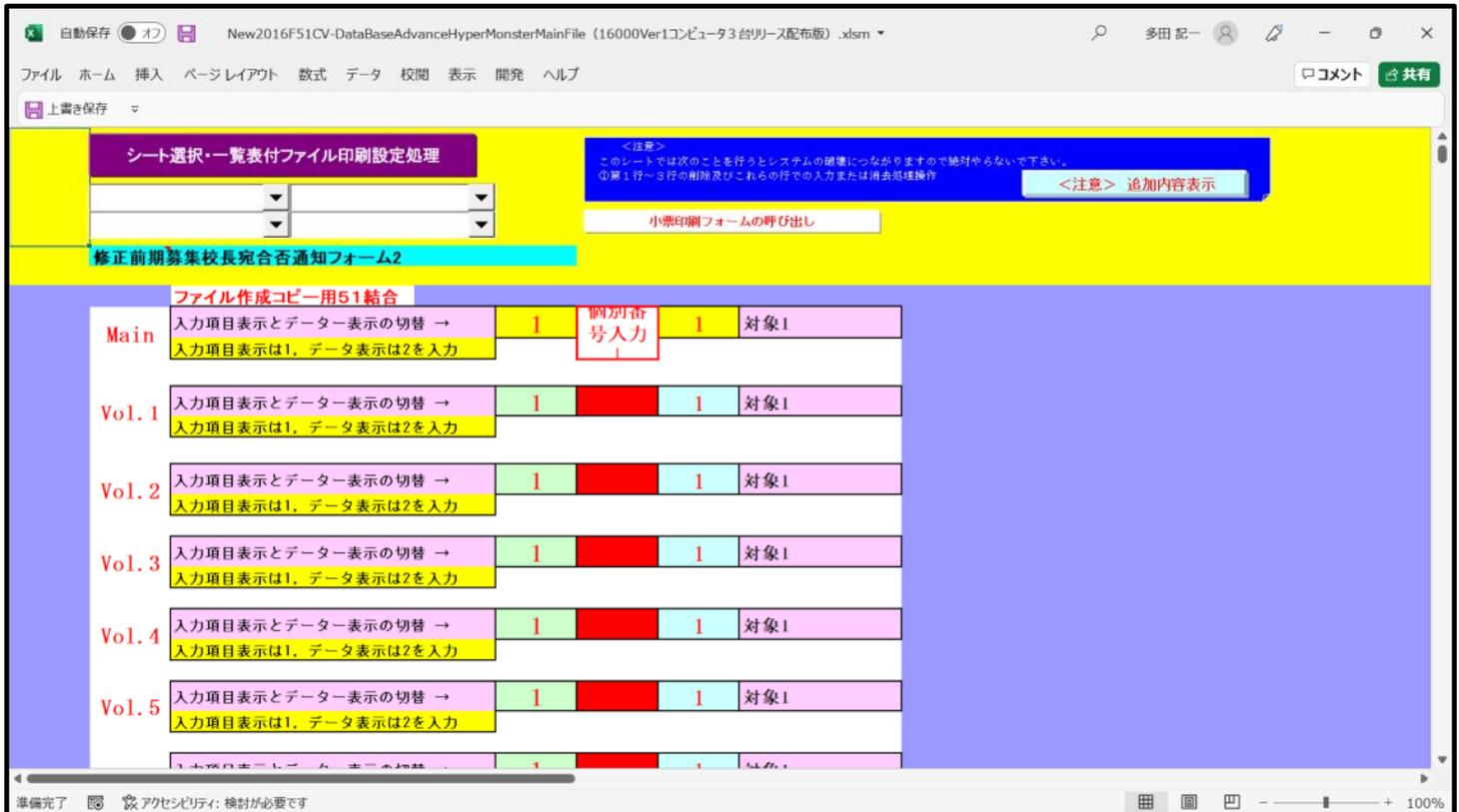


[図 1 0 2]



なお、上の[図 1 0 2]の画面の**キャンセル**をクリックすると複写先のシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」が表示され次の[図 1 0 3]の画面のようになっていることが確認できます。

[図 1 0 3]



(4) 印刷フォームの様式作成について:

ここでは、印刷フォーム作成の仕方について印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」、「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」を例に説明してまいります。

- ① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計 :

ここでは、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

一学期中間考査のデータは、データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「入力 AA1 一学期中間考査」において作成しました。

また、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの 2 つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」を加工して、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

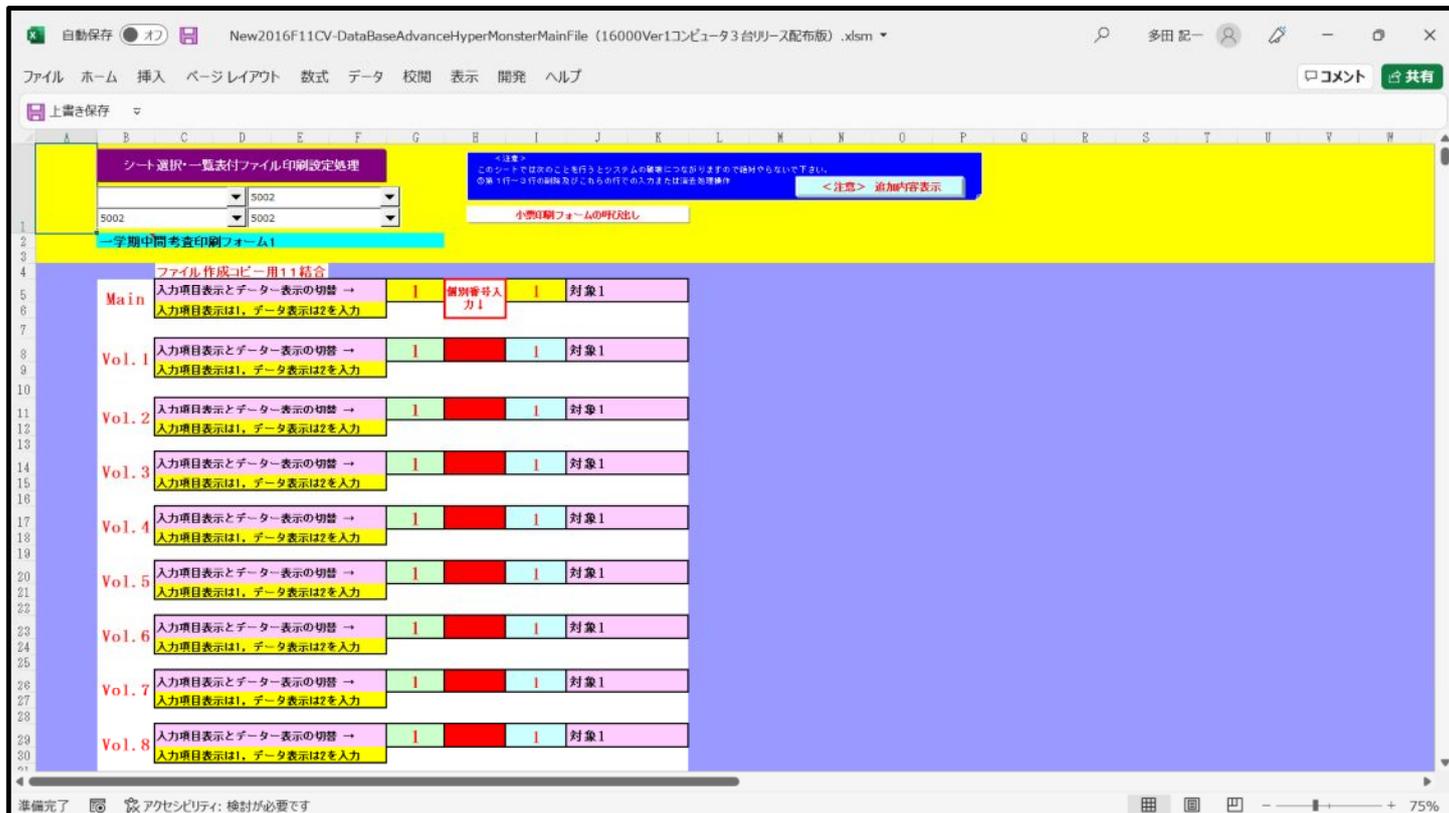
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を印刷フォームシート

「一学期中間考査印刷フォーム 1」へ複写した印刷フォームシート

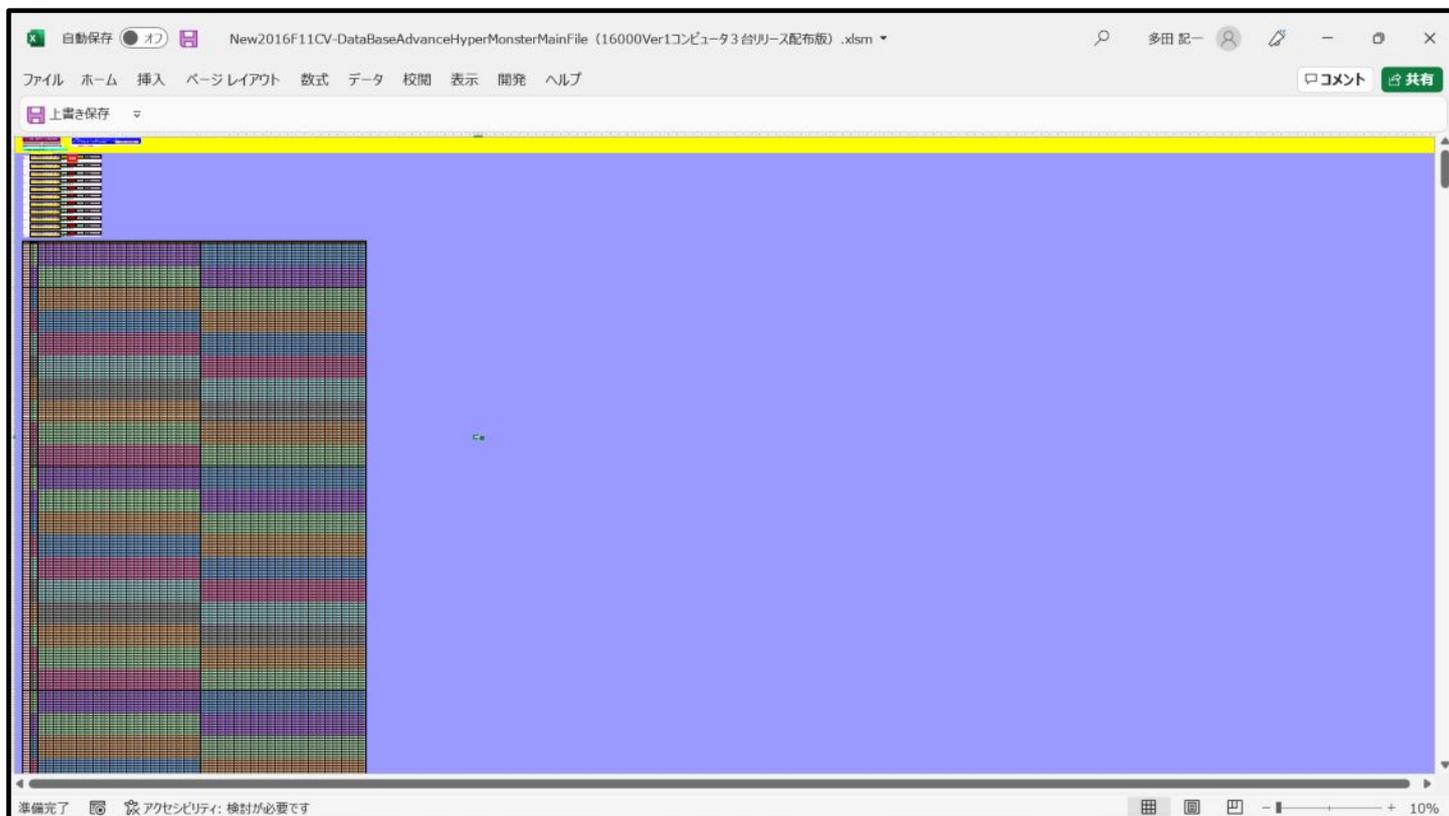
「一学期中間考査印刷フォーム 1」の状況は次の[図 1 0 4]の画面のようになっています。

[図 1 0 4]



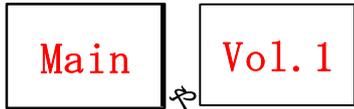
上の[図 1 0 4]の画面である程度のシートの全体の様子が見られるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 0 5]の画面です。

[図 1 0 5]



ここで、上の[図 1 0 4]の画面で印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」に関係のない部分つまりデータファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm のシート

「入力 AA1 一学期中間考査」の表示に関係のない部分を全て削除していきます。



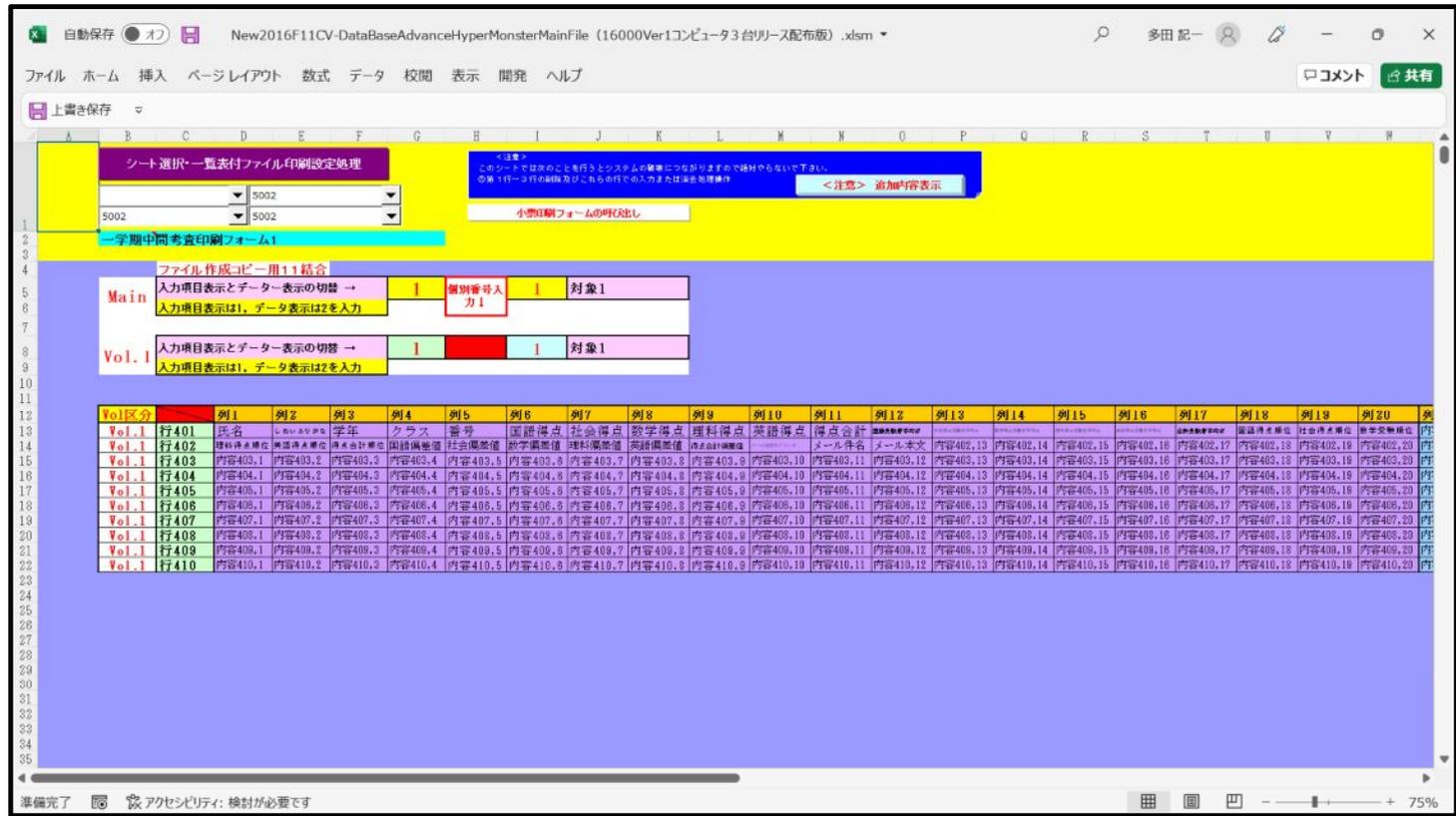
具体的には、**Main**や**Vol.1**が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロール

しながら**Vol.1**と表示されていない行および**Vol.1**と表示されていても

Vol.1	行401	氏名	しんせいりょうな	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験順位	社会受験順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	国語得点順位	社会得点順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール件名	メール本文	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20	内容402.21	内容402.22	内容402.23	内容402.24	
Vol.1	行403	内容403.1	内容403.2	内容403.3	内容403.4	内容403.5	内容403.6	内容403.7	内容403.8	内容403.9	内容403.10	内容403.11	内容403.12	内容403.13	内容403.14	内容403.15	内容403.16	内容403.17	内容403.18	内容403.19	内容403.20	内容403.21	内容403.22	内容403.23	内容403.24
Vol.1	行404	内容404.1	内容404.2	内容404.3	内容404.4	内容404.5	内容404.6	内容404.7	内容404.8	内容404.9	内容404.10	内容404.11	内容404.12	内容404.13	内容404.14	内容404.15	内容404.16	内容404.17	内容404.18	内容404.19	内容404.20	内容404.21	内容404.22	内容404.23	内容404.24
Vol.1	行405	内容405.1	内容405.2	内容405.3	内容405.4	内容405.5	内容405.6	内容405.7	内容405.8	内容405.9	内容405.10	内容405.11	内容405.12	内容405.13	内容405.14	内容405.15	内容405.16	内容405.17	内容405.18	内容405.19	内容405.20	内容405.21	内容405.22	内容405.23	内容405.24
Vol.1	行406	内容406.1	内容406.2	内容406.3	内容406.4	内容406.5	内容406.6	内容406.7	内容406.8	内容406.9	内容406.10	内容406.11	内容406.12	内容406.13	内容406.14	内容406.15	内容406.16	内容406.17	内容406.18	内容406.19	内容406.20	内容406.21	内容406.22	内容406.23	内容406.24
Vol.1	行407	内容407.1	内容407.2	内容407.3	内容407.4	内容407.5	内容407.6	内容407.7	内容407.8	内容407.9	内容407.10	内容407.11	内容407.12	内容407.13	内容407.14	内容407.15	内容407.16	内容407.17	内容407.18	内容407.19	内容407.20	内容407.21	内容407.22	内容407.23	内容407.24
Vol.1	行408	内容408.1	内容408.2	内容408.3	内容408.4	内容408.5	内容408.6	内容408.7	内容408.8	内容408.9	内容408.10	内容408.11	内容408.12	内容408.13	内容408.14	内容408.15	内容408.16	内容408.17	内容408.18	内容408.19	内容408.20	内容408.21	内容408.22	内容408.23	内容408.24
Vol.1	行409	内容409.1	内容409.2	内容409.3	内容409.4	内容409.5	内容409.6	内容409.7	内容409.8	内容409.9	内容409.10	内容409.11	内容409.12	内容409.13	内容409.14	内容409.15	内容409.16	内容409.17	内容409.18	内容409.19	内容409.20	内容409.21	内容409.22	内容409.23	内容409.24
Vol.1	行410	内容410.1	内容410.2	内容410.3	内容410.4	内容410.5	内容410.6	内容410.7	内容410.8	内容410.9	内容410.10	内容410.11	内容410.12	内容410.13	内容410.14	内容410.15	内容410.16	内容410.17	内容410.18	内容410.19	内容410.20	内容410.21	内容410.22	内容410.23	内容410.24

と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図106]の画面のようになります。

[図106]



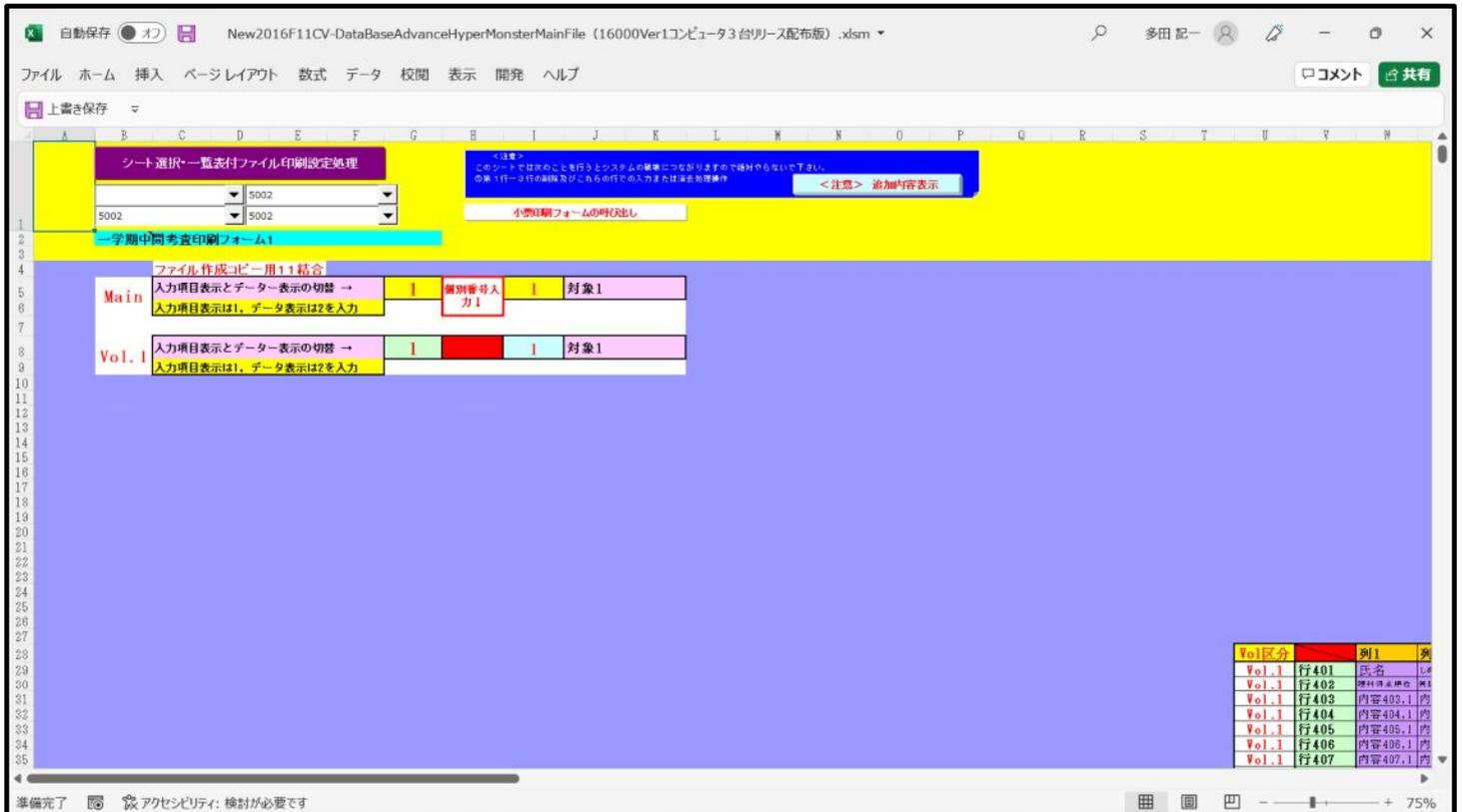
それではこれから単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計をおこなってまいります。先ず、設計をおこなうための編集部分を確保する必要があります。

[図106]の画面の

Vol.1区分	例1	例2	例3	例4	例5	例6	例7	例8	例9	例10	例11	例12	例13	例14	例15	例16	例17	例18	例19	例20	表				
Vol.1	行401	氏名	しんせいりょうな	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験順位	社会受験順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	国語得点順位	社会得点順位	数学受験順位	理科受験順位	英語受験順位	得点合計順位	
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール件名	メール本文	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20	内容402.21	内容402.22	内容402.23	内容402.24	
Vol.1	行403	内容403.1	内容403.2	内容403.3	内容403.4	内容403.5	内容403.6	内容403.7	内容403.8	内容403.9	内容403.10	内容403.11	内容403.12	内容403.13	内容403.14	内容403.15	内容403.16	内容403.17	内容403.18	内容403.19	内容403.20	内容403.21	内容403.22	内容403.23	内容403.24
Vol.1	行404	内容404.1	内容404.2	内容404.3	内容404.4	内容404.5	内容404.6	内容404.7	内容404.8	内容404.9	内容404.10	内容404.11	内容404.12	内容404.13	内容404.14	内容404.15	内容404.16	内容404.17	内容404.18	内容404.19	内容404.20	内容404.21	内容404.22	内容404.23	内容404.24
Vol.1	行405	内容405.1	内容405.2	内容405.3	内容405.4	内容405.5	内容405.6	内容405.7	内容405.8	内容405.9	内容405.10	内容405.11	内容405.12	内容405.13	内容405.14	内容405.15	内容405.16	内容405.17	内容405.18	内容405.19	内容405.20	内容405.21	内容405.22	内容405.23	内容405.24
Vol.1	行406	内容406.1	内容406.2	内容406.3	内容406.4	内容406.5	内容406.6	内容406.7	内容406.8	内容406.9	内容406.10	内容406.11	内容406.12	内容406.13	内容406.14	内容406.15	内容406.16	内容406.17	内容406.18	内容406.19	内容406.20	内容406.21	内容406.22	内容406.23	内容406.24
Vol.1	行407	内容407.1	内容407.2	内容407.3	内容407.4	内容407.5	内容407.6	内容407.7	内容407.8	内容407.9	内容407.10	内容407.11	内容407.12	内容407.13	内容407.14	内容407.15	内容407.16	内容407.17	内容407.18	内容407.19	内容407.20	内容407.21	内容407.22	内容407.23	内容407.24
Vol.1	行408	内容408.1	内容408.2	内容408.3	内容408.4	内容408.5	内容408.6	内容408.7	内容408.8	内容408.9	内容408.10	内容408.11	内容408.12	内容408.13	内容408.14	内容408.15	内容408.16	内容408.17	内容408.18	内容408.19	内容408.20	内容408.21	内容408.22	内容408.23	内容408.24
Vol.1	行409	内容409.1	内容409.2	内容409.3	内容409.4	内容409.5	内容409.6	内容409.7	内容409.8	内容409.9	内容409.10	内容409.11	内容409.12	内容409.13	内容409.14	内容409.15	内容409.16	内容409.17	内容409.18	内容409.19	内容409.20	内容409.21	内容409.22	内容409.23	内容409.24
Vol.1	行410	内容410.1	内容410.2	内容410.3	内容410.4	内容410.5	内容410.6	内容410.7	内容410.8	内容410.9	内容410.10	内容410.11	内容410.12	内容410.13	内容410.14	内容410.15	内容410.16	内容410.17	内容410.18	内容410.19	内容410.20	内容410.21	内容410.22	内容410.23	内容410.24

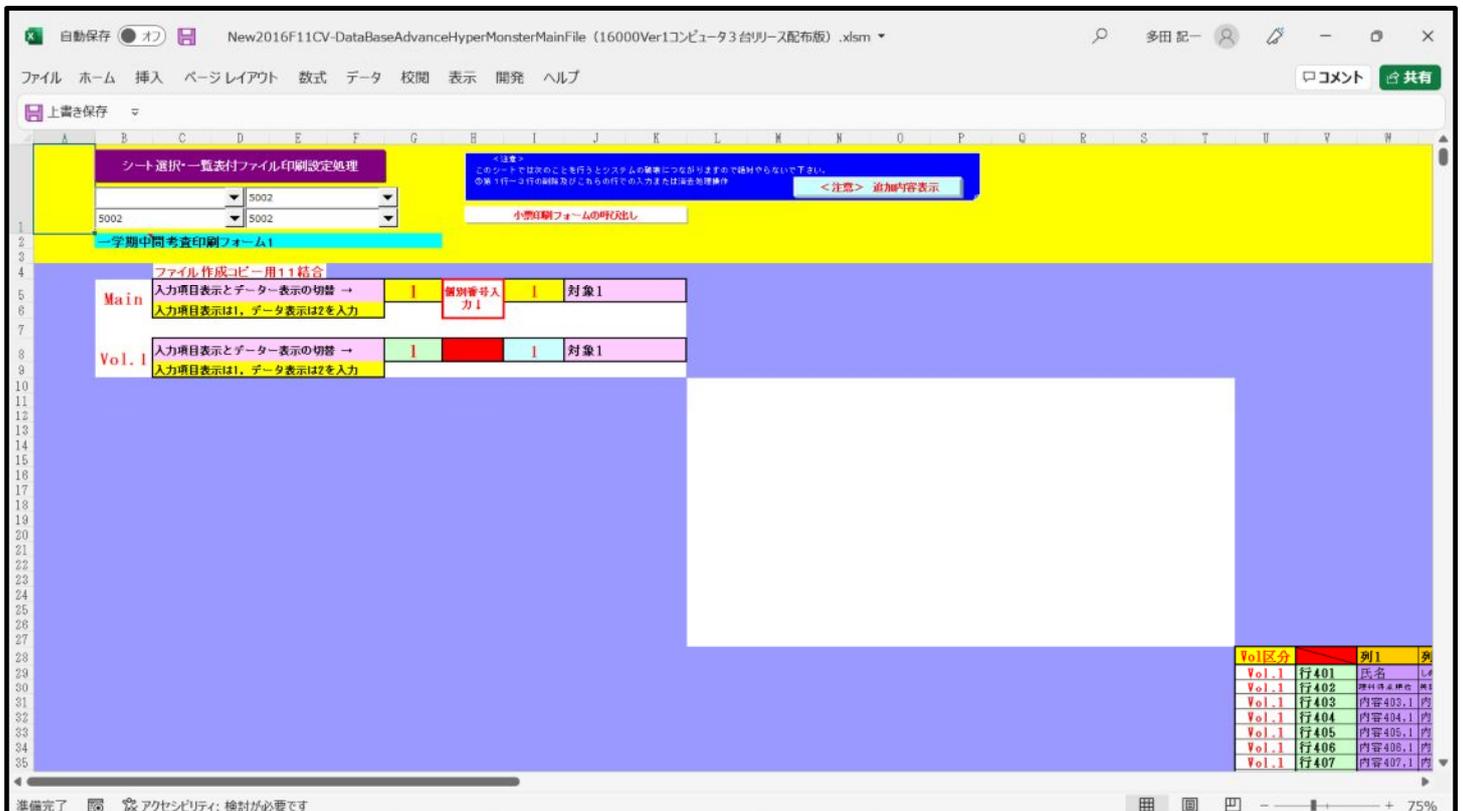
部分を切り取り、次の[図107]の画面の位置にとりあえず貼り付けておきます。

[図 1 0 7]



そして[図 1 0 7]の画面のにおいて、部分的に背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の[図 1 0 8]の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

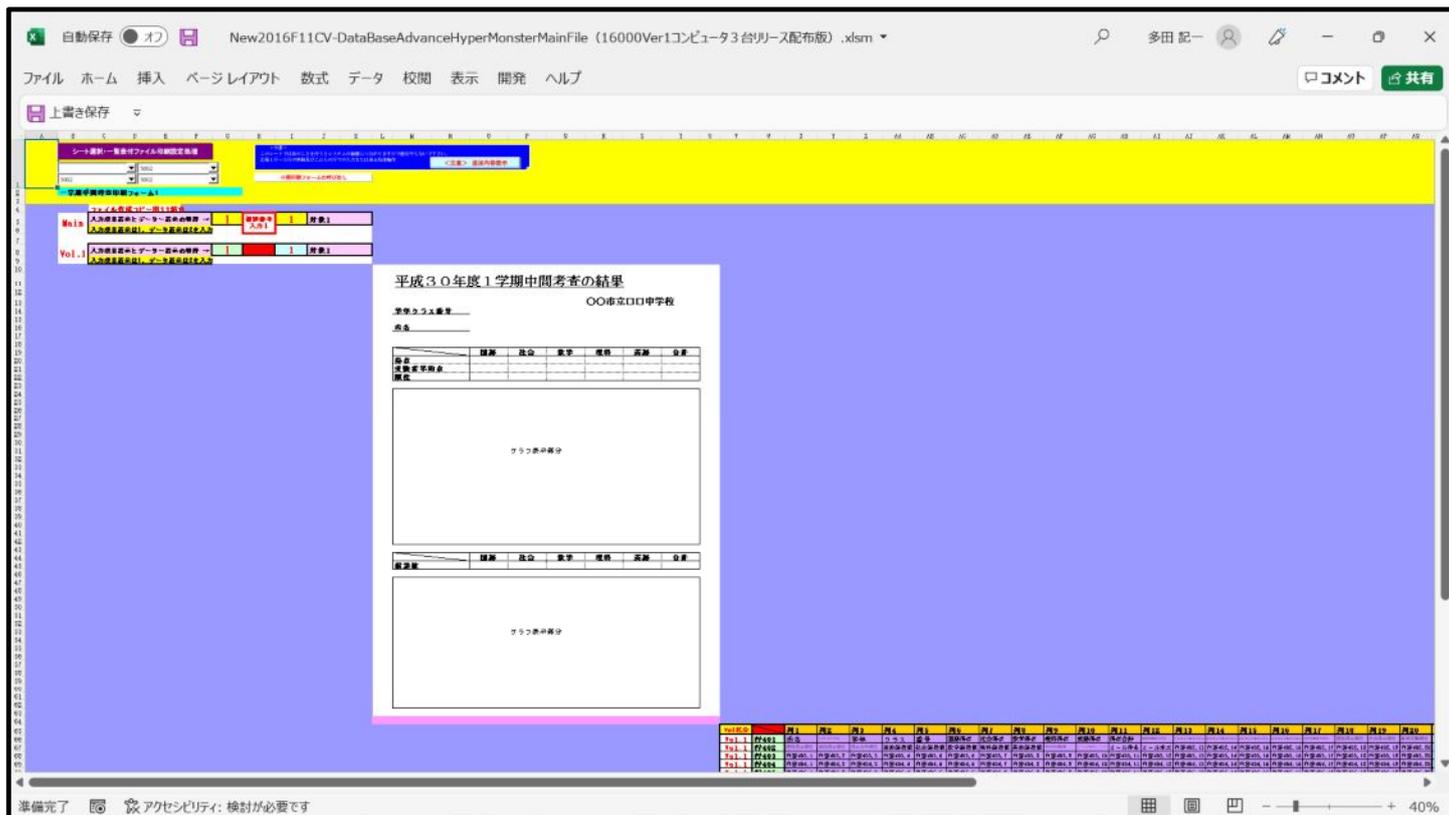
[図 1 0 8]



上の[図 1 0 8]の画面の背景色を色抜きにした部分に、どのような様式に設計していくのかそのアウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の[図 1 0 9]の画面」です。但し、

表示倍率を 40%としています。

[図 1 0 9]



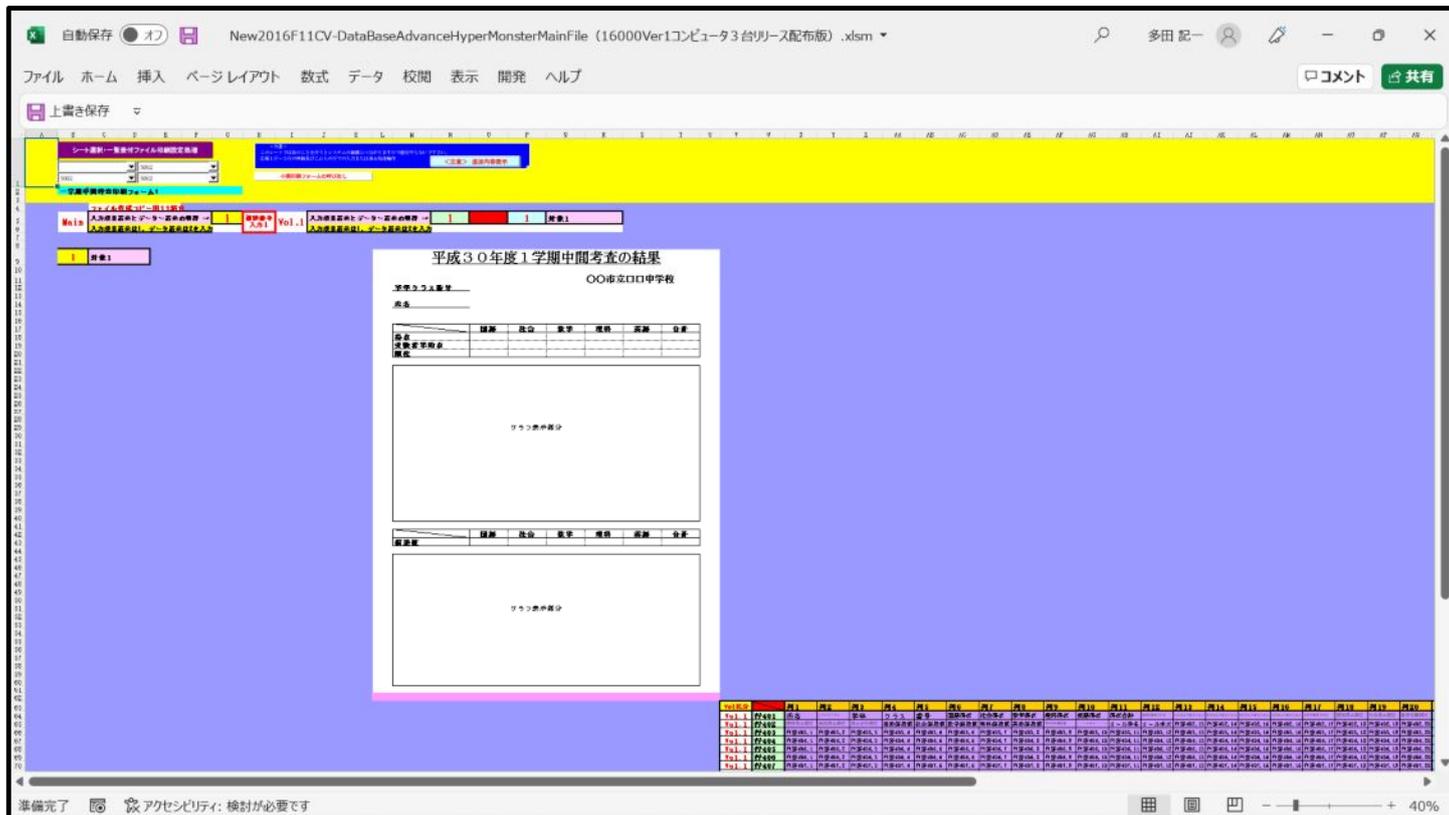
そして、上の[図 1 0 9]の画面の 1 対象1 部分および

Vol.1 入力項目表示とデーター表示の切替 → 1 1 対象1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

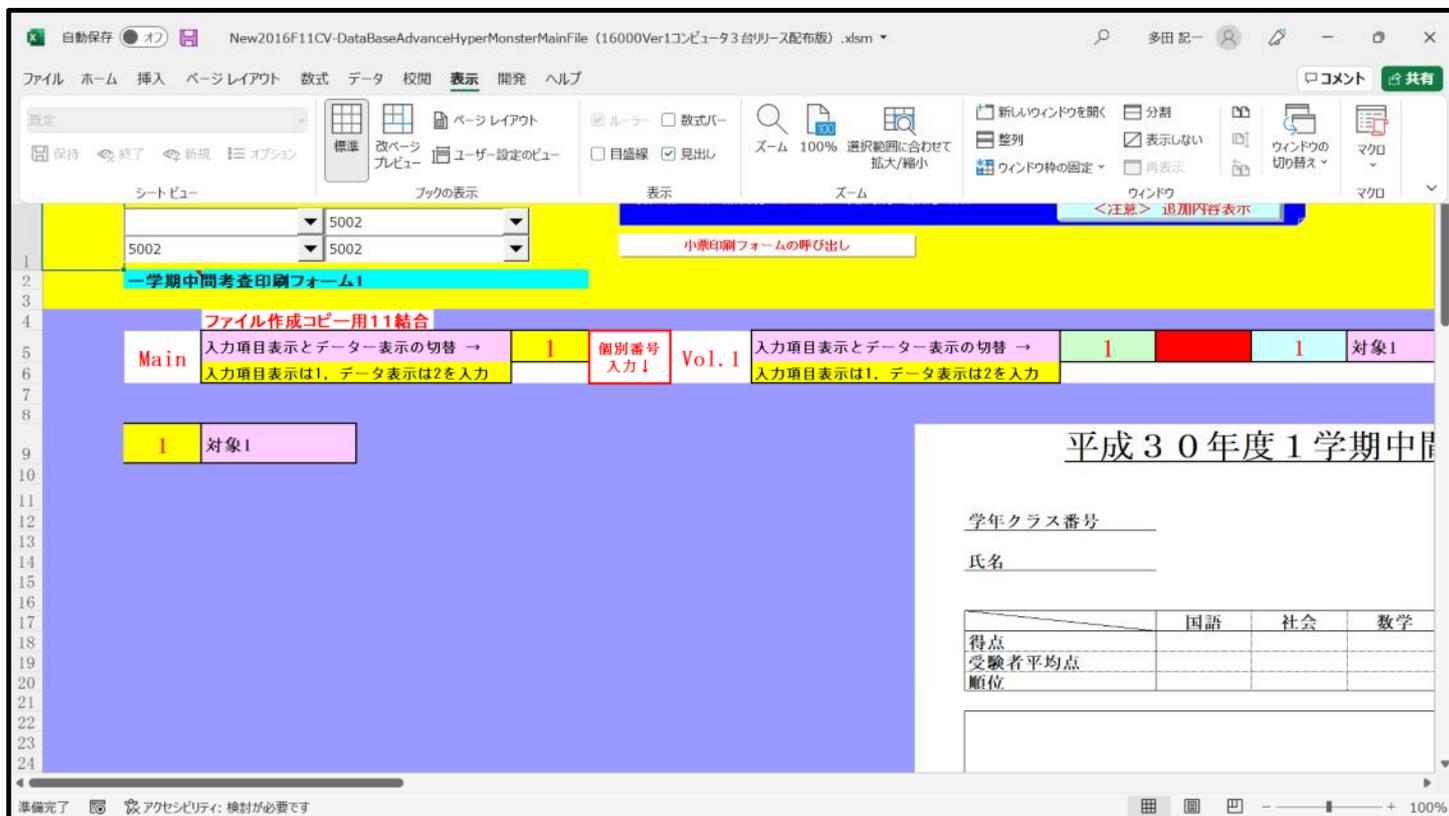
の部分を取り取って貼り付け、シートの行および列の削除も行い、次の[図 1 1 0]の画面のようにします。

【図 1 1 0】



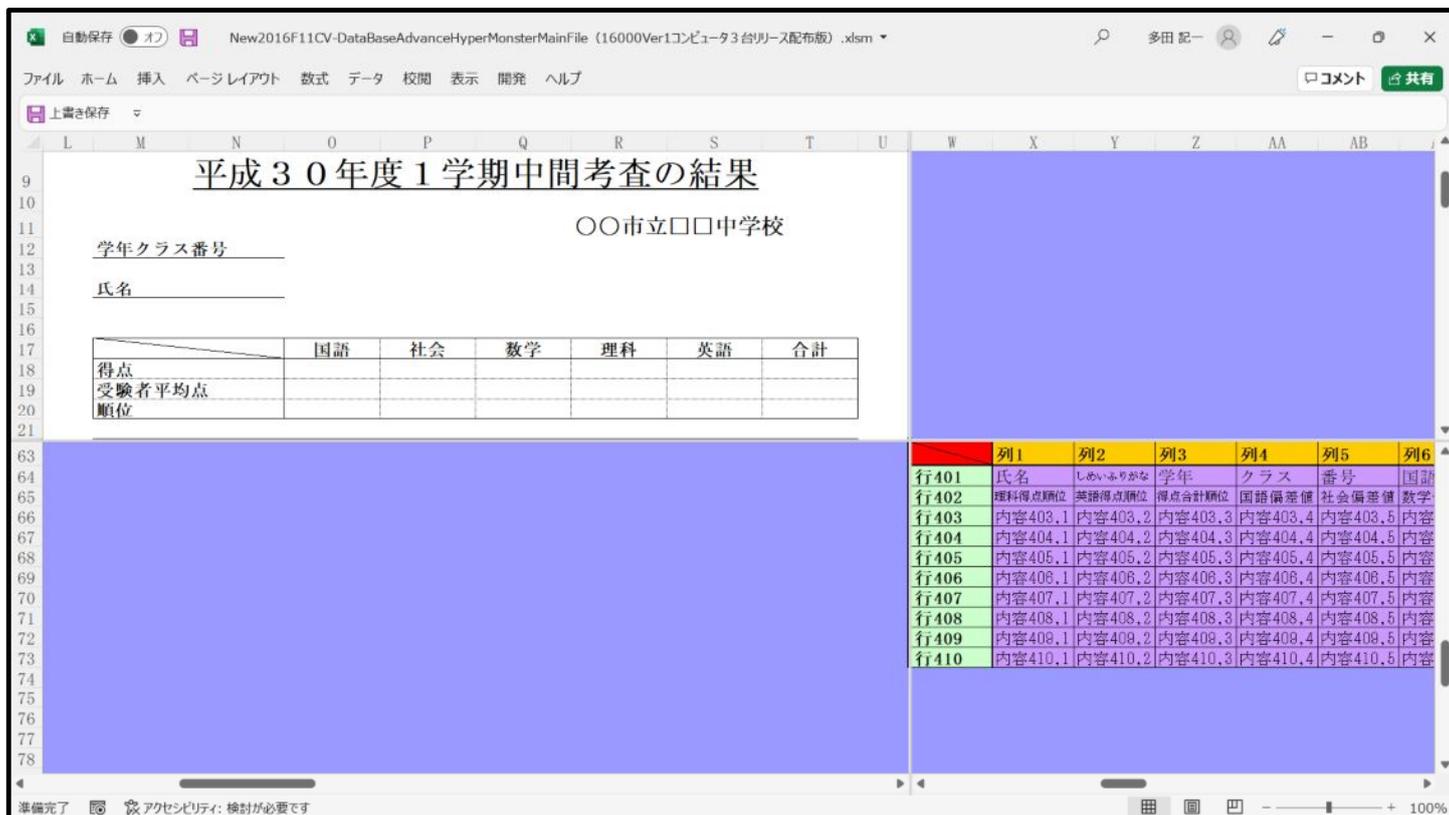
次に上の図 1 1 0]の画面の表示倍率を 100%上げたのが次の[図 1 1 1]の画面です。

【図 1 1 1】



上の[図 1 1 1]の画面で画面分割をおこない、次の[図 1 1 2]の画面のように設定します。

【図 1 1 2】



上の【図 1 1 2】の画面の左上の画面の学年クラス番号と表示されているセルを選択し、=を入力し

右下の画面のセル学年を選択して&と入力し、右下の画面のセルクラスを選択して
&と入力し、更に右下の画面のセル番号を選択して&と入力して Enter キーを押します。

つまり、左上の画面の学年クラス番号と表示されているセルには式

「=Z65&AA65&AB65」

が入力されて学年クラス番号表示されます。そして、と表示されている

セルを選択し、=を入力し右下の画面のセル氏名を選択して Enter キーを押します。つまり

氏名と表示されているセルには式「=X65」が入力されて氏名

と

表示されます。

次に左上の国語の得点を表示するセルを選択し、=を入力したら右下の画面を右にスクロールさせてセル

国語得点を選択します。つまり、左上の画面の国語の得点を表示するセルには式「=AC65」が入力され、

セルは国語得点と表示されます。以下社会、数学、理科、英語、得点合計を表すセルについても同様な

操作を行っていきます。また、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の受験者平均点および国語、

社会、数学、理科、英語、得点合計の順位を表す各セルについても同様な操作で式を入力していきます。

上のこれらのセルの式の入力が済んだら、分割画面を上下左右にスクロールさせて次の【図 1 1 3】の画面

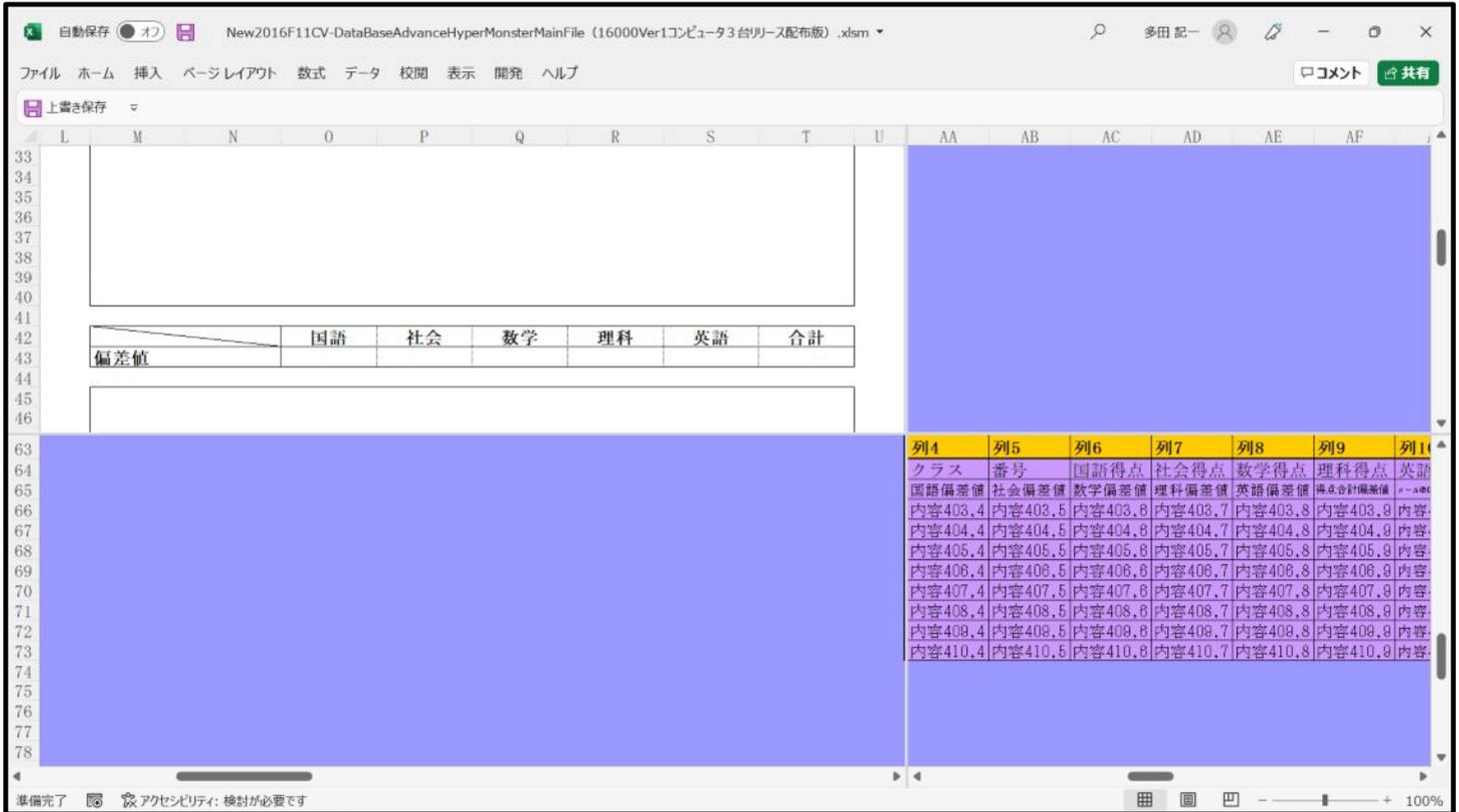
のように設定して、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の偏差値を表すセルに同様に式を入力

していきます。これらの式の入力が済んだ後画面分割を解除し表示倍率を 50%で表示したのがその次の

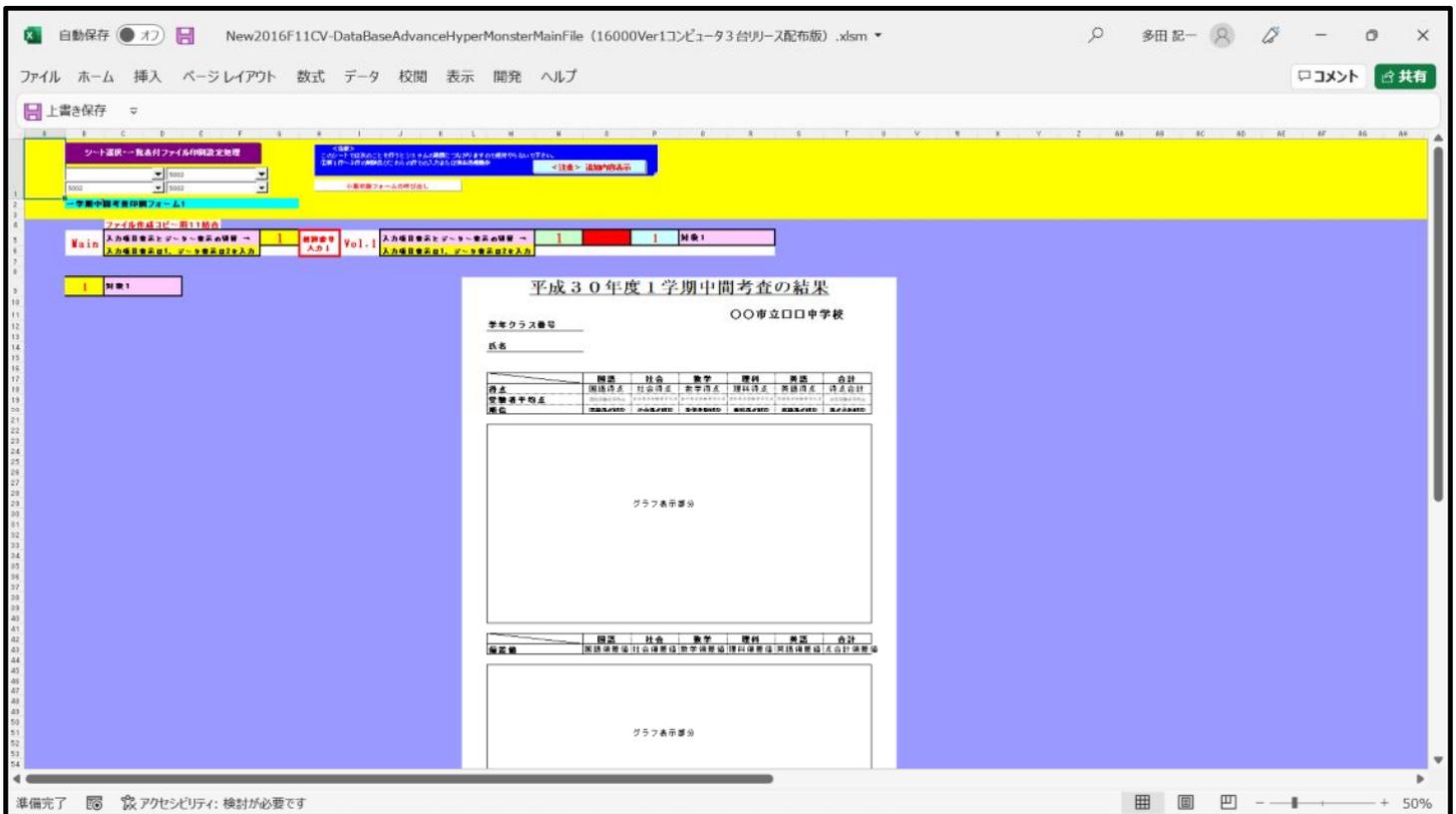
【図 1 1 4】の画面です。但し、表示内容がわかるように、式を入力した各セルは縮小して全体を表示する

ように設定してあります。

【図 1 1 3】



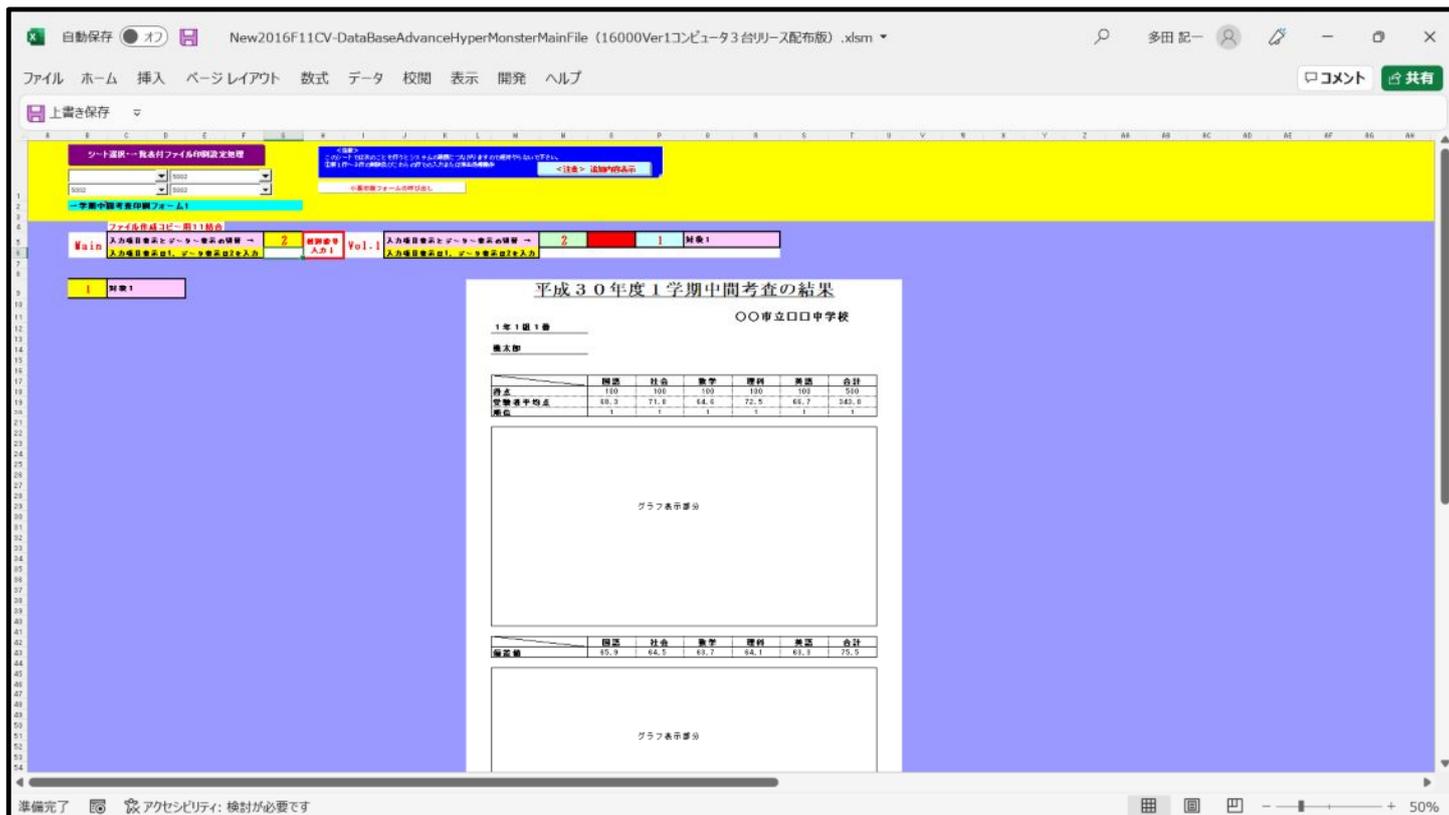
【図 1 1 4】



なお、上の【図 1 1 4】の画面のセル **1** の値を **2** と入力すると、データファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 1 行目が表示されて、次の【図 1 1 5】の画面のよう

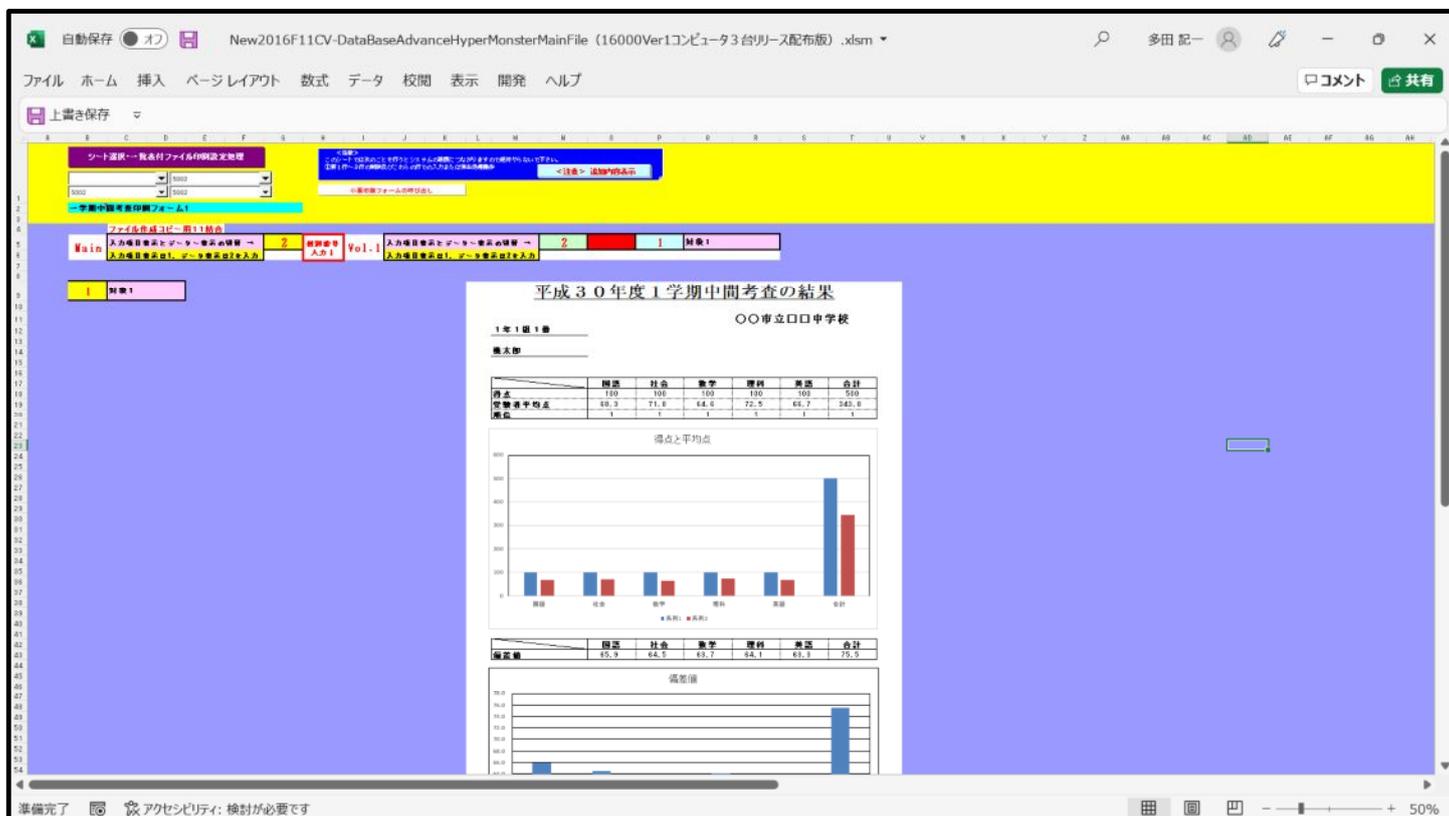
になります。但し表示倍率は50%です。

【図 1 1 5】



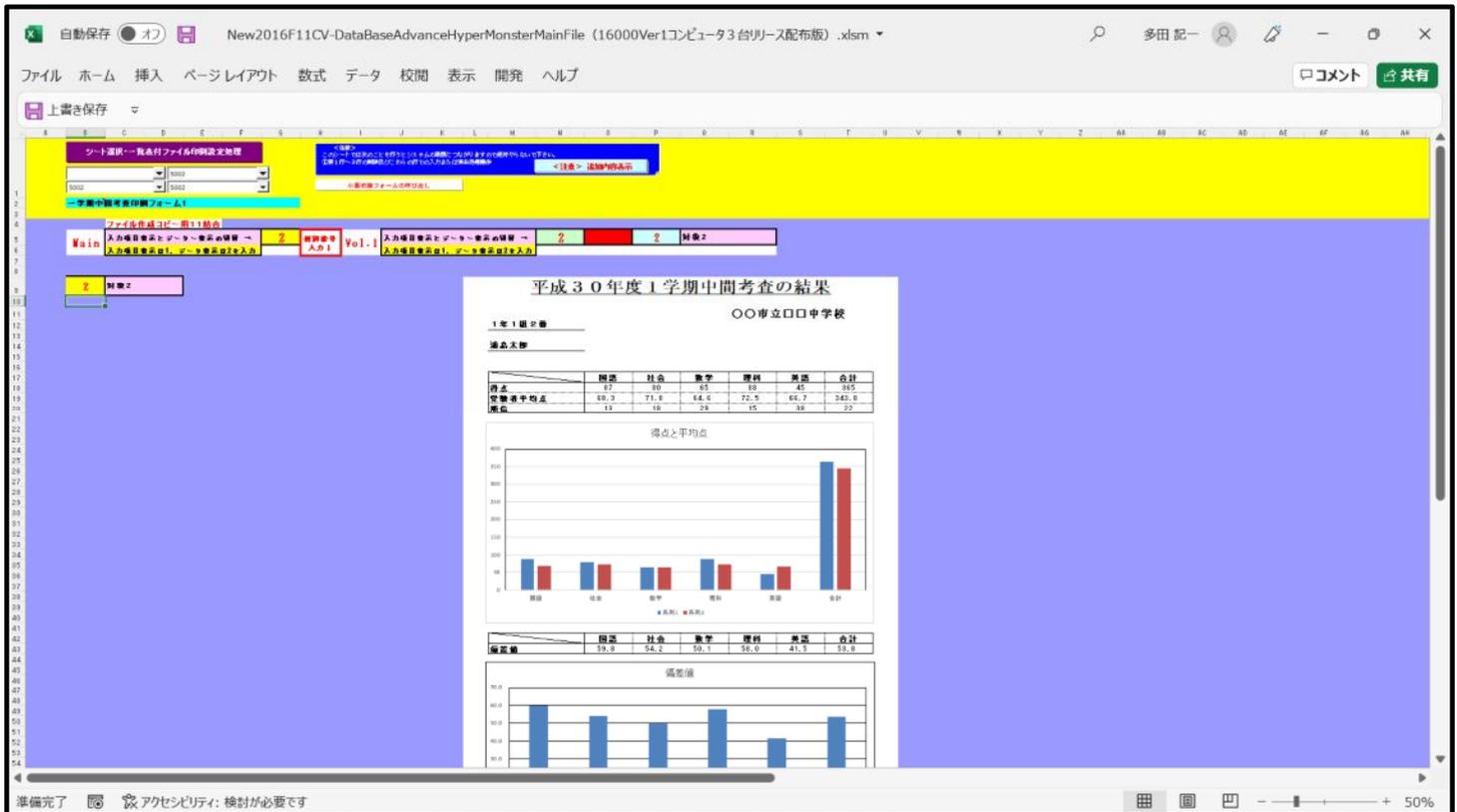
上の【図 1 1 5】の画面に対してグラフを作成して表示したのが次の【図 1 1 6】の画面です。

【図 1 1 6】



また、上の[図 1 1 6]の画面でセル **1** の値を **2** にしたままで、
1 対象1 の部分で左側のセル **1** の値を **2** に変更すると
 データーファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 2 行目が表示されて、次の[図 1 1 7]の画面のよう
 になります。

[図 1 1 7]



- ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計:

ここでは、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

高校入試通知書等作成データーは、データーファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」において作成しました。

また、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの 2 つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」を加工して、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

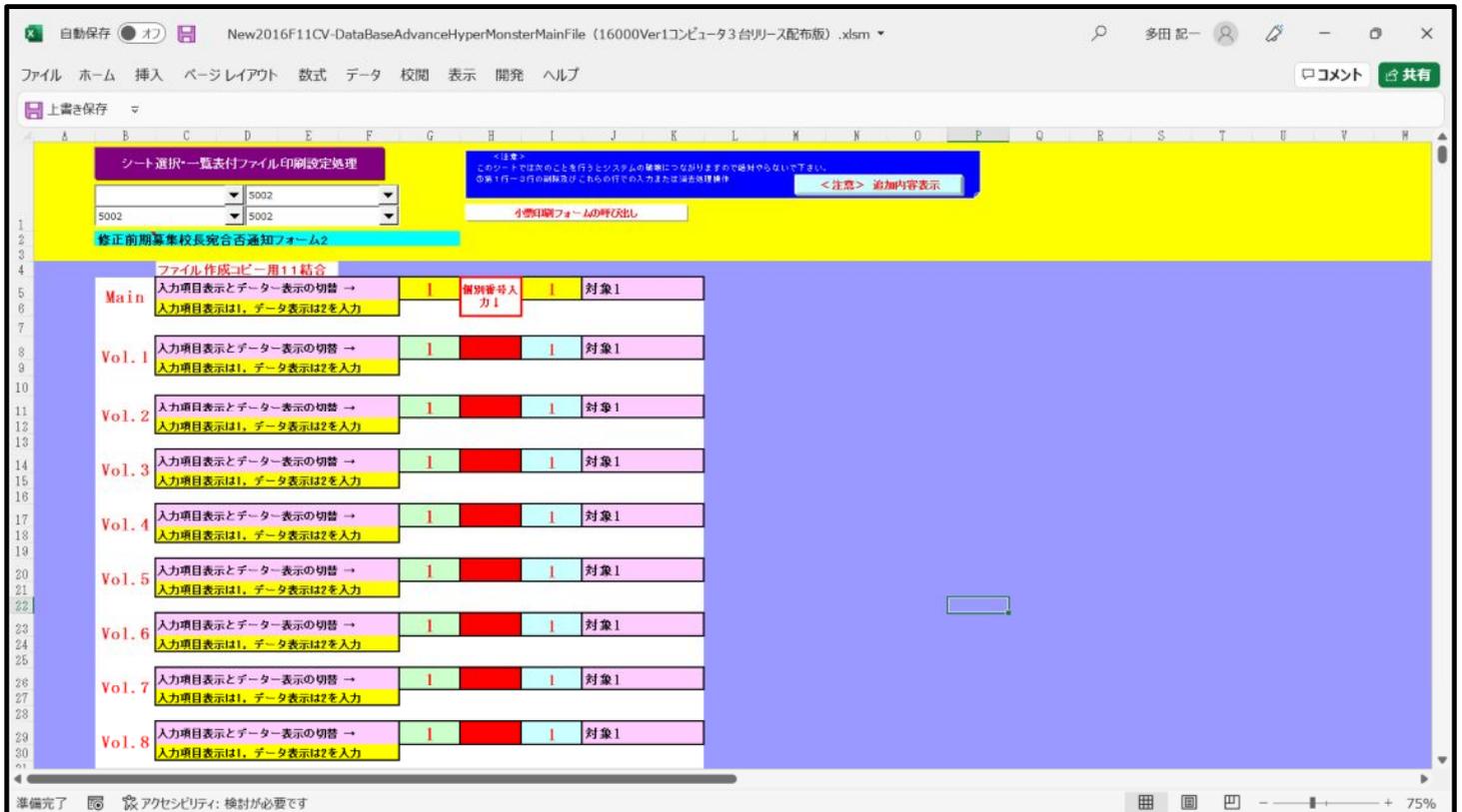
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「ファイル作成コピー用 1 1 結合」を印刷フォームシート

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2」へ複写した印刷フォームシート

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2」の状況は次の[図 1 1 8]の画面のようになっています。

[図 1 1 8]

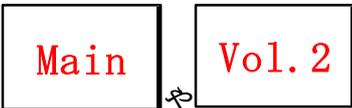


上の[図 1 1 8]の画面である程度のシートの全体の様子が見えるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 1 9]の画面です。

[図 1 1 9]



ここで、上の[図 1 1 7]の画面で印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に関係のない部分つまりデータファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslm のシート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表示に関係のない部分をシートの保護を解除して全て削除していきます。

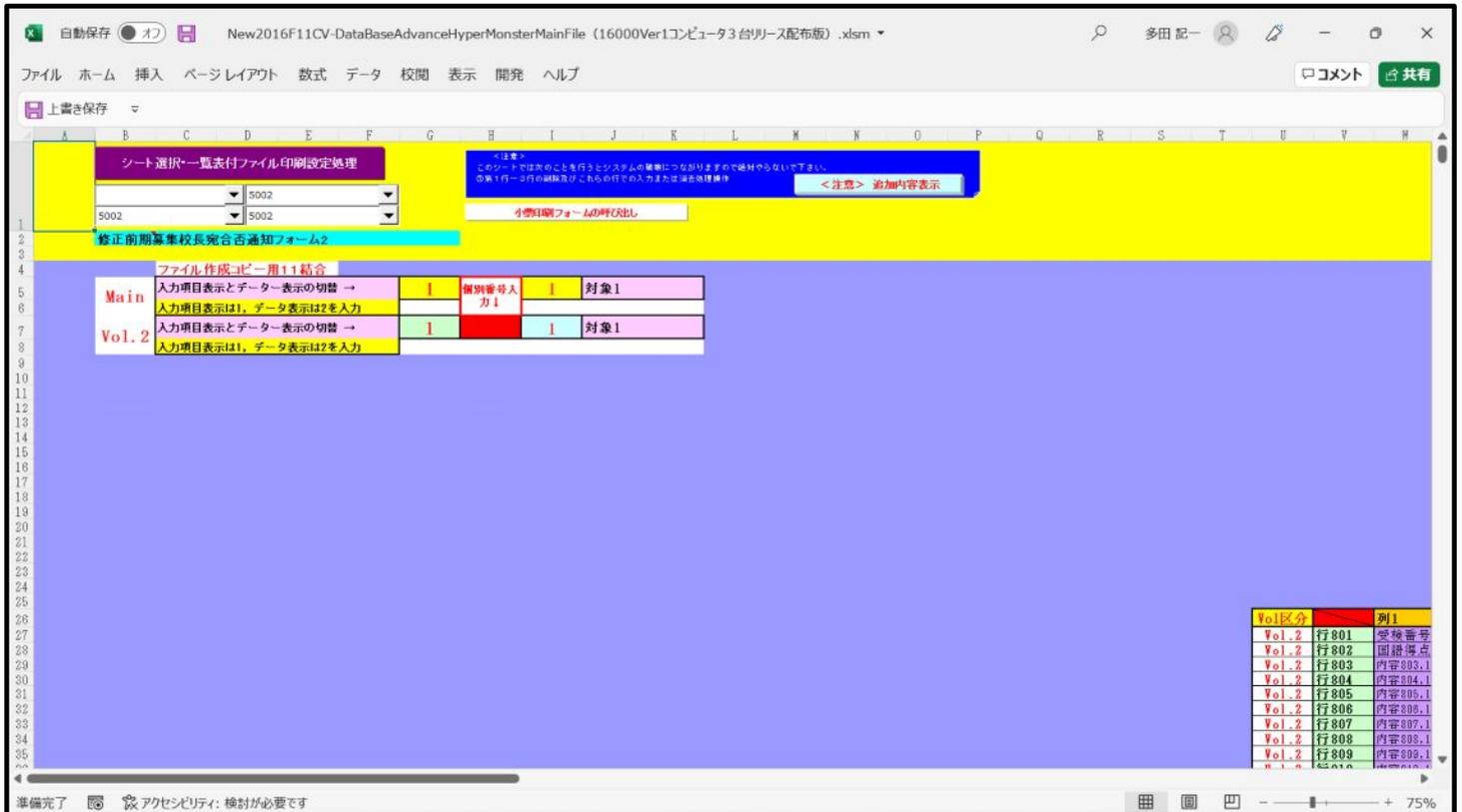


具体的には、**Main** や **Vol. 2** が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロールしながら **Vol. 2** と表示されていない行および **Vol. 2** と表示されていても

Vol. 2	行801	受験番号	受験生氏名	受験生ふりがな	受験生性別	受験生中学コード	受験生出身中学校	受験生市町村	*****	受験生字科等1	受験生字科等2	*****	合否等	内定結果	受験生郵便番号	受験生中学校住所	*****	メール件名	メール本文	内容801_19	内容801_20
Vol. 2	行802	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容802_7	内容802_8	内容802_9	内容802_10	内容802_11	内容802_12	内容802_13	内容802_14	内容802_15	内容802_16	内容802_17	内容802_18	内容802_19	内容802_20
Vol. 2	行803	内容803_1	内容803_2	内容803_3	内容803_4	内容803_5	内容803_6	内容803_7	内容803_8	内容803_9	内容803_10	内容803_11	内容803_12	内容803_13	内容803_14	内容803_15	内容803_16	内容803_17	内容803_18	内容803_19	内容803_20
Vol. 2	行804	内容804_1	内容804_2	内容804_3	内容804_4	内容804_5	内容804_6	内容804_7	内容804_8	内容804_9	内容804_10	内容804_11	内容804_12	内容804_13	内容804_14	内容804_15	内容804_16	内容804_17	内容804_18	内容804_19	内容804_20
Vol. 2	行805	内容805_1	内容805_2	内容805_3	内容805_4	内容805_5	内容805_6	内容805_7	内容805_8	内容805_9	内容805_10	内容805_11	内容805_12	内容805_13	内容805_14	内容805_15	内容805_16	内容805_17	内容805_18	内容805_19	内容805_20
Vol. 2	行806	内容806_1	内容806_2	内容806_3	内容806_4	内容806_5	内容806_6	内容806_7	内容806_8	内容806_9	内容806_10	内容806_11	内容806_12	内容806_13	内容806_14	内容806_15	内容806_16	内容806_17	内容806_18	内容806_19	内容806_20
Vol. 2	行807	内容807_1	内容807_2	内容807_3	内容807_4	内容807_5	内容807_6	内容807_7	内容807_8	内容807_9	内容807_10	内容807_11	内容807_12	内容807_13	内容807_14	内容807_15	内容807_16	内容807_17	内容807_18	内容807_19	内容807_20
Vol. 2	行808	内容808_1	内容808_2	内容808_3	内容808_4	内容808_5	内容808_6	内容808_7	内容808_8	内容808_9	内容808_10	内容808_11	内容808_12	内容808_13	内容808_14	内容808_15	内容808_16	内容808_17	内容808_18	内容808_19	内容808_20
Vol. 2	行809	内容809_1	内容809_2	内容809_3	内容809_4	内容809_5	内容809_6	内容809_7	内容809_8	内容809_9	内容809_10	内容809_11	内容809_12	内容809_13	内容809_14	内容809_15	内容809_16	内容809_17	内容809_18	内容809_19	内容809_20
Vol. 2	行810	内容810_1	内容810_2	内容810_3	内容810_4	内容810_5	内容810_6	内容810_7	内容810_8	内容810_9	内容810_10	内容810_11	内容810_12	内容810_13	内容810_14	内容810_15	内容810_16	内容810_17	内容810_18	内容810_19	内容810_20

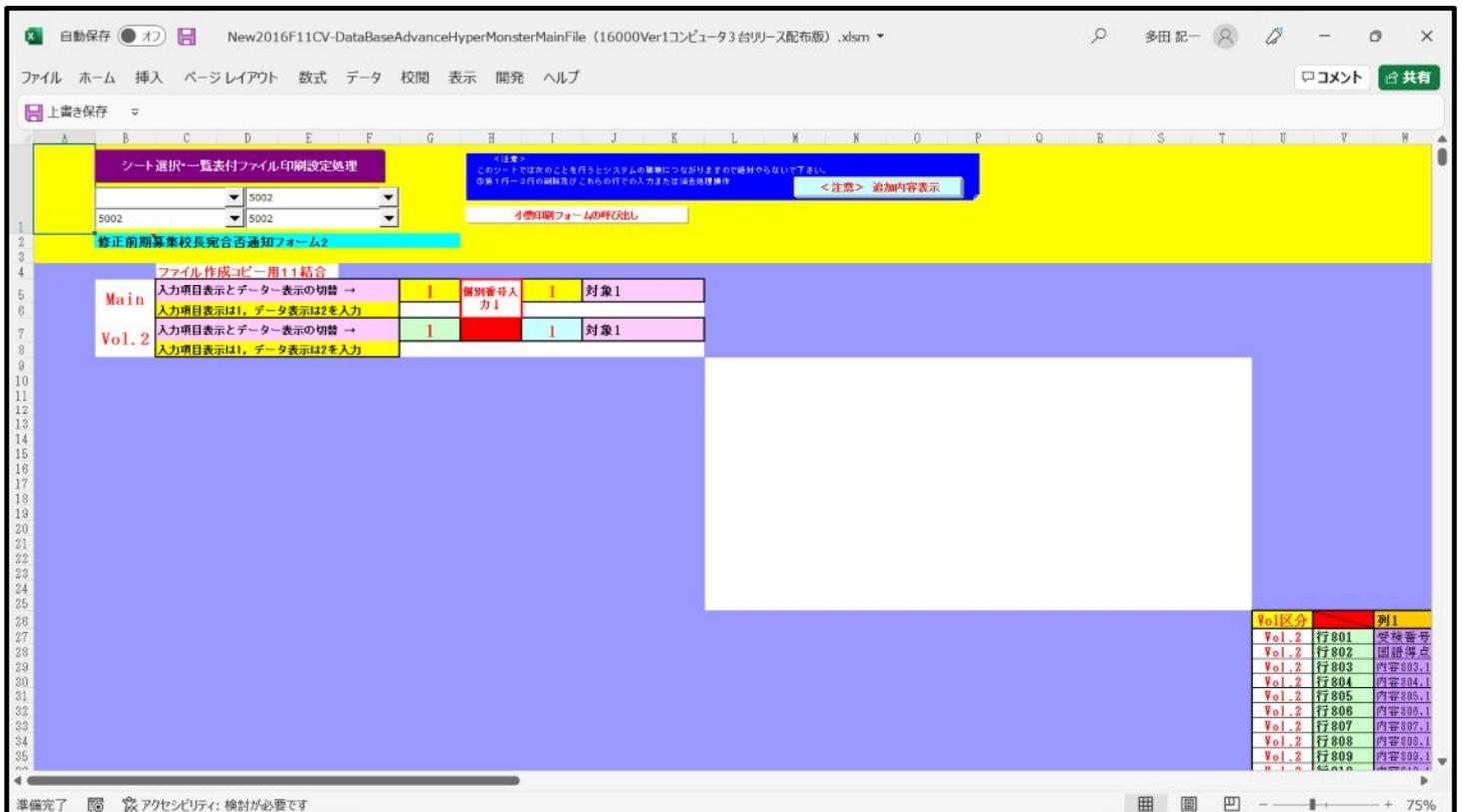
と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図 1 2 0]の画面のようになります。

[図 1 2 1]



そして上の[図 1 2 1]の画面において、部分的にセル範囲の背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の[図 1 2 2]の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

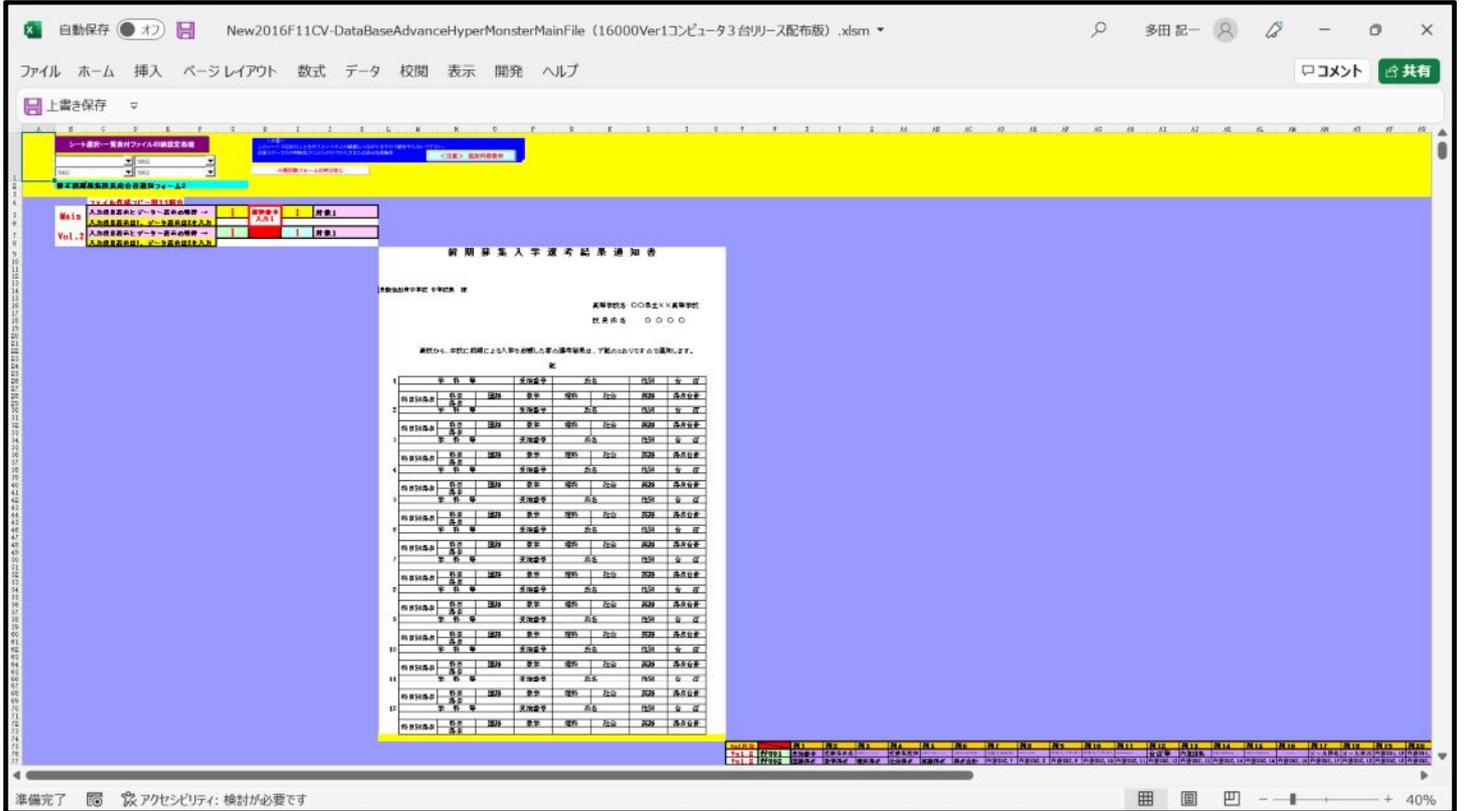
[図 1 2 2]



上の[図 1 2 2]の画面の背景色を色抜きにしたセル範囲の部分の行列を増減して、どのような様式に設計していくのかそのアウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の[図 1 2 3]の画面

です。但し、表示倍率を 40%としています。

[図 1 2 3]



そして、

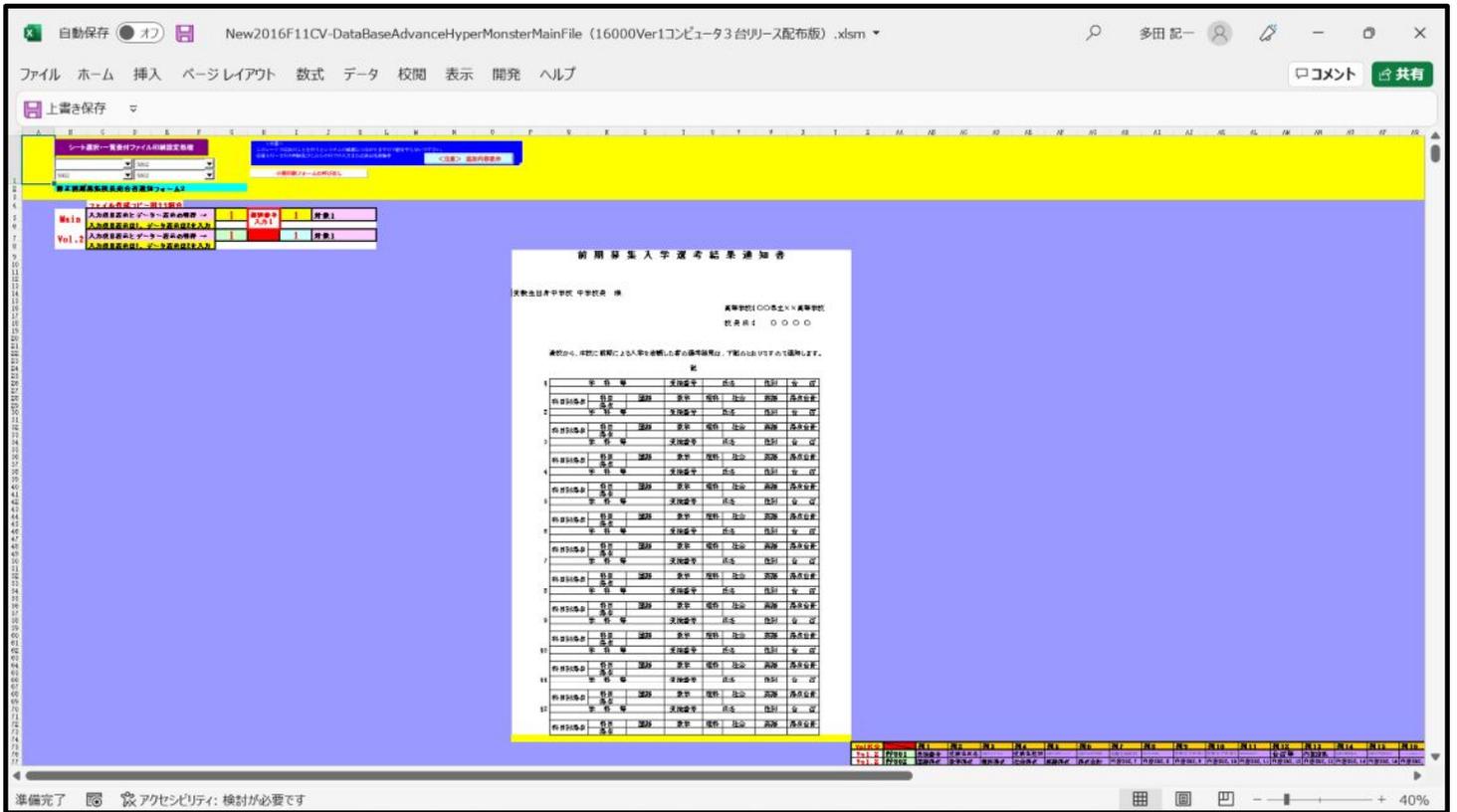
1	対象1
---	-----

部分および

Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1		1	対象1			
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力							

の部分を取り取って貼り付けるため、上の[図 1 2 3]の画面のシートの H9 から K85 のセル範囲を選択し、列を 4 列挿入し右方向にシフトさせ、次の[図 1 2 4]の画面のようにします。

[図 1 2 4]



そして、

1	対象1
---	-----

部分および

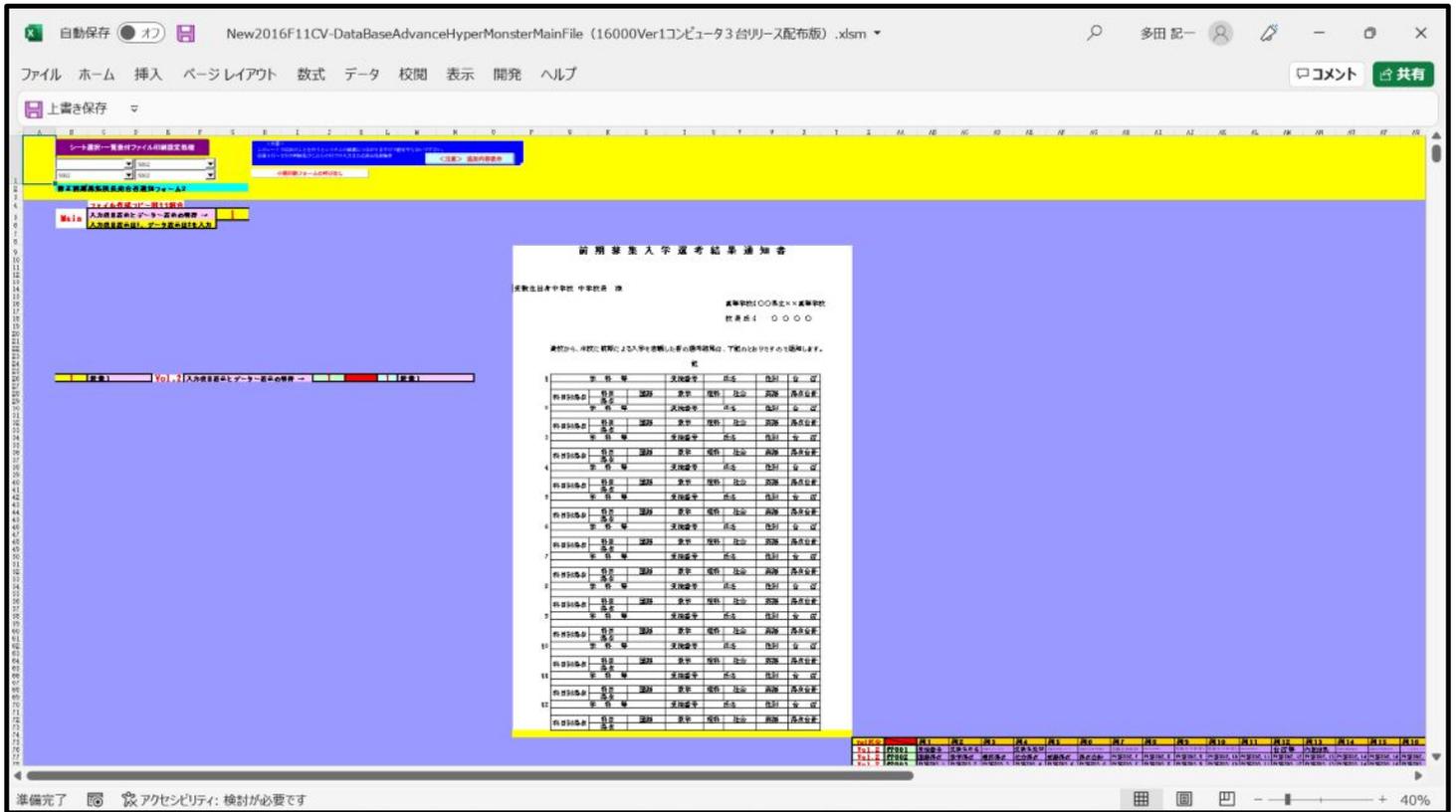
Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1		1	対象1
	入力項目表示は1、データ表示は2を入力				

の部分を切り取って、次の[図 1 2 5]の画面のように B26 から N26 までのそれぞれの位置に貼り付けま

Vol. 2

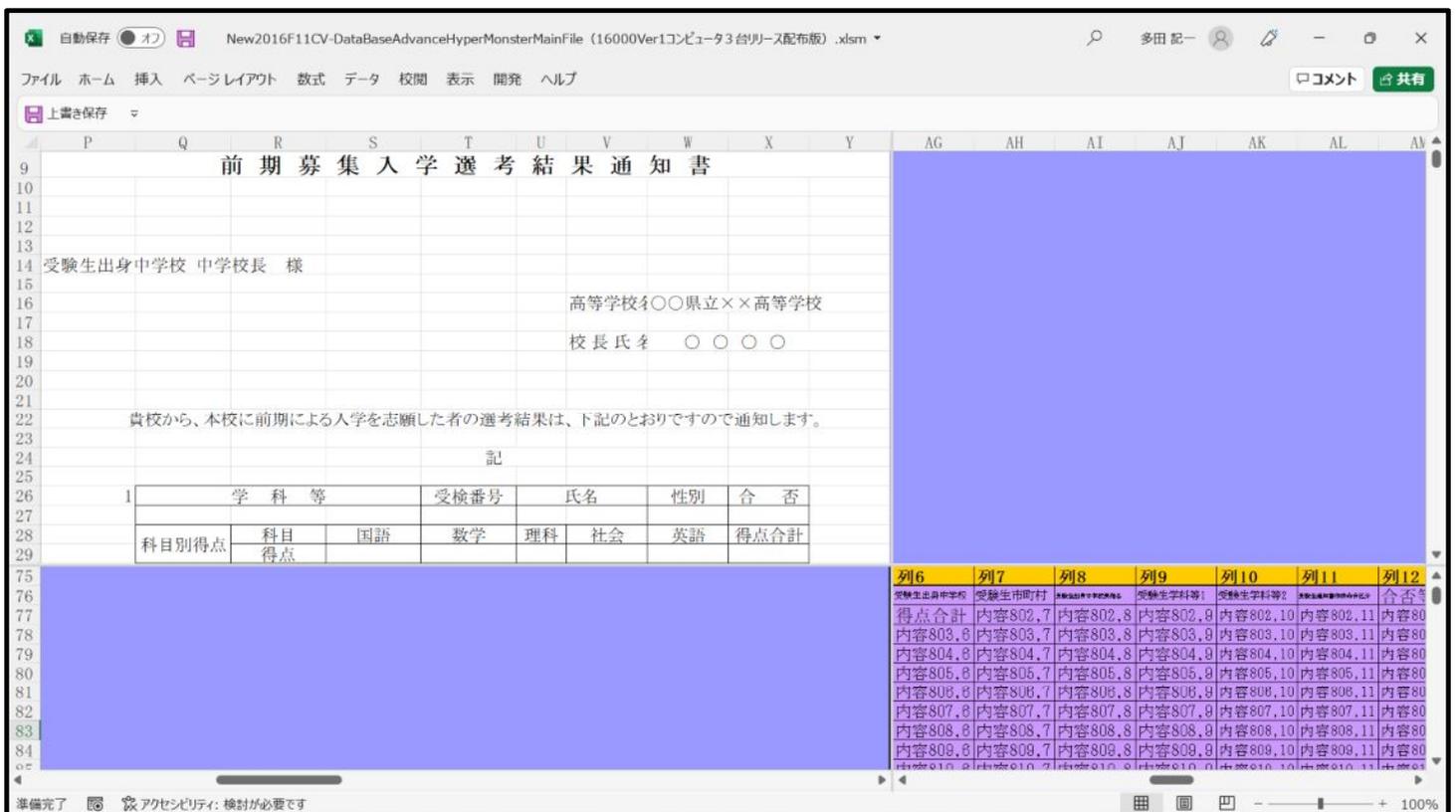
す。但し、Vol. 2と表示されているセルは、セルが結合されているので、結合を解除する必要があります。また、必要に応じて不要なセル等を削除をし行高も変更しています。

【図 1 2 5】



上の【図 1 2 5】の画面の表示倍率を 100%に上げてで画面分割をおこない、次の【図 1 2 6】の画面のように設定します。

【図 1 2 6】



それではこれから具体的な編集作業をおこなってまいります。

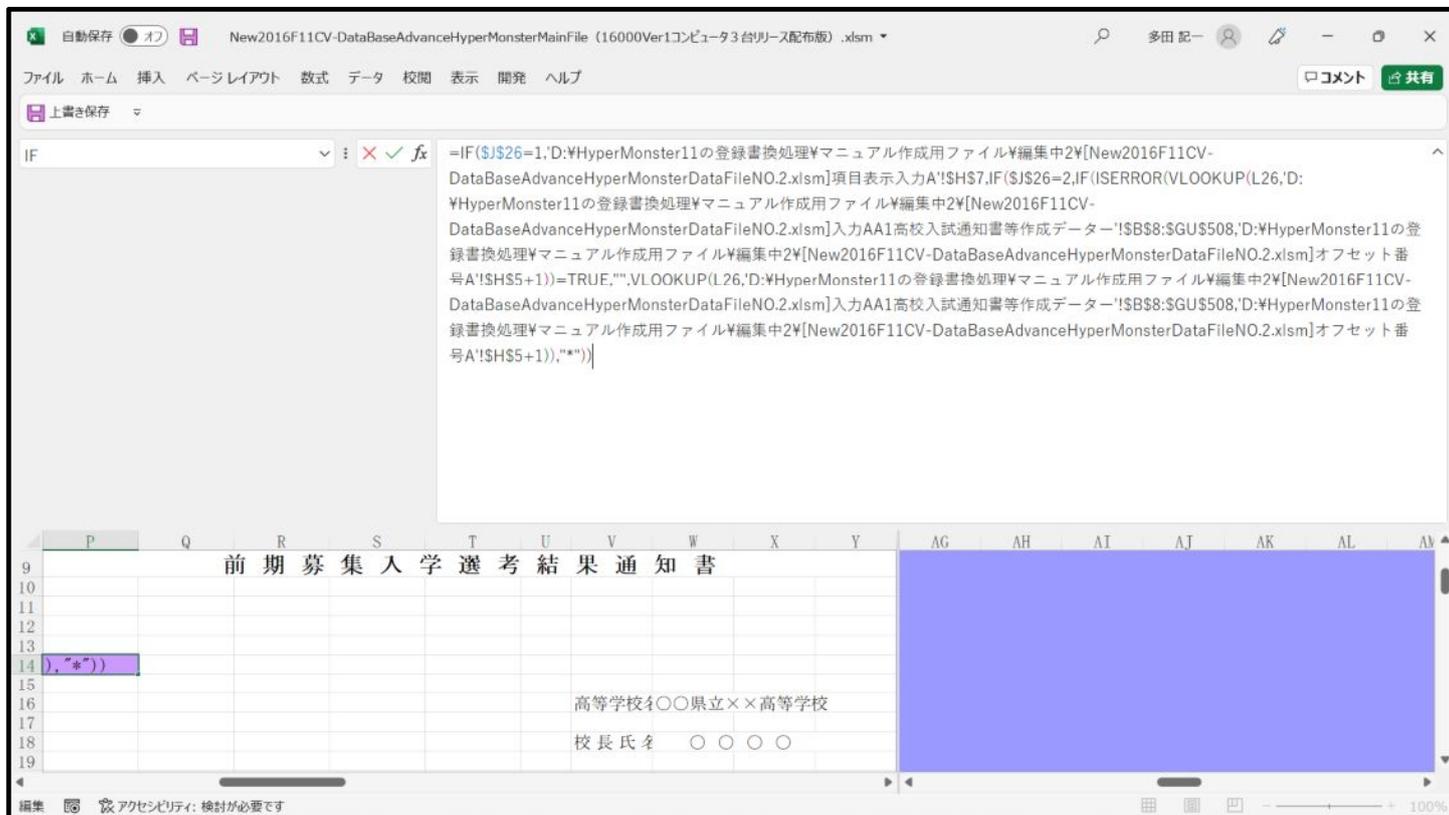
まず、上の【図 1 2 6】の画面の右下の「受験生出身中学校」と表示されているセルを切り取り右上の

受験生出身中学校 中学校長 様

と表示されている最も左側のセルに貼り付けます。貼り付け

たら **表示** をクリックし **数式バー** とチェックを入れ、貼り付けたセルを選択し数式バーの内容全体を表示させ次の[図 1 2 7]の画面のように設定します。

【図 1 2 7】



そしたら上の[図 1 2 7]の画面の数式の表示部分

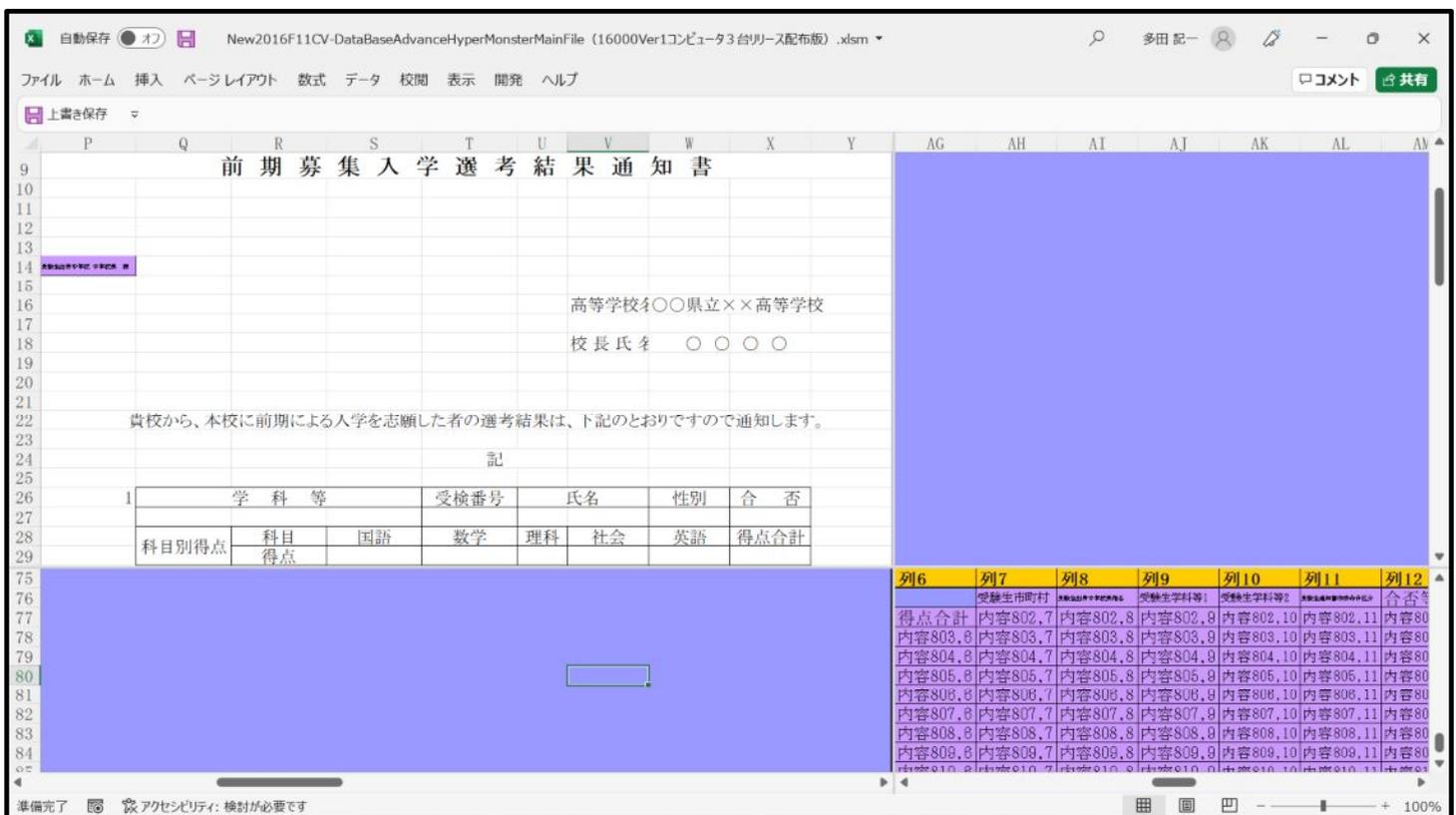
```
=IF($J$26=1,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx]項目表示入力A!$H$7,IF($J$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx]オフセット番号A!$H$5+1))=TRUE, "",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx]入力AA1高校入試通知書等作成データー!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx]オフセット番号A!$H$5+1)), "*" )|
```

の最後の部分に「& 中学校長 様」と付け加えます。つまり、数式の全体は、

```
=IF($J$26=1,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]項目表示入力A!$H$7,IF($J$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1))=TRUE,"",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!$B$8:$GU$508,'D:¥HyperMonster11の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥編集集中2¥[New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A!$H$5+1)),)*")&" 中学校長 様"
```

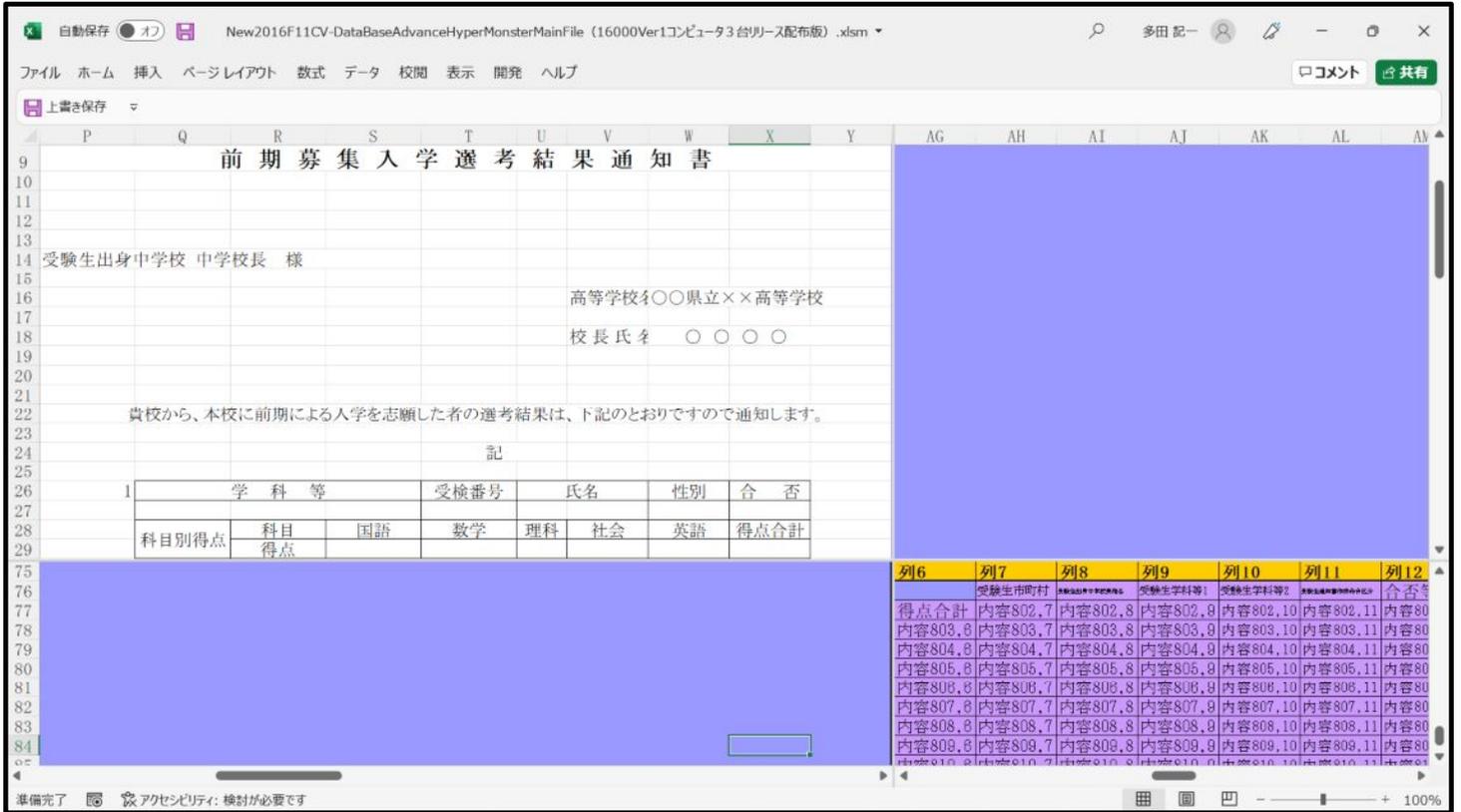
のようになります。そして、**Enter** キーを押して数式のチェックを外して 数式バー とすると上の [図 1 2 6] の画面は次の [図 1 2 8] の画面のようになります。

[図 1 2 8]



そして、上の [図 1 2 8] の画面の 4 個のセル を選択してセルを結合しセルの背景色を抜くと次の [図 1 2 9] の画面のようになります。

[図 1 2 9]

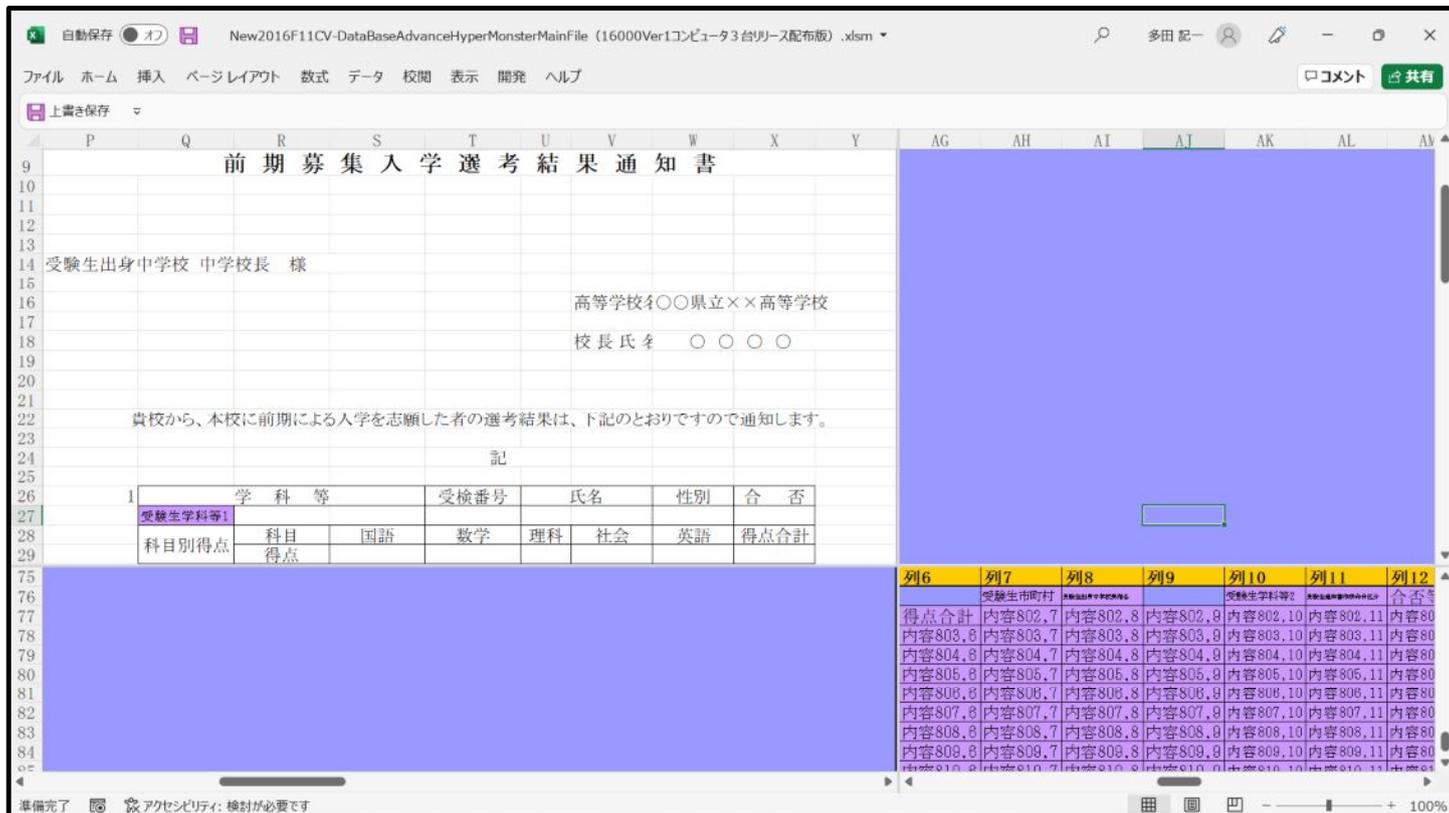


編集を続けます。上の[図 1 2 9]の画面の右下の「受験生学科等1」と表示されているセルを切り取り、左上の

学 科 等

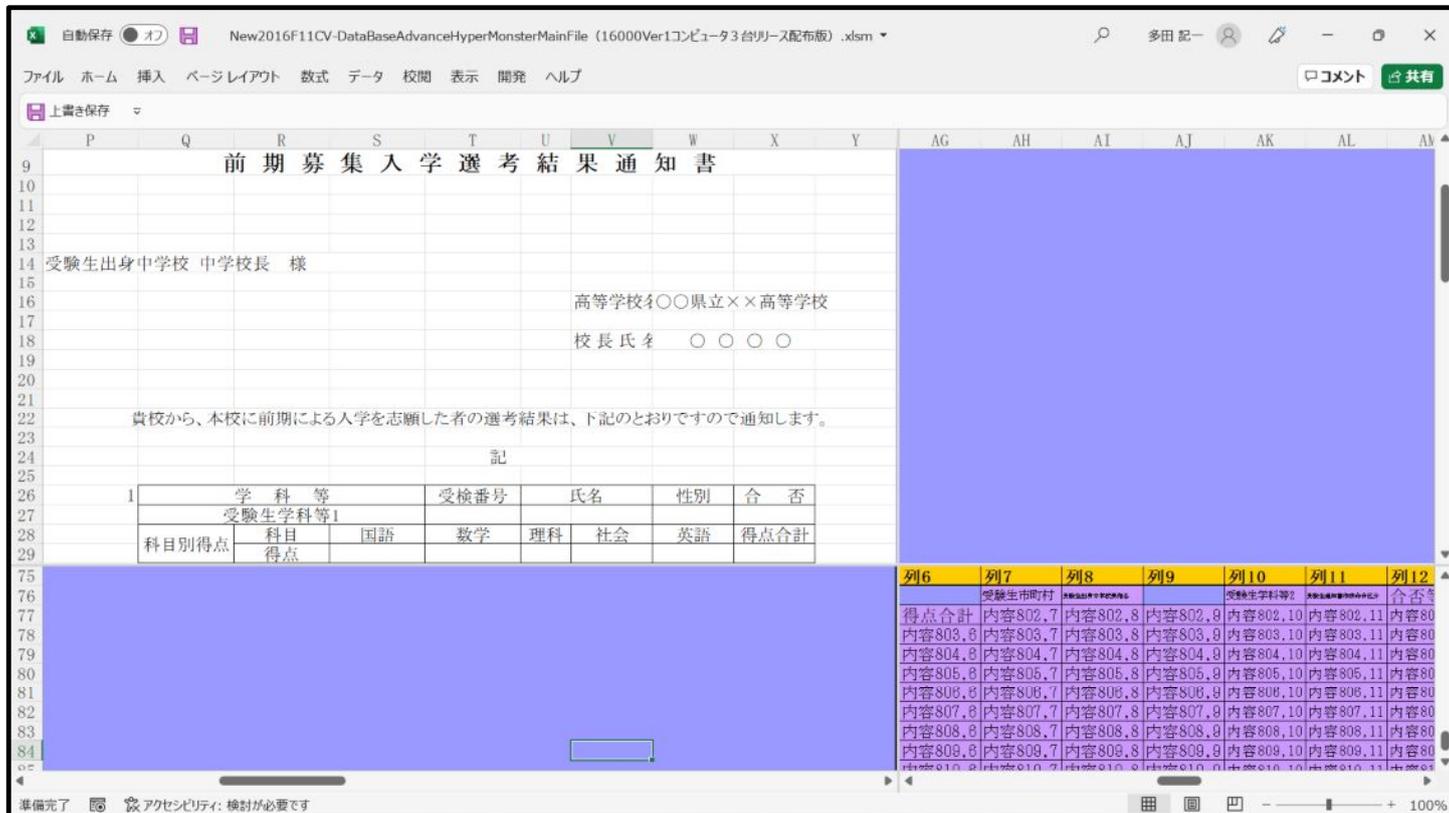
と表示されている下側の3個の空白のセルのうち最も左側のセルに貼り付けます。その結果次の[図 1 3 0]の画面のようになります。

【図130】



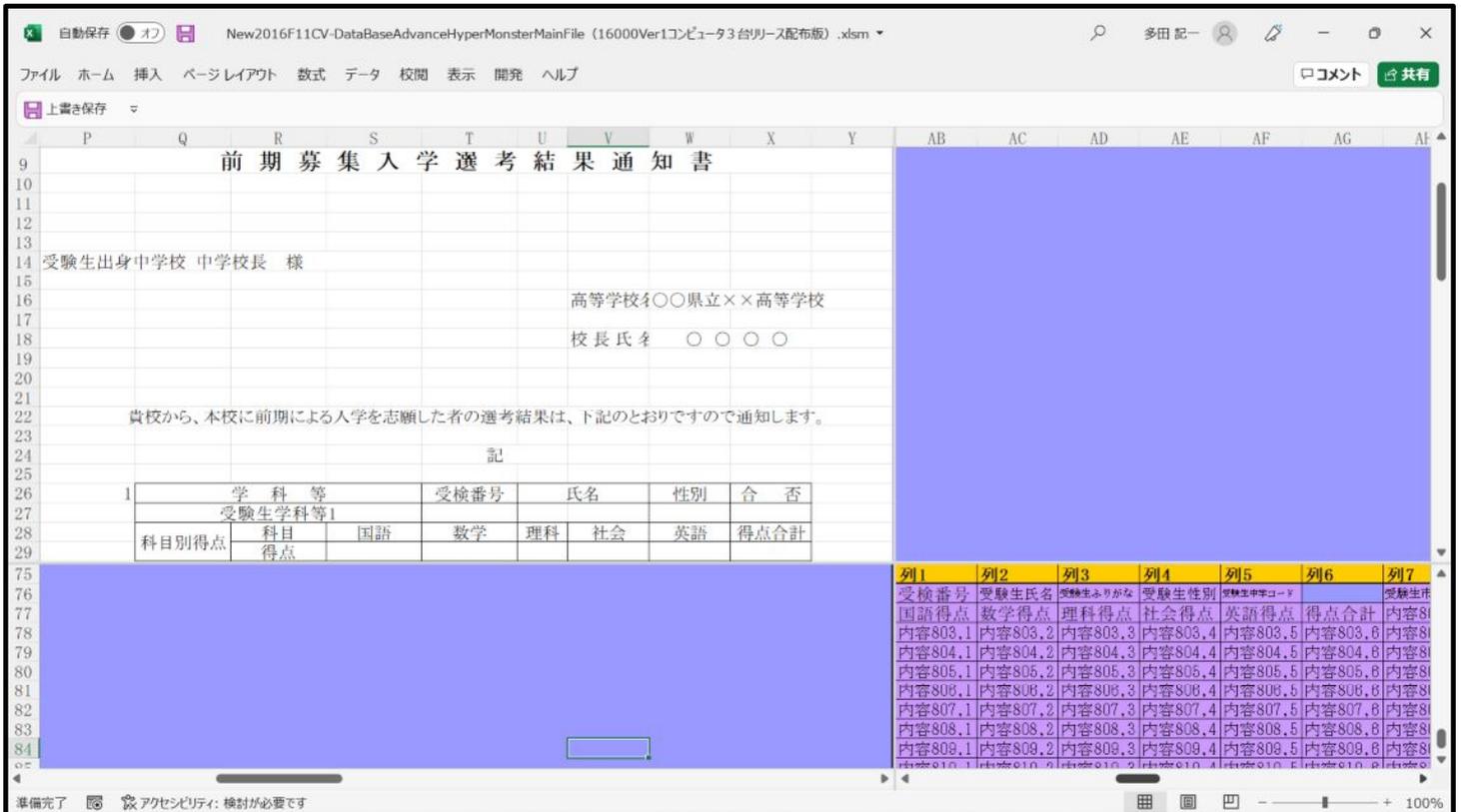
そして、上の【図130】の画面の「受験生学科等1」と表示されている3個のセルを結合し背景色を抜くと、次の上の【図131】の画面のようになります。

【図131】



次に上の【図131】の画面の右下の部分の部分を左側にスライドして、次の【図132】の画面のようになります。

[図 1 3 2]

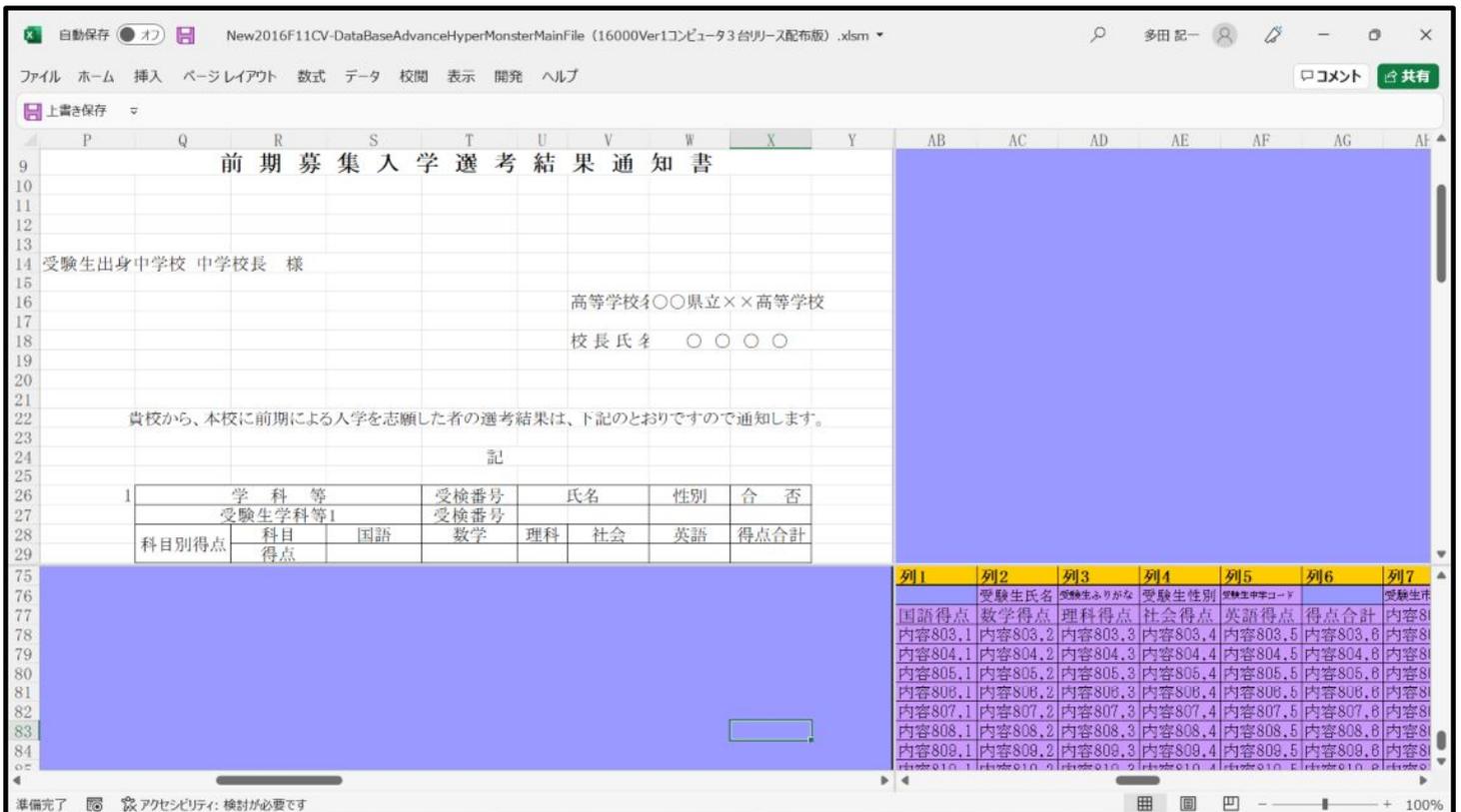


次に上の[図 1 3 2]の画面の右の下側の「**受験番号**」と表示されているセルを切り取り、

受験番号

左上の画面で [] と表示されている下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けたらセルの背景色抜くと次の[図 1 3 3]の画面のようになります。

[図 1 3 3]

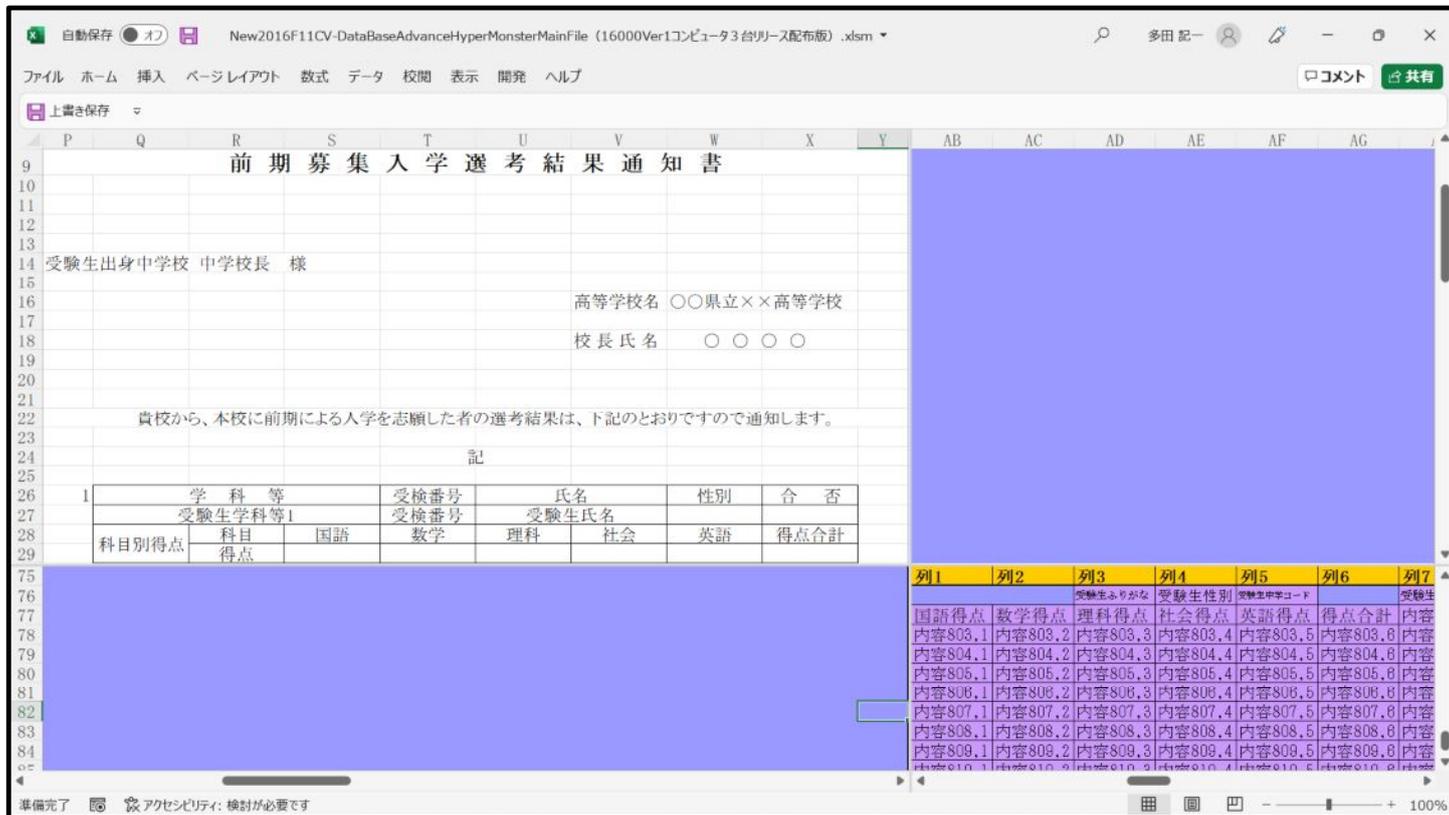


次に上の[図 1 3 3]の画面の右下の画面で「受験生氏名」と表示されているセルを切り取り、左上の

氏名

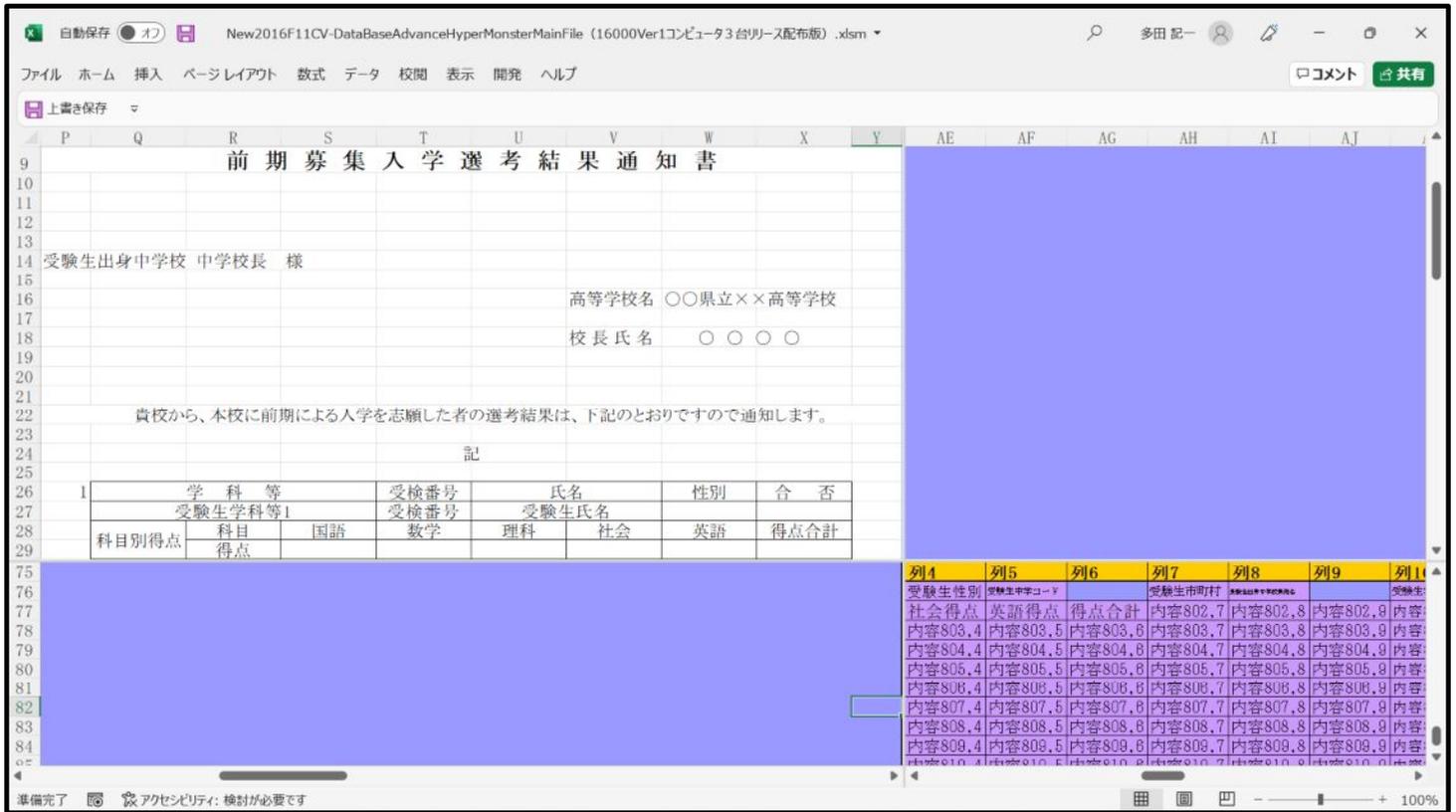
と表示されている下側の 2 個の空白のセルのうち左のセルに貼り付けます。貼り付けたらして側の 2 個のセルを結合し背景色を抜くと、次の[図 1 3 4]の画面のようになります。

[図 1 3 4]



次に上の[図 1 3 3 4]の画面で右下の画面を右にスライドさせて、次の[図 1 3 5]の画面のようになります。

[図 1 3 5]

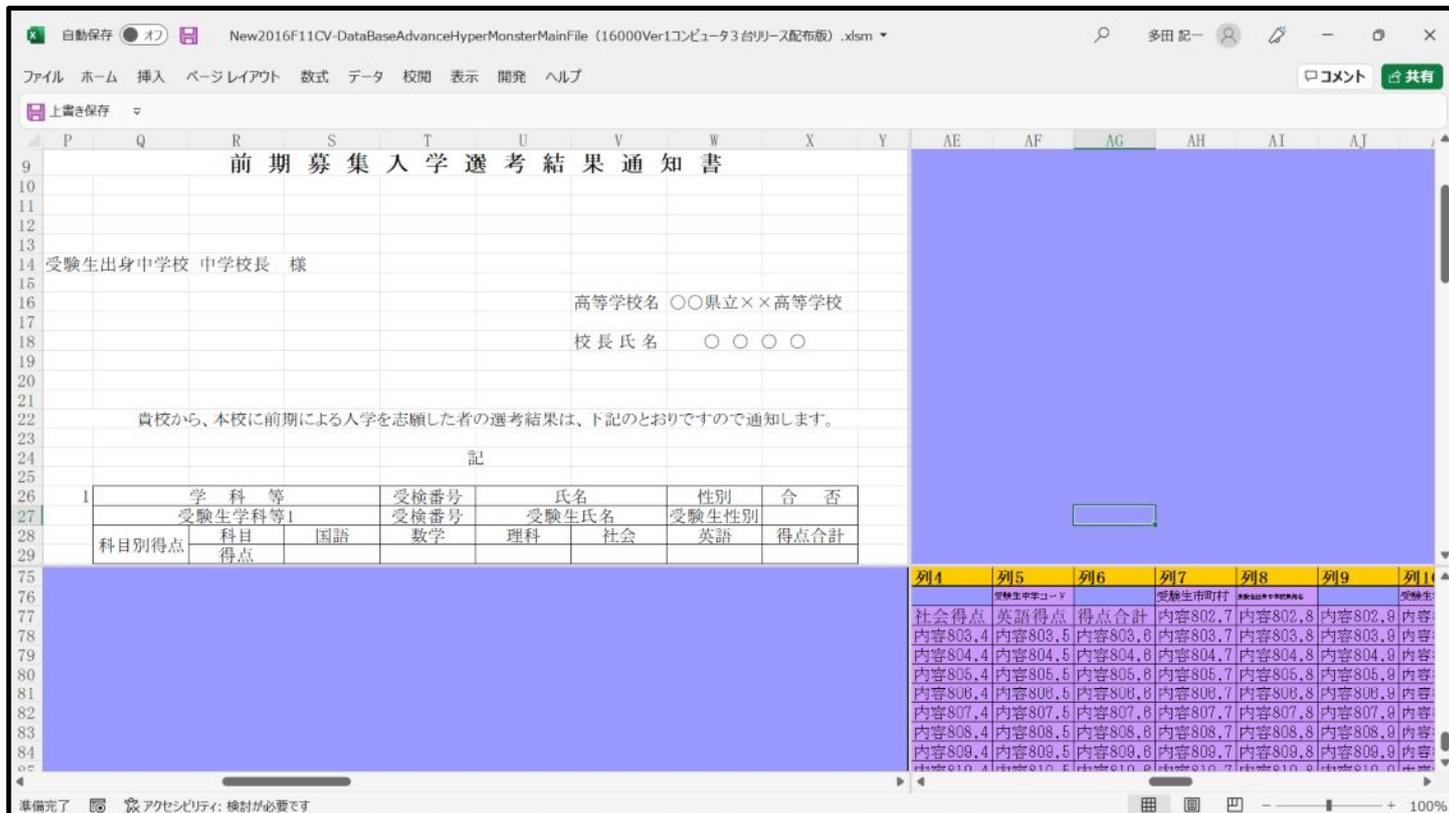


そして、上の[図 1 3 5]の画面の右下の「受験生性別」と表示されているセルを切り取り、左上の



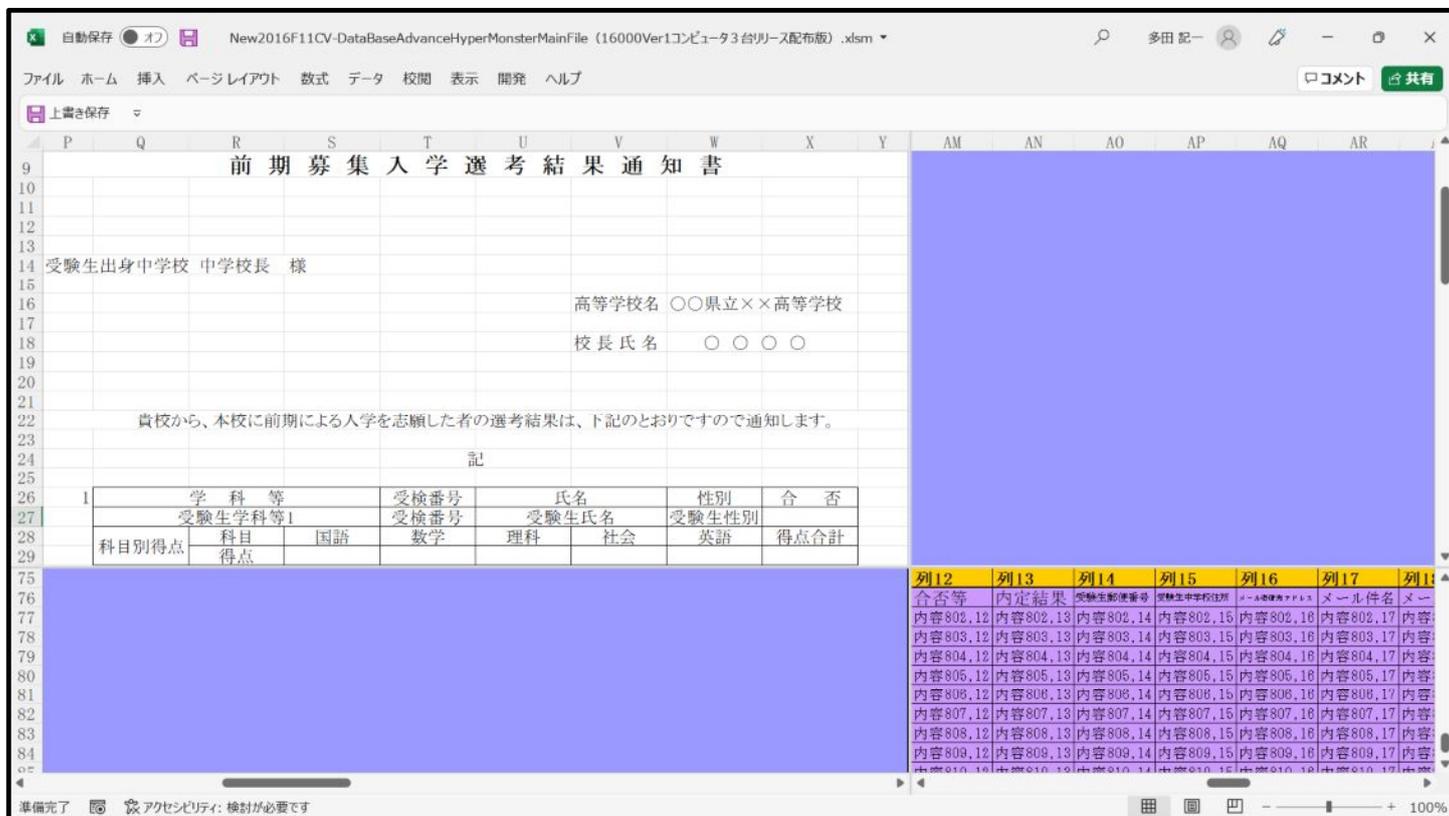
と表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けセルの背景色を抜くと、次の[図 1 3 6]の画面ようになります。

【図 1 3 6】



そして、上の【図 1 3 6】の画面右下を右にスライドさせて次の【図 1 3 7】の画面のようにします。

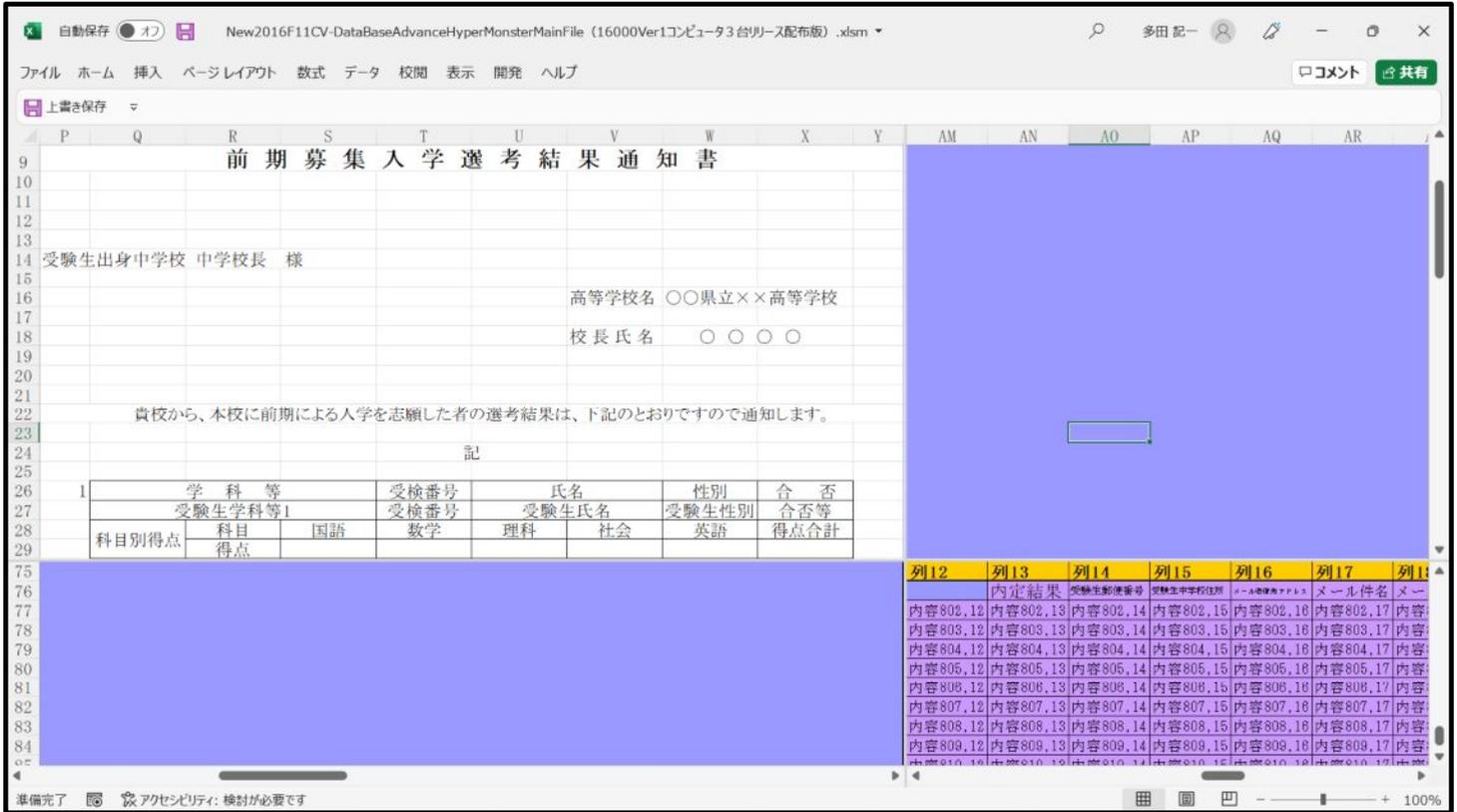
【図 1 3 7】



合 否

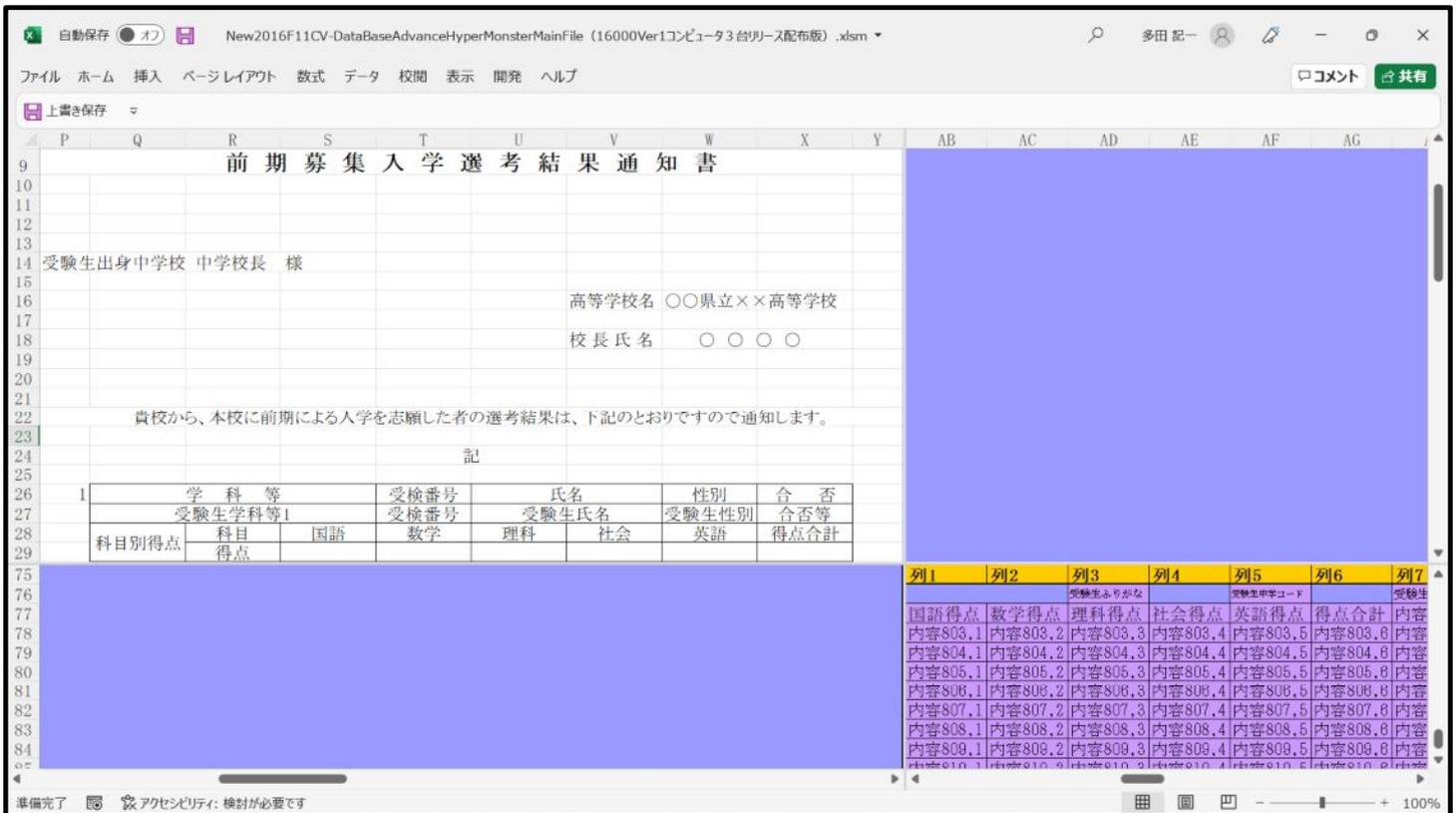
上の【図 1 3 7】の画面の右下の「合否等」と表示されているセルを切り取り、左上の「合 否」と表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けセルの背景色を抜くと次の【図 1 3 8】のようになります。

【図 1 3 8】



そして今度は得点の部分の編集です。上の【図 1 3 8】の画面の右下の部分を中心にスライドさせて次の【図 1 3 9】の画面に設定します。

【図 1 3 9】

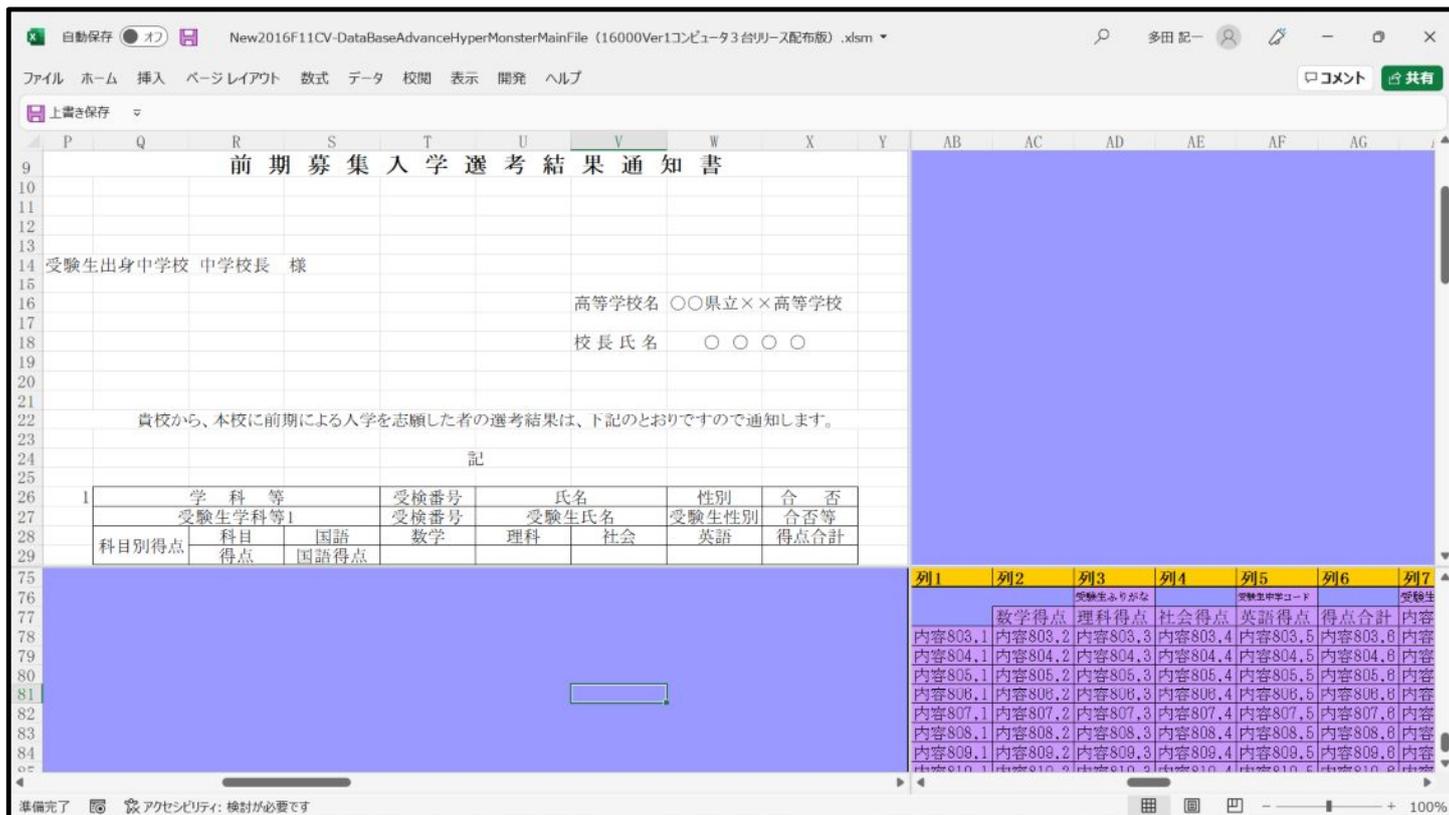


国語

上の【図 1 3 9】の画面の右下の「国語得点」のセルを切り取り、左上の「国語」と表示されている下側

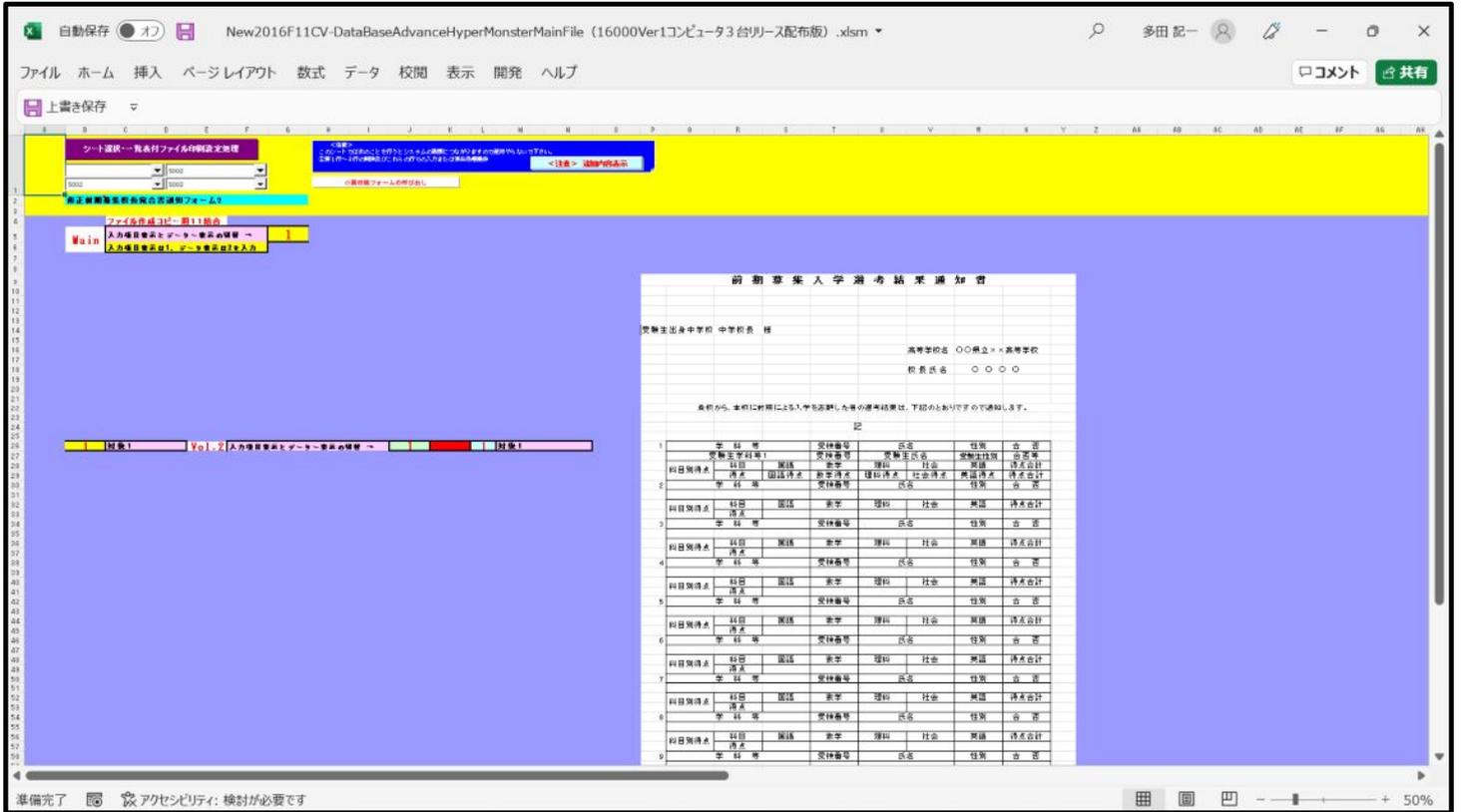
の空白のセルへ貼り付けて、貼り付けたらセルの背景色を抜くと次の[図140]の画面のようになります。

[図140]



上の「国語得点」のセルの編集と同様な手順で「数学得点」、「理科得点」、「社会得点」、「英語得点」、「得点合計」について編集を行い、画面の分割を解除すると次の[図141]の画面のようになります。但し、表示倍率は50%です。

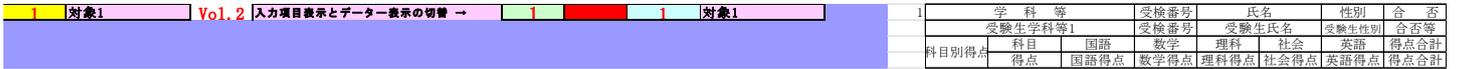
[図 1 4 1]



次に上の[図 1 4 1]の画面の

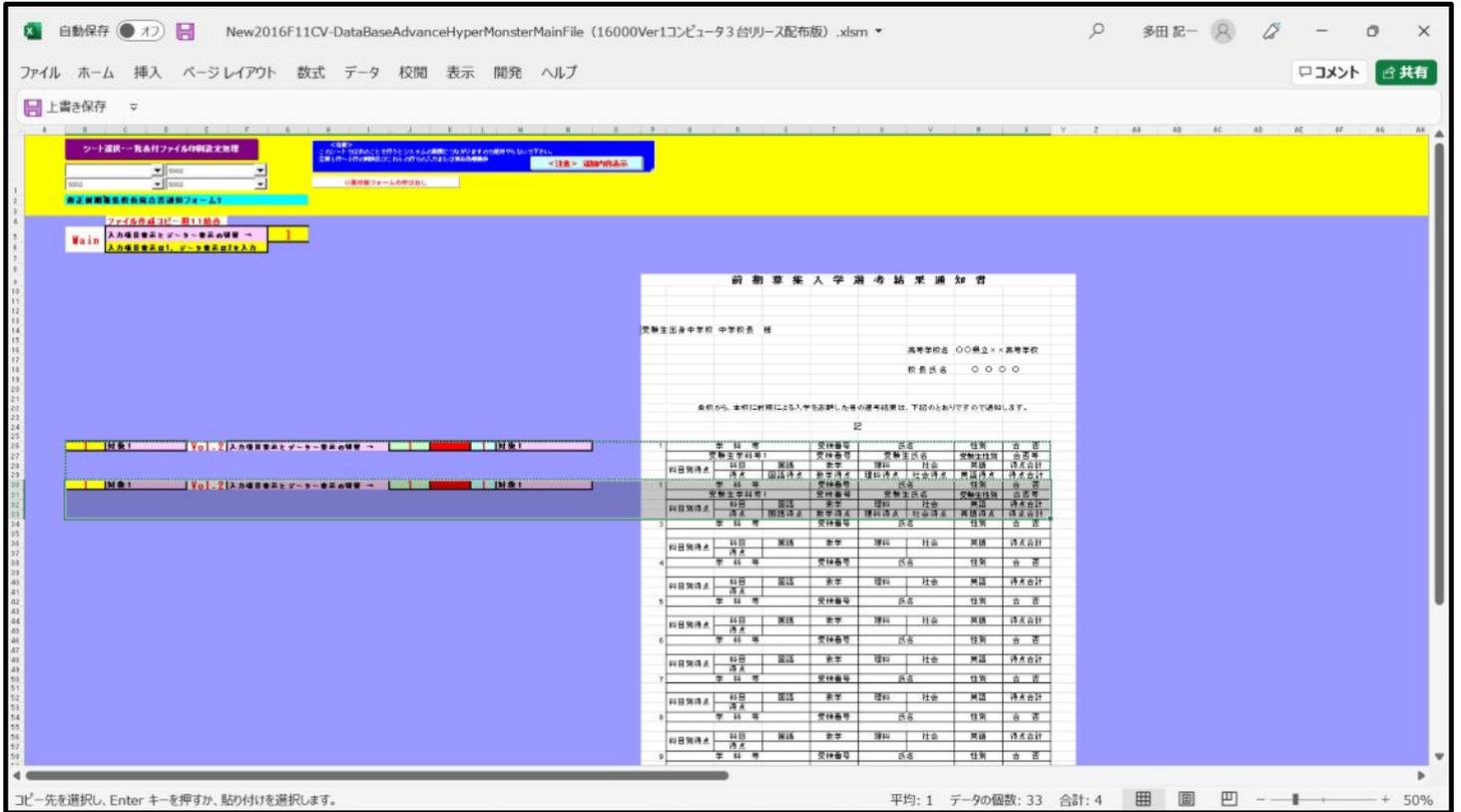


の部分を選択して



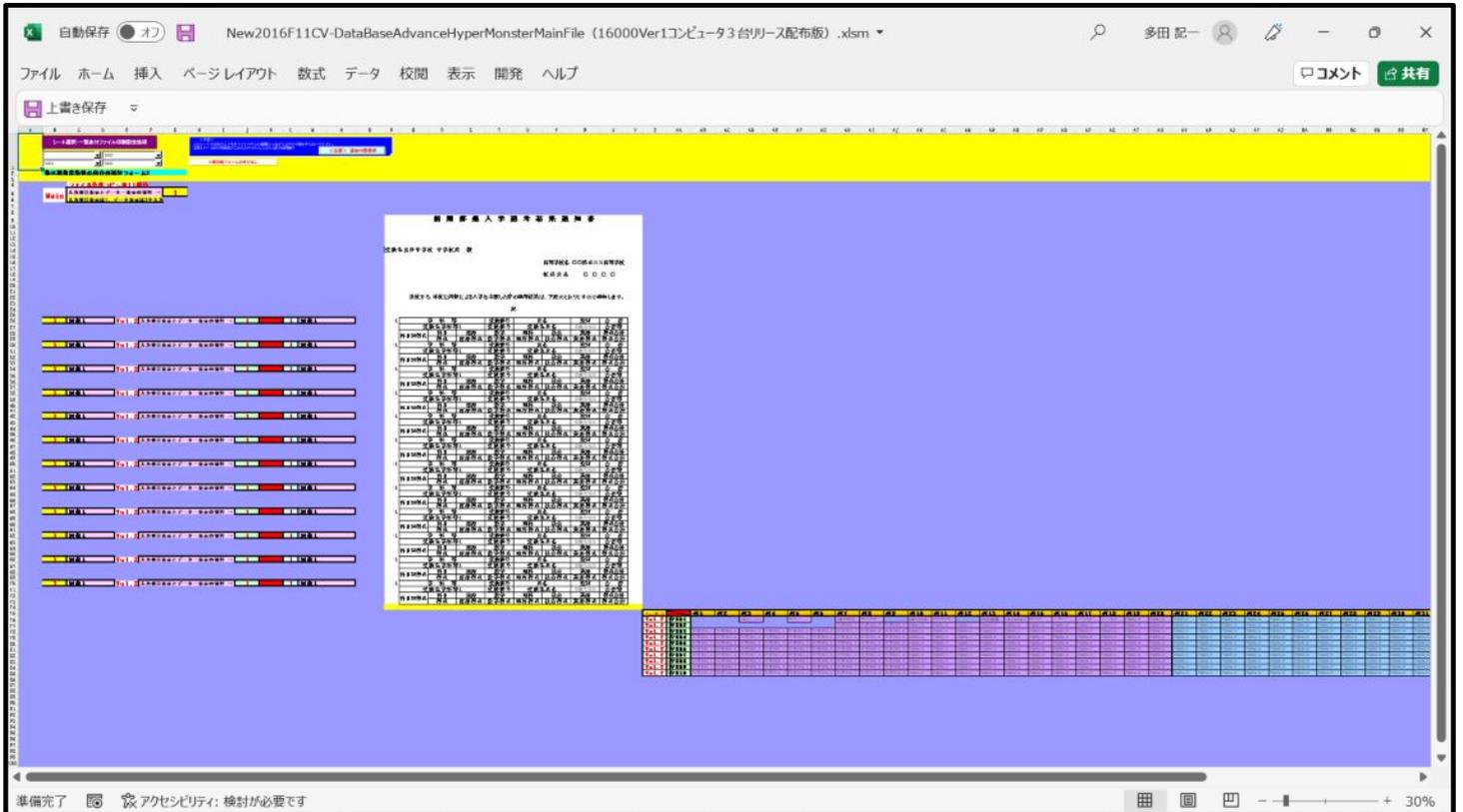
の部分のすぐ下側に **対象1** の左右の位置が同じ位置になるよう複写します。つまり、次の[図 1 4 2]の画面のように複写します。

[図 1 4 2]



以下このような複写操作を10回繰り返し、次の[図 1 4 3]の画面のようにします。但し表示倍率は30%です。

[図 1 4 3]



次に上の[図 1 4 3]の画面の

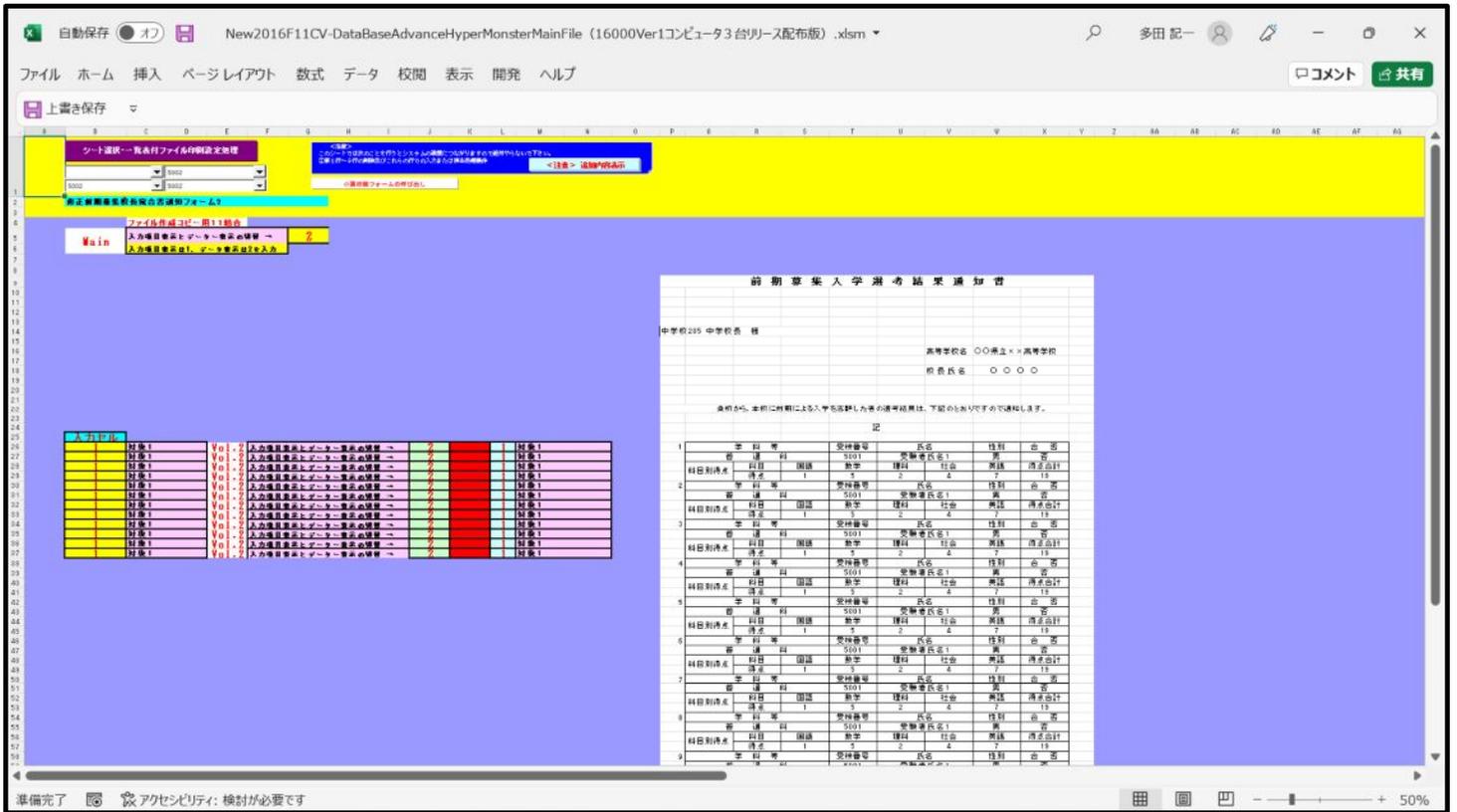
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1

の部分において各

1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1	1	対象1
---	-----	--------	-------------------	---	---	-----

の部分の切り貼りを行ってかためて次の[図 1 4 4]の画面のような状態にします。但し、色抜きの中の番号をつけ直すとともに、**入力セル**と表示されているセルは新たに作成したものです。

[図 1 4 4]



上の[図 1 4 4]の画面の

Main

入力項目表示とデータ表示の切替 →

1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

1

2

の部分の最も右の 1 と表示されているセルの値を 2 に変更すると上の[図 1 4 4]の画面の背景色なしの部分は次の[図 1 4 5]の画面からその下の[図 1 4 6]の画面に変化します。但し、背景色なしの部分には、条件付書式を設定してあります。

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1		受検番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

[図146]

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○○○○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
3	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
4	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
5	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
6	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
7	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
8	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
9	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
10	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
11	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
12	学 科 等	受検番号	氏名			性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1			男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19

上の[図146]の画面の1~12の各データはデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表の上から1行目のデータです。

さらに、次の[図147]の画面において

1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1

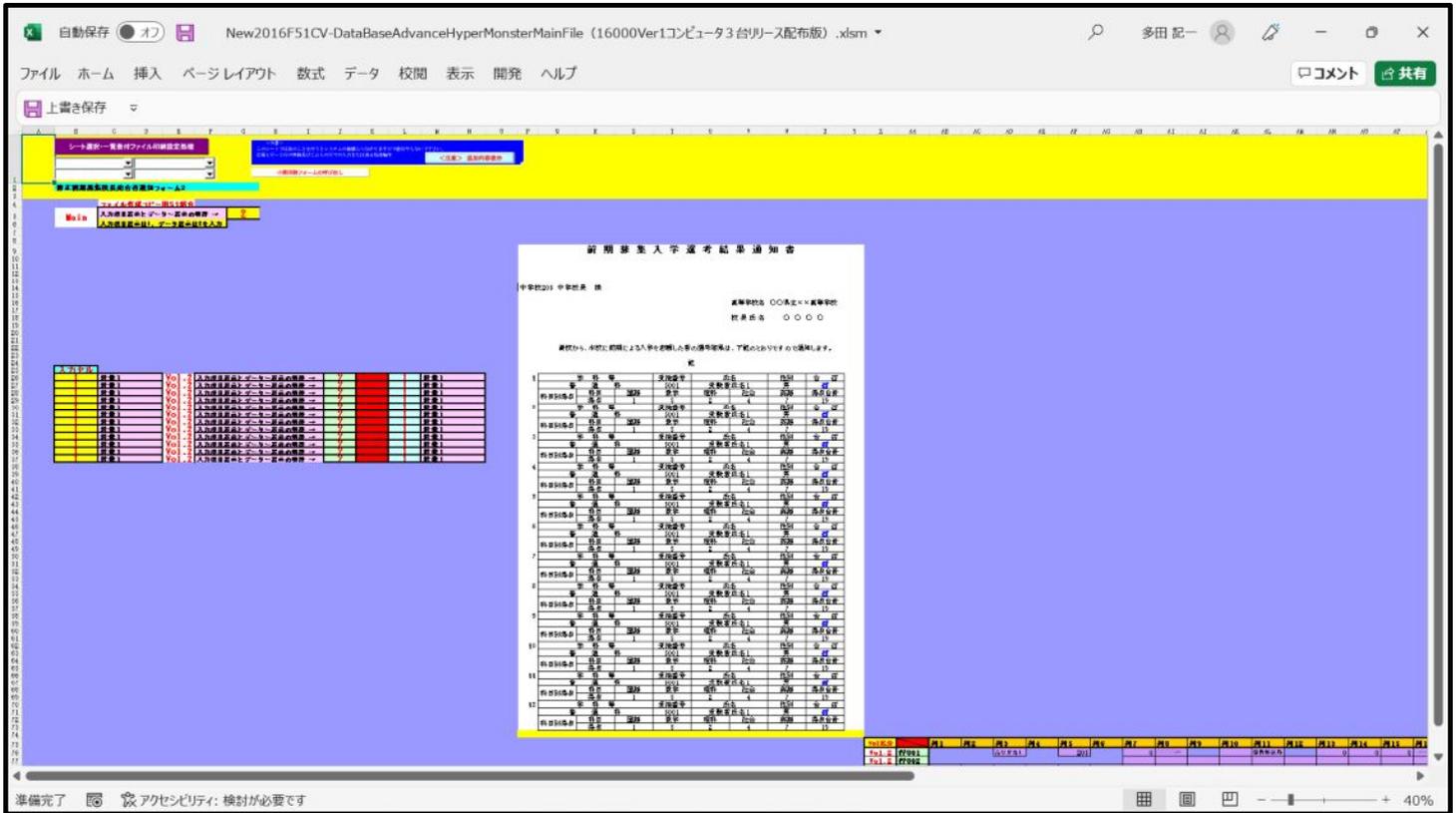
最も左側の **1** と表示されている 1 2 個のセルの値を書き換えて

1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
2	対象2	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		2	対象2
3	対象3	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		3	対象3
4	対象4	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		4	対象4
5	対象5	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		5	対象5
6	対象6	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		6	対象6
7	対象7	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		7	対象7
8	対象8	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		8	対象8
9	対象9	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		9	対象9
10	対象10	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		10	対象10
11	対象11	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		11	対象11
12	対象12	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		12	対象12

と入力すると次の[図 1 4 7]の画面の背景色なしの部分[図 1 4 8]の画面からその下の[図 1 4 9]の画面に変化します。

とくに、[図 1 4 8]の画面の 1~12 の各データーはデーターファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
 における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書作成データー」の表の上から 1~12 行のデーターです。

[図 1 4 7]



前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語
	得点	1	5	2	4	7	19

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5002	受験者氏名2		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5004	受験者氏名4		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5005	受験者氏名5		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5006	受験者氏名6		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5007	受験者氏名7		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5008	受験者氏名8		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5009	受験者氏名9		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5010	受験者氏名10		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5011	受験者氏名11		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5012	受験者氏名12		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

これで

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の1行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計の説明は終了いたします。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について：

先ず最初に、「一学期中間考査印刷フォーム1」、「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2」を印刷、印刷範囲背景色なしの部分でPDFの添付ファイルとしてメール送信する場合、シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力をするには2つのシート

「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」

「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2 ソートデータ」

のデータを作成する必要があります。それには、それぞれファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

を用いて作成いたします。

シート「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」のデータを作成するには、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ 処理呼出2 を選択すると次の[図150]の画面になります。

[図150]

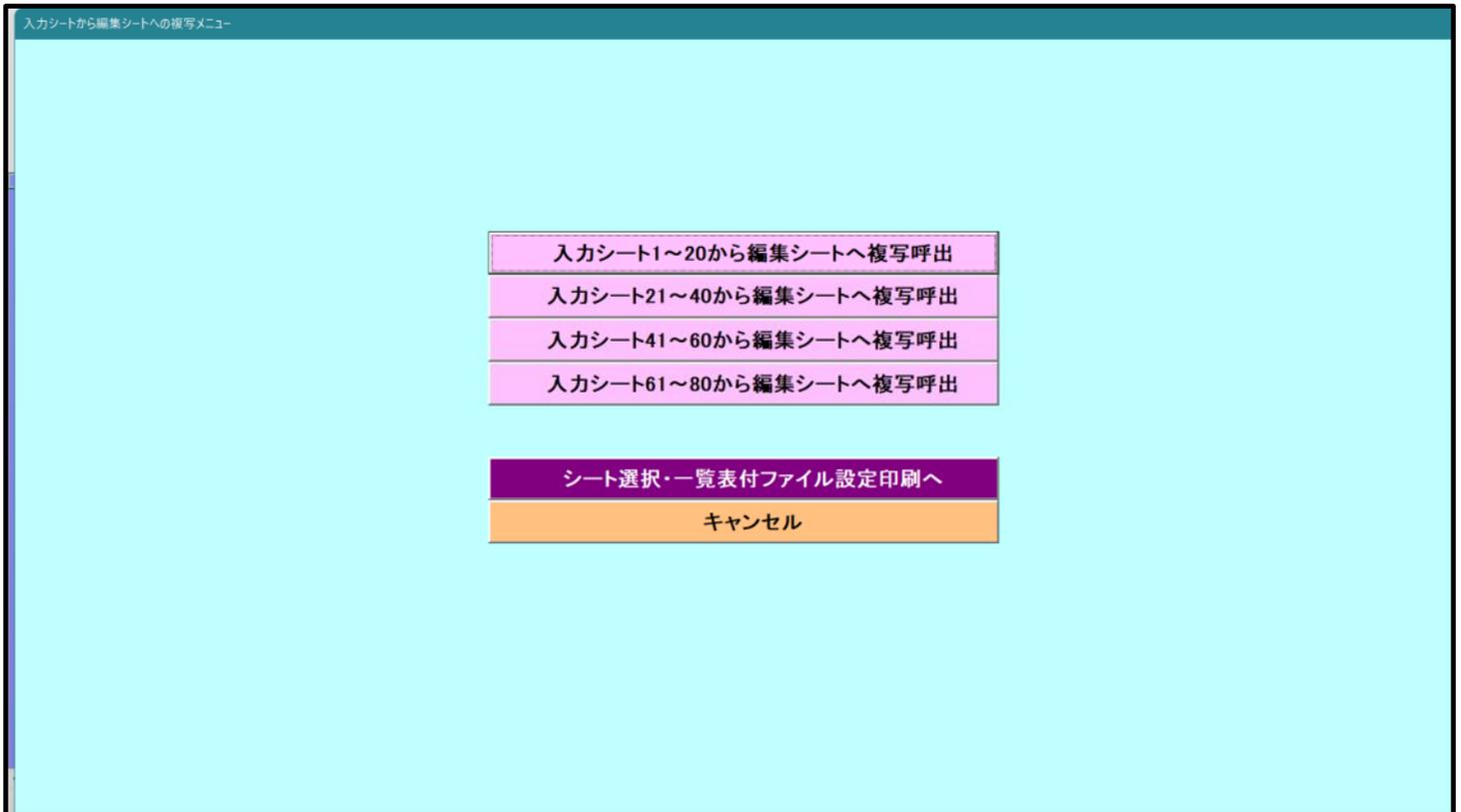


上の[図150]の画面のコマンド

入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出

をクリックすると次の[図151]の画面になります。

[図 1 5 1]



そして上の[図 1 5 1]の画面のコマンドボタン

入力シート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 5 2]の画面になります。

[図 1 5 2]



上の[図152]の画面のチェックボックス

入力AA1一学期中間考査

にチェックを入れて

入力AA1一学期中間考査

とし、この右側のコンボボックスで

印刷フォーム1シートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタン **複写処理実行** をクリックすると

入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」をシート「印刷フォーム1データー」複写する処理が開始されます。処理が開始されると途中次の[図153]の画面が表示され、更に[図154]の画面が表示されたら複写処理は完了となります。

[図153]



【図 1 5 4】

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出
入力シート選択・データ行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出
選択編集シート全データ削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートデータ消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

シート「印刷フォーム1データ」を選択すると、次の【図 1 5 5】の画面のようになっています。

【図 1 5 5】

自動保存 オフ オン | New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFile.NO.1.xlsx | 検索 (Alt+Q) | 多田 記一 | コメント | 共有

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表示付ファイル印刷設定処理

印刷フォーム1シートデータ

<注意> このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

ID	対象	氏	し	学	ク	番	国	社	数	理	英	得	国	社	数	理
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
9	対象9	爺さん	いいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
13	対象13	のびのび大	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
18	対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
19	対象19	フグオさん	ふくおさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
20	対象20	カツオ君	かつおくん	2年	2組	10番	44	48	47	60	66	265	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
21	対象21	ワカメちゃん	わかめちゃん	2年	3組	1番	99	87	65	77	70	398	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
22	対象22	タウちゃん	たらちゃん	2年	3組	2番	50	86	87	50	80	353	68.285714	71.795918	64.55102	72.51

準備完了 | アクセシビリティ: 検が必要 | 100%

見やすくするため、シートの保護を解除し、上の【図 1 5 5】の画面の項目を表している第5行の行高を広げると、次の【図 1 5 6】の画面のようになります。

[図 1 5 6]

ID	対象	氏名	しめいふ	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験	社会得点	数学得点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	まじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼ	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび大	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102

さて、次に上の[図 1 5 6]の画面のデータファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsx
 のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の内容をファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」に複写します。それには手動でおこないます。
 まず、データファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsx
 のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の表部分 B5~GU55 の範囲をを選択してコピーし、
 をファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」の B5 の位置に貼り付けます。その結果、
 ファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」の状況は次の[図 1 5 7]の画面のようになっています。ただし、第 5 行の行高を広げています。

【図 1 5 7】

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a data table. The table has 17 rows of data (rows 6-22) and 15 columns. The columns are: ID, 対象 (Target), 氏名 (Name), りしめがないふ (Initials), 学年 (Grade), クラス (Class), 番号 (Number), 国語得点 (Japanese Score), 社会得点 (Social Studies Score), 数学得点 (Math Score), 理科得点 (Science Score), 英語得点 (English Score), 得点合計 (Total Score), 国語平均受験点 (Average Japanese Exam Score), 社会平均受験点 (Average Social Studies Exam Score), and 数学平均受験点 (Average Math Exam Score). The data rows contain names like 桃太郎, 濱島太郎, 金太郎, etc., and their corresponding scores.

ID	対象	氏名	りしめがないふ	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語平均受験点	社会平均受験点	数学平均受験点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	濱島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼ	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102
17	対象17	サザエさん	ささえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102

ここまで作業が完了したらデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターは削除しましょう。

次にシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2 ソートデーター」のデーターを作成するには、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ 処理呼出2 を選択すると次の【図 1 5 8】の画面になります。

[図 1 5 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷	
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録	シート選択、処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA、AB、BA、BB選択 入力シートCA、CB、DA、DB選択 印
ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出
入力シート選択・データ行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出
選択編集シート全データ削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートデータ消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の[図 1 5 8]の画面のコマンド

入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出

をクリックすると次の[図 1 5 9]の画面になります。

[図 1 5 9]

入力シートから編集シートへの複写メニュー	
入力シート1～20から編集シートへ複写呼出	
入力シート21～40から編集シートへ複写呼出	
入力シート41～60から編集シートへ複写呼出	
入力シート61～80から編集シートへ複写呼出	
シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ	
キャンセル	

そして上の[図 1 5 9]の画面のコマンドボタン

入力シート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 6 0]の画面になります。

[図 1 6 0]

上の[図 1 6 0]の画面のチェックボックス

入力AA1 高校入試通知書等作成データー

にチェックを入れて

入力AA1 高校入試通知書等作成データー

とし、この右側のコンボボックスで

印刷フォーム1ソートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタン **複写処理実行** をクリックすると
入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」をシート
「印刷フォーム 1 ソートデーター」に複写する処理が開始されます。
処理が開始されると途中次の[図 1 6 1]の画面が表示され、更に[図 1 6 2]の画面が表示されたら
複写処理は完了となります。

[図 1 6 1]

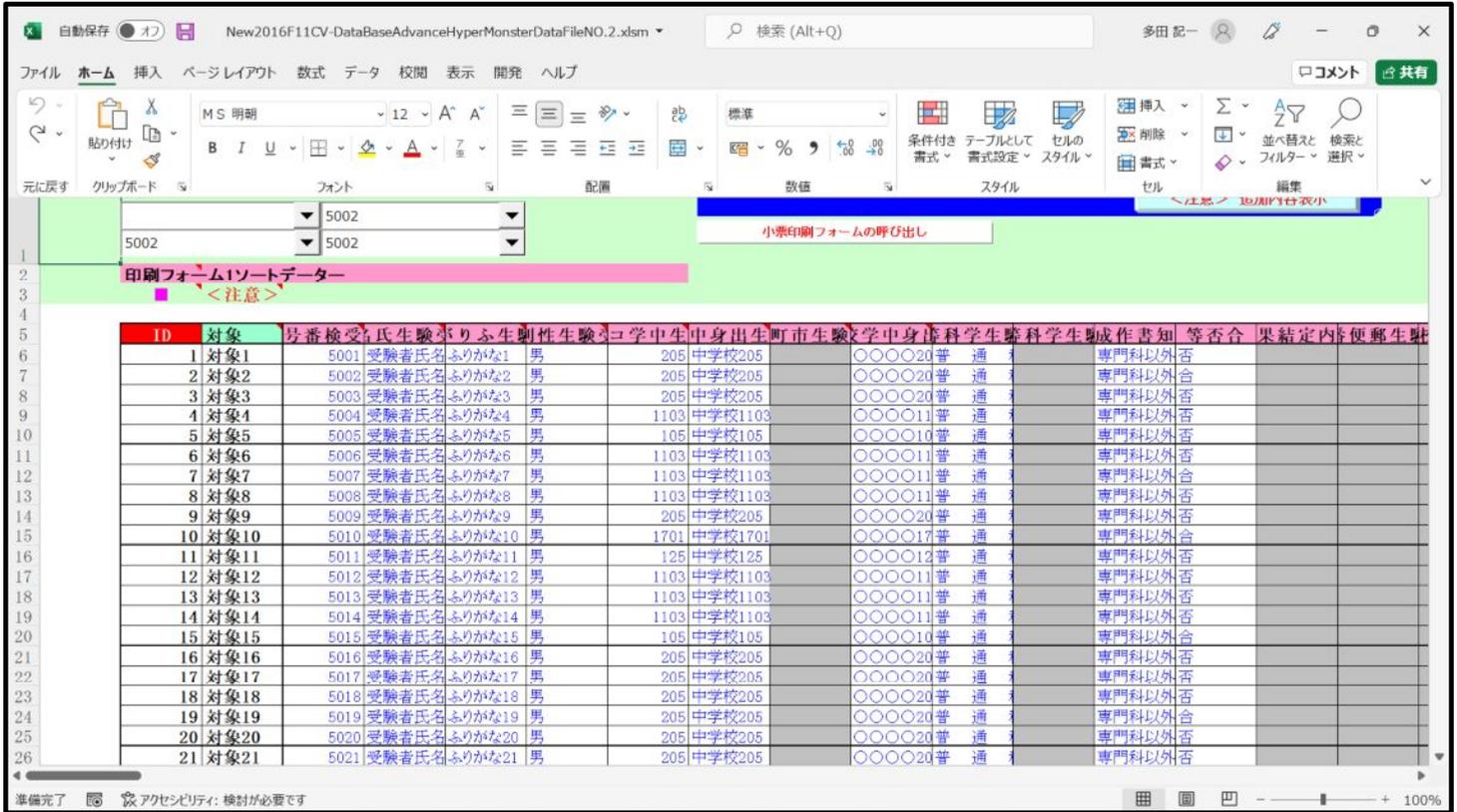


[図 1 6 2]



シート「印刷フォーム1 ソートデータ」を選択すると、次の[図 1 6 3]の画面のようになっています。

【図163】



見やすくするため、シートの保護を解除し、上の【図163】の画面の項目を表している第5行の行高を広げると、次の【図164】の画面のようになります。

【図164】



さて、次に上の【図164】の画面のデータファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm のシート「印刷フォーム1ソートデータ」の内容をファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」に複写します。それには手動でおこないます。

まず、データーファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」の表部分 B5~GU505 の範囲をを選択してコピーし、をファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」の B5 の位置に貼り付けます。その結果、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」の状況は次の[図 1 6 5]の画面のようになっています。ただし、第 5 行の行高を広げています。

[図 1 6 5]

ID	対象	受検番号	受験者氏名	が受験生ふり	受験生性別	受験生出身	受験生出身	村受験生市町	名中受験生校長出身	等受験生学科	等受験生学科	区分作成生命通知	可否等	内定結果	番号受験生郵便
1	対象1	5001	受験者氏名	ふりがな1	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	否		
2	対象2	5002	受験者氏名	ふりがな2	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	合		
3	対象3	5003	受験者氏名	ふりがな3	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	否		
4	対象4	5004	受験者氏名	ふりがな4	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通	普通	専門科以外	否		
6	対象6	5006	受験者氏名	ふりがな6	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
7	対象7	5007	受験者氏名	ふりがな7	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
8	対象8	5008	受験者氏名	ふりがな8	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
9	対象9	5009	受験者氏名	ふりがな9	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	否		
10	対象10	5010	受験者氏名	ふりがな10	男	1701	中学校1701		〇〇〇〇17	普通	普通	専門科以外	合		
11	対象11	5011	受験者氏名	ふりがな11	男	125	中学校125		〇〇〇〇12	普通	普通	専門科以外	否		
12	対象12	5012	受験者氏名	ふりがな12	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
13	対象13	5013	受験者氏名	ふりがな13	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
14	対象14	5014	受験者氏名	ふりがな14	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通	普通	専門科以外	否		
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通	普通	専門科以外	合		
16	対象16	5016	受験者氏名	ふりがな16	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	否		
17	対象17	5017	受験者氏名	ふりがな17	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通	普通	専門科以外	否		

ここまで作業が完了したらデーターファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターは削除しましょう。

これで 2 つのシート

「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデーター」

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」

のデーターを作成する説明は終了いたします。

- ① 票形式の印刷の場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合：

ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「一学期中間検査印刷フォーム 1」を印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合について、一覧表付ファイル作成入力設定シート

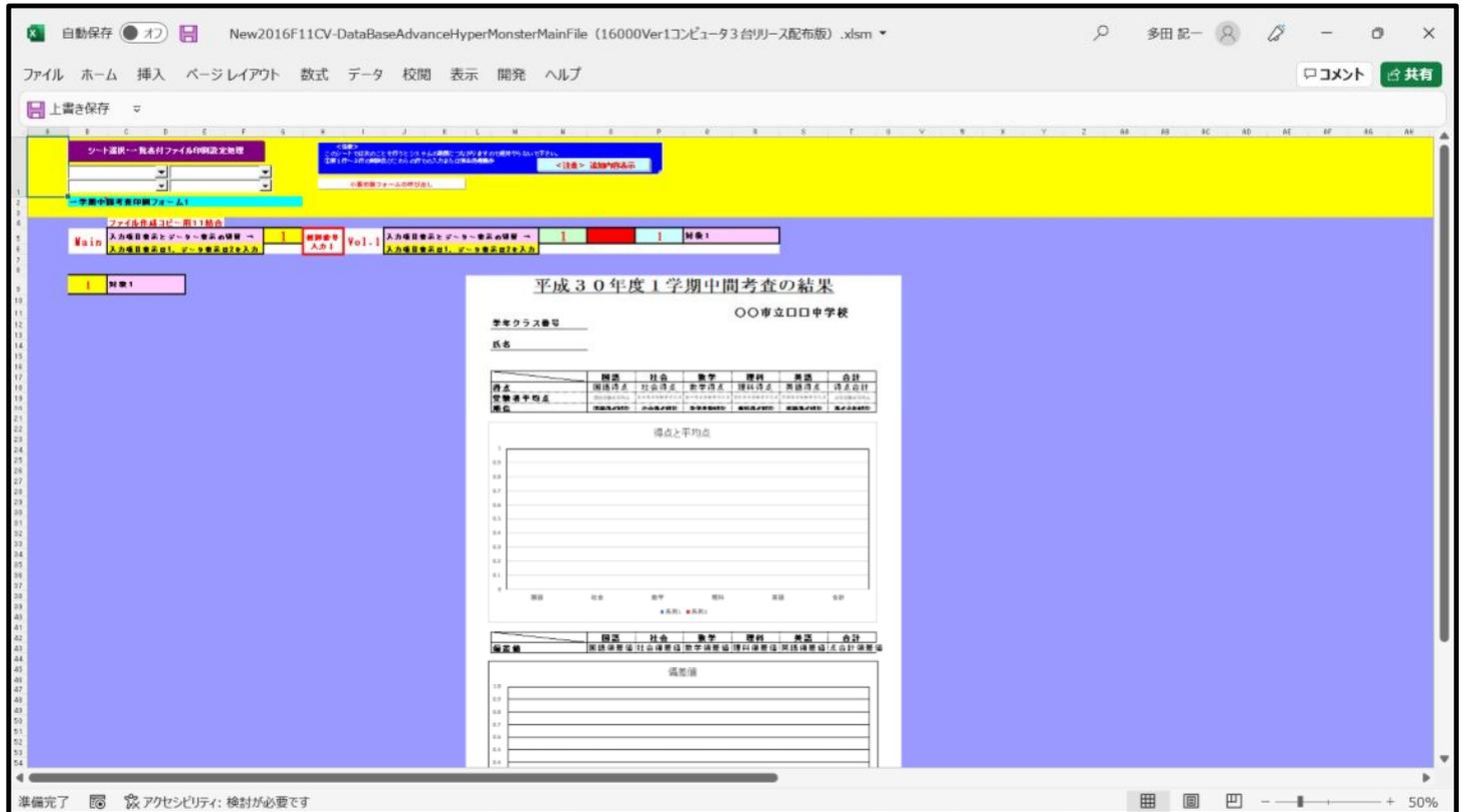
「一学期中間検査一覧表付ファイル作成入力設定 1」

の入力設定について説明いたします。

フォームシート「一学期中間検査印刷フォーム 1」について、今一度確認しておきます。

次の[図 1 6 6]の画面は、フォームシート「一学期中間検査印刷フォーム 1」の画面です。

[図 1 6 6]



Main	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力	

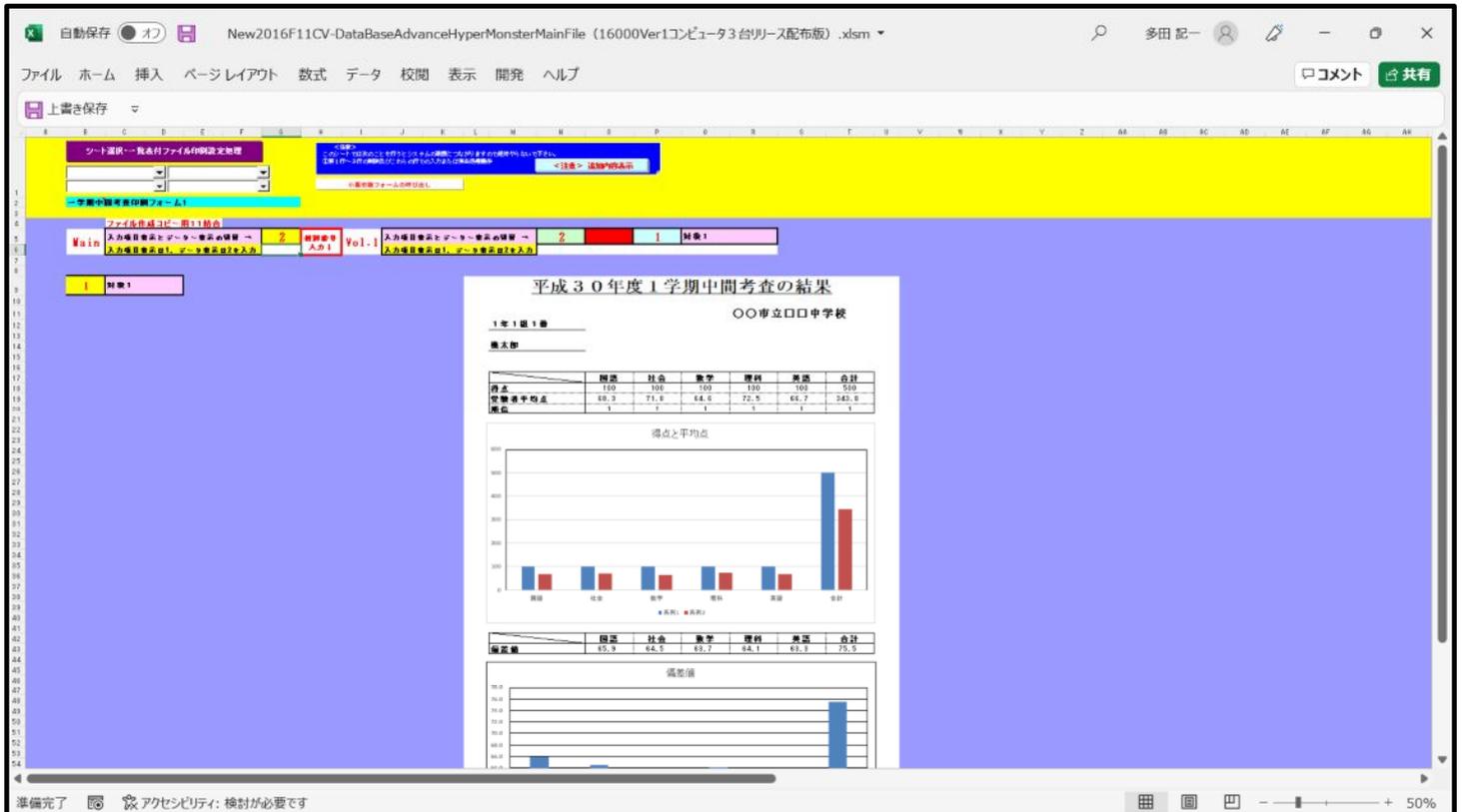
上の[図 1 6 6]の画面の

部分セル **1** の値を **2** と入力し直すと、[図 1 6 6]の画面の背景色を抜いてある右側の部分は、データファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

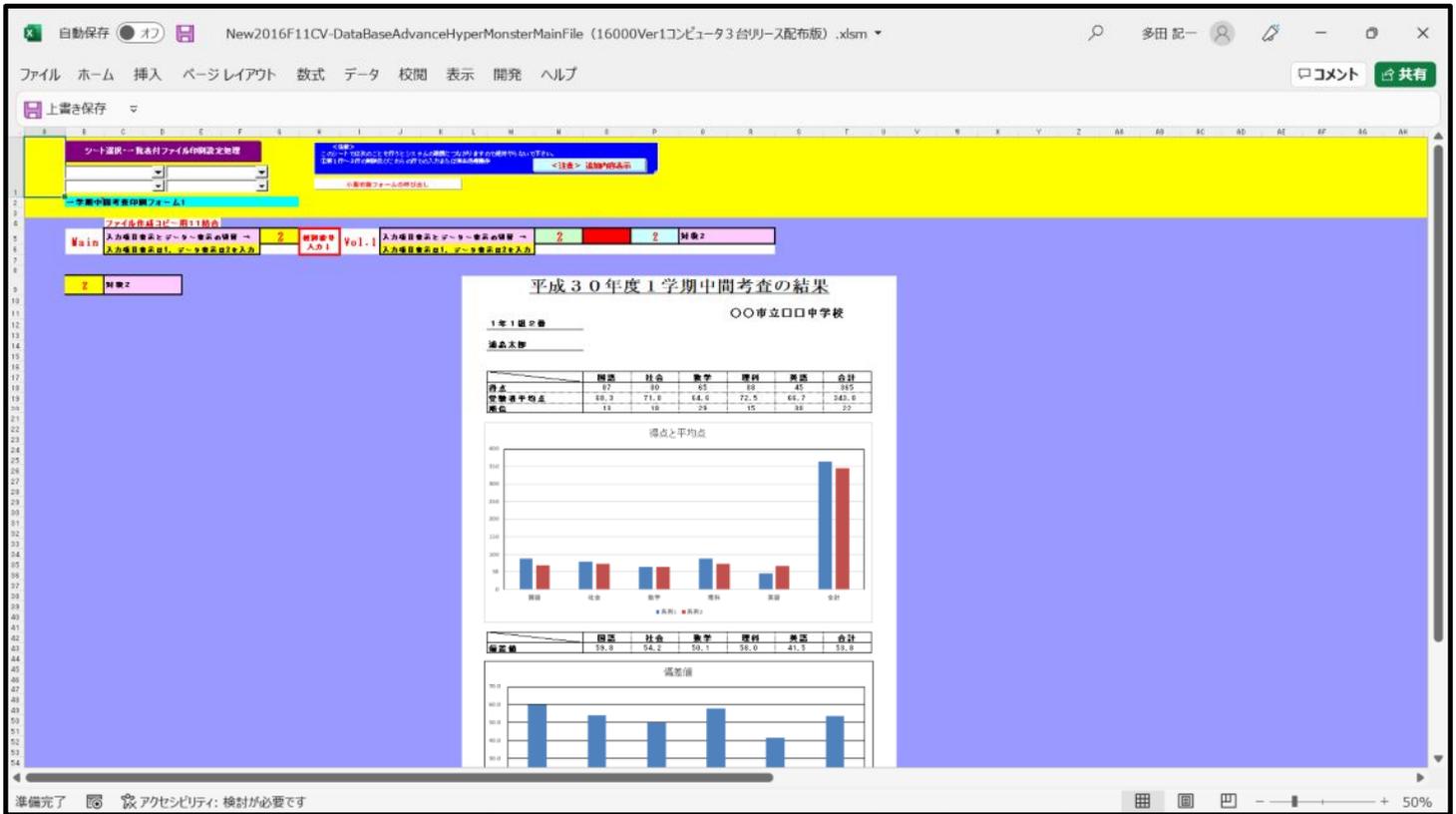
の入力シート「入力 AA1 一学期中間検査」における表の第 1 行目のデータが表示されて次の[図 1 6 7]の画面のようになります。

[図 1 6 7]



また、上の[図 1 6 7]の画面の **1** 対象1 の部分のセル **1** の値を **2** と入力し直すと[図 1 6 7]の画面の背景色を抜いてある右側の部分は、データファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」における表の第 2 行目のデータが表示されて次の[図 1 6 8]の画面のようになります。

[図 1 6 8]



さて、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx

のシート「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」の状況は次の[図 1 6 9]の画面のようになっています。

[図 1 6 9]

ID	対象	受験番号	受験者氏名	が受験生ふり	受験生性別	コード	受験生出身	村受験生市町	名中受験生出身	等1受験生学科	等2受験生学科	区分作命通知	合否等	内定結果	受験生郵便番号
1	対象1	5001	受験者氏名	ふりがな1	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	否		
2	対象2	5002	受験者氏名	ふりがな2	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	合		
3	対象3	5003	受験者氏名	ふりがな3	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	否		
4	対象4	5004	受験者氏名	ふりがな4	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	専門科以外	否		
6	対象6	5006	受験者氏名	ふりがな6	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
7	対象7	5007	受験者氏名	ふりがな7	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	合		
8	対象8	5008	受験者氏名	ふりがな8	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
9	対象9	5009	受験者氏名	ふりがな9	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	否		
10	対象10	5010	受験者氏名	ふりがな10	男	1701	中学校1701		〇〇〇〇17	普通科	普通科	専門科以外	合		
11	対象11	5011	受験者氏名	ふりがな11	男	125	中学校125		〇〇〇〇12	普通科	普通科	専門科以外	否		
12	対象12	5012	受験者氏名	ふりがな12	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
13	対象13	5013	受験者氏名	ふりがな13	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
14	対象14	5014	受験者氏名	ふりがな14	男	1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科	普通科	専門科以外	否		
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男	105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科	普通科	専門科以外	合		
16	対象16	5016	受験者氏名	ふりがな16	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	否		
17	対象17	5017	受験者氏名	ふりがな17	男	205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科	普通科	専門科以外	否		

ID	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23

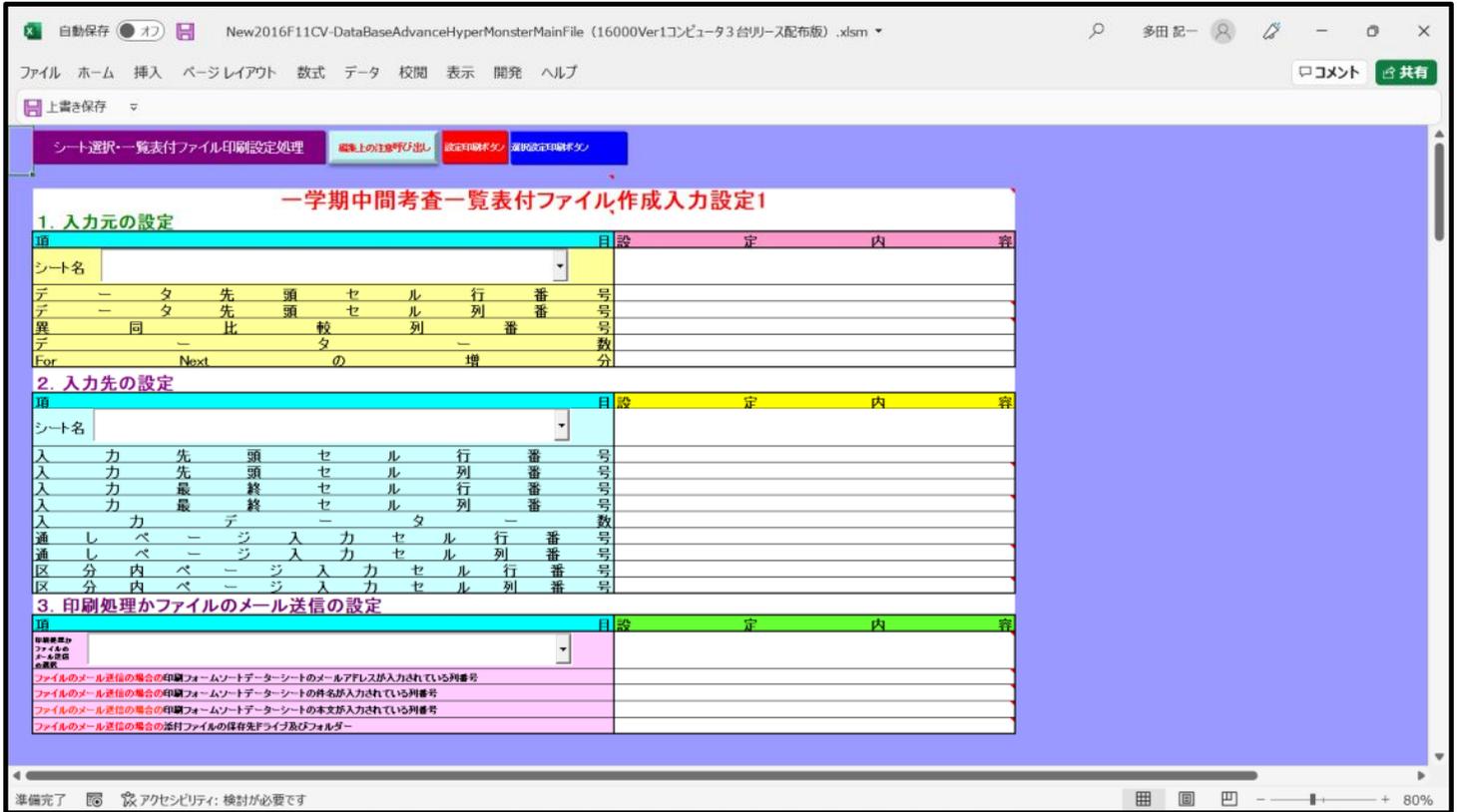
上の[図169]の画面の23の列において数値部分を23を上から順番にコピーし、その値を

上の[図168]の画面の2 対象2 部分のセル 2 の位置に貼り付けて
 上の[図168]の画面の背景色を抜いてある右側の部分を印刷することができれば自動印刷ができるわけ
 です。

その自動印刷を行うには、一覧表付ファイル作成入力設定シートであるシート「一学期中間検査一覧表付フ
 ァイル作成入力設定1」の入力設定が必要です。

次の[図170]の画面は、シート「一学期中間検査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面です

[図170]



まず最初に

1. 入力元の設定

項目	設定	内容
シート名		
データ先頭セル	行番号	
データ終端セル	列番号	
異同比較列番号		
For Nextの増分	数分	

の部分についての入力設定について説明します。

シート名	
------	--

については、入力元のシートは、ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」ですので、左側のコンボボックスで

シート名	一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
------	----------------------

一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ

と選択すると、右側のセルに
と入力されます。

データ先頭セル	行番号
---------	-----

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

については、右側のセルに、上の[図 1 6 9]の画面の の列において最も上側の と表示されているセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して

データ先頭セル行番号	6
------------	---

とします。また、

データ先頭セル列番号	
------------	--

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

の部分の右側のセルには、上の[図 1 6 9]の画面の の列において最も上側の と表示されているセルの番地「B6」の列「B」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル列番号 2

とします。

ただし、列番号は次の表のように定めています。

列	A	B	C	Z	AA	AB
列番号	1	2	3	26	27	28

異同比較列番号

氏名
桃太郎
浦島太郎
金太郎
犬
猿
雉
鬼ちゃん
一寸法師
爺さん
婆さん
姫
ドラエモン
のびのび太
スネ夫
ジャイアン
静香ちゃん
サザエさん
マスオさん
フグオさん
カツオ君
ワカメちゃん
タラちゃん
ジャイアント

の右側のセルには、上の[図 1 6 9]の画面の「ジャイアント」と表示されている列「D」の列番号「4」を入力して

異	同	比	較	列	番	号	4
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数	
---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、上の[図 1 6 8]の画面の表においてデータ者をコピーするセルの個数 50 を入力して

デ	ー	タ	ー	数	50
---	---	---	---	---	----

とします。

For	Next	の	増	分	
-----	------	---	---	---	--

の右側のセルには、For Next の増分「1」（通常は 1 です）を入力して

For	Next	の	増	分	1
-----	------	---	---	---	---

とします。

次に

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
入力先	シート	行	番号		
入力先	シート	列	番号		
区分内	シート	行	番号		
区分内	シート	列	番号		

の部分についての入力仕方について説明いたします。

シート名	
------	--

の右側のコンボボックスで入力先のシート名「一学期中間考査印刷フォーム 1」を選択し

シート名

一学期中間考査印刷フォーム1

とします。すると、右側のセルには

一学期中間考査印刷フォーム1

と入力されて、

シート名	一学期中間考査印刷フォーム1	一学期中間考査印刷フォーム1
------	----------------	----------------

となります。

入力先頭セル行番号	
-----------	--

の右側のセルには、上の[図168]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の行番号「9」を入力して

入力先頭セル行番号	9
-----------	---

とします。

入力先頭セル列番号	
-----------	--

の右側のセルには、上の[図168]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の列番号「2」を入力して

入力先頭セル列番号	2
-----------	---

とします。

入力最終セル行番号	
-----------	--

の右側のセルには、上の[図168]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の行番号「9」を入力して

入力最終セル行番号	9
-----------	---

とします。

入力最終セル列番号	
-----------	--

の右側のセルには、上の[図168]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の列番号「2」を入力して

入力最終セル列番号	2
-----------	---

とします。

入力データ数	
--------	--

の右側のセルには、上の[図168]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセル1個にコピーしたデータを貼り付けて入力するだけなので、数値「1」を入力して

入力データ数	1
--------	---

とします。

印刷フォームシートをシステム備わっているマクロ機能を用いて印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、印刷フォームシートに必ず通し番号と区分内番号を表示する場所を確保し、通し番号と区分内番号を表示するセルを指定しなければなりません。

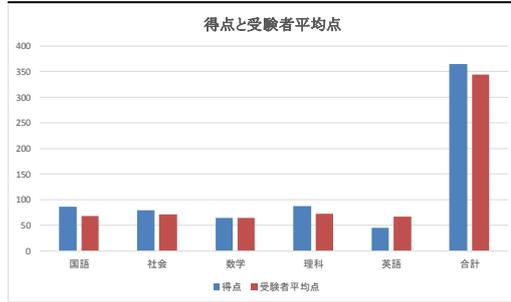
平成30年度1学期中間考査の結果

〇〇市立〇〇中学校

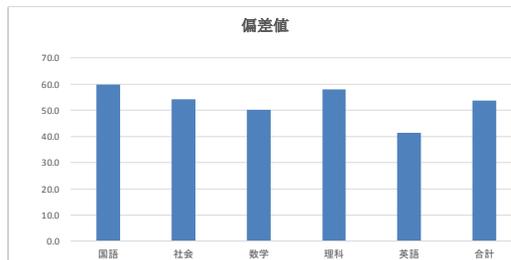
1年1組第2番番

浦島太郎

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
得点	87	80	65	88	45	365
受験者平均点	68.3	71.8	64.6	72.5	66.7	343.8
順位	13	18	29	15	38	22



	国語	社会	数学	理科	英語	合計
偏差値	59.8	54.2	50.1	58.0	41.5	53.8



上の[図168]の画面の 部分の下側の

の部分を確認し、通し番号と区分内番号を表示するセルを指定したいと思います。なお、このピンクのセル範囲では、シートを保護しても保護がされないように設定しておく必要があります。

通し番号を表示するセルの番地を「L62」、区分内番号を表示するセルの番地を「Q62」としたいと思います。

ということで、

通しページ入力セル行番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の行番号「62」を入力して

通しページ入力セル行番号 62

とします。

通しページ入力セル列番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の列番号「11」を入力して

通しページ入力セル列番号 11

とします。

区分内ページ入力セル行番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q62」の行番号「62」を入力して

区分内ページ入力セル行番号 62

とします。

区分内ページ入力セル列番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q62」の列番号「16」を入力して

区分内ページ入力セル列番号 16

とします。

そして次に、

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理かファイルのメール送信の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力の仕方の説明をいたします。

印刷処理かファイルのメール送信の選択					
--------------------	--	--	--	--	--

の左側のコンボボックス

印刷処理かファイルのメール送信の選択					
--------------------	--	--	--	--	--

で

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する				
--------------------	------	--	--	--	--

を選択すると右側のセルにと
入力され

印刷する

と

印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する			印刷する	
--------------------	------	--	--	------	--

となります。

単に印刷する場合は、

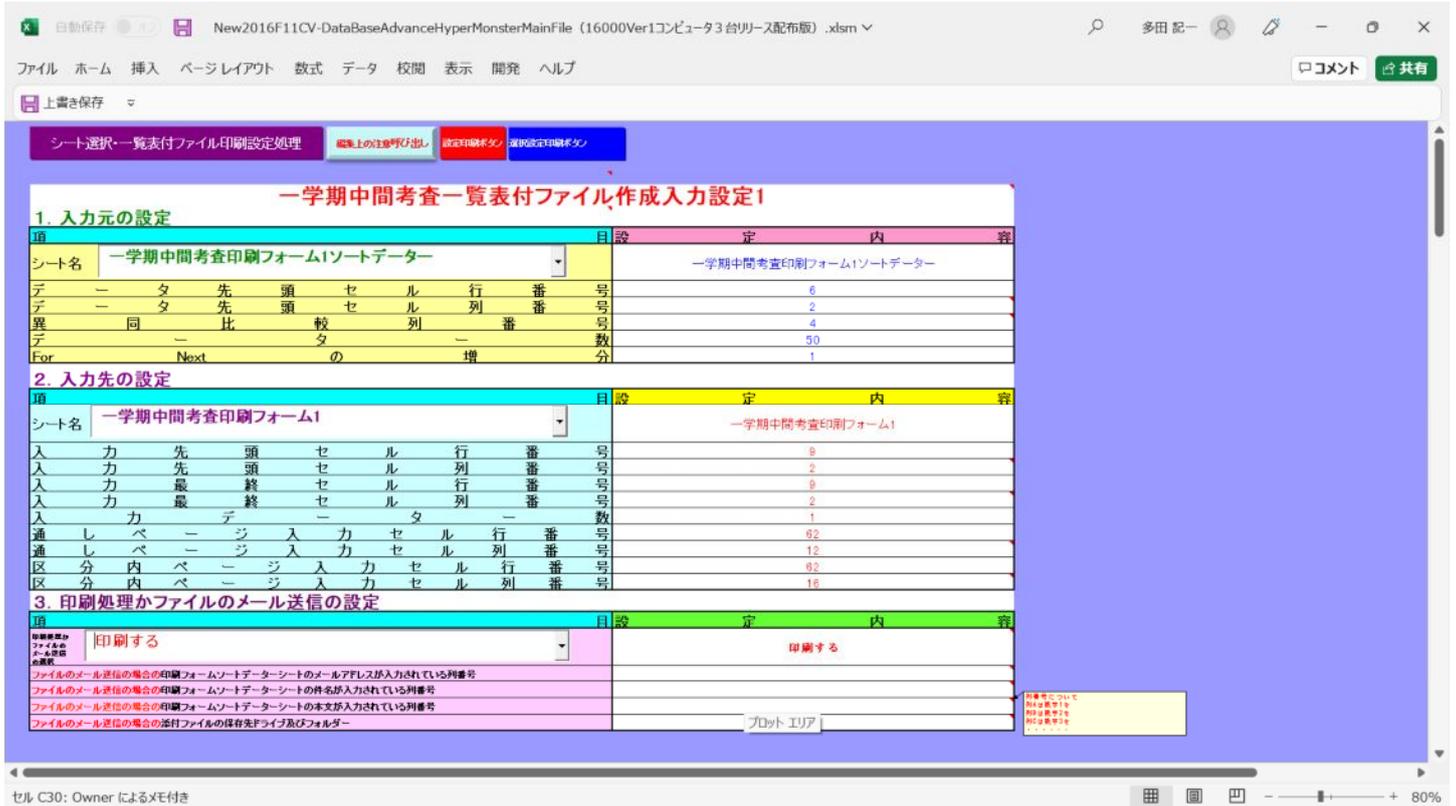
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分に入力する必要はありません。

つまり、単に印刷を行う場合の一覧表付ファイル作成入力設定シート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の設定入力は、次の[図171]の画面の通りです。

[図 1 7 1]



そして、印刷を実行するには、一覧表付ファイル作成入力設定シート

「1学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図 1 7 1]の画面のコマンドボタン



をクリックしていただければ結構です。

印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合は、



の左側のコンボボックスで



と選択すると右側のセルに **メールで送信する** と入力されて



となります。

そして、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の右側の5個セル全て入力する必要があります。



の右側のセルには、印刷ソートデータシート「1学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」に入力されているメールの送信先のメールアドレスの列番号を入力します。その列は「AG列」ですので

列番号は「33」なので、 **33** と

入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号 33

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号

の右側のセルには印刷ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に入力されているメールの件名の列番号を入力します。その列は「AH列」でその列番号は「34」なので

34 と入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号 34

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号

の右側のセルには印刷ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に入力されているメールの本文の列番号を入力します。その列は「AI列」でその列番号は「35」なので、

35 と入力し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号 35

とします。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー

の右側のセルには、メールを送信するに当たって、一時的に印刷範囲を PDF ファイルとして保存しておくドライブとフォルダーを入力します。「D」ドライブのフォルダー「B」に一時的に保存したいと思いますので、「D:¥B」と

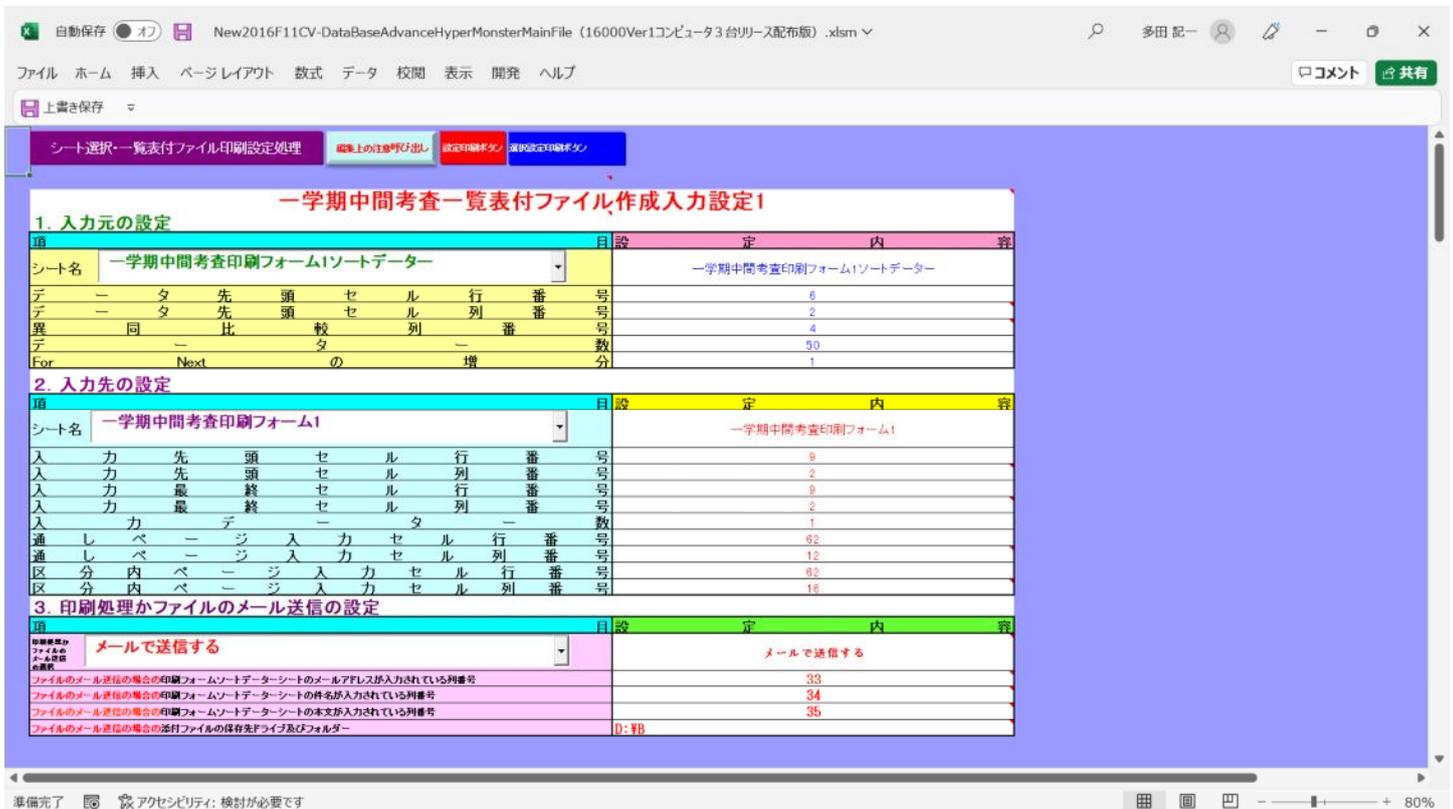
D:¥B と入力し、

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー D:¥B

とします。

つまり、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をする場合の一覧表付ファイル作成入力設定シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の入力設定は次の[図172]の画面の通りです。

[図172]

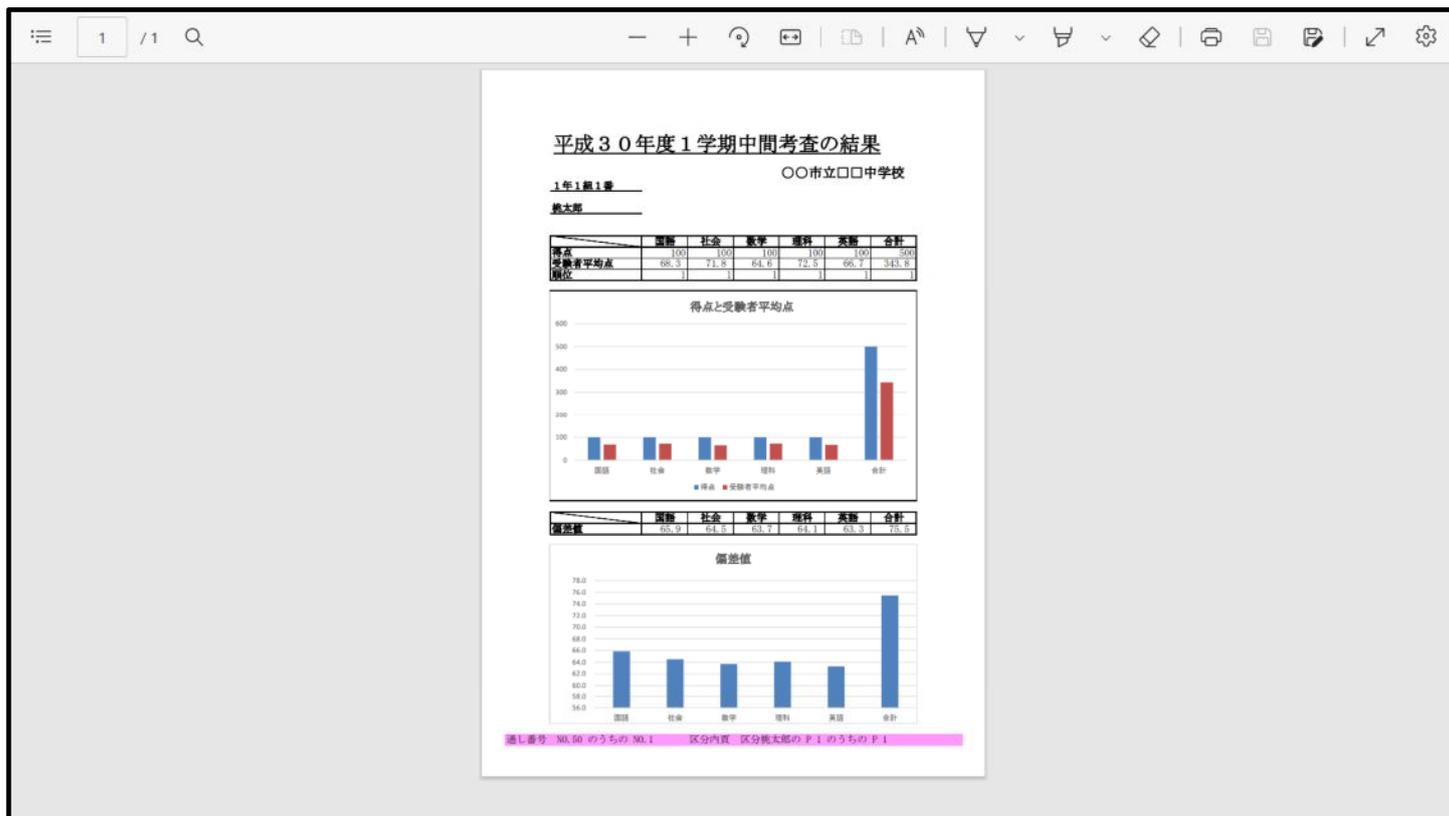


印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するには、一覧表付ファイル作成入力設定シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図172]の画面のボタン

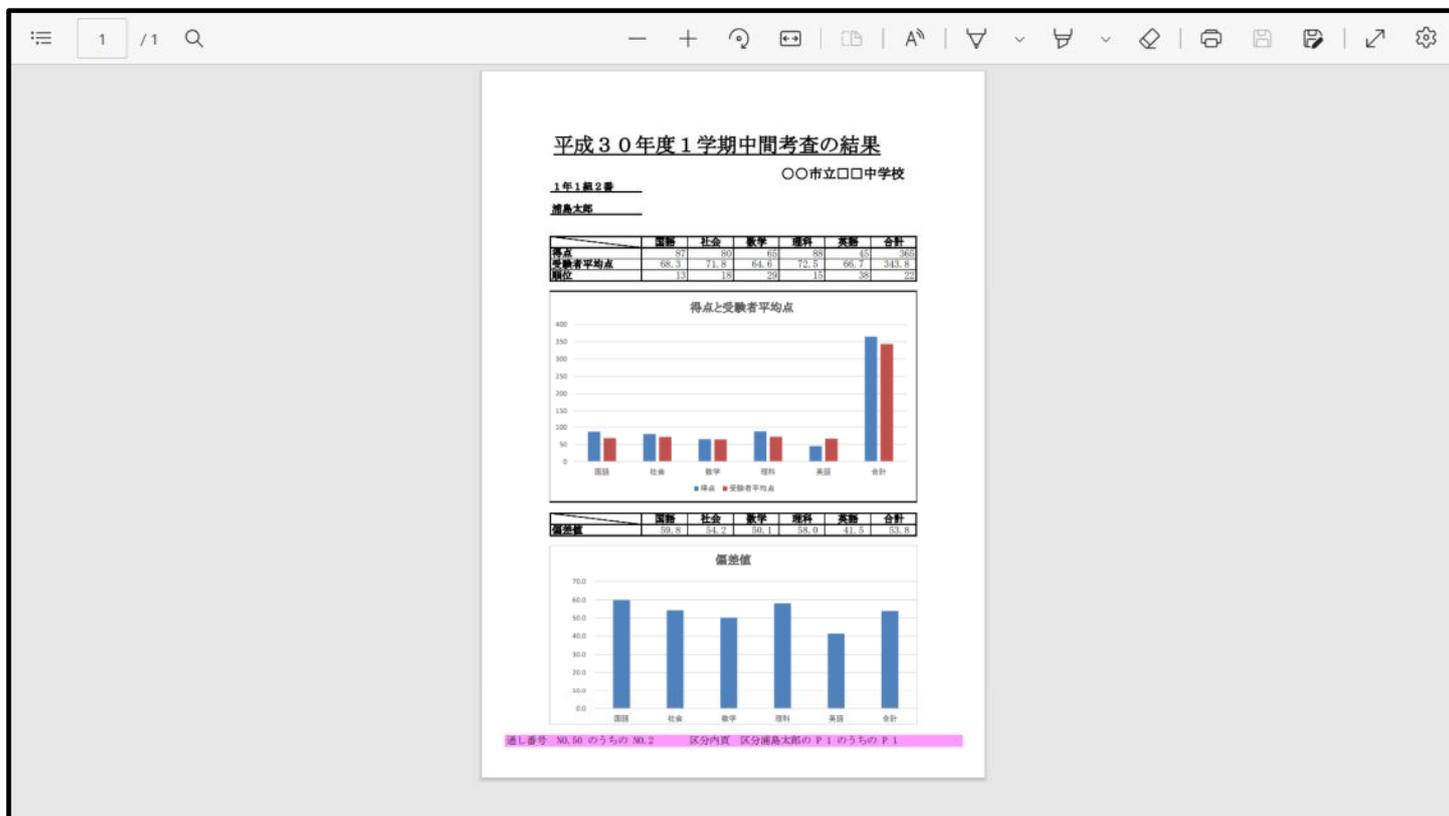
設定印刷ボタン をクリックしていただければ結構です。

因みに、[図172]の画面の設定で印刷範囲をPDFの添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの1件目、2件目の添付ファイルは、それぞれ次の[図173]、[図174]の画面のようになっています。

[図173]



[図174]



添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

印刷範囲かファイルのメール送信の選択

の左側のセルのコンボボックスで

印刷処理が ファイルの メール送信 の選択	添付ファイルなし件名本文のみのメール	▼
--------------------------------	---------------------------	---

と選択します。すると

印刷処理が ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	▼	メールで送信する
--------------------------------	-----------------	---	----------

なります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	

の右側の各セルには

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	33
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	34
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	35

と入力します。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の部分の右側のセルは、ブランクのままです。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D*¥B
-------------------------------------	------

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合についても、処理を実行するには、シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図172]の画面の Command ボタン

設定印刷ボタン

をクリックしていただければ結構です。

- ② 「入力シート」における表の複数の行を、「印刷シート」における表の1行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合：

「入力シート」における表の複数の行を、「印刷シート」における表の1行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートに複数列配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する方法を説明する前に、やっておくことを説明させていただきます。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信についての最初の方でデータファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「印刷フォーム1ソートデータ」の内容をファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ」に複写する方法について説明いたしました。

その複写の結果、ファイル

New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ」の様子は次の[図175]の画面のようになっています。

自動保存 (オフ) New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リース配布版).xism

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

縦(横)軸目盛線

修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ

<注意>

ID	対象	受検番号	受験者氏名	が受験生ふり	受験生性別	コード	受験生中学	中受験校出身	村受験生市町	名中受験校身長短身	等1受験生学科	等2受験生学科	区分作成生命通知	合否等	内定結果	番号	受験生郵便
1	対象1	5001	受験者氏名	ふりがな1	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
2	対象2	5002	受験者氏名	ふりがな2	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	合			
3	対象3	5003	受験者氏名	ふりがな3	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
4	対象4	5004	受験者氏名	ふりがな4	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
6	対象6	5006	受験者氏名	ふりがな6	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
7	対象7	5007	受験者氏名	ふりがな7	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	合			
8	対象8	5008	受験者氏名	ふりがな8	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
9	対象9	5009	受験者氏名	ふりがな9	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
10	対象10	5010	受験者氏名	ふりがな10	男		1701	中学校1701		〇〇〇〇17	普通科		専門科以外	合			
11	対象11	5011	受験者氏名	ふりがな11	男		125	中学校125		〇〇〇〇12	普通科		専門科以外	否			
12	対象12	5012	受験者氏名	ふりがな12	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
13	対象13	5013	受験者氏名	ふりがな13	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
14	対象14	5014	受験者氏名	ふりがな14	男		1103	中学校1103		〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	合			
16	対象16	5016	受験者氏名	ふりがな16	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
17	対象17	5017	受験者氏名	ふりがな17	男		205	中学校205		〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

上の【図175】の画面では、表のデータが「ID」欄において数値の低い方から高い方に並んでいます。これをソートし直します。最初にシートの保護を解除し、第1キーを「中学校コード」を選択し値の低い方から高い方に、第2キーを「受験番号」を選択し、値の低い方から高い方にそれぞれ設定してソートします。このようにソートし直すと次の【図176】の画面のようになります。

【図176】

自動保存 (オフ) New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リース配布版).xism

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ

<注意>

ID	対象	受検番号	受験者氏名	が受験生ふり	受験生性別	コード	受験生中学	中受験校出身	村受験生市町	名中受験校身長短身	等1受験生学科	等2受験生学科	区分作成生命通知	合否等	内定結果	番号	受験生郵便
303	対象303	7014	受験者氏名	ふりがな303	女		101	中学校101		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
83	対象83	5504	受験者氏名	ふりがな83	女		102	中学校102		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
362	対象362	7073	受験者氏名	ふりがな362	女		102	中学校102		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
68	対象68	5068	受験者氏名	ふりがな68	男		103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
69	対象69	5069	受験者氏名	ふりがな69	男		103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
431	対象431	9010	受験者氏名	ふりがな431	女		103	中学校103		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	合			
64	対象64	5064	受験者氏名	ふりがな64	男		104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
65	対象65	5065	受験者氏名	ふりがな65	男		104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
179	対象179	5600	受験者氏名	ふりがな179	女		104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	合			
180	対象180	5601	受験者氏名	ふりがな180	女		104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
333	対象333	7044	受験者氏名	ふりがな333	女		104	中学校104		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	合			
57	対象57	5057	受験者氏名	ふりがな57	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
58	対象58	5058	受験者氏名	ふりがな58	男		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
90	対象90	5511	受験者氏名	ふりがな90	女		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
190	対象190	6550	受験者氏名	ふりがな190	女		105	中学校105		〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			

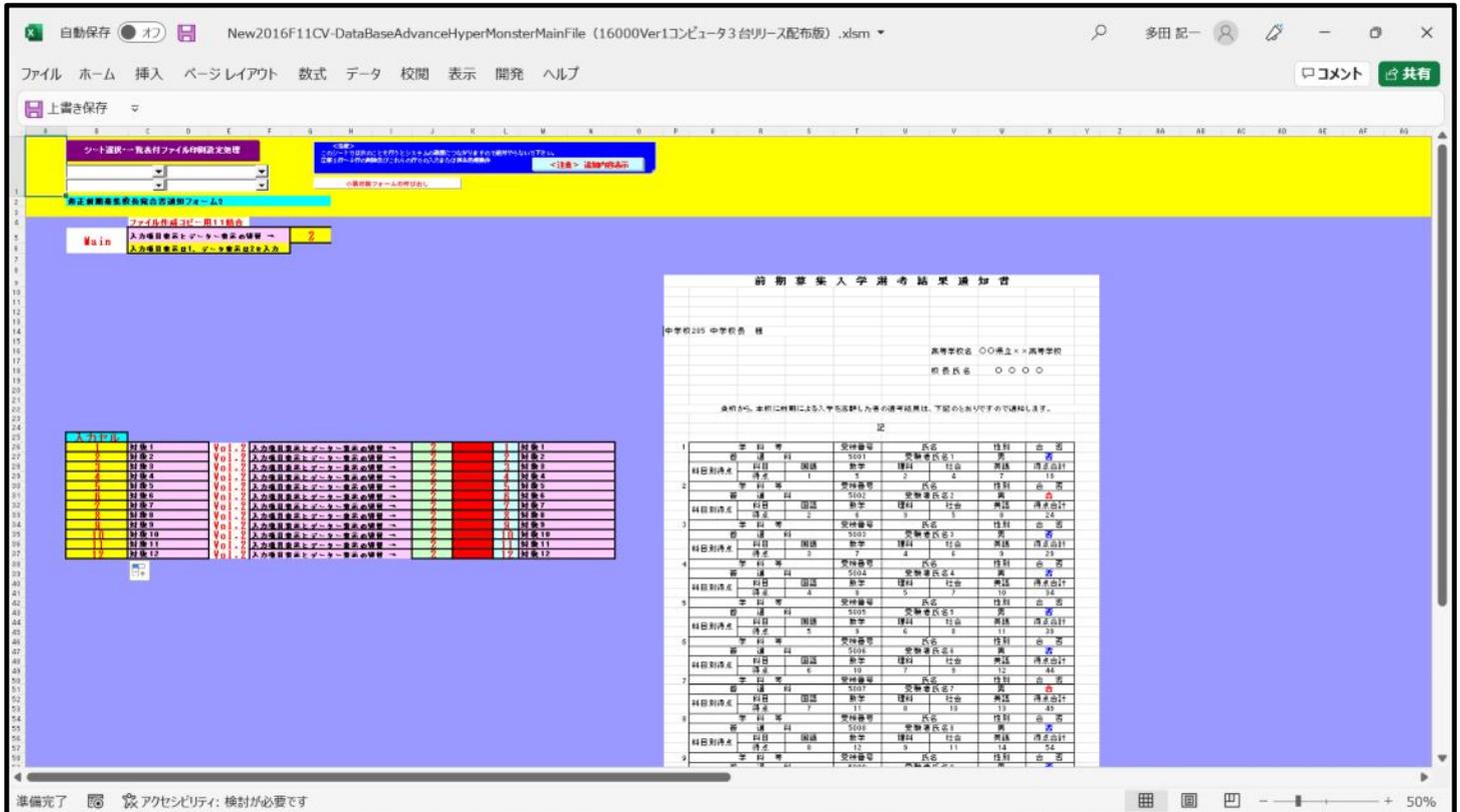
準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

ところで、ファイル
New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsx

の印刷フォームシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2」は、次の[図 1 7 7]の画面のようになっていました。但し、シートの表示倍率が 50%のものです。

[図 1 7 7]



上の[図 1 7 7]の画面の

1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	1	対象1
2	対象2	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	2	対象2
3	対象3	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	3	対象3
4	対象4	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	4	対象4
5	対象5	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	5	対象5
6	対象6	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	6	対象6
7	対象7	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	7	対象7
8	対象8	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	8	対象8
9	対象9	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	9	対象9
10	対象10	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	10	対象10
11	対象11	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	11	対象11
12	対象12	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2	12	対象12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の の部分において、各セルの値は、

ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」の表における上からの何行目データーであるかを示す数値でした。

上の[図177]の画面の右側の背景色なしの部分

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5002	受験者氏名2		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5004	受験者氏名4		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5005	受験者氏名5		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5006	受験者氏名6		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5007	受験者氏名7		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5008	受験者氏名8		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5009	受験者氏名9		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5010	受験者氏名10		男	合
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5011	受験者氏名11		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5012	受験者氏名12		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

において

上の[図177]の画面の例えば、3と入力されているセルに対応する上の表の

3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29

部分のデータは、

ファイル New2016F11CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表における上から第 3 行目のデータを表示しています。

ID	
303	303
83	83
362	362
68	68
69	69
431	431
64	64
65	65
179	179
180	180
333	333
5	5
15	15
57	57
58	58
90	90
129	129

さて、上の[図 1 7 6]の画面の 129 の部分の値を上から順にコピーし、上の[図 1 7 7]

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の画面の 12 の部分の各セルに上から順に「中学区コード」の値も調べながら貼り付けて、しかも同じ中学区コードが 1 2 個以上連続して続いている場合は 1 2 個のデータを貼り付けるごとに印刷または印刷範囲を自動 PDF の添付ファイルとしてメール送信し、同じ中学校コードが切り替わるごとに印刷処理および印刷範囲を自動 PDF の添付ファイルとしてメール送信する処理ができれば自動印刷処理や印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する自動処理ができることになります。

実は、このような自動処理が「一覧表付ファイル作成入力設定」シートであるシート

「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の入力設定を行うことによって可能です。

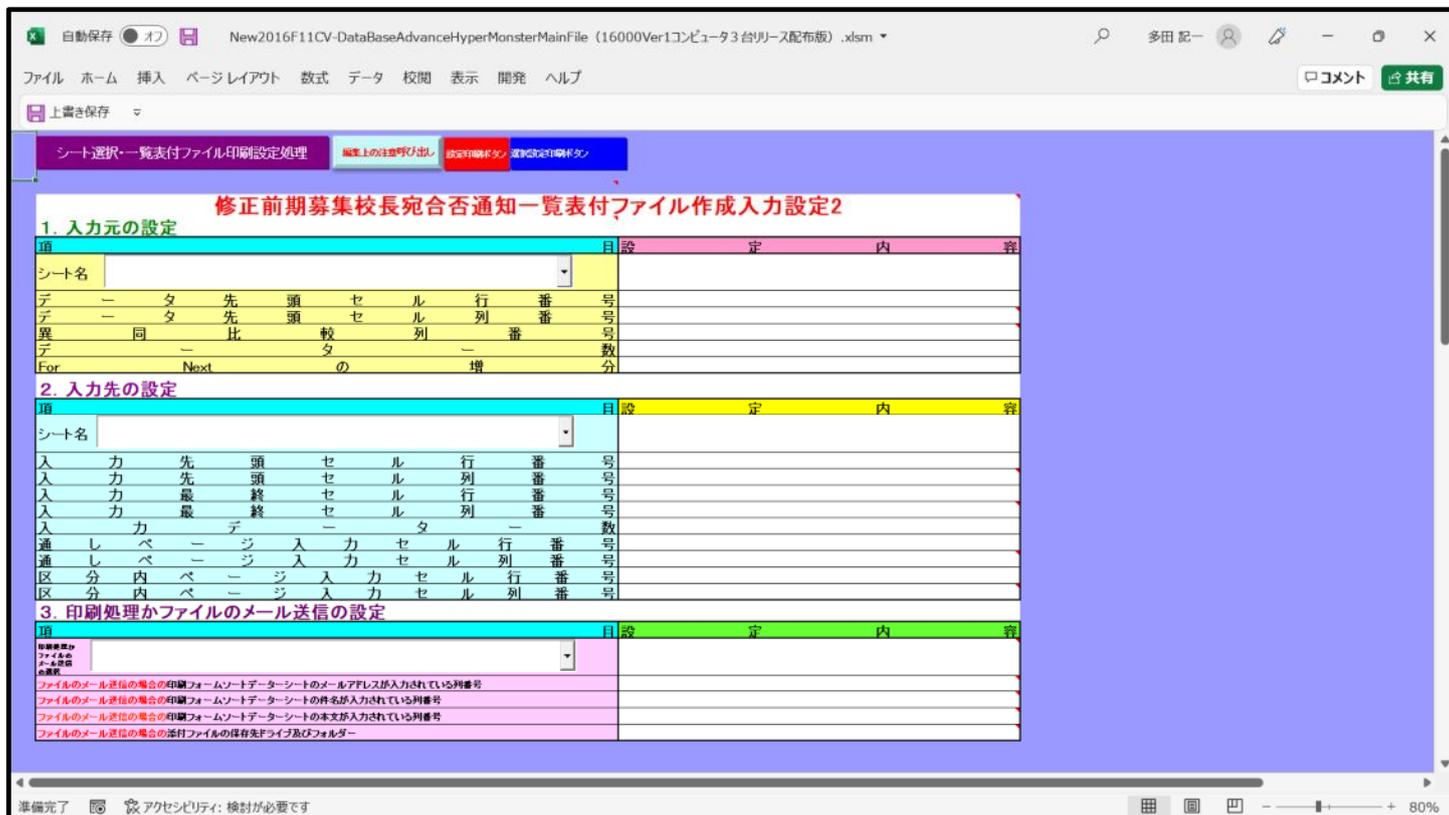
それでは、これから「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートに横複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するシート

「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の入力設定の方法および印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する方法を説明していきたいと思います。

次の[図 1 7 8]の画面はシート

「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の画面です。

[図 1 7 8]



まず、

1. 入力元の設定

項	目	設定	内容
シート名			
データ先頭セルの行番号			
データ先頭セルの列番号			
異なる比較対象の行番号			
データ先頭セルの行番号			
For Next の増分			

の部分の入力設定に「について説明いたします。

シート名		
------	--	--

の部分の左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ	
------	--------------------------	--

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ
------	--------------------------	--------------------------

となります。

データ先頭セルの行番号	
-------------	--

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 5]の画面のセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して、

データ先頭セル行番号	6
------------	---

とします。また、

データ先頭セル列番号	
------------	--

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のセルの番地「B6」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル列番号	2
------------	---

とします。但し、列番号については、私どもでは次の表のように約束しています。

列	A	B	C	・・・	Z	AA	AB	・・・
列番号	1	2	3	・・・	26	27	28	・・・

また、

異	同	比	較	列	番	号	
---	---	---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、データが連続して続くのかそれとも異なってしまうのか調査する列の番号を入力

受験
校
生
出
身

しますが、その列として上の[図 1 7 5]の画面の見出しと表示されている列「I」の列番号「9」を入力して、

異	同	比	較	列	番	号	9
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数	
---	---	---	---	---	--

の右側のセルには、上の[図 1 7 5]の画面の表における有効な処理するデータの個数「474」を入力して

デ	ー	タ	ー	数	474
---	---	---	---	---	-----

とします。

For	Next	の	増	分	
-----	------	---	---	---	--

部分の右側のセルには数値「1」を入力して（通常は1を入力します。）

For	Next	の	増	分	1
-----	------	---	---	---	---

とします。

次に

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入力先頭セル行番号					
入力先頭セル列番号					
入力最終セル行番号					
入力最終セル列番号					
入力データ数					
通しベジ入力セル行番号					
通しベジ入力セル列番号					
区分内ベジ入力セル行番号					
区分内ベジ入力セル列番号					

の部分の入力設定について説明いたします。

まず、

シート名	
------	--

については、左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------	--------------------

となります。

入	力	先	頭	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 7]の画面の

12

 の部分の最も下側の

12

 と表示されているセルの番地「B37」の列番号「2」を入力して

入 力 最 終 セ ル 列 番 号	2
-------------------	---

とします。

入 力 デ ー タ 数

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 7]の画面の

12

 の部分の

12

 と表示されているセルの個数「12」を入力して

入 力 デ ー タ 数	12
-------------	----

とします。

上の[図 1 7 7]の画面の印刷部分は背景色なしの次の[図 1 7 9]の画面の部分です。

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5001	受験者氏名1		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
2	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5002	受験者氏名2		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	2	6	3	5	8	24
3	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5003	受験者氏名3		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29
4	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5004	受験者氏名4		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5005	受験者氏名5		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	5	9	6	8	11	39
6	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5006	受験者氏名6		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5007	受験者氏名7		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	7	11	8	10	13	49
8	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5008	受験者氏名8		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5009	受験者氏名9		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	9	13	10	12	15	59
10	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5010	受験者氏名10		男	合	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5011	受験者氏名11		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	11	15	12	14	17	69
12	学 科 等	受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科	5012	受験者氏名12		男	否	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

上の[図179]の画面の印刷部分には、シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、

その領域に印刷の通し番号と区分内ページを表示するセルを指定する必要があります。
シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、その領域に印刷の通し番号と区分内ページを表示するセルを上[図 1 7 9]の画面の黄色で表示されている

の領域内に指定したいと思います。

通し番号を表示するセルは上の[図 1 7 9]の画面の のセルに、区分内ページを表示するセルは にしたいと思います。 のセル番地は「P74」で のセル番地は「U74」です。従って、

通	し	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の行番号「74」を入力して

通	し	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	行	番	号	74
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とし、

通	し	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の列番号「16」を入力して

通	し	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	列	番	号	16
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

また、

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の行番号「74」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	行	番	号	74
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とし、

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の列番号「20」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	カ	セ	ル	列	番	号	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

最後の

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理か ファイルの メール送信 の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシートのメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシートの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力設定について説明いたします。

単に印刷処理を行うには

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択					
--------------------------------	--	--	--	--	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	印刷する				
--------------------------------	------	--	--	--	--

と選択すると右側のセルに

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	印刷する			印刷する	
--------------------------------	------	--	--	------	--

と入力されます。そして、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシートのメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシートの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の右側のセルにはなにも入力しなくても結構です。

設定印刷ボタン

あとは上の[図 1 7 8]の画面の Command ボタン 設定印刷ボタン をクリックしていただければ印刷処理が実行できます。

しかし、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、上の印刷の場合の入力設定とは異なります。この場合については、

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	
--------------------------------	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する
--------------------------------	-----------------

を選択して

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------------------	-----------------	----------

と設定し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分の右側全てのセルにも入力設定する必要があります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	
--	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「S」の列番号「19」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート のメールアドレスが入力されている列番号	19
--	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	
---	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「T」の列番号「20」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の件名が入力されている列番号	20
---	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	
---	--

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「U」の列番号「21」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート の本文が入力されている列番号	21
---	----

とします。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

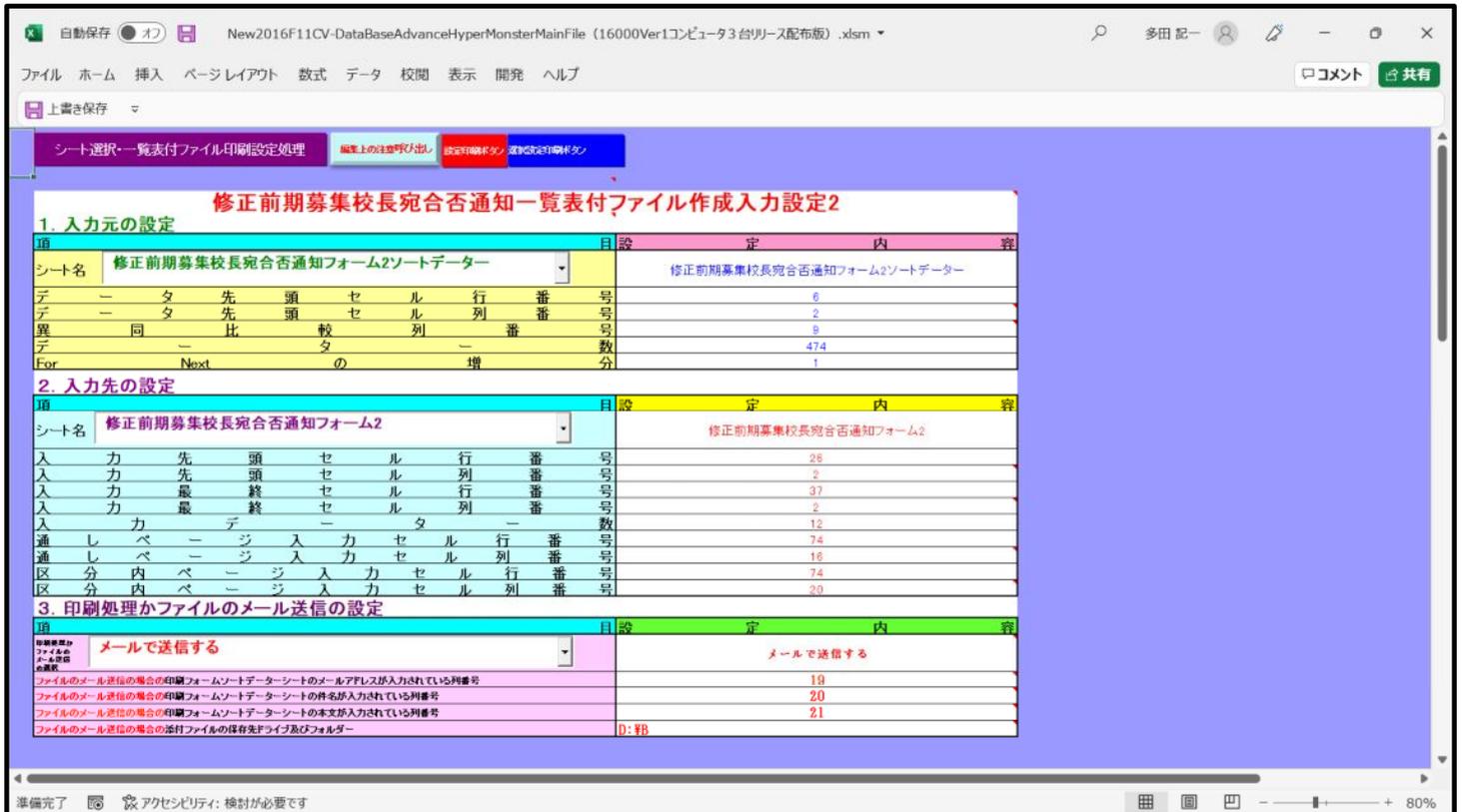
の右側のセルには、メールを送信するに当たって、一時的に印刷範囲を PDF ファイルとして保存しておく
ドライブとフォルダーを入力します。「D」ドライブのフォルダー「B」に一時的に保存したいと思います
ので、「D:¥B」と入力して、

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D:¥B
-------------------------------------	------

とします。

つまり、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をする場合の一覧表付ファイル作成入力設定
シート「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の入力設定は次の[図180]の画
面の通りです。

[図 1 8 0]

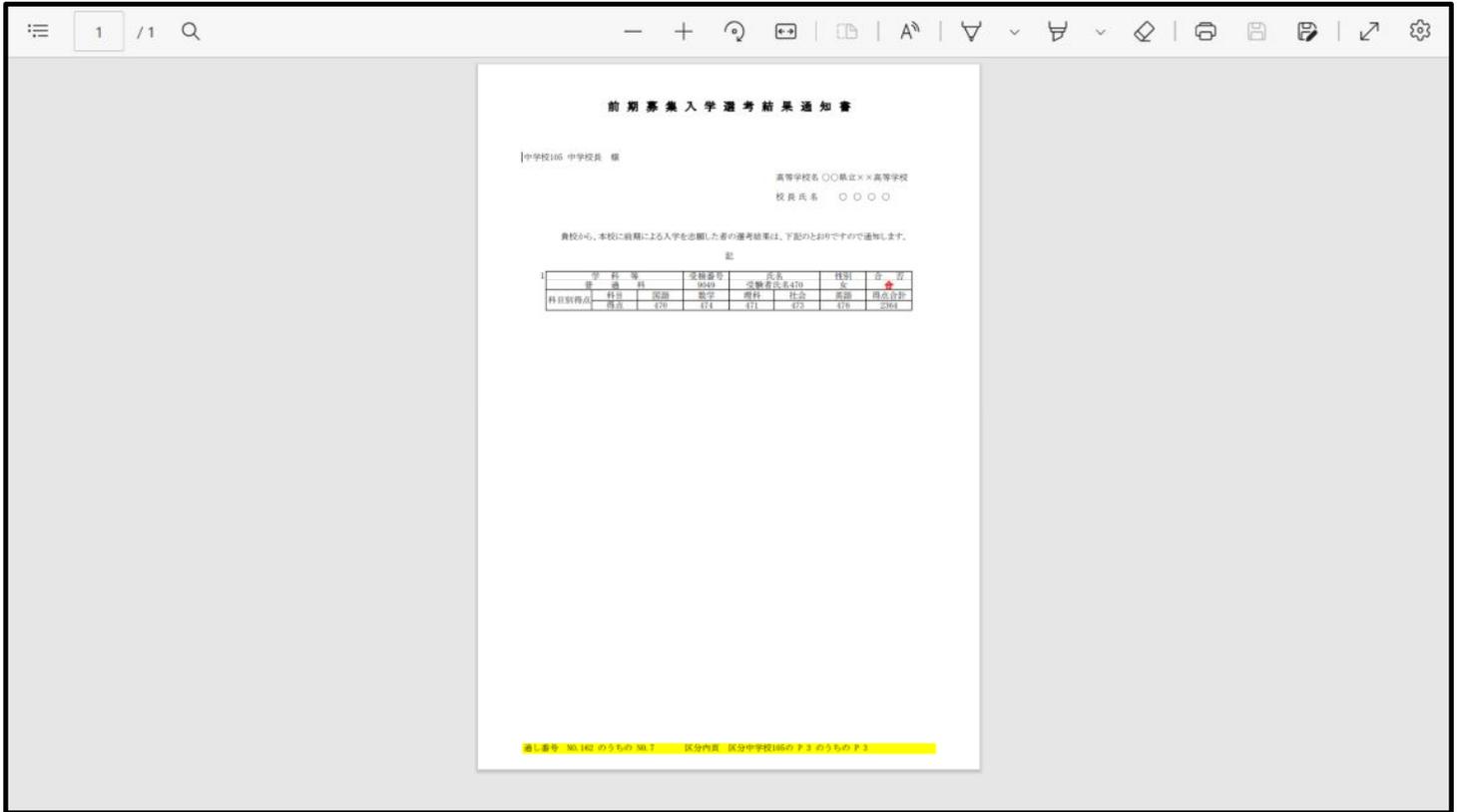


印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をするには、一覧表付ファイル作成入力設定シート「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面である上の[図 1 8 0]の画面の

コマンドボタン **設定印刷ボタン** をクリックしていただければ結構です。

因みに、[図 1 8 0]の画面の設定で印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの 5 件目、6 件目、7 件目の添付ファイルは、それぞれ次の[図 1 8 1]、[図 1 8 2]、[図 1 8 3]の画面のようになっています。これらは「中学校 105」の校長宛のメールで出願した生徒 25 名の合否の結果のメールです。なお、全てのメールの送信件数は 162 件です。

[図183]



更に、添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

印刷処理が ファイルの メール送信 の選択	▼	▼
--------------------------------	---	---

の左側のセルのコンボボックスで

印刷処理が ファイルの メール送信 の選択	添付ファイルなし件名本文のみのメール	▼
--------------------------------	---------------------------	---

と選択します。すると

印刷処理が ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	▼	メールで送信する
--------------------------------	-----------------	---	----------

なります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	

の右側の各セルには

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	33
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	34
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	35

と入力します。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の部分の右側のセルは、ブランクのままです

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D*¥B
-------------------------------------	------

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合についても、処理を実行するには、シート「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面である上の[図179]の画面の

コマンドボタン 設定印刷ボタン をクリックしていただければ結構です。